

令和6年度

歳入歳出決算にかかる
主要な施策の成果説明書

宇 治 市

目 次

はじめに	1
令和6年度の決算概要	1
(1) 各会計決算額	2
(2) 普通会計決算状況	3
(3) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律について	7
(4) 都市計画税の用途	9
(5) 全会計市債等現在高	9
(6) 地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障4経費 その他社会保障施策に要する経費	10
(7) 令和6年度 普通会計決算状況調書	11
(8) 一般会計等における財務書類4表	13
部門別決算成果概要	
物価高騰対策関連経費	20
1 危機管理室	21
2 市長公室	24
3 政策企画部	33
4 総務・市民協働部	43
5 産業観光部	57
6 人権環境部	102
7 福祉こども部	118
8 健康長寿部	169
9 建設部	209
10 都市整備部	223
11 教育部	244
12 消防本部	294
13 その他	301
議会事務局	301
選挙管理委員会事務局	303
監査委員事務局	305
公平委員会事務局	305
固定資産評価審査委員会事務局	306
農業委員会事務局	306
14 用品調達基金運用状況表	307

はじめに

本説明書（歳入歳出決算にかかる主要な施策の成果説明書）は、地方自治法第233条第3項の規定により、市長が決算を議会の認定に付すにあたり、同条第5項の規定により施策の成果を説明するものである。各会計の決算規模及び総務省地方財政状況調査基準に基づく普通会計（一般会計と墓地公園事業特別会計の合計額から各会計相互間の重複額等を控除したもの）の決算概要と、令和6年度の主要な施策の成果について部門毎に取りまとめたものである。

令和6年度の決算概要

令和6年度各会計歳入歳出決算の状況は、（1）各会計決算額のとおりとなっている。

また、（2）普通会計決算状況に基づく主な増減は次のとおりとなっている。

歳入の主な状況を分析すると、基幹歳入である地方税が、前年度から2億8,297万7千円（△1.2%）の減額となった。国庫支出金は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金などの影響により、前年度から6億8,793万1千円（4.1%）の増額となった。

歳出を目的別に分析すると、前年度から、民生費は、障害福祉関連経費や児童手当の制度改正などの影響により、29億1,050万8千円（8.3%）、教育費は、（仮）西小倉地域小中一貫校整備事業費や給食センター整備事業費などの影響により、19億5,031万7千円（25.2%）の増額となった。一方、消防費は、前年度の消防通信指令システム再整備事業費などの影響により、2億939万3千円（△8.0%）の減額となった。

また、歳出を性質別に分析すると、人件費は、前年度から9億4,482万7千円（7.0%）の増額、扶助費は、障害福祉関連経費や児童手当の制度改正などの影響により、前年度から17億8,994万円（7.6%）の増額、公債費は、前年度から1億3,001万円（△2.9%）の減額となり、義務的経費全体で、前年度から26億475万7千円（6.3%）の増額となった。なお、（仮）西小倉地域小中一貫校整備事業費や給食センター整備事業費などの影響により、普通建設事業費は、前年度から23億5,707万6千円（40.6%）の増額となった。

(1) 各会計決算額

(単位：千円)

会計名	年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	繰越財源	実質収支	単年度収支
一般会計	令和6年度	78,312,404	77,189,984	1,122,420	219,847	902,573	24,615
	令和5年度	73,523,093	72,146,262	1,376,831	498,873	877,958	19,632
	差引	4,789,311	5,043,722	△254,411	△279,026	24,615	4,983
国民健康保険 事業特別会計	令和6年度	16,856,165	16,851,944	4,221	0	4,221	3,728
	令和5年度	17,616,915	17,616,422	493	0	493	△20,731
	差引	△760,750	△764,478	3,728	0	3,728	24,459
後期高齢者医療 事業特別会計	令和6年度	4,047,865	4,031,309	16,556	0	16,556	△96,393
	令和5年度	3,562,184	3,449,235	112,949	0	112,949	106,289
	差引	485,681	582,074	△96,393	0	△96,393	△202,682
介護保険事業 特別会計	令和6年度	18,092,518	17,794,058	298,460	0	298,460	△438,247
	令和5年度	17,508,416	16,771,709	736,707	0	736,707	180,724
	差引	584,102	1,022,349	△438,247	0	△438,247	△618,971
墓地公園事業 特別会計	令和6年度	44,294	44,294	0	0	0	0
	令和5年度	45,113	45,113	0	0	0	0
	差引	△819	△819	0	0	0	0
水道事業会計 (収益的収支)	令和6年度	4,298,689	4,294,224	4,465			
	令和5年度	4,268,362	4,185,491	82,871			
	差引	30,327	108,733	△78,406			
水道事業会計 (資本的収支)	令和6年度	2,029,225	2,641,561	△612,336			
	令和5年度	1,936,663	2,699,076	△762,413			
	差引	92,562	△57,515	150,077			
公共下水道 事業会計 (収益的収支)	令和6年度	5,618,893	5,496,959	121,934			
	令和5年度	5,630,934	5,504,691	126,243			
	差引	△12,041	△7,732	△4,309			
公共下水道 事業会計 (資本的収支)	令和6年度	3,416,376	5,090,155	△1,673,779			
	令和5年度	3,084,057	4,693,569	△1,609,512			
	差引	332,319	396,586	△64,267			

(2) 普通会計決算状況

総務省地方財政状況調査における普通会計の決算状況については、次のとおりである。

ア 歳入決算状況

	6年度決算額 (千円)	構成比 (%)	5年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
地方税	24,295,146	31.4	24,578,123	33.8	△282,977	△1.2
うち個人市民税	9,455,217	12.2	9,987,779	13.8	△532,562	△5.3
うち法人市民税	1,499,479	1.9	1,571,485	2.2	△72,006	△4.6
うち固定資産税	10,213,738	13.2	9,934,726	13.7	279,012	2.8
地方譲与税	363,914	0.5	362,096	0.5	1,818	0.5
利子割交付金	14,776	0.1	9,792	0.1	4,984	50.9
配当割交付金	317,578	0.4	240,097	0.3	77,481	32.3
株式等譲渡所得割交付金	394,496	0.5	244,016	0.3	150,480	61.7
地方消費税交付金	4,201,175	5.4	4,033,784	5.5	167,391	4.1
ゴルフ場利用税交付金	29,099	0.1	29,415	0.1	△316	△1.1
自動車取得税交付金	0	0.0	3,812	0.1	△3,812	△100.0
自動車税環境性能割交付金	78,753	0.1	69,250	0.1	9,503	13.7
法人事業税交付金	361,309	0.4	356,196	0.5	5,113	1.4
地方特例交付金	997,644	1.3	200,134	0.2	797,510	398.5
地方交付税	10,812,559	14.0	10,165,198	14.0	647,361	6.4
普通交付税	10,398,263	13.5	9,763,665	13.4	634,598	6.5
特別交付税	414,296	0.5	401,533	0.6	12,763	3.2
交通安全対策特別交付金	14,208	0.1	15,987	0.1	△1,779	△11.1
分担金及び負担金	230,497	0.3	239,059	0.3	△8,562	△3.6
使用料	1,218,846	1.6	1,153,138	1.6	65,708	5.7
手数料	114,360	0.1	109,169	0.1	5,191	4.8
国庫支出金	17,600,081	22.8	16,912,150	23.3	687,931	4.1
国有提供施設等所在市町村 助成交付金	80,836	0.1	77,504	0.1	3,332	4.3
府支出金	6,654,068	8.6	6,151,475	8.5	502,593	8.2
財産収入	79,738	0.1	92,340	0.1	△12,602	△13.6
寄付金	144,122	0.2	150,521	0.2	△6,399	△4.3
繰入金	483,800	0.6	356,310	0.5	127,490	35.8
繰越金	1,376,831	1.8	1,349,716	1.9	27,115	2.0
諸収入	2,451,392	3.2	2,338,881	3.2	112,511	4.8
地方債	4,904,100	6.3	3,375,300	4.6	1,528,800	45.3
うち臨時財政対策債	186,200	0.2	389,700	0.5	△203,500	△52.2
歳入合計	77,219,328	100.0	72,613,463	100.0	4,605,865	6.3
うち一般財源等	47,492,451	61.5	45,878,917	63.2	1,613,534	3.5
うち経常一般財源等	40,146,561	52.0	38,622,748	53.2	1,523,813	3.9

イ 歳出決算状況

目的別決算状況

	6年度決算額 (千円)	構成比 (%)	5年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
議会費	433,377	0.6	422,430	0.6	10,947	2.6
総務費	6,064,261	8.0	5,939,518	8.3	124,743	2.1
民生費	37,817,539	49.7	34,907,031	49.0	2,910,508	8.3
衛生費	5,835,868	7.7	5,683,165	8.0	152,703	2.7
労働費	56,343	0.1	55,709	0.1	634	1.1
農林水産業費	444,804	0.6	343,209	0.5	101,595	29.6
商工費	2,440,176	3.2	2,447,368	3.4	△7,192	△0.3
土木費	6,580,451	8.6	6,625,027	9.3	△44,576	△0.7
消防費	2,398,394	3.1	2,607,787	3.6	△209,393	△8.0
教育費	9,691,824	12.7	7,741,507	10.9	1,950,317	25.2
災害復旧費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
公債費	4,333,871	5.7	4,463,881	6.3	△130,010	△2.9
歳出合計	76,096,908	100.0	71,236,632	100.0	4,860,276	6.8

性質別決算状況

	6年度決算額 (千円)	構成比 (%)	5年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
人件費	14,395,880	18.9	13,451,053	18.9	944,827	7.0
物件費	6,866,614	9.0	6,661,729	9.4	204,885	3.1
維持補修費	623,544	0.8	611,508	0.9	12,036	2.0
扶助費	25,391,465	33.3	23,601,525	33.1	1,789,940	7.6
補助費等	6,073,961	8.0	6,295,769	8.8	△221,808	△3.5
公債費	4,333,871	5.7	4,463,881	6.3	△130,010	△2.9
積立金	469,062	0.6	710,592	1.0	△241,530	△34.0
投資及び出資金	739,509	1.0	814,712	1.1	△75,203	△9.2
貸付金	1,748,350	2.3	1,854,235	2.6	△105,885	△5.7
繰出金	7,293,484	9.6	6,967,536	9.8	325,948	4.7
普通建設事業費	8,161,168	10.8	5,804,092	8.1	2,357,076	40.6
災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歳出合計	76,096,908	100.0	71,236,632	100.0	4,860,276	6.8
うち義務的経費	44,121,216	57.9	41,516,459	58.3	2,604,757	6.3
うち経常的経費	58,238,194	76.5	54,893,564	77.1	3,344,630	6.1

ウ 財政構造

令和6年度普通会計決算における各種財政指標は次のとおりである。

- ・財政の豊かさを計る財政力指数（過去3カ年平均）は0.695（5年度0.702）
- ・財政の堅実度を見る実質収支比率は2.3%（5年度2.3%）
- ・財政の弾力性を判断する経常収支比率は94.1%（5年度93.0%）
- ・一般財源の財政上のゆとりを見る経常一般財源等比率は103.4%（5年度101.4%）

エ 基金現在高

基金全体の令和6年度末現在高（普通会計）は、104億5,925万5千円で、前年度から481万5千円の増額となった。繰入については、財政調整基金を1億5,000万円繰り入れた。一方、積立については、減債基金に2億8,535万7千円、公共施設等整備基金に5,639万5千円を積み立てた。なお、定額運用基金である土地開発基金の現在高は14億5,543万8千円となった。

基金繰入の状況

(単位：千円)

基金名	基金繰入額	充当事業	充当額
財政調整基金	150,000	財源対策	150,000
公共施設等整備基金	6,520	公園バリアフリー等整備事業	2,700
		消防機械器具整備事業	3,820
減債基金	100,000	財源対策	100,000
国際交流基金	151	カムループス市交流促進事業	151
文化事業基金	1,281	文化会館使用料助成事業	1,281
ふるさと創生基金	1,944	源氏物語ミュージアム企画展示事業	1,172
		源氏物語ミュージアム広報活動事業	772
地域福祉振興基金	2,634	一人暮らし高齢者等給配食サービス補助金	2,634
社会福祉事業基金	393	在宅要援護老人対策事業	393
母子福祉基金	14	ひとり親家庭児童中学校卒業祝品支給補助金	14
玉井高齢者福祉事業基金	144	在宅要援護老人対策事業	144
高齢者活動基金	712	高齢者活動事業	356
		生涯学習センター高齢者活動事業	356
スポーツ振興基金	4,407	スポーツ大会開催事業	344
		スポーツ振興基金活用事業	4,063
中小企業振興基金	438	中小企業振興対策事業	438
大気質測定基金	10,655	自動車排出ガス監視測定局運営事業	10,655
市有製茶機械購入基金	5,200	市有製茶機械貸与事業	5,200
交通安全事業基金	215	交通安全対策事業	215
火災予防等事業基金	151	火災予防等事業基金活用事業	151
ふるさと応援基金	182,000	文化センター40周年事業	3,500
		地域のつながり促進事業	5,200
		源氏ろまん事業	11,026
		高校生文化芸術祭典事業	1,716
		文化の都・京都プロジェクト in 宇治事業	1,369
		地域安全・安心見守り事業	2,535
		新婚・子育て世帯等住宅確保おうえん事業	236
		つなげる・ひろがるスポーツ振興事業	1,585
		子育ておうえん環境整備事業	767
		宇治茶ふれあい事業	412
		未来をつくる食育推進事業	783
高品質茶ブランド力強化事業	3,235		

		天ヶ瀬森林公園整備事業	4,268
		観光活性化事業補助金	500
		お茶の京都DMO協議会負担金	7,190
		放ち鵜飼事業補助金	1,650
		親子で宇治文化の魅力発見事業	1,000
		紫式部のまちにぎわい創出事業	48,853
		紫式部のまち魅力発信プロモーション事業	33,792
		天ヶ瀬ダムかわまちづくり推進事業	1,084
		こども未来キャンパス事業	6,906
		かわまちづくり環境整備事業	140
		公園でつなぐ子育てにやさしいまち創出事業	3,918
		源氏で彩る植物公園魅力発信事業	2,150
		図書館教育充実事業	23,733
		いきいき学級支援員配置事業	10,689
		宇治のまち魅力再発見事業	1,058
		歴史文化体験事業	2,117
		源氏物語ミュージアム特別企画展示事業	588
図書館図書等整備基金	1,500	図書館資料提供事業	1,500
合 計	468,359		

オ 地方債現在高

令和6年度末における地方債の現在高は387億4,743万3千円となり、前年度から7億813万円の増加となった。発行額は、一般債が47億1,790万円、臨時財政対策債が1億8,620万円で、総額49億410万円となり、前年度から15億2,880万円の増額となった。

(3) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律について

平成19年6月に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成19年度決算から、一般会計等の赤字額の標準財政規模に対する比率である「実質赤字比率」と、一般会計等だけでなく、水道事業や下水道事業など全会計を連結した実質赤字額（資金不足額）の標準財政規模に対する比率である「連結実質赤字比率」、さらに、一般会計等が負担する地方債の元利償還金やそれに準ずる元利償還金の標準財政規模に対する比率である「実質公債費比率」、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率である「将来負担比率」の4つの健全化判断比率と、水道事業や下水道事業の公営企業の経営健全化を判断する指標として、公営企業ごとの資金不足額の事業の規模に対する比率である「資金不足比率」を算定している。

4つの健全化判断比率の数値が、早期健全化基準を超えた場合は、自主的な改善努力による財政健全化に取り組む「財政健全化団体」となり、さらに比率が悪化し、財政再生基準を超えた場合は、国などの関与により確実な財政再生を図る「財政再生団体」となる。

「財政健全化団体」は、議会の議決を経て「財政健全化計画」を定め、市民への公表と、総務大臣、知事への報告が必要となり、毎年度、その実施状況を議会に報告し、公表することが必要となる。

「財政再生団体」は、議会の議決を経て「財政再生計画」を定め、市民への公表を行わなければならない。また、災害復旧事業等を除いた起債が必要な場合は、「財政再生計画」を総務大臣に協議し、その同意を求める必要がある。「財政再生計画」に総務大臣の同意を得た「財政再生団体」は、収支不足額を振り替えるため、地方財政法第5条の特例として、総務大臣の許可を受けて、再生振替特例債を起すことができることとなった。

公営企業については、その資金不足比率が、経営健全化基準以上になった場合は、経営健全化計画を定める必要がある。

※ 標準財政規模：地方公共団体の一般財源の標準規模、標準的な財政規模

ア 健全化判断比率

健全化判断比率	6年度 決算	5年度 決算	早期健全 化基準	財政再生 基準	説明
実質赤字比率	—	—	11.49%	20.00%	一般会計等が黒字か赤字を判断する指標（一般会計等の赤字の標準財政規模に対する比率）
連結実質赤字 比率	—	—	16.49%	30.00%	一般会計だけでなく、国民健康保険や水道、下水道事業などすべての特別会計等を対象として、赤字を判断する指標（全会計の赤字の標準財政規模に対する比率）
実質公債費比率	△1.2%	△1.0%	25.0%	35.0%	市債の元利償還金等の一般会計等に対する負担を判断する指標（一般会計等が、負担しなければならない元利償還金等の標準財政規模に対する比率）
将来負担比率	—	—	350.0%		一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の一般会計等に対する負担を判断する指標（一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率）

※ 実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字のため「—」で表示している。

※ 将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回り、算定されなかったため「—」で表示している。

イ 資金不足比率

特別会計の名称	6年度決算	5年度決算	経営健全化基準
水道事業会計	—	—	20.0%
公共下水道事業会計	—	—	20.0%

※ 資金不足比率は、各会計で不足額が生じていないため「—」で表示している。

(4) 都市計画税の使途

令和6年度に実施した都市計画税充当対象事業費 24 億 8,943 万 9 千円（下水道事業含む）に対して、都市計画税 17 億 7,455 万 2 千円を次のとおり充当した。

対 象 事 業		都市計画税充当額(千円)
街路事業	府営事業負担金	479
下水道事業	下水道事業	543,109
その他事業	公園整備事業	132,640
公債費（下水道事業分含む）		1,098,324
合 計		1,774,552

(5) 全会計市債等現在高

	6 年度末 (千円)	5 年度末 (千円)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
全会計市債等現在高	90,991,683	89,773,347	1,218,336	1.4
一般会計	39,039,116	38,358,849	680,267	1.8
墓地公園事業特別会計	96,622	112,967	△16,345	△14.5
水道事業会計	11,681,090	10,480,330	1,200,760	11.5
公共下水道事業会計	40,174,855	40,821,201	△646,346	△1.6

(6) 地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

平成26年4月1日より消費税率が5%から8%へ引き上げられたことに伴い、地方消費税交付金の増収分については、その使途を明確化し、社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

令和6年度一般会計における社会保障施策経費への充当状況については、次のとおりです。

【歳入】地方消費税交付金（社会保障財源化分） 2,459,228千円

【歳出】社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 23,805,280千円

＜社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費＞ (単位：千円)

事業名	事業費	財源内訳					
		特定財源			一般財源		
		国府支出金	市債	その他	地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	その他	
社会福祉	生活保護事業	2,489,376	1,953,309	0	2,539	101,973	431,555
	児童福祉事業	10,320,806	5,805,525	0	479,906	771,282	3,264,093
	母子福祉事業	3,289	0	0	311	569	2,409
	高齢者福祉事業	334,368	5,000	0	26,877	57,815	244,676
	障害者福祉事業	1,244,911	488,876	0	111	144,480	611,444
	その他社会福祉事業	146,562	14,720	0	2,250	24,769	104,823
	小計	14,539,312	8,267,430	0	511,994	1,100,888	4,659,000
社会保険	国民健康保険事業	1,506,657	882,362	0	0	119,322	504,973
	後期高齢医療事業	3,128,961	483,555	0	0	505,617	2,139,789
	介護保険事業	2,340,498	0	0	0	447,340	1,893,158
	小計	6,976,116	1,365,917	0	0	1,072,279	4,537,920
保健衛生	母子保健事業	533,382	194,061	0	3,167	64,249	271,905
	高齢者医療事業	67,704	34,899	0	1	6,270	26,534
	障害者医療事業	759,329	429,657	0	6,800	61,711	261,161
	疾病予防対策事業	701,202	1,393	0	90,405	116,475	492,929
	健康増進対策事業	157,360	2,300	0	2,059	29,243	123,758
	その他保健事業	70,875	29	0	28,398	8,113	34,335
	小計	2,289,852	662,339	0	130,830	286,061	1,210,622
合計	23,805,280	10,295,686	0	642,824	2,459,228	10,407,542	

※ 地方消費税交付金（社会保障財源化分）は、各事業に要する一般財源の比率に応じて充当している。

(7) 令和6年度 普通会計決算状況調書

262048	宇治市			
市町村類型	IV - 3			
交付税種地	I - 5			
産業構造	区分	第1次	第2次	第3次
	2国調	682人	22,126人	66,042人
		0.8%	24.9%	74.3%
	27国調	574人	19,292人	55,354人
0.8%		25.6%	73.6%	

(単位:千円)

人口	国調	2年	179,630人	△2.7%	面積	67.54km ²	
		27年	184,678人	△2.6%			
		22年	189,609人	0.0%	人口密度	2国調	2,660人/km ²
	住基	R7.1.1	179,582人	△0.8%	人口集中地区人口	27国調	2,734人/km ²
		R6.1.1	180,943人	△0.7%		2国調	175,891人
		R5.1.1	182,144人	△0.7%	27国調	180,546人	
			世帯数	R7.1.1	86,271世帯		

区分		令和6年度	令和5年度	増減率	区分	令和6年度	令和5年度
歳入総額	A	77,219,328	72,613,463	6.3%	財政力指数(単年/3力年)	0.682	0.695
歳出総額	B	76,096,908	71,236,632	6.8%	歳出決算倍率	1.959	1.869
歳入歳出差引(A-B)	C	1,122,420	1,376,831	△18.5%	実質収支比率	2.3 %	2.3 %
翌年度に繰り越すべき財源	D	219,847	498,873	△55.9%	経常一財等比率	103.4 %	101.4 %
実質収支(C-D)	E	902,573	877,958	2.8%	公債費負担比率	8.6 %	9.4 %
単年度収支	F	24,615	19,632	25.4%	公債費比率(単年/3力年)	2.6%	3.0%
積立金	G	3,334	1,650	102.1%	起債制限比率(単年/3力年)	1.9%	2.3%
繰上償還金	H	0	0	-	地方債残高比率	99.8 %	99.8 %
積立金取崩し額	I	150,000	150,000	-	実質債務残高比率	132.4 %	138.7 %
実質単年度収支(F+G+H-I)	J	△ 122,051	△ 128,718	5.2%	経常収支比率	94.1 %	93.0 %
基準財政収入額		22,267,596	22,049,671	1.0%	経常収支比率(臨財・減収除)	94.6 %	94.0 %
基準財政需要額		32,665,859	31,730,538	2.9%	健全化判断比率	令和6年度	令和5年度
標準税収入額等		28,256,821	27,953,762	1.1%	実質赤字比率	-	-
標準財政規模		38,841,323	38,107,164	1.9%	連結実質赤字比率	-	-
地方債現在高		38,747,433	38,039,303	1.9%	実質公債費比率(単年/3力年)	△1.6%	△1.2%
債務負担行為翌年度以降支出予定額		12,696,558	14,807,745	△14.3%	将来負担比率	-	-

一般職の状況(R7.4.1)				特別職等の給料月額			収益事業収入:なし	
区分	平均年齢	職員数	平均給料月額	区分	1人あたり平均給料(報酬)	改定実施年月日	一部事務組合加入状況	
一般職員	42.50 歳	838 人	340,488 円	市長	981,000 円	R7.1.1より	城南衛生管理組合 淀川・木津川水防事務組合 京都府自治会館管理組合 京都府住宅新築資金等貸付事業管理組合 京都府後期高齢者医療広域連合 京都地方税機構	
教育公務員	46.58 歳	23 人	368,476 円	副市長	837,200 円	〃		
消防関係職員	42.25 歳	210 人	347,205 円	教育長	744,000 円	〃		
技能労務職員	48.58 歳	179 人	355,085 円	議長	645,000 円	〃		
会計年度任用職員	-	-	-	副議長	595,000 円	〃		
合計	43.33 歳	1,250 人	344,222 円	議員	545,000 円	〃		
ラスパイレス指数(R6.4.1)			100.8					

地方債現在高			基金現在高		会計別決算状況(決算統計数値)			
政府資金(旧郵政公社)	機構(旧公庫)	市中銀行	財政調整	3,312,853	会計名	歳入総額	歳出総額	他会計繰入金
22,387,683	9,338,384	2,942,316	減債	3,673,095	国保特会	16,856,165	16,851,944	1,506,657
保険会社等	その他	合計	土地開発	1,455,438	後期高齢特会	4,059,816	4,043,260	806,944
0	4,079,050	38,747,433	退職手当	11,676	介護特会	18,092,518	17,794,058	2,656,590
減収補てん債		臨時財政対策債	その他	3,461,631				
発行額	0	発行額	合計	11,914,693				
		186,200						

(単位:千円・%)

歳入							歳出(性質別)						
区分	決算額	構成比	経常一財等	構成比	区分	決算額	構成比	充当一財等	経常一財等	経常 収支比率			
地方税	24,295,146	31.4	22,520,594	56.1	人件費	14,395,880	18.9	12,920,825	12,574,634	31.1			
地方譲与税	363,914	0.5	363,914	0.9	うち職員給	8,956,044	11.8	8,163,902	8,103,116	20.1			
利子割交付金	14,776	0.1	14,776	0.1	扶助費	25,391,465	33.3	9,342,111	6,597,134	16.3			
配当割交付金	317,578	0.4	317,578	0.8	公債費	4,333,871	5.7	4,165,040	4,165,040	10.4			
株式等譲渡所得割交付金	394,496	0.5	394,496	0.9	元利償還金	4,329,147	5.6	4,160,316	4,160,316	10.3			
地方消費税交付金	4,201,175	5.4	4,201,175	10.4	一借利子	4,724	0.1	4,724	4,724	0.1			
ゴルフ場利用税交付金	29,099	0.1	29,099	0.1	(義務的経費計)	44,121,216	57.9	26,427,976	23,336,808	57.8			
自動車取得税交付金	0	0.0	0	0.0	物件費	6,866,614	9.0	5,262,993	4,403,405	10.9			
自動車税環境性能割交付金	78,753	0.1	78,753	0.2	維持補修費	623,544	0.8	540,515	540,515	1.3			
法人事業税交付金	361,309	0.4	361,309	0.9	補助費等	6,073,961	8.0	5,703,825	3,911,205	9.7			
地方特例交付金	997,644	1.3	997,644	2.5	うち一組負担金	1,866,395	2.5	1,860,353	1,319,937	3.3			
地方交付税	10,812,559	14.0	10,398,263	25.9	積立金	469,062	0.6	314,604	-	-			
普通交付税	10,398,263	13.5	10,398,263	25.9	投資及び出資金	739,509	1.0	566,409	21,068	0.1			
特別交付税	414,296	0.5	-	-	貸付金	1,748,350	2.3	1	1	0.1			
小計	41,866,449	54.2	39,677,601	98.8	繰入金	7,293,484	9.6	5,772,241	5,749,620	14.2			
交通安全対策特別交付金	14,208	0.1	14,208	0.1	前年度繰上充用金	0	0.0	0	歳入一財等総額				
分担金及び負担金	230,497	0.3	0	0.0	投資的経費	8,161,168	10.8	1,781,467	47,492,451				
使用料	1,218,846	1.6	330,340	0.8	うち人件費	133,742	0.2	128,946	経常一般財源等				
手数料	114,360	0.1	0	0.0	普通建設	8,161,168	10.8	1,781,467	40,146,561				
国庫支出金	17,600,081	22.8	-	-	補助	2,591,912	3.4	115,432	臨時一般財源等				
国有提供施設等交付金	80,836	0.1	80,836	0.2	単独	5,563,586	7.3	1,665,465	7,345,890				
府支出金	6,654,068	8.6	-	-	府営事業負担金	5,670	0.1	570	経常経費充当一財等				
財産収入	79,738	0.1	39,038	0.1	災害復旧	0	0.0	0	37,962,622				
寄付金	144,122	0.2	-	-	歳出合計	76,096,908	100.0	46,370,031					
繰入金	483,800	0.6	-	-	歳出(目的別)								
繰越金	1,376,831	1.8	-	-	区分	決算額 A	構成比	うち普通建設	Aの充当一財等				
諸収入	2,451,392	3.2	4,538	0.0	議会費	433,377	0.6	0	432,252				
地方債	4,904,100	6.3	-	-	総務費	6,064,261	8.0	349,927	4,810,090				
歳入合計	77,219,328	100.0	40,146,561	100.0	民生費	37,817,539	49.7	652,809	19,434,305				
市町村税の状況							衛生費	5,835,868	7.7	316,293	4,888,884		
							労働費	56,343	0.1	0	25,787		
法定普通税	区分	収入済額	構成比	前年比	基準税額/0.75	超過課税分	農林水産業費	444,804	0.6	109,175	278,883		
	市民税	個人均等割	250,306	1.0	△ 16.1	260,875	-	商工費	2,440,176	3.2	213,150	543,640	
		所得割	9,204,911	37.9	△ 5.0	9,536,075	-	土木費	6,580,451	8.6	1,869,503	4,325,599	
		法人均等割	407,178	1.7	2.1	359,412	67,622	消防費	2,398,394	3.1	194,037	2,275,072	
		法人税割	1,092,301	4.5	△ 6.9	971,160	311,383	教育費	9,691,824	12.7	4,456,274	5,190,479	
	固定資産税	10,213,738	42.0	2.8	9,968,679	-	災害復旧費	0	0.0	-	0		
	うち純固定資産税	10,102,083	41.6	2.8	-	-	公債費	4,333,871	5.7	-	4,165,040		
	軽自動車税	389,610	1.6	4.2	390,316	-	諸支出金	0	0.0	0	0		
	市町村たばこ税	962,550	4.0	△ 2.2	957,431	-	前年度繰上充用金	0	0.0	-	0		
	特別土地保有税	-	-	-	-	-	合計	76,096,908	100.0	8,161,168	46,370,031		
計	22,520,594	92.7	△ 1.4	22,443,948	379,005	市税収入率							
目的税	都市計画税	1,774,552	7.3	2.8	-	-	うち市民税	うち資産税		合計			
	計	1,774,552	7.3	2.8	-	-	現年	99.34%	99.42%	99.38%			
合計	24,295,146	100.0	△ 1.2	22,443,948	379,005	合計	98.40%	98.96%	98.67%				

(8) 一般会計等における財務書類4表

財務書類4表は、「貸借対照表」「行政コスト計算書」「純資産変動計算書」「資金収支計算書」の4つの書類により構成されている。

本市では、平成20年度決算から「総務省方式改訂モデル」により財務書類を作成してきたが、平成27年1月に総務省より「統一的な基準による地方公会計の整備促進について」が示され、すべての地方公共団体が「統一的な基準」による財務書類を作成することとされ、平成28年度決算からは「統一的な基準」により財務書類を作成している。

ア 貸借対照表

会計年度末における、本市の財政状態を表す。「資産の部」に計上している財産をどのような財源で調達したかについて、将来世代の負担部分を「負債の部」に、過去・現役世代の負担部分を「純資産の部」に計上している。

イ 行政コスト計算書

一会計期間における、資産形成を伴わない経常的な行政活動に伴う費用の状況を表す。「経常費用」には、経常的な行政サービスを提供するために発生したコストを計上し、「経常収益」には、行政サービスの対価としての収入、すなわち受益者負担相当分等を計上している。

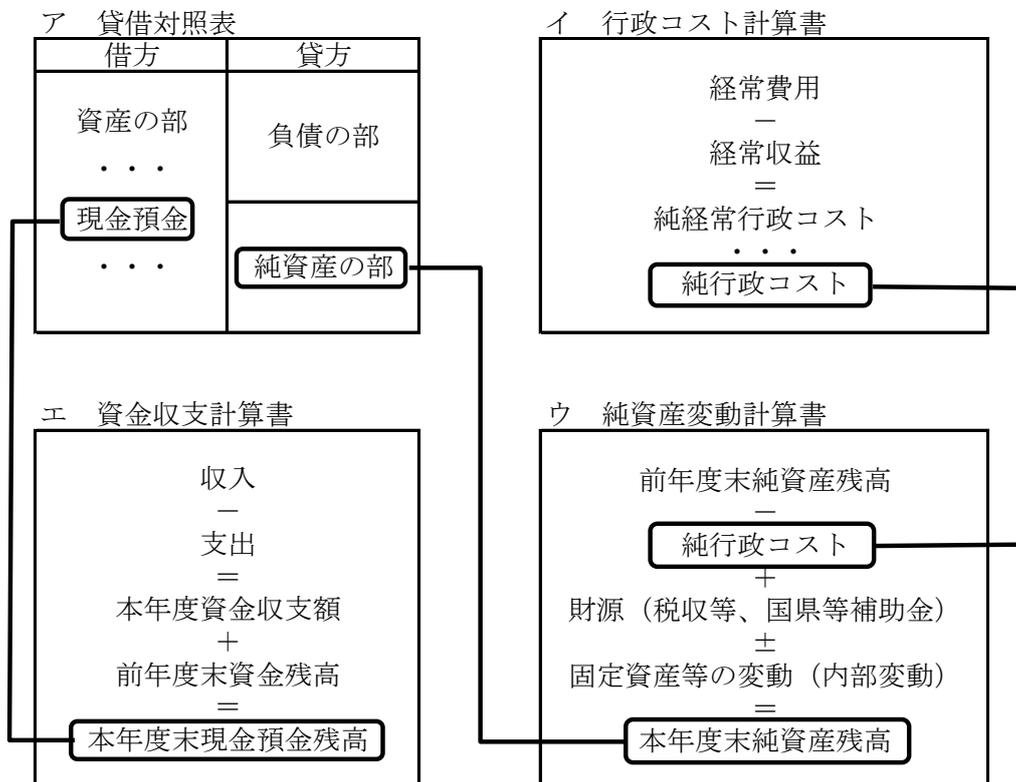
ウ 純資産変動計算書

一会計期間において、「貸借対照表」の「純資産の部」に計上されている各項目がどのように変動したかを表す。主な純資産の減少要因としては、「行政コスト計算書」で算出した「純行政コスト」、増加要因としては、市税・地方交付税等の「税収等」、国・京都府からの「国県等補助金」が挙げられる。

エ 資金収支計算書

一会計期間における、本市の行政活動に伴う現金等の資金の流れを、性質の異なる3つの活動に分けて表す。「前年度末資金残高」は前年度普通会計の形式収支であり、「本年度末資金残高」は本年度普通会計の形式収支と一致する。

<財務書類4表の関連図>



一般会計等貸借対照表

(令和 7年 3月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】	211,397,904	【負債の部】	53,253,866
固定資産	201,604,433	固定負債	46,057,932
有形固定資産	195,997,473	地方債(臨時財政対策債除く)	20,745,366
事業用資産	100,439,816	臨時財政対策債	13,539,137
土地	69,312,577	長期未払金	736,701
立木竹	215,819	退職手当引当金	10,556,662
建物	73,052,146	損失補償等引当金	191,918
建物減価償却累計額	△ 47,251,825	その他	288,148
工作物	8,320,908	流動負債	7,195,934
工作物減価償却累計額	△ 7,458,787	1年内償還予定地方債(臨時財政対策債除く)	1,863,018
その他	0	1年内償還予定臨時財政対策債	2,599,912
その他減価償却累計額	0	未払金	33,527
建設仮勘定	4,248,978	未払費用	0
インフラ資産	93,922,239	前受金	0
土地	54,441,715	前受収益	0
建物	8,182,877	賞与等引当金	1,042,557
建物減価償却累計額	△ 4,778,682	預り金	1,505,251
工作物	104,917,270	その他	151,669
工作物減価償却累計額	△ 68,957,849	負債合計	53,253,866
その他	0	【純資産の部】	158,144,038
その他減価償却累計額	0	固定資産等形成分	208,600,204
建設仮勘定	116,908	余剰分(不足分)	△ 50,456,166
物品	5,516,835		
物品減価償却累計額	△ 3,881,417		
無形固定資産	0		
ソフトウェア	0		
その他	0		
投資その他の資産	5,606,960		
投資及び出資金	438,337		
有価証券	70,000		
出資金	368,337		
その他	0		
投資損失引当金	0		
長期延滞債権	670,892		
長期貸付金	65,328		
基金	4,445,957		
減債基金	0		
その他	4,445,957		
その他	0		
徴収不能引当金	△ 13,554		
流動資産	9,793,471		
現金預金	2,627,671		
未収金	189,841		
短期貸付金	9,823		
基金	6,985,948		
財政調整基金	3,312,853		
減債基金	3,673,095		
棚卸資産	0		
その他	0		
徴収不能引当金	△ 19,812		
資産合計	211,397,904	純資産合計	158,144,038
		負債及び純資産合計	211,397,904

一般会計等行政コスト計算書

自 令和6年 4月 1日
至 令和7年 3月31日

(単位:千円)

科目	金額
経常費用	69,302,002
業務費用	31,139,706
人件費	14,824,651
職員給与費	11,625,236
賞与等引当金繰入額	64,865
退職手当引当金繰入額	28,395
その他	3,106,155
物件費等	15,147,646
物件費	8,662,773
維持補修費	2,773,368
減価償却費	3,689,593
その他	21,912
その他の業務費用	1,167,409
支払利息	137,901
徴収不能引当金繰入額	0
その他	1,029,508
移転費用	38,162,296
補助金等	14,456,757
社会保障給付	17,889,275
他会計への繰出金	5,761,506
その他	54,758
経常収益	2,678,593
使用料及び手数料	1,376,969
その他	1,301,624
純経常行政コスト	66,623,409
臨時損失	31,956
災害復旧事業費	0
資産除売却損	31,956
投資損失引当金繰入額	0
損失補償等引当金繰入額	0
その他	0
臨時利益	24,672
資産売却益	24,672
その他	0
純行政コスト	66,630,693

一般会計等純資産変動計算書

自 令和6年 4月 1日
至 令和7年 3月31日

(単位:千円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	158,067,147	207,430,019	△ 49,362,872
純行政コスト(△)	△ 66,630,693		△ 66,630,693
財源	66,562,259		66,562,259
税金等	42,308,110		42,308,110
国県等補助金	24,254,149		24,254,149
本年度差額	△ 68,434		△ 68,434
固定資産等の変動(内部変動)		1,157,798	△ 1,157,798
有形固定資産等の増加		4,707,538	△ 4,707,538
有形固定資産等の減少		△ 3,548,860	3,548,860
貸付金・基金等の増加		41,428	△ 41,428
貸付金・基金等の減少		△ 42,308	42,308
資産評価差額	2,246	2,246	
無償所管換等	126,793	126,793	
その他	16,286	△ 116,652	132,938
本年度純資産変動額	76,891	1,170,185	△ 1,093,294
本年度末純資産残高	158,144,038	208,600,204	△ 50,456,166

一般会計等資金収支計算書

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

(単位:千円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	65,519,149
業務費用支出	27,356,853
人件費支出	14,731,391
物件費等支出	11,458,053
支払利息支出	137,901
その他の支出	1,029,508
移転費用支出	38,162,296
補助金等支出	14,456,757
社会保障給付支出	17,889,275
他会計への繰出支出	5,761,506
その他の支出	54,758
業務収入	68,103,064
税収等収入	42,308,110
国県等補助金収入	23,116,361
使用料及び手数料収入	1,376,969
その他の収入	1,301,624
臨時支出	0
災害復旧事業費支出	0
その他の支出	0
臨時収入	0
業務活動収支	2,583,915
【投資活動収支】	
投資活動支出	6,604,980
公共施設等整備費支出	4,707,538
基金積立金支出	474,647
投資及び出資金支出	0
貸付金支出	1,422,795
その他の支出	0
投資活動収入	3,058,524
国県等補助金収入	1,137,788
基金取崩収入	468,359
貸付金元金回収収入	1,427,705
資産売却収入	24,672
その他の収入	0
投資活動収支	△ 3,546,456
【財務活動収支】	
財務活動支出	4,195,970
地方債償還支出	4,195,970
その他の支出	0
財務活動収入	4,904,100
地方債発行収入	4,904,100
その他の収入	0
財務活動収支	708,130
本年度資金収支額	△ 254,411
前年度末資金残高	1,376,831
本年度末資金残高	1,122,420
前年度末歳計外現金残高	1,482,675
本年度歳計外現金増減額	22,576
本年度末歳計外現金残高	1,505,251
本年度末現金預金残高	2,627,671

重要な会計方針に関する注記

1. 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

(1) 有形固定資産・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和59年度以前に取得したもの・・・再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

イ 昭和60年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・取得原価

取得原価が不明なもの・・・・・・・・再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

(2) 無形固定資産・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・取得原価

取得原価が不明なもの・・・・・・・・再調達原価

2. 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券・・・・・・・・取得原価

(2) 出資金・・・・・・・・出資金額及び市場価格

3. 有形固定資産等の減価償却の方法

(1) 有形固定資産・・・定額法

(2) 無形固定資産・・・定額法

(3) リース資産・・・・・・・・リース期間を耐用年数とし、残存価値をゼロとする定額法

4. 引当金の計上基準及び算定方法

(1) 徴収不能引当金

過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。

(2) 退職手当引当金

期末自己都合要支給額を計上しています。

(3) 損失補償等引当金

履行すべき額が確定していない損失補償債務等のうち、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する将来負担比率の算定に含めた将来負担額を計上しています。

(4) 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

5. リース取引の処理方法

(1) ファイナンス・リース取引

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(2) オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

6. 資金収支計算書における資金の範囲

現金及び現金同等物

なお、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

7. その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

物品の計上基準

物品については、取得価額が50万円以上の場合に資産として計上しています。

部門別決算成果概要

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
重点施策	WITHコロナ・POSTコロナ時代の安全・安心

所管部局
各担当部局

事務事業名	物価高騰対策関連経費	所管課	各担当課
		決算額	3,058,748 千円
事業内容	物価高騰に伴い、大きく影響を受けた市民・事業者等への支援に取り組む。		
成果・実績	物価高騰に伴う市民・事業者等への支援をするための各種施策を実施した。		
	事業	決算額 (千円)	課名
	水道料金等減免事業補助金	167,270	財政課
	物価高騰対策給付金事業費	2,815,480	地域福祉課
	農業生産性等向上支援事業費	5,417	農林茶業課
	先端設備等導入支援事業費	13,497	産業振興課
	学校給食費高騰対策事業費	57,084	学校管理課
事業評価	物価高騰に伴う市民・事業者等への支援に取り組んだ。引き続き、市民生活や市内経済の状況を踏まえ、水道料金等の減免や学校給食費の値上げ抑制など、市民・事業者等への支援に努める必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	危機管理室
関連分野	防災、河川・治水	

事務事業名	防災事業費	所管課	危機管理室								
		決算額	10,918 千円								
事業内容	防災行政無線の適切な運用にかかる修繕や保守を実施する。また、防災資機材の購入・修繕を行い、市の防災力の維持向上を図る。										
成果・実績	<p>電波法に基づく基地局・陸上移動局の再免許申請を行った。また、防災行政無線保守点検及び劣化した避難所看板の更新を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 5%;">◎基地局・陸上移動局再免許申請</td> <td style="width: 45%;">663千円</td> <td rowspan="3" style="width: 30%; text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> <td rowspan="3" style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>◎防災行政無線保守点検</td> <td>5,514千円</td> </tr> <tr> <td>◎災害時避難所看板設置委託</td> <td>4,312千円</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">避難所看板</p>			◎基地局・陸上移動局再免許申請	663千円			◎防災行政無線保守点検	5,514千円	◎災害時避難所看板設置委託	4,312千円
◎基地局・陸上移動局再免許申請	663千円										
◎防災行政無線保守点検	5,514千円										
◎災害時避難所看板設置委託	4,312千円										
事業評価	基地局・陸上移動局の再免許申請を行い防災行政無線の継続運用を可能にした。また、防災行政無線の保守点検に加えて、劣化した避難所看板を更新することにより避難所開設時の受入体制を整えた。今後も災害に備えた取組を継続し、防災力の向上に努める。										

事務事業名	防災対策推進事業費	所管課	危機管理室																						
		決算額	6,374 千円																						
事業内容	宇治市の防災対策を推進するため、市民参加のもと防災訓練を実施するとともに、備蓄品等の計画的な更新を行う。																								
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 5%;">◎防災訓練</td> <td style="width: 45%;">1,408千円</td> <td rowspan="4" style="width: 30%; text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> <td rowspan="4" style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>・日時 10月20日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・場所 北槇島小学校</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・参加者数 約1,000人</td> <td></td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 5%;">◎備蓄品等の更新</td> <td style="width: 45%;">2,276千円</td> <td rowspan="5" style="width: 30%;"></td> <td rowspan="5" style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>・備蓄食料品等の購入</td> <td>77千円</td> </tr> <tr> <td>・医薬品の点検、交換</td> <td>938千円</td> </tr> <tr> <td>・避難所用備蓄資機材購入 (マンホールトイレ等)</td> <td>495千円</td> </tr> <tr> <td>・防災備蓄倉庫の購入</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">宇治市防災訓練</p>			◎防災訓練	1,408千円			・日時 10月20日		・場所 北槇島小学校		・参加者数 約1,000人		◎備蓄品等の更新	2,276千円			・備蓄食料品等の購入	77千円	・医薬品の点検、交換	938千円	・避難所用備蓄資機材購入 (マンホールトイレ等)	495千円	・防災備蓄倉庫の購入	
◎防災訓練	1,408千円																								
・日時 10月20日																									
・場所 北槇島小学校																									
・参加者数 約1,000人																									
◎備蓄品等の更新	2,276千円																								
・備蓄食料品等の購入	77千円																								
・医薬品の点検、交換	938千円																								
・避難所用備蓄資機材購入 (マンホールトイレ等)	495千円																								
・防災備蓄倉庫の購入																									
事業評価	防災訓練の実施を通じて、関係機関や自主防災リーダーとの連携について確認を行うことができた。また、マンホールトイレ等の避難所用備蓄資機材及び防災備蓄倉庫を購入し、避難所の生活環境の改善を図った。今後も様々な取組を通して更なる防災力の向上に努める。																								

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	危機管理室
関連分野	防災、河川・治水	

事務事業名	自主防災組織育成事業補助金	所管課	危機管理室
		決算額	1,062 千円
事業内容	地域における自主的な防災訓練及び防災知識の啓発活動などを実施する町内会・自治会等に対して、防災訓練及び講演会などの取組に必要な経費の2分の1（世帯数で上限を設定）を毎年助成する制度により、自主防災組織の育成を図る。		
成果・実績	<p>町内会・自治会等が実施する防災訓練等の経費に対し補助金を交付した。</p> <p>◎補助金交付実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付額 1,062千円 ・交付団体数 26団体 <div style="text-align: right;">  <p style="text-align: center;">地域の防災訓練</p> </div>		
事業評価	地域住民の防災意識の高揚を図るため、自主的な防災訓練を実施する町内会・自治会等に対して、補助金を交付することにより、地域防災力の向上を促進することができた。今後も引き続き、自主防災組織率の向上を図り、地域における継続的な自主防災活動及び避難行動要支援者の避難支援の充実に努める。		

事務事業名	災害時地域タイムライン作成支援事業費	所管課	危機管理室
		決算額	152 千円
事業内容	洪水浸水想定区域にある自主防災組織や町内会等に『災害時地域タイムライン（「いつ」「どこへ」「どのように」避難するかを定めておく計画）』の作成を促すとともに、作成に至るまでの様々な支援を行う。		
成果・実績	<p>◎タイムライン作成支援の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西小倉地域でのタイムライン作成に向け職員を派遣 ・黄檗地域でのタイムライン作成に向け自主防災リーダーを派遣 <p>◎防災シンポジウム開催（12月7日、約250人参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都大学防災研究所長の講演 ・東宇治中学校の生徒による防災学習成果の発表 ・避難所受入体験を実施していた東宇治中学校と会場とを中継 <div style="text-align: right;">  <p style="text-align: center;">防災シンポジウム</p> </div>		
事業評価	淀川河川事務所や京都府と連携し、浸水想定区域である西小倉地域のタイムライン作成を進めることができた。また、防災シンポジウムの開催を通じて、若年層への防災活動への関心や意識を高めることができた。今後も災害時地域タイムラインの作成支援等を継続し、地域の防災力の向上に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	危機管理室
関連分野	防災、河川・治水	

事務事業名	防災行政無線再整備事業費	所管課	危機管理室
		決算額	6,985 千円
事業内容	大規模な自然災害等の発生時に備え、市民等に対して直接・同時に多重化して防災情報を伝達できる環境を整えるため、現在、整備している移動系防災行政無線の更新に加え、新たに同報系防災行政無線を整備する。		
成果・実績	移動系防災行政無線の更新及び同報系防災行政無線整備の設計業務を行った。 ◎防災行政無線設計業務委託 6,985千円		
事業評価	市内全域に対して速やかに防災情報を伝達し、市民等の生命を守ることができる防災行政無線の再整備に向けた設計を行うことができた。引き続き、計画に沿った整備に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	市長公室
関連分野	国際交流、平和	

事務事業名	国際交流促進事業費	所管課	秘書広報課
		決算額	6,222千円
事業内容	友好都市盟約の趣旨に則り、市民間の国際交流の発展のため相互の友好親善交流を促進する。		
成果・実績	カムループス市への中学生訪問団の派遣などにより、友好都市との交流を深めた。		
	◎カムループス市交流促進費 6,222千円 ・中学生訪問団の派遣 7月25日～7月31日 市内在住の中学生 10人 引率者（市職員・中学校教諭） 2人		
			
事業評価	中学生訪問団の派遣などにより、友好都市との交流を図ることができた。今後も引き続き、交流の促進に努めつつ、社会情勢等を踏まえながら、様々な国際交流のあり方、手法等を検討する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営
取組の方向	戦略的な広報／魅力発信

所管部局
市長公室

事務事業名	広報活動費	所管課	秘書広報課
		決算額	4,314 千円
事業内容	<p>広報活動の充実のために、報道機関に対する報道連絡、記者発表の開催、市ホームページ、SNSなどの運用を行う。また、市に関する情報を、動画でわかりやすく発信する。</p>		
成果・実績	<p>市長自らが市政運営のビジョンや施策の考え方など、市政に関する情報を市民に向けて広く届けるため市長記者会見を実施し、宇治日刊記者クラブに対しては、報道資料の提供及び記者発表を行った。</p> <p>また、SNSでは、市公式LINEのリニューアルを実施し、カレンダー予約やメール連携の機能拡充を行うとともに、受信設定項目をよりわかりやすく整理し、防災、子育て及びイベント・催し、ごみの出し方などの総合的な市政情報にかかる、より効果的な発信に取り組んだ。</p> <p>加えて、より多くの人に宇治の魅力が届けるため、市公式Instagramを活用し、宇治の風景及び伝統、イベントなど様々な魅力を発信した。</p>		
事業評価	<p>市長記者会見の実施や市ホームページ、市公式LINE及びInstagramなどを活用した積極的な情報発信を図ることができた。今後も引き続き、より効果的な市政情報の発信手法を検討する。</p>		



事務事業名	情報発信力強化事業費	所管課	秘書広報課
		決算額	974 千円
事業内容	<p>視覚に障害がある人、識字が困難な人や外国人への情報発信として市政情報を音声化・多言語化する。</p> <p>また、多文化共生の推進に向けて、職員の外国人住民への理解を促進する。</p>		
成果・実績	<p>市ホームページのテキストデータの音声化及び市広報誌等PDFデータの音声化・多言語化を実施した。</p> <p>外国人が暮らしやすいまちづくりを進めるため、外国人住民とのコミュニケーション手段として有効な「やさしい日本語」の窓口における実践方法や外国人住民の支援について、職員を対象に研修を行った。</p> <p>◎研修名 : 地域における多文化共生研修会 ◎講師 : 城陽市国際交流協会 ◎受講者数 : 18人</p>		
事業評価	<p>市ホームページやホームページ上の市広報誌等の音声化や多言語化により、障害のある方や外国人等への情報発信を強化することができた。</p> <p>また、外国人住民が暮らしやすいまちづくりを進めるため、職員の多文化共生に対する意識啓発や醸成を図ることができた。</p>		



令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営	市長公室
取組の方向	戦略的な広報／魅力発信	

事務事業名	戦略的広報推進事業費	所管課	秘書広報課																
		決算額	6,803 千円																
事業内容	ターゲットを定め、わかりやすく、各種メディアの特性を活かした広報と、市民との双方向コミュニケーションの促進を目的とした戦略的広報を推進する。																		
成果・実績	<p>戦略的広報を推進するため職員研修等を実施した。また、外部人材である広報戦略プロデューサーを配置し、広報に関することならあらゆる相談が可能な「広報なんでも相談」の実施など、庁内のサポート体制を整備するとともに、情報発信力の強化を図るため、チラシ等のデザイン作成や、SNS広告等を実施した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">◎職員研修</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">7回</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td>◎広報なんでも相談</td> <td style="text-align: right;">148件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎チラシ等デザイン作成</td> <td style="text-align: right;">34件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎SNS広告</td> <td style="text-align: right;">22件</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p style="text-align: center;">がん検診啓発イベント</p> </div>			◎職員研修	7回			◎広報なんでも相談	148件			◎チラシ等デザイン作成	34件			◎SNS広告	22件		
◎職員研修	7回																		
◎広報なんでも相談	148件																		
◎チラシ等デザイン作成	34件																		
◎SNS広告	22件																		
事業評価	研修や広報に関する相談、実践等を通じて、広報活動への意識向上や戦略的広報の推進を図ることができた。今後も、引き続き、職員向け研修、広報に関する相談や実践、SNS等を活用したプロモーションなどを通じて、市全体の情報発信力の強化を図る。																		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営	市長公室 産業観光部
取組の方向	戦略的な広報／魅力発信	

事務事業名	紫式部のまち魅力発信プロモーション事業費	所管課	秘書広報課・観光振興課
		決算額	66,349 千円

事業内容	2024年大河ドラマ「光る君へ」を契機とした、源氏物語と紫式部ゆかりの地である宇治の歴史・文化・観光の魅力発信及びまちの活性化に向けた各種プロモーションを実施する。
-------------	--

成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ◎紫式部ゆかりのまち宇治市・越前市・大津市3市連携 <ul style="list-style-type: none"> ・3市周遊企画「紫式部謎解きまちめぐり」を実施 ◎魅力発信プロモーション <ul style="list-style-type: none"> ・各地でドラマ展PR実施、雑誌記事掲載 ◎京都アニメーションとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトロゴ、キービジュアル、PR動画を活用し、各地で宇治市観光PR、およびノベルティ制作 ◎NHK関連団体との協力 <ul style="list-style-type: none"> ・大河ドラマ「光る君へ」相互協力冊子制作 ◎交通事業者との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・電車、主要駅への広告掲載 ◎むらさきみどりいとおいし 食のいんどりコンテスト in 宇治 を実施 <ul style="list-style-type: none"> ○参加件数 ＜事業者部門＞ <ul style="list-style-type: none"> ・市内事業者 71件 ＜個人部門＞ <ul style="list-style-type: none"> ・小学生 28件 ・中高生 21件 ・一般 63件 計112件 ◎秋のいんどりフェスタを開催 <ul style="list-style-type: none"> ・日時：11月3日 ・場所：お茶と宇治のまち歴史公園 ・来場者数：約2,100人 ・報道メディア：新聞社3社、ラジオ1社、テレビ2社3番組 ◎「うじには物語がある」スペシャルサイトを公開 <ul style="list-style-type: none"> ＜サイト構成＞ <ul style="list-style-type: none"> ・キービジュアルのキャラクター解説 ・「宇治らしさ」を紐解く歴史の解説 ・“ほんまもん”が残る街を紹介 ◎「紫式部ゆかりのまち宇治」4コマ漫画を制作（計8本） 	 <p>プロジェクトロゴ</p>
		
		
		

事業評価	NHK関連団体、京都アニメーション、紫式部ゆかりの市との連携によるプロモーション及び、交通事業者等と連携した広域プロモーションに加え、スペシャルサイトやSNS等を活用した情報発信、各種イベントを実施することで「紫式部ゆかりのまち宇治」の魅力発信とまちの活性化を図ることができた。今後も引き続き、さらなるブランド力の強化につながる取組を実施し、宇治のまちのさらなる魅力発信を推進する。
-------------	---

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	多様な主体との連携・協働と担い手づくりの推進	市長公室
取組の方向	市民・産・学・官等との連携・協働	

事務事業名	市長とにぎわいミーティング事業費	所管課	秘書広報課															
		決算額	22 千円															
事業内容	<p>市民参画・協働によるまちづくりのため、市長が市民の方が活動されている現場へ出向き、その活動を体験等することにより、活動に対する理解を深める。</p> <p>また、意見交換を実施し、活動されている方々の活動に対する思い及び取り巻く状況、意見などを聴き、市政への反映を図る。</p>																	
成果・実績	<p>以下のとおり、全4回開催し、地域で活動されている市民等と意見交換を実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">開催日</th> <th style="width: 35%;">対象団体</th> <th style="width: 50%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月13日</td> <td>サウスヒルズ町内会</td> <td>災害に強い地域コミュニティについて</td> </tr> <tr> <td>6月10日</td> <td>つどいの笑舞利</td> <td>高齢社会における地域での支え合い活動について</td> </tr> <tr> <td>9月 9日</td> <td>特定非営利活動法人ほっこりスペースあい</td> <td>不登校・ひきこもり支援について</td> </tr> <tr> <td>10月25日</td> <td>フォレスターうじ</td> <td>森林保全に携わるボランティア活動について</td> </tr> </tbody> </table>			開催日	対象団体	内容	5月13日	サウスヒルズ町内会	災害に強い地域コミュニティについて	6月10日	つどいの笑舞利	高齢社会における地域での支え合い活動について	9月 9日	特定非営利活動法人ほっこりスペースあい	不登校・ひきこもり支援について	10月25日	フォレスターうじ	森林保全に携わるボランティア活動について
開催日	対象団体	内容																
5月13日	サウスヒルズ町内会	災害に強い地域コミュニティについて																
6月10日	つどいの笑舞利	高齢社会における地域での支え合い活動について																
9月 9日	特定非営利活動法人ほっこりスペースあい	不登校・ひきこもり支援について																
10月25日	フォレスターうじ	森林保全に携わるボランティア活動について																
																		
事業評価	<p>幅広い様々な分野において、地域で活動されている市民等と活発な意見交換を行うことができた。今後も引き続き、さらに現場に出向いて、市民の思い及び取り巻く状況を把握し、市民協働のまちづくりの推進に努める。</p>																	

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	組織改革・人材育成の推進

所管部局
市長公室

事務事業名	職員研修費	所管課	人事課
		決算額	3,693 千円
事業内容	宇治市職員の研修に関する規程に基づき、職務の遂行に必要な知識、技能の向上を図るとともに、職員としての資質と教養を高めるため、職員研修を実施する。		
成果・実績	<p>人口減少や少子高齢社会が進行する中で、市民ニーズを的確に把握しながら、時代の変化を敏感に察知し、活力にあふれ持続的に発展する魅力ある宇治市を築いていくため、「宇治市職員人材育成基本方針」に基づく研修を実施し、職員の育成に努めた。</p> <p>◎求められる職員像 Change「変える・変わる職員」 (1) Collaborate「市民と協働する職員」 地域の方々と連携し、市民参画・協働を促進 (2) Catch「ニーズや変化をキャッチする職員」 市民ニーズを的確に把握、時代の変化を敏感に察知 (3) Create「創造する職員」 長期的かつ多面的な視野で新しい宇治市を創造 (4) Communicate「コミュニケーション能力の高い職員」 市民から信頼される誠実な対応、周囲との積極的な意思疎通 (5) Challenge「チャレンジする職員」 困難な状況や課題に対して前向きに挑戦</p> <p>◎基本研修 新規採用職員研修、初級職員研修、中級職員研修、管理職研修など</p> <p>◎特別研修 市長とAfternoonTeaミーティング、新任庶務担当者研修、安全運転研修、人権研修など</p> <p>◎派遣研修 京都府市町村振興協会 全国市町村国際文化研修所など</p>		
事業評価	<p>各種研修の実施により、職務の遂行に必要な知識、技能の向上などを図った。引き続き、時代の変化に的確に対応できる人材の育成を目指し、効率的かつ効果的な研修を実施する。</p>		



市長とAfternoonTeaミーティング

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営	市長公室
取組の方向	組織改革・人材育成の推進	

事務事業名	政策形成プログラム推進事業費	所管課	人事課
		決算額	2,829 千円

事業内容	<p>各部から選出された若手職員がチームを組み、チームごとに政策研究テーマを設定し、課題を自ら発見し、チームで共有、検討しながら課題解決につなげることができる能力の向上を図るワークショップ型の研修を実施する。最終的に研修参加者が幹部職員の前で自ら立案した政策をプレゼンテーションする。</p> <p>各部から選出された若手管理職が柔軟な発想と行動力でイノベーション（変革）を起こせるよう、意識改革を図ることを目的とした研修を実施する。</p>
-------------	---

成果・実績	<p>◎チーム型政策研究プログラム 12人の参加者が3チームに分かれ、①「窓口手続き案内の改善 改善すべき3つの問題～アナログとDXの良さの融合～」、②「放課後革命」、③「投票率の向上を通じて住み続けたいまち“うじ”の実現に貢献する」と題し、それぞれのテーマについての政策研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織横断的に職員が参加したことにより、職種間の新たな交流や、多様な価値観に触れる機会が生まれた。 ・市の課題を自ら発見する中で、より広い視野で市の現状を捉える機会が生まれた。 <div style="text-align: right;">  <p>チーム型政策研究プログラム発表の様子</p> </div> <p>◎イノベーションリーダー研修 13人の参加者が講義とグループワークを通じて、リーダーに求められる役割、変革を実践するための業務の見直し方法、必要なリーダー力や人材の活かし方（人材育成）について学んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務見直しの方法、ポイントや実践するためにリーダーに求められる役割について学ぶ機会となった。 ・自身に求められている役割や部下の育成方法について、組織を超えて交流し、情報共有を図ることで、自身のスキルアップを図る機会となった。 <div style="text-align: right;">  <p>イノベーションリーダー研修の様子</p> </div>
--------------	--

事業評価	<p>チーム単位で取り組むテーマを決定し、決定したテーマについて研究・検討を重ねることで、より深い議論のもと政策研究が実施できた。また、行政運営上の課題の解決手法及び重点施策をより推進する手法などについて、知識を吸収するだけでなく、職員の政策立案能力の向上が図れた。</p> <p>若手管理職に求められる役割や人材育成方法などについて組織を超えて交流することで、受研者それぞれの行動や考え方の振り返りができた。</p> <p>今後も職員の自発性及び積極性の向上に留まらず、調査・研究を行った提案の事業化・予算化の実現も視野に入れ、他課との連携をはじめ、より効果的な手法を検討しながら、継続的に事業を実施する。</p>
-------------	--

令和6年度決算成果説明書

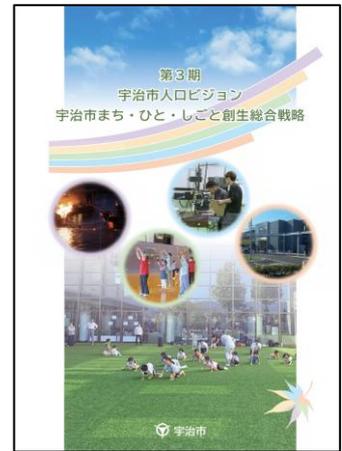
総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営	市長公室
取組の方向	健全な行財政運営の確立	

事務事業名	職員健康管理費	所管課	職員厚生課
		決算額	23,741 千円
事業内容	職員の健康管理、疾病予防のための各種健康診断及びメンタルヘルスケアのための相談業務などを行う。		
成果・実績	<p>労働安全衛生法に基づき、職員を対象に定期健康診断を実施した。受診後のフォロー及び職員の健康意識向上のため、生活習慣改善教室、産業医による個別指導などを行った。</p> <p>職場のメンタルヘルスケアを推進するため、「宇治市職員のメンタルヘルスケアプラン」に基づき、予防から再発防止までの対策として、産業医による相談事業、職場復帰訓練（試し出勤）などを実施した。</p> <p>長時間勤務による健康被害を予防するため、超過勤務者等に対して健康調査及び産業医による面接指導を実施した。</p> <p>◎職員健康管理医師報酬 720千円 産業医による復職相談及び安全衛生管理業務など 産業医による面談 12回（月1回定期的に実施）</p> <p>◎「こころの健康相談」医師・カウンセラー等謝礼 1,599千円 相談事業の実施、メンタルヘルス対策の推進 産業医による面談 24回（月2回定期的に実施）</p> <p>◎職員（嘱託含む）各種健診手数料 11,707千円 定期健康診断、B型肝炎血液検査、深夜業務健康診断など</p> <p>◎特殊健康診断等委託料 8,937千円 定期健康診断の有所見者のフォロー（二次健診、生活習慣改善教室など） 頸肩腕・腰痛予防の健診及びVDT作業従事者健診、職業病予防の健康教室、メンタル不調予防のためのストレスチェックなど</p>		
事業評価	労働安全衛生法に基づき、事業者として実施する職員の定期健康診断をはじめ、各種健診等を実施し、健康状態の把握及び疾病防止を行い、メンタルヘルス対策について正しい情報を提供することにより、職員の心身の健康増進を図ることができた。今後も引き続き、職員の健康の保持・増進に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営	政策企画部
取組の方向	地方創生の推進	

事務事業名	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議運営費	所管課	政策戦略課
		決算額	4,339 千円
事業内容	人口減少及び少子高齢社会への迅速かつ的確な対応と、宇治市の特色を活かした施策の実施により、持続的に発展するまちを目指すため、「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、各施策の推進及び進捗管理を行う。		
成果・実績	<p>「第2期宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（計画期間：令和2年度～令和6年度）の進捗管理及び次期創生総合戦略を策定するため、宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を開催し、「第3期宇治市人口ビジョン、宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（計画期間：令和7年度～令和11年度）を策定した。</p> <p><基本目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新たな時代の宇治ブランドの向上 2. 希望をかなえる子育て・子育てにやさしいまちづくり 3. 住み続けたい「ふるさと宇治」の創生 4. 活力あふれる産業振興と多様な働く場の創出 5. 未来を拓く都市基盤の整備 		
事業評価	幅広い意見を踏まえて、宇治市の特性を活かした「第3期宇治市人口ビジョン、宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定することができた。今後も引き続き、創生総合戦略の適切な進捗管理に努める必要がある。		



令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営	政策企画部
取組の方向	戦略的な広報／魅力発信	

事務事業名	子育てにやさしいまちステップアップ事業費	所管課	政策戦略課
		決算額	300 千円
事業内容	<p>人と地域などの多様な主体がつながり、地域全体で子どもを見守り支え合い、全ての世代の人にとって暮らしやすいまちづくりを推進するため、地域課題を抽出し、今後の子育てにやさしいまちづくりの方向性を示す。</p>		
成果・実績	<p>子育てに係る課題を地域の団体や外部有識者と抽出し、市長と子どもや地域のキーパーソンが対話形式による意見交換を行う「子育てにやさしいまちステップアップミーティング」を開催した。</p> <p>◎ステップアップミーティングの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 : 10月12日 ・場所 : おうぱくバザール開催エリア（宇治市五ヶ庄寺界道） ・プログラム：第1部 子どもとの意見交換会 （子ども代表8人 小学6年生～中学3年生） <li style="padding-left: 20px;">第2部 キーパーソンとのトークセッション（5人） <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>◎アンケートの実施</p> <p>ステップアップミーティングでの議論のポイントの抽出にあたり、市内の186人の子どもたち（小学3年生～高校生）にアンケートを実施した。</p>		
事業評価	<p>ミーティング及びアンケートを実施し、宇治市への愛着や子育てにやさしいまち実現プロジェクトに関する意見を聴取することができた。引き続き、子育てにやさしいまちの更なる充実に向け、木幡・御蔵山エリアを対象としたモデル事業を展開するとともに、全市域での施策展開や取組の推進に努める。</p>		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営	政策企画部
取組の方向	健全な行財政運営の確立	

事務事業名	ふるさと応援寄附金（歳入）	所管課	政策戦略課																								
		決算額	93,498千円																								
事業内容	<p>自治体に寄附をすると住民税等が控除となるふるさと納税制度について、宇治市では平成20年10月から応援いただけるふるさと宇治の創生に取り組むべく、宇治市の魅力的な返礼品を提供し、市のPR及び魅力発信を行っている。</p> <p>また、自治体に寄附をすると税制上の優遇措置が受けられる企業版ふるさと納税制度について、「地域再生計画」を作成し、国からの認定を受け、寄附受入の取組を行っている。</p>																										
成果・実績	<p>新たに6つのポータルサイトに掲載を開始したほか、新規返礼品の追加及び電子商品券の導入などに取り組み、市のPR及び魅力発信に努めた。</p> <p>◎ふるさと応援寄附金の推移</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目数</td> <td>315</td> <td>356</td> <td>402</td> <td>427</td> <td>508</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>4,765</td> <td>10,839</td> <td>11,441</td> <td>8,812</td> <td>4,668</td> </tr> <tr> <td>金額（千円）</td> <td>103,057</td> <td>176,901</td> <td>182,098</td> <td>143,360</td> <td>91,498</td> </tr> </tbody> </table> <p>※品目数は、各年度3月31日現在</p> <p>◎電子商品券の導入</p> <p>宇治市での食事や体験、商品購入に利用できる電子商品券を新たに導入し、宇治市を訪れるきっかけづくりを図るとともに、観光客による利用、観光における満足度の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・件数 92件 ・金額 1,630千円 			年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	品目数	315	356	402	427	508	件数	4,765	10,839	11,441	8,812	4,668	金額（千円）	103,057	176,901	182,098	143,360	91,498
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																					
	品目数	315	356	402	427	508																					
	件数	4,765	10,839	11,441	8,812	4,668																					
金額（千円）	103,057	176,901	182,098	143,360	91,498																						
<p>◎企業版ふるさと納税</p> <ul style="list-style-type: none"> ・件数 4件 ・金額 2,000千円 																											
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>																											
事業評価	<p>多くの方々から寄附をいただき、源氏物語のまちづくりや観光振興、未来を担う子どもたちを育む事業等の推進に資することができた。引き続き、更なる返礼品の充実及び広報により、寄附受入件数、金額の増加を図るとともに、企業版ふるさと納税についても、受入件数、金額が増加するよう制度の周知及び企業へのアプローチを行う。</p>																										

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営	政策企画部
取組の方向	組織改革・人材育成の推進	

事務事業名	政策形成プログラム推進事業費	所管課	政策戦略課										
		決算額	1,192 千円										
事業内容	行政課題に対して、組織的に課題解決の手法を研究、提案、実施することで課題解決能力の向上及び政策立案能力の向上を図る。												
成果・実績	<p>◎政策研究 庁内で募集した研究課題の中から市民ニーズ等を踏まえ、担当課において大学と連携して共同研究を行った。</p> <p>・採択事業一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">担当課</th> <th>研究テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">住宅課</td> <td>空き家のデータサイエンス分析及び今後の発生予防と利活用促進施策の研究</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎政策アイデア 12件（テーマ部門2件、フリー部門8件、事務提案アイデア2件） 職員からのアイデア及び事務事業の改善に効果を発揮するアイデアの募集を行い、市政への参加意欲及び政策立案能力の向上を図った。</p> <p>◎優秀政策表彰 2件 市民サービスの向上等に効果を上げたと認められる優れた取組を3月1日の市制施行記念式典において表彰し、周知することで、全庁的な取組への波及及び職員の企画立案の意欲向上の促進を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">担当</th> <th>案件名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクトチーム</td> <td style="text-align: center;">紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">子育てにやさしいまち実現プロジェクトチーム</td> <td style="text-align: center;">子育てにやさしいまちステップアップミーティング</td> </tr> </tbody> </table>			担当課	研究テーマ	住宅課	空き家のデータサイエンス分析及び今後の発生予防と利活用促進施策の研究	担当	案件名	紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクトチーム	紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信	子育てにやさしいまち実現プロジェクトチーム	子育てにやさしいまちステップアップミーティング
担当課	研究テーマ												
住宅課	空き家のデータサイエンス分析及び今後の発生予防と利活用促進施策の研究												
担当	案件名												
紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクトチーム	紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信												
子育てにやさしいまち実現プロジェクトチーム	子育てにやさしいまちステップアップミーティング												
事業評価	行政課題を発見し、解決に向けた研究の実施、改善の提案などに取り組むことにより、職員の政策立案能力の向上に資することができた。また、大学との連携により、専門的な知識を活かした研究を行うことができた。引き続き、庁内での積極的な政策研究、政策提案の促進を図り、幅広い行政分野での課題解決に向けた取組を検討する。												

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営	政策企画部
取組の方向	人に優しいデジタル社会の推進	

事務事業名	ICT活用推進事業費	所管課	デジタル政策課										
		決算額	14,176千円										
事業内容	ICT活用推進の取組としてタブレット端末、テレワーク端末などを活用し、業務の効率化、充実化を図る。												
成果・実績	<p>タブレット端末（iPad）については、翻訳アプリの活用による窓口での多言語対応を図るとともに、ペーパーレス会議システムの導入による印刷事務の軽減及び避難所開設時の情報共有ツールとして活用を行った。テレワーク端末については、オンライン会議や選挙事務などにおいて活用を行った。</p> <p>公共施設の利用者が、オンライン会議や活動内容の配信などができるように、Wi-Fi設備の活用を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">◎タブレット端末関連経費（135台）</td> <td style="text-align: right;">7,391千円</td> </tr> <tr> <td>◎ペーパーレス会議システム関連経費</td> <td style="text-align: right;">1,550千円</td> </tr> <tr> <td>◎テレワーク端末関連経費（70台）</td> <td style="text-align: right;">4,516千円</td> </tr> <tr> <td>◎公共施設Wi-Fi環境関連経費（63台）</td> <td style="text-align: right;">507千円</td> </tr> <tr> <td>◎オンライン申請環境関連経費</td> <td style="text-align: right;">212千円</td> </tr> </table>			◎タブレット端末関連経費（135台）	7,391千円	◎ペーパーレス会議システム関連経費	1,550千円	◎テレワーク端末関連経費（70台）	4,516千円	◎公共施設Wi-Fi環境関連経費（63台）	507千円	◎オンライン申請環境関連経費	212千円
◎タブレット端末関連経費（135台）	7,391千円												
◎ペーパーレス会議システム関連経費	1,550千円												
◎テレワーク端末関連経費（70台）	4,516千円												
◎公共施設Wi-Fi環境関連経費（63台）	507千円												
◎オンライン申請環境関連経費	212千円												
事業評価	市民の利便性の向上と業務の効率化を図るための環境の維持更新等を行った。今後も状況に応じて、運用方法の見直しや台数の精査・変更など、更に効果的・効率的な活用を検討する。												

事務事業名	デジタルデバйд対策事業費	所管課	デジタル政策課				
		決算額	3,657千円				
事業内容	誰もがデジタルの恩恵を受けることのできる社会を目指し、身近なデジタル機器であるスマートフォンの操作講座や市オンライン申請の問合せ対応など、周知・広報などを実施する。						
成果・実績	<p>各公共施設において、国のデジタル活用支援推進事業を活用しながら、スマートフォンの基礎的な内容や基本的な操作方法に加えて、デジタルリテラシーやセキュリティについて説明するスマートフォン操作講座や大規模講習会を実施した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">◎スマートフォン操作講座等（39回開催、431人参加）</td> <td style="text-align: right;">88千円</td> </tr> <tr> <td>◎オンライン申請コールセンター</td> <td style="text-align: right;">3,569千円</td> </tr> </table> <div style="text-align: center;">  <p>大規模講習会</p> </div>			◎スマートフォン操作講座等（39回開催、431人参加）	88千円	◎オンライン申請コールセンター	3,569千円
◎スマートフォン操作講座等（39回開催、431人参加）	88千円						
◎オンライン申請コールセンター	3,569千円						
事業評価	ターゲットを定めた少人数・個別指導形式での講座や大規模講習会を実施し、参加者の情報リテラシー等を深めることができた。今後も国等の事業を活用しながら積極的な事業実施に努める。						

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営	政策企画部
取組の方向	人に優しいデジタル社会の推進	

事務事業名	AI・RPA活用事業費	所管課	デジタル政策課
		決算額	6,523 千円
事業内容	AIによる認識機能や、パソコン操作を自動化するプログラムによる定型作業の自動化により、事務の効率化を図り、業務見直しを促進する。		
成果・実績	<p>11課を対象に各課で自動化プログラムの構築、運用等を行えるようBPR（業務改革）研修や操作研修を実施し、RPAの導入及び運用を支援した。</p> <p>◎主なRPA導入業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市政だより原稿編集作業（秘書広報課） ・ 育成学級土曜日通級申請者一覧表作成作業（こども福祉課） ・ 決算資料作成業務作業（営業課） ・ 時間外勤務入力作業（消防総務課） 		
	 <p>職員によるRPAの構築作業</p>		
事業評価	RPAの導入及び運用を推進し、庁内の定型作業を自動化することができた。引き続き定型作業の自動化に努めるとともに、AIを活用した庁内業務の効率化等の検討を進める。		

事務事業名	デジタル政策推進事業費	所管課	デジタル政策課
		決算額	14,755 千円
事業内容	行政サービスや行政事務、地域社会のデジタル化といった、宇治市全体のデジタル化を推進するため、専門的な支援や助言、人材育成などを行うため、外部人材等を活用した取組を進める。		
成果・実績	<p>外部人材（デジタル政策プロデューサー）を活用して専門的な支援や助言を受けながら、デジタル化推進指針の取組の推進を行った。職責やテーマ別の人材育成研修を実施し、デジタル技術を活用した業務改善の推進等を総合的に支援した。</p>		
	 <p>デジタル政策プロデューサーによる研修</p>		
事業評価	デジタル政策プロデューサーを活用し、職員研修の実施等を通じたデジタルリテラシーの向上や、デジタル技術を活用した庁内の業務改善の推進を支援した。引き続き、デジタル人材の効果的な活用、育成方法について検討を行い、庁内の業務改善の推進を図る。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営	政策企画部
取組の方向	人に優しいデジタル社会の推進	

事務事業名	情報システム標準化・共通化対応事業費	所管課	デジタル政策課												
		決算額	139,561千円												
事業内容	自治体の情報システムを標準化・共通化することにより、庁舎内外の情報連携を容易にするとともに、システム関連コストの低減を図り、あわせて、行政サービスの向上・行政事務の効率化等を目指す。														
成果・実績	<p>標準化法に基づき、対象20業務について、令和7年度末までにガバメントクラウド上に構築される標準準拠システムへと移行するため、各業務システムの移行作業等を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">◎基幹業務支援システム（住記・税・国保ほか）移行業務委託</td> <td style="text-align: right;">106,660千円</td> </tr> <tr> <td>◎生活保護システム移行業務委託</td> <td style="text-align: right;">8,863千円</td> </tr> <tr> <td>◎障害福祉システム移行業務委託</td> <td style="text-align: right;">4,840千円</td> </tr> <tr> <td>◎健康管理システム移行業務委託</td> <td style="text-align: right;">8,980千円</td> </tr> <tr> <td>◎子ども子育て支援システム移行業務委託</td> <td style="text-align: right;">8,846千円</td> </tr> <tr> <td>◎ガバメントクラウド接続に伴うネットワーク機器設定業務委託等</td> <td style="text-align: right;">1,372千円</td> </tr> </table>			◎基幹業務支援システム（住記・税・国保ほか）移行業務委託	106,660千円	◎生活保護システム移行業務委託	8,863千円	◎障害福祉システム移行業務委託	4,840千円	◎健康管理システム移行業務委託	8,980千円	◎子ども子育て支援システム移行業務委託	8,846千円	◎ガバメントクラウド接続に伴うネットワーク機器設定業務委託等	1,372千円
◎基幹業務支援システム（住記・税・国保ほか）移行業務委託	106,660千円														
◎生活保護システム移行業務委託	8,863千円														
◎障害福祉システム移行業務委託	4,840千円														
◎健康管理システム移行業務委託	8,980千円														
◎子ども子育て支援システム移行業務委託	8,846千円														
◎ガバメントクラウド接続に伴うネットワーク機器設定業務委託等	1,372千円														
事業評価	標準準拠システムへの移行に向けて、各業務システムの移行作業等を実施することができた。今後も計画的に移行作業を実施していく。														

事務事業名	AI議事録作成支援システム運営費	所管課	デジタル政策課												
		決算額	1,056千円												
事業内容	AI議事録作成支援システムを導入することにより、AIによる音声認識機能を利用し、録音した音声データをテキストデータ化することにより、職員による会議録作成作業時間等を削減し、業務の効率化を図る。														
成果・実績	<p>令和5年8月よりAI議事録作成支援システムを導入し、AIによる会議録の作成を行った。</p> <p>◎AI議事録作成支援システム利用状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 15%;">会議回数</th> <th style="width: 15%;">会議時間</th> <th style="width: 15%;">文字起こし等 (時間)</th> <th style="width: 15%;">システム 導入後 (時間)</th> <th style="width: 15%;">削減効果 (時間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6年度</td> <td>456</td> <td>557</td> <td>2,228</td> <td>743</td> <td>1,485</td> </tr> </tbody> </table>			年度	会議回数	会議時間	文字起こし等 (時間)	システム 導入後 (時間)	削減効果 (時間)	令和6年度	456	557	2,228	743	1,485
年度	会議回数	会議時間	文字起こし等 (時間)	システム 導入後 (時間)	削減効果 (時間)										
令和6年度	456	557	2,228	743	1,485										
事業評価	AI議事録作成支援システムを利用し、会議録の作成を一部自動化したことにより、職員の会議録作成にかかる時間を削減することができた。今後も職員に対して積極的な利用を促し、さらなる業務の効率化を図る。														

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営	政策企画部
取組の方向	人に優しいデジタル社会の推進	

事務事業名	公共施設情報ネットワークシステム強靱化推進事業費	所管課	デジタル政策課				
		決算額	64,728 千円				
事業内容	公共施設を繋ぐネットワーク関連機器の更新にあたり、ネットワーク構成を再整備し、有事の際の被害の最小化及び対応の迅速化、維持管理経費の節減を図る。						
成果・実績	<p>令和5年度に調達したネットワーク機器の設定等を実施し、新たなネットワーク回線への切り替えを行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">◎ネットワーク機器等の設定・旧回線の撤去費用</td> <td style="text-align: right;">30,421千円</td> </tr> <tr> <td>◎新回線の通信費用・ネットワーク機器等のリース費用</td> <td style="text-align: right;">34,307千円</td> </tr> </table>			◎ネットワーク機器等の設定・旧回線の撤去費用	30,421千円	◎新回線の通信費用・ネットワーク機器等のリース費用	34,307千円
◎ネットワーク機器等の設定・旧回線の撤去費用	30,421千円						
◎新回線の通信費用・ネットワーク機器等のリース費用	34,307千円						
事業評価	新たなネットワーク回線への切り替えを行うことにより、公共施設を繋ぐネットワークの強靱化を図ることができた。						

事務事業名	マイナンバーカード普及促進事業費	所管課	デジタル政策課																		
		決算額	152,822 千円																		
事業内容	庁舎一階のマイナンバーカード専用窓口でカード交付を行うほか、電子証明書の発行・更新や暗証番号の再設定など関連する手続きを行う。あわせて公共施設や商業施設等において出張申請サポート等を実施する。																				
成果・実績	<p>専用窓口において、窓口混雑情報サイト「宇治市なう！」の活用や、完全予約制で休日開庁等を実施するなど市民の利便性向上に努め、マイナンバーカードの円滑な交付やカード関連事務を実施した。また、カードと健康保険証の連携や公金受取口座の登録などの支援にも取り組んだ。あわせて駅や公共施設における出張申請サポートも実施した。</p> <p>◎マイナンバーカード交付・保有状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">年度</th> <th style="width: 25%;">人数 (人)</th> <th style="width: 50%;">交付・保有率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>50,925</td> <td>27.4</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>77,293</td> <td>41.8</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>122,428</td> <td>66.7</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>132,597</td> <td>72.8</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>139,446</td> <td>77.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和4年度までは累計交付人数、令和5年度以降は保有人数</p> <p>◎出張申請サポート 44回</p>			年度	人数 (人)	交付・保有率 (%)	令和2年度	50,925	27.4	令和3年度	77,293	41.8	令和4年度	122,428	66.7	令和5年度	132,597	72.8	令和6年度	139,446	77.1
年度	人数 (人)	交付・保有率 (%)																			
令和2年度	50,925	27.4																			
令和3年度	77,293	41.8																			
令和4年度	122,428	66.7																			
令和5年度	132,597	72.8																			
令和6年度	139,446	77.1																			
事業評価	混雑情報サイトを有効に活用するなど窓口の効率化を図り、休日開庁や出張申請サポートなどにより市民の利便性を高めることができた。引き続き、円滑な窓口業務に努めるとともに、外出が困難な方の居宅等に出向いて申請サポートを実施し、さらなる利便性の向上を図る。また、窓口の合理化や効率化についても検討を進める。																				

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営	政策企画部 福祉こども部
取組の方向	地方創生の推進	

事務事業名	デジタル田園都市国家構想交付金（歳入）	所管課	財政課・こども福祉課																														
		決算額	132,431 千円																														
事業内容	<p>京都府全域において宇治市の持つ地域資源を国内外へ広く発信するとともに、伝統文化の活用・継承による関係人口の創出及び地域人材・資源の育成・活用による移住定住の促進を図る。</p> <p>また、地域の住民及び企業などの多様な主体がつながり、社会全体で子どもを見守り、子育てを支援する子育て・子育てにやさしいまちづくりや地域の文化・芸術活動を推進する。大津市と連携し、平安文化観光ルートを形成するとともに観光情報を戦略的に発信する。</p>																																
成果・実績	<p>○地方創生推進タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らしを」 ～みんなが主役の地域振興事業～ <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">対象事業</th> <th style="width: 30%;">充当事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>お茶の京都DMO負担金</td> <td style="text-align: right;">7,190 千円</td> </tr> <tr> <td>活力あふれる地域コミュニティづくり</td> <td style="text-align: right;">29,076 千円</td> </tr> <tr> <td>地域の魅力ある仕事づくり</td> <td style="text-align: right;">1,344 千円</td> </tr> <tr> <td>暮らしやすさ向上による移住定住促進事業</td> <td style="text-align: right;">1,856 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">39,466 千円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「子育て、子育てにやさしい」京都創生プロジェクト事業 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">対象事業</th> <th style="width: 30%;">充当事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育てにやさしいまちの核づくり事業</td> <td style="text-align: right;">20,387 千円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化庁移転を契機とした京都からの文化創造・発信事業 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">対象事業</th> <th style="width: 30%;">充当事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>源氏ろまん事業・地域文化の発信</td> <td style="text-align: right;">16,681 千円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宇治市・大津市間における平安文化観光推進事業 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">対象事業</th> <th style="width: 30%;">充当事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WEBやSNS、鉄道広告等を活用した情報発信</td> <td style="text-align: right;">23,007 千円</td> </tr> <tr> <td>大河ドラマ展や平安装束なりきり体験等の実施</td> <td style="text-align: right;">29,682 千円</td> </tr> <tr> <td>地域への愛着や誇りの醸成につながる地域づくり</td> <td style="text-align: right;">3,208 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">55,897 千円</td> </tr> </tbody> </table>			対象事業	充当事業費	お茶の京都DMO負担金	7,190 千円	活力あふれる地域コミュニティづくり	29,076 千円	地域の魅力ある仕事づくり	1,344 千円	暮らしやすさ向上による移住定住促進事業	1,856 千円	合 計	39,466 千円	対象事業	充当事業費	子育てにやさしいまちの核づくり事業	20,387 千円	対象事業	充当事業費	源氏ろまん事業・地域文化の発信	16,681 千円	対象事業	充当事業費	WEBやSNS、鉄道広告等を活用した情報発信	23,007 千円	大河ドラマ展や平安装束なりきり体験等の実施	29,682 千円	地域への愛着や誇りの醸成につながる地域づくり	3,208 千円	合 計	55,897 千円
対象事業	充当事業費																																
お茶の京都DMO負担金	7,190 千円																																
活力あふれる地域コミュニティづくり	29,076 千円																																
地域の魅力ある仕事づくり	1,344 千円																																
暮らしやすさ向上による移住定住促進事業	1,856 千円																																
合 計	39,466 千円																																
対象事業	充当事業費																																
子育てにやさしいまちの核づくり事業	20,387 千円																																
対象事業	充当事業費																																
源氏ろまん事業・地域文化の発信	16,681 千円																																
対象事業	充当事業費																																
WEBやSNS、鉄道広告等を活用した情報発信	23,007 千円																																
大河ドラマ展や平安装束なりきり体験等の実施	29,682 千円																																
地域への愛着や誇りの醸成につながる地域づくり	3,208 千円																																
合 計	55,897 千円																																
事業評価	<p>交付金を活用して、本市の地域資源の積極的な発信をはじめ、子育てに関する交流の場や居場所づくりなどの地域全体で子育て・子育てを支援する施策、文化・観光の魅力発信や体験事業の実施等を推進することができた。今後も、国の動向を注視し、各種事業の状況把握、効果などの分析に努め、実施事業を検討する必要がある。</p>																																

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	政策企画部	
関連分野	上下水道		

事務事業名	水道料金等減免事業補助金	所管課	財政課
		決算額	167,270 千円
事業内容	物価高騰等の影響を大きく受けた市民及び事業者等の支援を目的とした水道料金の基本使用料、量水器使用料を免除する公営企業上下水道部に対して補助を行う。		
成果・実績	<p>公営企業上下水道部が実施した水道料金等減免事業により減収した給水収益等に対し補助を行った。</p> <p>(参考) 水道料金等減免事業 水道料金の基本使用料、量水器使用料を半額免除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1期分 全地区 ・ 第2期分 偶数月検針地区 ・ 延べ免除件数 94,667件 		
事業評価	補助金の交付を行い、物価高騰等により経済的に影響を受けている市民や事業者などの負担軽減を図った。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	総務・市民協働部
関連分野	防犯、事故防止	

事務事業名	安全・安心まちづくり推進事業費	所管課	総務課
		決算額	869 千円
事業内容	地域における犯罪の発生を未然に防止するため、「宇治市安全・安心まちづくり条例」に基づき、安全・安心なまちづくりの取組を展開する。		
成果・実績	<p>地域における自主的な防犯活動の支援に取り組んだ。</p> <p>◎安全・安心まちづくり補助金の交付 地域住民への防犯啓発、通学路の点検、児童・生徒の登下校時の見守り活動、団体内部における防犯情報の共有、地域ぐるみの防犯パトロールの実施などに取り組む防犯推進団体に対して、活動を支援するための補助金を交付した。</p> <p>◎市民の防犯意識の啓発 12月の「市民安全・安心推進旬間」に「私たちの街の防犯環境設計～闇バイトの被害に遭わないために！～」をテーマに防犯講演会を開催した。</p>		
事業評価	防犯推進団体への活動支援等により、安全・安心なまちづくりに資する取組を推進できた。地域における自主的な防犯活動が一層推進されるよう、今後も引き続き「宇治市第4次防犯推進計画」に定める各種施策に着実に取り組む必要がある。		

事務事業名	犯罪被害者等支援事業費	所管課	総務課
		決算額	180 千円
事業内容	犯罪被害者等が置かれた状況が社会に十分理解され、犯罪被害者等が孤立することなく、その権利利益が保護されるよう、関係機関等と連携しながら犯罪被害者等への支援を行う。		
成果・実績	<p>犯罪被害者等への支援や、支援の必要性に対する市民理解の浸透に向けた広報・啓発を実施した。</p> <p>◎犯罪被害者等支援の情報提供 総務課のワンストップ窓口での相談とともに（公社）京都犯罪被害者支援センターをはじめ関係部署等と連携した犯罪被害者支援講演会や研修の開催、広報活動に取り組んだ。</p> <p>◎「ホンデリングプロジェクト」の実施 犯罪被害者週間を中心とした11月25日から12月6日までの間、古本等の回収箱を市内公共施設16か所に設置し、売却収益を犯罪被害者等の支援に充てる「ホンデリングプロジェクト」に取り組んだ。</p>		
事業評価	犯罪被害者等への支援及び関係機関との連携による啓発の実施等により犯罪被害者支援施策の推進を図った。今後も引き続き適切な支援及び関係機関との連携による効果的な啓発の実施等に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防犯、事故防止

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	防犯カメラ設置事業補助金	所管課	総務課
		決算額	533 千円
事業内容	街頭での高齢者や子どもの見守り、犯罪発生を抑止及び体感治安の向上を図るため、町内会・自治会などを対象に防犯カメラの設置に係る費用のうち、補助対象経費の1/2（上限10万円/台）を補助する。		
成果・実績	<p>町内会・自治会などが実施する防犯カメラ設置にかかる費用に対し、補助金を交付した。</p> <p>◎交付実績 台数 6台 団体数 3団体</p>		
事業評価	防犯推進組織の活動支援等の取組により、安全・安心なまちづくりを推進できた。今後も引き続き、「宇治市第4次防犯推進計画」に基づき、地域における自主的な防犯活動の一層の推進に取り組む必要がある。		

事務事業名	地域安全・安心見守り事業費	所管課	総務課
		決算額	5,072 千円
事業内容	日常生活の中で防犯活動への参加機会を増やす「ながら」防犯の推進を図るとともに、各小学校区への防犯カメラの設置を行う。		
成果・実績	<p>◎6月1日開催の南宇治コミセンのつどい及び7月27日開催の西小倉納涼のつどいにて、「ながら」防犯パトロールの啓発活動を行った。</p> <p>◎防犯出前講座を他課と連携して実施し、防犯情報を提供するとともに、「ながら」防犯パトロールの啓発活動を行った。</p> <p>◎小学校区ごとの地域安全マップを基にした地域や学校との協働による防犯カメラの設置を行った。 台数 22台 小学校区数 13校区</p>		
事業評価	「ながら」防犯の推進や各小学校区への防犯カメラの設置により、地域における防犯、環境の整備に寄与することができた。今後も引き続き犯罪や非行が起こりにくい地域環境づくりの推進に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	国際交流、平和

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	平和のつどい事業費	所管課	総務課
		決算額	3,560千円
事業内容	宇治市は核兵器廃絶平和都市宣言の自治体として、世界の恒久平和に向け、宇治市平和都市推進協議会を母体としながら啓発等の事業を行っており、毎年8月を中心に平和事業を実施する。		
成果・実績	核兵器廃絶平和都市宣言の理念に基づき、宇治市平和都市推進協議会が実施する、市民平和祈念集会を始め、広島への平和訪問団の派遣、戦争体験アーカイブの作成などの平和啓発事業に対して、補助金を交付した。 ◎平和都市推進協議会補助金 3,560千円		
事業評価	啓発等の平和事業を実施したことにより、平和への市民意識の醸成を図ることができた。今後も引き続き、さらなる事業効果の向上のため、事業内容の工夫・検討により、平和事業への参加者増加を図るとともに、あらゆる機会を通して平和への啓発を実施する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	各種統計調査費	所管課	総務課	
		決算額	6,168 千円	
事業内容	「統計法」の規定に基づき、市が国の法定受託事務を行い、人口・経済・社会情勢などについて実態を把握する。			
成果・実績	法定受託事務として、下表の基幹統計に関する業務を実施した。			
	名称 (所管等)	調査期日 (周期・方法)	調査対象・目的等	決算額 (千円)
	学校基本調査 (文部科学省)	令和6年5月1日 (毎年・全数調査)	幼稚園、小・中学校、専門学校などの生徒、教員などの人数及び施設などを調査し、学校に関する基礎資料を得る。	42
	経済センサス 調査区管理 (総務省)	-	調査実施上の支障が生じないように必要に応じ調査区を修正する。追加された事業所情報等について調査区の確認を行う。	16
	全国家計構造調査	令和6年10月、11月 (5年・標本調査)	家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を全国的及び地域別に明らかにすることを目的として実施する。	4,382
	農林業センサス	令和7年2月1日 (5年・全数調査)	我が国の農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにし、農林業施策の企画・立案・推進のための基礎資料となる統計を作成し、提供することを目的として実施する。	794
	国勢調査準備	-	令和7年国勢調査実施に向けた準備。	891
	◎調査員確保対策事業(所管：総務省) 43千円 統計調査員の募集チラシを作成し、市内公共施設に配架を行い、登録調査員の確保を図った。			
事業評価	調査員と連携し、各種統計調査を適正に実施したことにより、宇治市の人口・経済・社会情勢などの実態を把握し、市の各施策へ活用が図れる統計資料の基礎資料を作成することができた。			

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	庁舎照明LED化事業費	所管課	資産活用推進課						
		決算額	45,736千円						
事業内容	省電力化及び脱炭素化の観点から、市役所庁舎及び庁舎敷地の照明器具のLED化を実施する。								
成果・実績	<p>市役所庁舎等の照明設備のLED化を進めるため、LED化に向けた事前調査を実施し、LED照明器具への更新を実施した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 70%;">◎LED化に向けての事前調査</td> <td style="text-align: right;">991千円</td> </tr> <tr> <td>◎庁舎1階、2階、8階及び議会棟1階の照明のLED化</td> <td style="text-align: right;">40,444千円</td> </tr> <tr> <td>◎庁舎南側二層式駐車場等の照明のLED化</td> <td style="text-align: right;">4,301千円</td> </tr> </table> <p>温室効果ガス削減量（計算値）：55.98t-CO₂</p>			◎LED化に向けての事前調査	991千円	◎庁舎1階、2階、8階及び議会棟1階の照明のLED化	40,444千円	◎庁舎南側二層式駐車場等の照明のLED化	4,301千円
◎LED化に向けての事前調査	991千円								
◎庁舎1階、2階、8階及び議会棟1階の照明のLED化	40,444千円								
◎庁舎南側二層式駐車場等の照明のLED化	4,301千円								
事業評価	照明器具のLED化により、庁舎環境の向上を実現できた。今後も引き続き、市役所庁舎等の省電力化及び脱炭素化を進めていく。								



令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	有料広告事業（歳入）	所管課	資産活用推進課他		
		決算額	53,117 千円		
事業内容	新たな歳入の創出、財源の確保に関する取組の一環として、市広報媒体への有料広告の掲載を実施しており、広告媒体の拡充及び広告料収入を活用した新たなサービスツールの導入など、業務改善、市民サービスの向上に努める。				
成果・実績	◎広告料収入実績及び効果額				
		(千円)			
	媒体名	令和5年度		令和6年度	
		歳入	効果額 (歳出減相当)	歳入	効果額 (歳出減相当)
	ホームページバナー	682	-	364	-
	市政だより	4,766	-	5,708	-
	車両（公用車・ごみ収集車・水道）	1,944	-	1,920	-
	トイレ壁面・公共施設マップ	792	-	792	-
	窓口用封筒	-	300	-	300
	源氏物語ミュージアム事業案内リーフレット	140	-	140	-
	宇治子育て情報誌	-	5,000	-	5,000
	窓口案内システム	104	600	104	6,939
	総合情報誌（くらしの便利帳）	-	-	-	30,000
	納税通知書送付用封筒	-	478	-	478
	空き家情報誌	-	292	-	800
観光案内所サイネージ	356	41	362	38	
介護保険制度周知用パンフレット	-	-	-	172	
小計	8,784	6,711	9,390	43,727	
合計		15,495		53,117	
事業評価	市広告媒体への有料広告の掲載により、歳入の確保及び市民サービスの向上を図ることができた。引き続き、広告媒体の拡充について検討し、新たな歳入の確保に努める。				

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	総務・市民協働部	
関連分野	防犯、事故防止		

事務事業名	消費生活振興費	所管課	市民協働推進課												
		決算額	524 千円												
事業内容	事業者と消費者との間の取り引きにおいて生じた困り事に対し、専門の消費生活相談員が助言・情報提供・あっせんなどを行う。また、市民の消費生活の向上を図るため、情報発信や啓発を行う。														
成果・実績	<p>消費生活センターに相談員3人を配置し、1,304件の相談に応じた。 また、消費生活に関する出前講座や消費者月間ロビー展示・消費生活市民講座などを通じて、市民啓発や消費者団体の育成を図った。</p> <p>◎啓発事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">事業名</th> <th style="width: 20%;">実施時期</th> <th style="width: 30%;">成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出前講座</td> <td style="text-align: center;">通年</td> <td style="text-align: center;">36回736人参加</td> </tr> <tr> <td>消費者月間ロビー展示</td> <td style="text-align: center;">5月20日～24日</td> <td style="text-align: center;">210人参加</td> </tr> <tr> <td>消費生活市民講座</td> <td style="text-align: center;">10月1日</td> <td style="text-align: center;">14人参加</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施時期	成果	出前講座	通年	36回736人参加	消費者月間ロビー展示	5月20日～24日	210人参加	消費生活市民講座	10月1日	14人参加
事業名	実施時期	成果													
出前講座	通年	36回736人参加													
消費者月間ロビー展示	5月20日～24日	210人参加													
消費生活市民講座	10月1日	14人参加													
事業評価	専門の消費生活相談員が適切な助言、あっせんなどを行うことにより、消費生活の改善・向上に寄与することができた。今後も、広範な消費生活に関する苦情及び相談が想定されることから、様々な手法により市民啓発を図るとともに、各種研修会等への参加を通じて相談員の一層の資質向上に努める必要がある。														

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	総務・市民協働部
関連分野	地域コミュニティ	

事務事業名	地域社会貢献者表彰費	所管課	市民協働推進課						
		決算額	80 千円						
事業内容	市制施行50周年を記念に創設した制度で、市民の主体的な活動を奨励するとともに、住民自治の精神に基づき、明るく住み良い心豊かな地域社会づくりを推進するため、自発的な善行及び優れた活動によって、地域社会に対し特に顕著な貢献を行った者を表彰する。								
成果・実績	<p>◎地域社会貢献者 25回目となる令和6年度は、6件の受賞者であった。</p> <p>◎受賞者名</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">・富部 炎 氏</td> <td style="width: 50%;">・初田 隆史 氏</td> </tr> <tr> <td>・玉井 康義 氏</td> <td>・弓指 義弘 氏</td> </tr> <tr> <td>・田邊 浩 氏</td> <td>・井戸本 道衛 氏</td> </tr> </table>			・富部 炎 氏	・初田 隆史 氏	・玉井 康義 氏	・弓指 義弘 氏	・田邊 浩 氏	・井戸本 道衛 氏
・富部 炎 氏	・初田 隆史 氏								
・玉井 康義 氏	・弓指 義弘 氏								
・田邊 浩 氏	・井戸本 道衛 氏								
事業評価	自発的な善行及び優れた活動を表彰することにより、地域活動の活性化及び社会貢献に対する市民の意欲向上を図ることができた。今後も引き続き、明るく住み良い心豊かな地域社会づくりを推進するため、地域活動の活性化及び社会貢献に対する市民の意欲向上を図る必要がある。								

事務事業名	菟道ふれあいセンター運営費	所管課	市民協働推進課
		決算額	3,317 千円
事業内容	地域のコミュニティ形成の場である菟道ふれあいセンターの管理運営を行う。		
成果・実績	<p>子どもから高齢者まで、地域住民の交流、趣味、娯楽、各種会合、講習会及びスポーツといった幅広い活動に利用された。</p> <p>◎菟道ふれあいセンター年間延べ利用人数 10,073人</p>		
事業評価	菟道ふれあいセンターの適切な管理運営により、地域住民のコミュニティ活動を促進することができた。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	総務・市民協働部
関連分野	地域コミュニティ	

事務事業名	コミュニティセンター運営費	所管課	市民協働推進課
		決算額	77,969 千円
事業内容	平成18年度から地域住民で組織する地区コミュニティ推進協議会を指定管理者とし、住民自治の振興とコミュニティ活動の拠点となるコミュニティセンターの管理運営を行う。市民相互の交流と地域活動の振興、市民文化の向上、福祉の増進に寄与するとともに、住民自治意識の高揚と地域活性化に貢献する。		
成果・実績	<p>西小倉・東宇治・南宇治・槇島の4つのコミュニティセンターで合わせて11,682件、延べ117,941人の利用があった。</p> <p>◎西小倉コミュニティセンター運営費 18,483千円 ◎東宇治コミュニティセンター運営費 20,478千円 ◎南宇治コミュニティセンター運営費 22,214千円 ◎槇島コミュニティセンター運営費 16,794千円</p>		
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。地域コミュニティの拠点施設として、今後も適切な施設の管理運営に努める必要がある。		

事務事業名	集会所維持管理費	所管課	市民協働推進課
		決算額	31,547 千円
事業内容	住民相互の交流により地域コミュニティの活性化を図るため、地域コミュニティづくりの拠点となる集会所の維持管理を行う。		
成果・実績	公立集会所について、適切な管理運営を行うとともに、必要に応じて修繕を実施し環境整備を行った。		
事業評価	公立集会所の適切な管理運営により、地域住民の身近な活動の場として地域コミュニティの活性化を図ることができた。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	総務・市民協働部
関連分野	地域コミュニティ	

事務事業名	中宇治地域市民協働推進拠点整備検討事業費	所管課	市民協働推進課
		決算額	11,368 千円
事業内容	菟道ふれあいセンター敷地に整備する市民協働推進拠点について、市民ワークショップ等を通して整備内容を具体化するほか、事業手法を検討し、整備構想を策定する。また、用地取得に向け、菟道ふれあいセンター敷地の用地測量及び地形測量を実施する。		
成果・実績	令和5年度に策定した基本ビジョンに基づき中宇治地域市民協働推進拠点の整備内容を具体化するため、市民ワークショップとモデル事業を各3回実施し、令和7年3月に『中宇治地域市民協働推進拠点整備構想』を策定した。 ◎整備構想の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・整備すべき空間（例） 交流広場、多目的ホール、ミーティングルーム、子育て支援スペース、子どもの遊び場、カフェレストラン、シェアキッチン、図書コーナー・フリースペース ・事業手法 公民連携による整備とし、具体的な手法の検討を進める。 ◎菟道ふれあいセンター敷地の測量 拠点整備に向け、令和6年7月から令和7年3月にかけて、菟道ふれあいセンター敷地の用地測量及び地形測量を実施した。 市民ワークショップの様子 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>		
事業評価	市民ワークショップ及びモデル事業には、様々な世代や分野の市民・活動団体が参加し、その成果をもって整備構想の策定につなげることができた。今後、公民連携による事業手法を具体化するとともに、トライアル事業を通して拠点整備の機運醸成やニーズ把握に努めるなど、市民等と協働して「中宇治のコミュニティ・リビング」の実現を目指す。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営	総務・市民協働部
取組の方向	健全な行財政運営の確立	

事務事業名	広聴事務費	所管課	市民協働推進課
		決算額	98 千円
事業内容	市民の行政に対する意見、要望及び困り事などについての相談機関として、関係各課及び他の行政機関に事案の解決を図るべく依頼要請を行うなどして市民の生活環境の向上を図る。		
成果・実績	<p>市民相談・行政懇談会などの内容を関係部課に伝え、適切な措置を求め、市政に反映するよう努めた。あわせて、総務省主催の行政相談への協力を行った。</p> <p>さらに、市役所、公民館、コミュニティセンターなどの公共施設27か所に設置している「市民の声」投書箱により、広い範囲から市政に対する意見、要望などを求めた。</p> <p>なお、市民相談では、近隣関係、相続、夫婦・親子、金銭貸借など市民の個々の悩み事、心配事など日常生活上での諸問題についても、専門的な相談機関を紹介するなどの対応を行い、市政への親しみと信頼感の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民相談 1,863件 （市政相談1,496件、他の公共機関等54件、民事相談ほか313件） ・行政懇談会 7回 ・行政相談 12回（毎月第3木曜日） 		
事業評価	市民相談・行政懇談会などを通じて市民ニーズを把握し、市民の要望を市政に反映することができた。今後も、市民に親しまれる身近な相談窓口として、より効果的な広聴手法を検討する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営	総務・市民協働部
取組の方向	健全な行財政運営の確立	

事務事業名	行政サービスコーナー運営費	所管課	市民課														
		決算額	73,480 千円														
事業内容	小倉、木幡など市内6か所の行政サービスコーナーにおいて、住民票の写し、戸籍全部事項証明書などの市民課の諸証明及び税関係の諸証明の発行業務等を行う。																
成果・実績	<p>諸証明及び税関係証明書の取扱い、他課業務の申請書等の受付を行った。</p> <p>◎市民課業務の年間取扱件数（公用請求を除く）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">名称</th> <th style="width: 40%;">件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小倉行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">8,765</td> </tr> <tr> <td>木幡行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">10,365</td> </tr> <tr> <td>南宇治行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">5,737</td> </tr> <tr> <td>榎島行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">5,354</td> </tr> <tr> <td>東宇治行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">4,200</td> </tr> <tr> <td>開行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">4,067</td> </tr> </tbody> </table>			名称	件数	小倉行政サービスコーナー	8,765	木幡行政サービスコーナー	10,365	南宇治行政サービスコーナー	5,737	榎島行政サービスコーナー	5,354	東宇治行政サービスコーナー	4,200	開行政サービスコーナー	4,067
名称	件数																
小倉行政サービスコーナー	8,765																
木幡行政サービスコーナー	10,365																
南宇治行政サービスコーナー	5,737																
榎島行政サービスコーナー	5,354																
東宇治行政サービスコーナー	4,200																
開行政サービスコーナー	4,067																
事業評価	諸証明の発行業務を市内6か所で実施することにより、地域住民の利便性向上に努めた。今後、市民ニーズや社会情勢を踏まえ、市民協働の観点により、行政サービスコーナーのあり方について検討を進める。																

事務事業名	諸証明発行事業	所管課	市民課																										
		決算額	16,620 千円																										
事業内容	住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部事項証明書などの諸証明発行業務を行う。																												
成果・実績	<p>◎住民票の写し等諸証明発行数（行政サービスコーナー分を含む）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">名称</th> <th style="width: 20%;">交付数</th> <th style="width: 40%;">うちコンビニ交付 (通)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>印鑑登録証明書</td> <td style="text-align: right;">45,508</td> <td style="text-align: right;">8,426</td> </tr> <tr> <td>住民票の写し</td> <td style="text-align: right;">64,768</td> <td style="text-align: right;">11,074</td> </tr> <tr> <td>戸籍全部事項証明書等</td> <td style="text-align: right;">21,986</td> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">/</td> </tr> <tr> <td>戸籍個人事項証明書等</td> <td style="text-align: right;">2,480</td> </tr> <tr> <td>除かれた戸籍全部事項証明書等</td> <td style="text-align: right;">15,118</td> </tr> <tr> <td>除かれた戸籍個人事項証明書等</td> <td style="text-align: right;">81</td> </tr> <tr> <td>戸籍附票</td> <td style="text-align: right;">3,206</td> </tr> <tr> <td>閲覧※</td> <td style="text-align: right;">10</td> </tr> <tr> <td>諸証明</td> <td style="text-align: right;">6,708</td> </tr> <tr> <td>印鑑登録証</td> <td style="text-align: right;">5,301</td> </tr> </tbody> </table> <p>※は件数</p>			名称	交付数	うちコンビニ交付 (通)	印鑑登録証明書	45,508	8,426	住民票の写し	64,768	11,074	戸籍全部事項証明書等	21,986	/	戸籍個人事項証明書等	2,480	除かれた戸籍全部事項証明書等	15,118	除かれた戸籍個人事項証明書等	81	戸籍附票	3,206	閲覧※	10	諸証明	6,708	印鑑登録証	5,301
名称	交付数	うちコンビニ交付 (通)																											
印鑑登録証明書	45,508	8,426																											
住民票の写し	64,768	11,074																											
戸籍全部事項証明書等	21,986	/																											
戸籍個人事項証明書等	2,480																												
除かれた戸籍全部事項証明書等	15,118																												
除かれた戸籍個人事項証明書等	81																												
戸籍附票	3,206																												
閲覧※	10																												
諸証明	6,708																												
印鑑登録証	5,301																												
事業評価	各種証明書の発行等の事務を適正に執行するとともに、令和6年3月に導入した印鑑登録証明書と住民票の写しのコンビニ交付サービスの利用促進のため、周知、広報を行った。今後も市民ニーズを踏まえ、デジタル技術の活用などによる窓口サービスの充実・改善に努める。																												

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち	産業観光部
関連分野	農林水産業	

事務事業名	新規就農者確保事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	2,505 千円
事業内容	農業者の高齢化が急速に進展する中、新規就農者を確保し農業を持続させるため、経営確立に資する資金及び経営発展に必要な機械・施設導入等に資する資金の交付等により、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。		
成果・実績	次世代を担う農業者となることを目指す者に対して、経営開始時の資金や機械・施設等の導入資金を交付し、経営開始時から早期の経営確立に向けた支援を行った。 ◎農業次世代人材投資事業（経営開始型） ・件数 3件		
事業評価	新規就農者に対し、早期の経営確立を支援する資金及び経営発展に必要な機械・施設導入を支援する資金を交付することにより、農業の持続と振興を図ることができた。農業者の高齢化に対応する取組が必要であるため、今後も国・京都府の動向を注視し、引き続き就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。		

事務事業名	働きやすい農業支援事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	1,321 千円
事業内容	市内農業者の労働力不足の解消及び規模拡大を目的に、従業員の雇用環境整備に取り組む農業者に対して、労働環境の整備にかかる費用の一部を支援する。		
成果・実績	労働力不足の解消及び規模拡大を推進するため、労働環境改善のための施設整備にかかる経費に対し支援を行った。 ・件数 11件 ・具体例 簡易トイレ及び更衣室の整備 3件 防犯カメラの設置 8件		
事業評価	農地における簡易トイレや更衣室の整備、防犯カメラの設置により、農作業者の労働環境改善等を図ることができた。今後も制度の周知を図り、引き続き労働環境改善を推進する。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	農林水産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	農地中間管理事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	690 千円
事業内容	市街化区域外の農地を借り受け、担い手に対して貸出を行う農地中間管理機構の委託を受け、農地集積・耕作放棄地解消を図る。また機構を通して農地集積に協力した農業者へ支援を行う。		
成果・実績	<p>農地の借受希望及び貸付希望の公募を支援し、マッチングを行った結果、約0.30haの農地を担い手へ集積し、耕作放棄地化の解消・防止とともに担い手の農業経営基盤を強化した。また、特例事業（売買支援事業）にも取り組み、約0.74haの農地を集積した。</p> <p>◎貸借支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッチング 2件 ・貸付面積 約0.30ha <p>◎売買支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッチング 3件 ・売買面積 約0.74ha 		
事業評価	農地の借受希望者と貸出希望者のマッチングにより、農地集積を図ることができた。今後も国・京都府の動向を注視し、引き続き当該機構を活用した農業者への支援に努める。		

事務事業名	鳥獣捕獲飼養対策費	所管課	農林茶業課
		決算額	3,394 千円
事業内容	鳥獣による農林業生産物への被害を防止するため、シカ及びイノシシの捕獲を進める。		
成果・実績	<p>東部山間地を中心に、農林業生産物への被害防止を目的に京都府猟友会宇治支部に委託して捕獲事業を実施したほか、被害防止のための捕獲及び狩猟によるシカ捕獲に対して捕獲奨励金を交付した。</p> <p>◎捕獲事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府猟友会宇治支部による捕獲頭数 81頭 <p>◎奨励金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害防止捕獲 <ul style="list-style-type: none"> 鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業対象捕獲頭数 81頭（上記、再掲） ・狩猟 <ul style="list-style-type: none"> 猟期中のシカ捕獲強化事業による捕獲頭数 173頭 （うち奨励金対象捕獲頭数 170頭） 		
事業評価	有害鳥獣捕獲業務の委託及び捕獲奨励金の交付などにより、農林業生産物の被害の軽減を図ることができた。今後も国・京都府の動向を注視し、引き続き事業の効果を検証しながら、農林業生産物被害の軽減等に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	農林水産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	農地利用地域計画策定費	所管課	農林茶業課
		決算額	483 千円
事業内容	高齢化や人口減少による農業者の減少や荒廃農地の拡大を防ぐため、将来目指すべき農地利用の姿として地域農業のあり方をまとめた計画書と農地の将来の利用者を明確化した目標地図をあわせた地域計画を策定する。		
成果・実績	<p>地域計画の策定に向けて地域ごとに協議の場の開催、関係機関への意見聴取を行い、地域計画を策定・公告を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議の場の開催 全12回開催、延べ141人参加 巨椋池地域：7/16、8/20 榎島既成田：7/11、8/8、8/29 宇治川右岸：7/19、8/23 白川：8/9、9/2 東笠取：5/16、8/27 全体：9/9 ・関係機関への意見照会 宇治市農業委員会、一般社団法人京都府農業会議、京都やましる農業協同組合、巨椋池土地改良区へ意見照会を実施した。 		
事業評価	5つの地域それぞれで協議の場を複数回開催し、地域ごとに特色ある計画を策定できた。今後も定期的な見直しを図り、より良い計画となるよう推進していく。		

事務事業名	環境循環型農業促進事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	244 千円
事業内容	規格外農産物や生産工程での残渣などを堆肥等に有効活用することで、循環型社会に沿った新たな生産形態の実現を目指し営む活動を支援する。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・件数 2件 ・具体例 廃棄される茶がらを堆肥としてぶどう山椒の栽培に活用 廃棄される蜂の巣を活用し、蜜ろうラップを作成 		
事業評価	循環型社会に沿った新たな生産形態の実現を目指し営む活動を支援することができた。今後も制度の周知を図り、農業者の新たな取組を支援し、安定した農業経営を促進する。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち	産業観光部
関連分野	農林水産業	

事務事業名	農業用施設等導入チャレンジ事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	2,165 千円
事業内容	高収益作物への転換や生産性の向上を促進して農業者の経営安定を図るため、パイプハウス等の農業用施設の導入等を支援する。		
成果・実績	<p>◎園芸作物用施設整備 高収益作物の作付を推進するため、園芸作物用施設（パイプハウス等）のリース費用について支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 件数 5件 		
事業評価	市内農業者の農業用施設整備の負担を軽減し、計画的な農業経営を促進することができた。今後も制度の周知を行い、安定した農業経営の継続を図る。		

事務事業名	良質米生産奨励支援事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	3,427 千円
事業内容	山城産米の特Aランク獲得に向け、特別栽培米やこだわり米などの良質米の生産強化のため、市内農業者を支援するとともに、イベント等で宇治市産米の普及促進・消費喚起の取組を支援する。また、ジャンボタニシ対策支援として農薬購入費の一部を支援する。		
成果・実績	<p>◎良質米生産強化支援事業 2,532千円 特別栽培米やこだわり米などの良質米の生産強化のため、市内農業者を対象に市内のJAに出荷した米1袋（30kg）あたり500円を補助。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こだわり米 4,976袋 2,488千円 ・ 特別栽培米 87袋 44千円 <p>◎宇治市産米普及促進・消費喚起事業 JAまつり等のイベントで宇治市産こだわり米の直接販売を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こだわり米（5kg袋）500袋の制作と販売 700千円 <p>◎ジャンボタニシ対策支援事業 市内の水稻農家が行う害虫対策費用（農薬購入費）の3分の1を支援（上限10万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申請件数 4件（延べ50人） ・ 補助金額 195千円 		
事業評価	良質米生産に向けた農家支援を実施し、特Aランク獲得への意欲に繋げていくとともに、消費者に向けて宇治市産米のPRと米の消費喚起ができた。また、ジャンボタニシ駆除の取組を支援することができた。今後も引き続き、市内産米の生産強化への支援に取り組む。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち	産業観光部
関連分野	農林水産業	

事務事業名	京都フードテック構想連携促進事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	58 千円
事業内容	「京都フードテック基本構想」に基づき、京都府が南部総合地方卸売市場内に整備予定の中食等加工食品研究開発拠点について、整備後の効果的な活用に向け、市内生産者を対象に異業種との研修会等を実施する。		
成果・実績	◎「農園見学・生産者交流会」の開催 ・2月25日 市内2農園（16人参加） 栄養・調理等の専門学校の学生・教員が参加し、市内生産者から農産物の特長等について説明を受け、収穫体験等を通じて交流を行い、中食に関する意見交換を行った。		
事業評価	市内生産者へ向けて、加工食品開発等への足掛かりとなる取組ができた。引き続き、市内農業者の中食等加工食品研究開発拠点の有効活用に向けて関係機関と連携し、より効果的な支援に努める。		

事務事業名	農業経営支援事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	100 千円
事業内容	専門家を活用することにより多様な経営規模拡大を支援するとともに、農商工連携及び販路拡大による営農モデルとなる取組を支援する。		
成果・実績	◎農産物販路拡大サポート事業 宇治市内産農産物等の販路拡大を図る商談会・展示会等への参加や普及啓発に対して支援。 ・件数 1件		
事業評価	海外での宇治茶文化（抹茶・碾茶）の普及、販路拡大の活動に対して支援することができた。今後も制度の周知を図り、経営規模拡大を目指す農業者の支援に取り組む。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	農林水産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	農業生産性等向上支援事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	5,417 千円
事業内容	生産コスト上昇分の農産物への価格転嫁が難しい中、物価高騰対策として、生産性の向上、効率化、省エネ化等を目的とした資材・機器の導入に要する経費に対して支援する。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 件数 43件 ・ 具体例 <ul style="list-style-type: none"> 軽量の充電式草刈り機の導入 流滴性が高いビニールへの張り替え 選別計量機の導入 苗箱洗浄機の導入 鶏用薬液・肥液投入器の導入 等 		
事業評価	生産性等の向上を図る資材・機器等の導入に対して幅広く支援することで、市内農家の安定的な農業経営を支える一端を担うことができた。今後も制度の周知を図り、安定した農業経営を促進する。		

事務事業名	スマート農業等導入チャレンジ事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	995 千円
事業内容	ICT技術を活用した省力化、品質向上・増収効果が期待できるスマート農業及び新しい技術の導入などの農業者の取組を支援し、生産性の向上や農作業の効率化による農業経営拡充支援を図る。		
成果・実績	<p>農業者の新しいチャレンジを支援するため、スマート農業技術の導入にかかる費用に対し、支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 件数 3件 ・ 具体例 <ul style="list-style-type: none"> GPS車速連動システム付き肥料散布機の導入 直進アシスト田植え機の導入 遠隔操作カメラ及び高精度ECセンサの導入 		
事業評価	スマート農業技術の導入により、農業者の新しいチャレンジを支援することができた。今後も制度の周知を図り、安定した農業経営を促進する。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	農林水産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	農業情報発信事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	624 千円
事業内容	市内産農産物を周知し、消費や販路拡大を促進するため、イベント出展や直売の機会創出などを支援する。		
成果・実績	<p>◎農業者×事業者マッチング商談会 飲食業等、市内農産物の新たな直売販路となる業者と、市内農業者の対面方式による商談会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者 21人（うち農業者9人、飲食等事業者12人） <p>◎市内農産物等魅力発信事業（宇治めぐりPR委員会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント出展 15回 		
事業評価	イベント出展などを通して市内産農産物を消費者に向けて情報発信するとともに、マッチングの機会を設けることで、販路拡大や直売の取組につなげることができた。今後もより効果的な情報発信の方法を検討し、消費・販路拡大の支援に努める。		

事務事業名	巨椋池排水機場管理協議会負担金	所管課	農林茶業課
		決算額	29,494 千円
事業内容	国営総合農地防災事業で整備された巨椋池排水機場を管理するため、宇治市、京都市、久御山町で管理協議会を組織し、排水機場の管理を行う。		
成果・実績	巨椋池排水機場管理協議会への負担を通して、排水機場の適正な管理及び運転を行い、水害の未然防止に寄与した。		
事業評価	関係団体と巨椋池排水機場管理協議会を組織し、排水機場の維持管理を行ったことにより、災害の未然防止を図ることができた。建設後20年近くが経過しており、国、京都市、2市1町で協議のうえ、適切な時期に改修、更新を図り、施設の維持管理に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち	産業観光部
関連分野	農林水産業	

事務事業名	巨椋池排水機場設備更新事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	51,915 千円
事業内容	京都市、宇治市、久御山町で構成される巨椋池排水機場管理協議会で管理している巨椋池排水機場の各設備老朽化に伴う機材等の更新を行う。（国、府、2市1町負担）		
成果・実績	<p>◎運転支援装置（PLC）更新 41,910千円 巨椋池排水機場のポンプ盤及び運転支援装置のPLC（プログラマブル・ロジック・コントローラ）の更新工事を実施した。</p> <p>◎流域観測設備更新設計業務委託 10,005千円 観測設備（水位計、雨量計、監視カメラ）の更新、流域観測システム（通信方式変更、機器更新）の方針検討・詳細設計を実施した。設計図面、数量計算書により概算工事費を算出。</p>		
事業評価	排水機場の維持管理を行ったことにより、設備故障の未然防止を図ることができた。建設後20年近くが経過しており、国、京都府、2市1町で協議のうえ、適切な時期に改修、更新を図り、施設の維持管理に努める。		

事務事業名	森林経営管理運営費	所管課	農林茶業課
		決算額	7,976 千円
事業内容	森林環境譲与税を活用し、森林経営管理法に基づき私有人工林の現況調査を実施し、経営判断を行う。調査結果を基に、経営管理権集積計画や経営管理権配分計画の策定を行い、市による管理（間伐）か、林業事業者による経営管理（間伐・搬出等）を行う。		
成果・実績	<p>炭山谷山に位置する人工林において森林経営管理調査等を実施した。また、経営管理権集積計画を策定し、各森林所有者からの同意を取得した。</p> <p>◎19林班の現況調査等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象人工林面積 17.95ha ・うち、スギ：6.54ha、ヒノキ：11.38ha、除地：0.03ha 		
事業評価	森林環境譲与税を活用し、森林経営管理調査の実施及び経営管理権集積計画の策定を行った。また、森林所有者に森林経営管理制度の周知を図るとともに計画への同意を取得した。今後は、策定した計画に基づき、私有人工林の森林整備に向けた取組を進める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	農林水産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	森林保全地域連携活動事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	9,641 千円
事業内容	本市における森林の持つ多面的機能を守り育て、より豊かなものとして次世代に伝えていくため、森林の整備や保全、森林資源の循環利用、森林の多様な重要性について、市民理解の促進に取り組む。		
成果・実績	◎森林の整備及び保全 (千円)		
	事業	課名	事業概要
	豊かな森を育てる事業	農林茶業課	・危険木伐倒処理に係る補助 5件
	森林保全地域連携活動事業	農林茶業課	・菟道逃谷地区の風倒木処理業務 風倒木処理 0.68ha
			1,486
			4,384
	◎府内産木材の利用促進事業 (千円)		
	事業	課名	事業概要
	府内産木製備品等整備事業	公園緑地課	下駄箱（黄檗公園）・備品補修用材（植物公園）・市内公園ベンチ補修用材
			3,771
事業評価	京都府豊かな森を育てる府民税市町村交付金を活用し、森林の整備及び保全などを行うことができた。今後も交付金事業の趣旨を踏まえ、より効果的・効率的に森林整備及び保全などに取り組む必要がある。		

事務事業名	天ヶ瀬森林公園整備費	所管課	農林茶業課
		決算額	10,381 千円
事業内容	天ヶ瀬ダムを活用した広域的な周遊観光の活性化を図るため、天ヶ瀬森林公園の再整備を実施する。		
成果・実績	◎天ヶ瀬森林公園の再整備に向けた調査の結果		
	<ul style="list-style-type: none"> ・点検箇所：67か所 ・うち復旧が必要と判断した箇所：43か所 		
事業評価	天ヶ瀬森林公園の現況を把握するとともに、復旧箇所の抽出及び概算工事費の算出を行うことができた。今後は把握した内容に基づき、公園機能の復旧に取り組む。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち	産業観光部
関連分野	農林水産業	

事務事業名	河川種苗放流事業補助金	所管課	農林茶業課
		決算額	1,030 千円
事業内容	稚魚の放流による水産資源の増殖を通して、快適な水辺空間及び良好な漁場を地域住民及び観光客に提供し、魚の棲めるきれいな川づくりへの気運を高める。		
成果・実績	<p>宇治川・志津川・笠取川などで行われた稚魚放流に対して助成を行い、水産資源の増殖に努めた。</p> <p>・放流実績 あゆ : 3万尾 ふな : 5千尾 うなぎ : 4千尾 あまご : 1千尾</p> <p>はえの種苗は入手困難のため、代替措置として産卵床の造成が行われた。</p>		
事業評価	京都府制度に基づき、種苗放流事業に助成することにより、水産資源の増殖及び河川の環境改善などを図ることができた。宇治川の快適な水辺空間の創出は観光にも寄与するため、今後もより効果的な支援に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	産業観光部	
関連分野	宇治茶		
事務事業名	宇治茶おもてなし推進事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	837 千円
事業内容	「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき、おもてなしの心を醸成するために必要な事業を実施する。		
成果・実績	<p>◎市主催の会議等において宇治市内産玉露かりがねを提供。（336袋）</p> <p>◎新規採用職員向けにお茶の淹れ方研修を実施。</p> <p>◎各種イベントにて市内産宇治茶の普及啓発を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石山寺観光プロモーションをはじめ、大河ドラマ関連のイベント ・京都大作戦（2日間）、サンガホームタウンデー、宇治茶・山城ごちそうフェスタ等市内外イベント ・関西国際空港等での万博関連イベント 		
事業評価	<p>「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき各種事業を実施することにより、宇治茶の伝統及び茶業の情報発信を図ることができた。今後も引き続き、宇治茶、とりわけ宇治市内産宇治茶の効果的・効率的な普及啓発に努める。</p>		



令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	産業観光部
関連分野	宇治茶	

事務事業名 茶・茶園品評会出品奨励費	所管課	農林茶業課
	決算額	6,011 千円

事業内容 市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるためには、生産者の高い意欲と品評会での上位入賞、評価結果に基づく絶え間ない生産技術の改善と品質向上が不可欠であることから、品評会への出品を奨励するとともに、成績優秀者には報奨金等を交付する。

成果・実績 全国茶品評会、関西茶品評会など各種品評会への出品を奨励し、出品奨励金及び入賞報奨金などを交付した。

	第78回 全国茶品評会	第76回 関西茶品評会	第57回 宇治市茶品評会
出品数	47	45	25
優等数	/		2
1等	5	0	3
2等	8	10	4
3等	12	8	4
農林水産大臣賞	受賞(てん茶の部)	/	
産地賞	受賞(てん茶の部)	/	



第78回全国お茶まつり静岡大会 褒賞授与式

事業評価 全国茶品評会等各種品評会への出品を奨励することにより、生産者の生産意欲を高め、ブランド力の向上に繋げることができた。今後も引き続き質の高い宇治茶が生産されるよう、効果的な支援に努める。

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	宇治茶

所管部局
産業観光部

事務事業名	高品質茶ブランド力強化事業費	所管課	農林茶業課																																																													
		決算額	10,793 千円																																																													
事業内容	宇治茶の歴史と伝統を継承し、高品質茶としてのブランド力を維持・発展させるために支援を行う。																																																															
成果・実績	<p>◎高品質茶推進事業 伝統ある宇治茶製法の特徴である「手摘み」・「覆下栽培」を支える取組や環境にやさしい茶生産の取組等を支援した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">実施件数</th> <th style="text-align: center;">面積 (a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境にやさしい茶生産対策</td> <td style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">1,628.0</td> </tr> <tr> <td>手摘み茶推進対策</td> <td style="text-align: center;">29</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>凍霜害対策</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>伝統技術継承対策</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">212.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">高品質茶 生産振興</td> <td>寒冷紗二重式</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">29.6</td> </tr> <tr> <td>寒冷紗一重式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">10.0</td> </tr> <tr> <td>棚整備（永久棚）</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">19.2</td> </tr> <tr> <td>被覆張替え</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">317.3</td> </tr> <tr> <td>点滴灌水</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">10.0</td> </tr> <tr> <td>茶業振興対策</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">81</td> <td style="text-align: center;">2,226.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎優良茶園振興事業 茶園の新規造成及び優良品種への新植・改植について支援を行った。 また、市が指定する品種の場合には補助率を2分の1から4分の3へ拡充し、宇治種をはじめとした品評会上位種への新植・改植事業の取組への支援強化に取り組んだ。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">事業実施件数</th> <th style="text-align: center;">面積 (a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>茶園拡大</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>新植</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>改植</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">24.8</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">24.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎宇治茶海外輸出支援事業 茶生産者の新たな販路拡大として、海外輸出に向けた取組に対する支援を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">事業実施件数</th> <th style="text-align: center;">面積 (a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各種認証取得</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>残留農薬検査</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※R6拡充</p>				実施件数	面積 (a)	環境にやさしい茶生産対策	16	1,628.0	手摘み茶推進対策	29	-	凍霜害対策	0	-	伝統技術継承対策	11	212.2	高品質茶 生産振興	寒冷紗二重式	3	29.6	寒冷紗一重式	1	10.0	棚整備（永久棚）	2	19.2	被覆張替え	18	317.3	点滴灌水	1	10.0	茶業振興対策	0	-	合計	81	2,226.3		事業実施件数	面積 (a)	茶園拡大	0	-	新植	0	-	改植	6	24.8	合計	6	24.8		事業実施件数	面積 (a)	各種認証取得	0	-	残留農薬検査	1	-
	実施件数	面積 (a)																																																														
環境にやさしい茶生産対策	16	1,628.0																																																														
手摘み茶推進対策	29	-																																																														
凍霜害対策	0	-																																																														
伝統技術継承対策	11	212.2																																																														
高品質茶 生産振興	寒冷紗二重式	3	29.6																																																													
	寒冷紗一重式	1	10.0																																																													
	棚整備（永久棚）	2	19.2																																																													
	被覆張替え	18	317.3																																																													
	点滴灌水	1	10.0																																																													
茶業振興対策	0	-																																																														
合計	81	2,226.3																																																														
	事業実施件数	面積 (a)																																																														
茶園拡大	0	-																																																														
新植	0	-																																																														
改植	6	24.8																																																														
合計	6	24.8																																																														
	事業実施件数	面積 (a)																																																														
各種認証取得	0	-																																																														
残留農薬検査	1	-																																																														

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	宇治茶

所管部局
産業観光部

事務事業名	高品質茶ブランド力強化事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	10,793 千円
成果・実績	<p>◎お茶摘みさん確保支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶農家さん家で体験ボランティア（市内2茶園で実施） ・お茶摘みバンク（登録者21人　うちマッチング成立7人） ・PR冊子の作成（PR動画の内容をもとに冊子を作成し、ふるまい等で配布） <p>◎お茶摘みさんへの感謝状贈呈</p> <p>長年手摘みを支えてこられたお茶摘みさんに、3月の市制施行記念式典にて感謝状の贈呈を13人に行った。</p>		
事業評価	<p>高品質茶推進事業では、伝統的な宇治茶の生産方法を継承しながら、品質の高い茶の生産を促進した。優良茶園振興事業においては、改植事業に対し助成することにより、宇治茶の生産振興を図ることができた。また、宇治茶海外輸出支援事業においては、販路拡大として海外輸出を目指す茶生産者が残留農薬検査等を実施する場合の費用を支援することにより、宇治茶の販路拡大について推進することができた。いずれの事業についても引き続き、より効果的な支援に努める。</p> <p>お茶摘みさん確保支援事業においては、市内産宇治茶の特徴の一つである手摘みを守るため、お茶摘みさんを積極的に確保するための事業を行った。今後も引き続き、お茶摘みさんの確保に努める。</p>		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	中小企業創業支援事業費	所管課	産業振興課
		決算額	10,349 千円
事業内容	創業初期の経営安定化及び地域経済の活性化等を目的として、新たに創業する者や第二創業を行う者に対して、その創業等に要する経費の一部を補助する。		
成果・実績	◎宇治市創業支援補助金 新たに創業する者に対して、その創業等に要する経費の一部を補助した。 ・交付件数 12件		
事業評価	創業支援ネットワーク「宇治チャレンジスクエア」との連携により、「宇治市産業戦略」の中で目標としている補助金を活用した創業支援件数を達成することができた。今後も引き続き、各機関と連携・協働して市内での起業を促進する必要がある。		

事務事業名	企業用地確保推進事業費	所管課	産業振興課
		決算額	158 千円
事業内容	宇治市産業戦略に位置付けた「新たな工業用地の確保」の実現のため、都市計画マスタープランで示された産業立地検討エリアの国道24号沿道安田町地区への産業立地及び土地利用転換に向けて、市内外企業のニーズ把握、関係機関等との調整等を実施する。		
成果・実績	土地利用転換等に向け、地域未来投資促進法に基づく基本計画において重点促進区域として位置づけた国道24号沿道安田町地区の土地利用調整計画について、9月に京都府から変更同意を得るとともに、進出予定企業の「地域経済牽引事業計画」作成の支援を行った。 また、国道24号沿道安田町地区の一部エリアにおいて、10月に造成工事が着工された。		
事業評価	国道24号沿道地区の企業立地に向けた土地利用転換等の取組を着実に実施することができた。1日も早い産業立地の実現に向けて、引き続き農業、都市計画等の関係者や関係機関等と協議しながら、土地利用転換に向けた取組を進める必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	こども未来キャンパス事業費	所管課	産業振興課
		決算額	13,812 千円
事業内容	<p>産業交流拠点「うじらぼ」において、小学生から大学生を対象に、起業・体験スクールを開催し、保護者の理解のもと、多様な働き方が選択できる「にぎわいのあるまちづくり」を推進するとともに、未来を担う人材の育成に努め、ふるさとへの愛着を醸成する。</p>		
成果・実績	<p>◎宇治市こども未来キャンパス（小・中学生向け） 全22回 10,545千円</p> <p>こども達が自分の社会の繋がり方を身につけ、共に社会に挑戦するスクール。未来を担うこども達が今後、多様な働き方を選択し、挑戦できる体験を提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験会9回：参加81人（定員90人／申込225人） ・本スクール：参加32人（定員32人／申込75人） 		
	<p>◎宇治市こども未来キャンパスオンライン（小・中学生向け） 全12回</p> <p>上記スクールへ参加できないこども向けに、オンラインでのスクールを開催。</p> <p>参加：延べ501人</p>		
	<p>◎宇治市未来キャンパス（高校・大学生向け） 全11回 3,267千円</p> <p>宇治市を舞台に、多様な働き方を知り、地域課題を解決しながら、「将来こんなこと（事業）をやってみたい」を具現化するスクール。</p> <p>参加：15人 （高校生7人、大学生7人、大学院生1人）</p>		
事業評価	<p>地域のお店や商店街の実際に働く現場を知ることによる「学び」、未経験なことに実際に触れ・挑戦してみる「体験」、若い世代が描く将来の夢やビジョンの「実現」の機会を提供するとともに、地域と関わりながら実施することで、地域全体で宇治市の未来を担う子どもたちを育む機運醸成を図ることができた。今後も引き続き、地域事業者等と連携し、「学び」、「体験」、「実現」の機会を提供する。</p>		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	産業会館管理運営費	所管課	産業振興課																					
		決算額	13,205 千円																					
事業内容	宇治市産業会館は、商工業の振興の中核施設として、各種情報交換の場、会議・研修の場、地場製品の展示・紹介の場など、幅広く利用されている。地域経済を担う商工業者等が有効に活用することにより、産業の振興と発展につながっている。会館の管理運営については宇治商工会議所を指定管理者としている。																							
成果・実績	<p>◎施設利用状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業情報コーナー</td> <td style="text-align: center;">72</td> <td style="text-align: center;">1,277</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール</td> <td style="text-align: center;">139</td> <td style="text-align: center;">7,435</td> </tr> <tr> <td>第一研修室</td> <td style="text-align: center;">251</td> <td style="text-align: center;">6,191</td> </tr> <tr> <td>第二研修室</td> <td style="text-align: center;">249</td> <td style="text-align: center;">5,016</td> </tr> <tr> <td>茶室</td> <td style="text-align: center;">98</td> <td style="text-align: center;">1,118</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">809</td> <td style="text-align: center;">21,037</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">※産業交流拠点「うじらぼ」 コワーキング利用状況 会員登録者数 321人 延べ利用者数 2,495人</p>				件数	人数	産業情報コーナー	72	1,277	多目的ホール	139	7,435	第一研修室	251	6,191	第二研修室	249	5,016	茶室	98	1,118	合計	809	21,037
	件数	人数																						
産業情報コーナー	72	1,277																						
多目的ホール	139	7,435																						
第一研修室	251	6,191																						
第二研修室	249	5,016																						
茶室	98	1,118																						
合計	809	21,037																						
事業評価	指定管理者により適切に管理運営ができた。民間企業の研修、商工会議所の活動などに幅広く利用されており、今後もさらなる商工業の振興に向けて、新たな交流・起業拠点とするなど、施設の有効活用を図る必要がある。																							

事務事業名	産業振興センター長寿命化事業費	所管課	産業振興課
		決算額	119,096 千円
事業内容	「公共施設アセットマネジメント推進計画」に基づき、施設の長寿命化を図るために改修を行う。		
成果・実績	<p>長寿命化改修のための改修工事を行った。</p> <p>◎産業振興センター外壁ほか改修工事 119,008千円 (屋上防水、外壁、空調等)</p> <p>◎アスベスト調査手数料 88千円</p>		
事業評価	改修工事を実施し、施設の長寿命化を図るとともに、利便性の向上を図ることができた。今後も引き続き、適切な維持管理に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	宇治市中小企業低利融資事業費	所管課	産業振興課															
		決算額	1,513,108 千円															
事業内容	市内の中小企業者に対して、事業資金を低利・無担保で融資し、その経営の安定を図る。市内に引き続き1年以上住所を有し、市税に滞納がなく京都信用保証協会の保証対象業種であることを条件に融資する。なお、原則として法人代表者以外の連帯保証人は不要としている。また、当該融資利用者に対し、支払った保証料及び利子の一部に相当する額を補給する。																	
成果・実績	◎宇治市中小企業低利融資 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">金額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保証料補給</td> <td style="text-align: center;">368</td> <td style="text-align: center;">35,736</td> </tr> <tr> <td>利子補給</td> <td style="text-align: center;">1,037</td> <td style="text-align: center;">86,255</td> </tr> <tr> <td>損失補償</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">3,117</td> </tr> <tr> <td>預託金</td> <td style="text-align: center;">5金融機関</td> <td style="text-align: center;">1,388,000</td> </tr> </tbody> </table> 融資実行は373件、融資金額は4,295,761千円				件数	金額（千円）	保証料補給	368	35,736	利子補給	1,037	86,255	損失補償	7	3,117	預託金	5金融機関	1,388,000
	件数	金額（千円）																
保証料補給	368	35,736																
利子補給	1,037	86,255																
損失補償	7	3,117																
預託金	5金融機関	1,388,000																
事業評価	市内の中小企業者に対し、事業資金の低利融資や保証料・利子の補給などを行うことにより、中小企業経営の安定化に努めることができた。今後も健全な事業資金供給を行うため、効果的な融資及び補給などの支援に努める。																	

事務事業名	中小企業振興対策事業費	所管課	産業振興課									
		決算額	4,300 千円									
事業内容	商店街等が行う商店街施設（アーケード・街路灯・防犯カメラ等）を設置する事業及び商工業団体の行う活性化対策事業、情報化対策事業に対して補助し、商店街等の振興を図る。											
成果・実績	商店街等が実施する活性化・情報化対策事業に対して、6団体に対し補助を行い、商店街等の振興に努めた。 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">金額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活性化対策事業</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">2,736</td> </tr> <tr> <td>情報化対策事業</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">1,564</td> </tr> </tbody> </table>				件数	金額（千円）	活性化対策事業	4	2,736	情報化対策事業	4	1,564
	件数	金額（千円）										
活性化対策事業	4	2,736										
情報化対策事業	4	1,564										
事業評価	商店街等が行う活性化対策事業等に補助することにより、商店街等の振興に努めることができた。今後も、各商店街等の特性を活かして自立・自主性を高めるとともに、商店街等の活性化に繋がるためのより効果的な支援に努める必要がある。											

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	宇治のうまいもん発信事業費	所管課	産業振興課																								
		決算額	1,026 千円																								
事業内容	地元「宇治」にしかない魅力の再発見や掘り起し、市内経済の活性化を目的として、飲食店等の動画撮影・配信を行う。																										
成果・実績	<p>◎YouTube「宇治飯うまいもんチャンネル」 市内飲食店等の一押しの「美味しい」料理と店主の熟練した「上手い」技術など、地域に根付いた「地元飯」を撮影し、動画（YouTube）で発信を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>撮影店舗数</th> <th>視聴回数</th> <th>登録者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>38店</td> <td>16,585回</td> <td>450人</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>16店</td> <td>44,066回</td> <td>345人</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>17店</td> <td>201,927回</td> <td>680人</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>21店</td> <td>480,558回</td> <td>2,087人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>92店</td> <td>743,136回</td> <td>3,562人</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: right;">  <p style="font-size: small;">宇治飯うまいもんチャンネル</p> </div>			年度	撮影店舗数	視聴回数	登録者数	令和3年度	38店	16,585回	450人	令和4年度	16店	44,066回	345人	令和5年度	17店	201,927回	680人	令和6年度	21店	480,558回	2,087人	合計	92店	743,136回	3,562人
年度	撮影店舗数	視聴回数	登録者数																								
令和3年度	38店	16,585回	450人																								
令和4年度	16店	44,066回	345人																								
令和5年度	17店	201,927回	680人																								
令和6年度	21店	480,558回	2,087人																								
合計	92店	743,136回	3,562人																								
事業評価	YouTubeによる動画配信と市内イベントでのPRブース出展による飲食店等の魅力発信を行い、撮影店舗の販路開拓や新規顧客獲得につなげることにより、市内経済の活性化を図った。更なる市内経済活性化のため、今後も効果的な発信を図る必要がある。																										

事務事業名	企業立地等促進助成事業費	所管課	産業振興課
		決算額	14,794 千円
事業内容	「宇治市企業立地促進条例」に基づき、地域経済の活性化と産業振興の促進を図るため、市内に事業場等の設置、拡張を図る企業に助成金を交付する。		
成果・実績	<p>市内に工場、事業所などを新設または増設した企業に対して操業支援助成金等を交付した。</p> <p>・ 交付社数 6社</p>		
事業評価	市内において工場等を新設または増設した企業に対して操業支援助成金等を交付することにより、市内への企業の立地を促進し、市内経済の活性化を図った。今後も引き続き、企業訪問等で制度を周知していく必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	ベンチャー企業育成支援事業費	所管課	産業振興課
		決算額	14,972 千円
事業内容	インキュベーションマネージャーを配置し、VIF（宇治ベンチャー企業育成工場）入居企業及び市内の既存企業の育成支援のための諸施策を実施する。		
成果・実績	<p>◎VIF入居企業支援 入居企業のニーズに合わせた多様な育成支援活動を展開している（事業計画策定、販路開拓、技術開発、資金調達、業務改善、知財・法務、人事労務など）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援件数 132件 ・マッチング件数 7件 <p>◎市内企業支援 常駐コーディネーターによる企業訪問及びメール、Web会議などにより資金調達、新規事業などに関する支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応件数 146件 		
事業評価	宇治ベンチャー企業育成工場入居企業だけではなく、市内全体の企業へも支援を拡大することで、市内経済の活性化につながった。市内経済のさらなる活性化のため、今後も引き続き効果的な支援に努める必要がある。		

事務事業名	展示会出展支援助成事業費	所管課	産業振興課
		決算額	3,504 千円
事業内容	市内の中小企業（製造業及び情報系産業など）が開発・製作した製品を公的機関等の開催する展示会に出展することにより、当該製品に関心がある企業とのマッチングを契機として、見積書の提出、新規取引へとマーケティング拡大に向けて取り組む。本市が出展経費の一部を助成することにより、更なる産業振興を図る。		
成果・実績	<p>企業の新規取引の促進を図るため、開発・製作した製品を公的機関等が開催する展示会に出展した市内の中小企業に対し、その経費の一部を助成した。</p> <p>◎助成社数 15社</p>		
事業評価	展示会への出展により、助成を受けた企業は新たな営業機会を得ることができ、企業の新規取引先の開拓による市内企業の活性化を図ることができた。今後もより効果的な助成に努める必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	産業振興センター運営費	所管課	産業振興課
		決算額	9,296 千円
事業内容	産業に関する情報の収集・提供及び企業の育成・支援を行うため設置された産業振興センターの管理・運営を行う。		
成果・実績	<p>同一敷地内にある宇治ベンチャー企業育成工場のサポートを行うとともに、産業振興を図る中核施設として、産業振興センターの円滑な管理・運営に努めた。</p> <p>◎使用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホール 86回 4,783人 ・会議室 101回 761人 		
事業評価	市内企業への支援については、貸館業務をはじめとする産業振興の拠点のひとつとして円滑な運営に努めた。今後も企業等のニーズを把握する中で、引き続き効果的な運営に努める必要がある。		

事務事業名	中小企業人材確保支援事業費	所管課	産業振興課																
		決算額	2,131 千円																
事業内容	宇治市内中小企業（製造業）の多くが抱える課題である人材確保を支援するため、宇治市の主催により、市内企業が出展する合同企業説明会を実施し、求職者とのマッチング機会の提供を行う。																		
成果・実績	<p>11月2日に京都産業会館ホール（京都経済センター2階）において、「宇治市ものづくり企業合同企業説明会」を開催した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">参加企業数</td> <td style="text-align: center;">19社</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">来場求職者数</td> <td style="text-align: center;">20人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 2025年3月卒</td> <td style="text-align: center;">3人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 2024年3月卒</td> <td style="text-align: center;">6人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 既卒</td> <td style="text-align: center;">7人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> その他</td> <td style="text-align: center;">4人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">企業ブース来場者数</td> <td style="text-align: center;">延べ66人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">内定者</td> <td style="text-align: center;">1人</td> </tr> </table>			参加企業数	19社	来場求職者数	20人	2025年3月卒	3人	2024年3月卒	6人	既卒	7人	その他	4人	企業ブース来場者数	延べ66人	内定者	1人
参加企業数	19社																		
来場求職者数	20人																		
2025年3月卒	3人																		
2024年3月卒	6人																		
既卒	7人																		
その他	4人																		
企業ブース来場者数	延べ66人																		
内定者	1人																		
事業評価	<p>市内製造業の事業者19社を集めて合同企業説明会を開催した。就職活動の早期化や売り手市場の状況下で、対面式の合同企業説明会の来場者数が全国的に減少しており、宇治市主催の合同企業説明会も同様に来場者数の減少が課題となっている。開催時期の変更及び求職者向け広報の見直しなど、来場者数の増加につながる効果的な取組を継続して検討する必要がある。</p>																		



令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち	産業観光部
関連分野	産業	

事務事業名	中小企業情報発信事業費	所管課	産業振興課
		決算額	4,685 千円
事業内容	市内製造業をPRするため、顧客創出、雇用の確保、魅力的な市内企業情報の発信を目的とした工場見学ツアーを実施する。また、宇治市内企業情報誌を作成し、当該情報誌を用いたプロモーションの実施により、市内企業の情報発信を行う。		
成果・実績	<p>◎宇治子どもものづくりフェス in アルプラ・マルシェ 実施日 : 4月20日 協力企業 : 5社 来場人数 : 72人 (子ども)</p> <p>実施日 : 10月19日 協力企業 : 5社 来場人数 : 145人 (子ども)</p> <p>◎夏休みものづくりフェス 実施日 : 8月2日 @産業振興センター 内容 : ものづくり体験コーナー、ベンチャー企業育成工場見学、セミナー、京都フェニックスパークオープンファクトリー等 協力企業 : 22社 来場人数 : 238組578人 (うち子ども305人)</p> <p>◎企業情報誌 市及び宇治商工会議所の選定により市内製造事業者7社を新たに掲載した「2025宇治市ものづくり企業ガイドブック」を作成し、宇治市内の製造業のPRを行った。</p>		
事業評価	工場見学については、ものづくり体験ワークショップや宇治ベンチャー企業育成工場、京都フェニックスパーク内企業の見学を行い、子どもがものづくりに対する興味関心をもつきっかけとなった。また、市内製造業のPRを行うことができた。企業情報誌については、近畿圏内の製造業者等の他、東京で出展した展示会で来場者に配布することにより、市内製造業を幅広くPRすることができた。一定数の事業者は掲載済みであることから再編集を行い長期にわたって使用できるBtoB向けの企業情報誌として活用していく必要がある。		

事務事業名	城南地域職業訓練協会運営補助金	所管課	産業振興課
		決算額	1,869 千円
事業内容	技能労働者の養成と在職者の職業能力の向上を図るため、職業訓練法人城南地域職業訓練協会が実施する職業訓練事業に対して補助する。		
成果・実績	<p>求職者及び在職者に対し、パソコン・ビジネス英会話・簿記講座などを開催した。</p> <p>◎講座数 18 講座 ◎受講人数 152 人</p>		
事業評価	職業訓練事業に補助することにより、求職者及び在職者の職業能力開発向上等を図ることができた。今後も同協会において利用者ニーズの把握・分析に努め、さらなる効果発現に向けて検討する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	技能功労者表彰費	所管課	産業振興課												
		決算額	249 千円												
事業内容	永く同一の職業に従事し優れた技能を持つ方の功労を称えることによって、技能水準の一層の向上と技能尊重の気運を高めることを目的に実施する。														
成果・実績	◎技能功労者 6人 (内訳) <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 60%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">職種</th> <th style="width: 50%;">表彰人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大工職</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>和菓子製造職</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>自転車整備職</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>製茶工職</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>配管工職</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table>			職種	表彰人数	大工職	1	和菓子製造職	1	自転車整備職	1	製茶工職	2	配管工職	1
職種	表彰人数														
大工職	1														
和菓子製造職	1														
自転車整備職	1														
製茶工職	2														
配管工職	1														
事業評価	技能功労者を表彰することにより、技能水準の一層の向上及び技能尊重の気運を高めることができた。技能継承等の状況を把握する中で、今後も引き続き実施する必要がある。														

事務事業名	中小企業事業承継支援事業費	所管課	産業振興課
		決算額	4,418 千円
事業内容	市内事業者の円滑な事業承継を促し経営者年齢の若返りと廃業件数の抑制を図ることにより、市内事業者の持続的な経営を支援することを目的に、事業承継の早期取組を促すためのイベント・セミナーを実施する。		
成果・実績	◎製造業に特化した交流会・セミナー 事業承継に向けて課題を持っている次期経営者候補等を対象に、事業承継の実績のある2代目社長等を講師として招き、セミナーと交流会を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 4回 ・参加人数 延べ21人 ◎小規模で継続的な交流会・セミナー アトツギ仲間とのディスカッションと互いのフィードバックを通じて学ぶホームルーム型の講座を実施。支援機関や他のアトツギとの交流を通じて新規事業のタネを探しつつ、それぞれの家業で培ってきたノウハウ等を活かした新たな発展を模索した。 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 6回 ・参加人数 延べ61人 		
事業評価	製造業に特化した交流会・セミナーの開催を通じて参加者主導による交流会が開催されるなど、後継者等のネットワークの構築につながった。引き続き、少人数での実施を強みとして事業連携やマッチング、人材育成につなげる。 小規模で継続的な交流会・セミナーについては、参加者による学びの深化とアトツギコミュニティの強化と拡大を図った。今後も各機関と連携しながら事業の発信に努め、アトツギの掘り起こしと成長の支援に取り組む。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち	産業観光部
関連分野	産業	

事務事業名	産学連携交流促進事業費	所管課	産業振興課
		決算額	251 千円
事業内容	理系大学研究室と市内製造業事業者が連携する機会を提供し、市内事業者のイノベーションを促進するとともに、研究室に所属する学生に市内事業者への就職を検討してもらう機会になることも見据え、事業を実施する。		
成果・実績	<p>◎京都先端科学大学「キャップストーンコンソーシアム」への参画</p> <p>◎夏休み期間に小中学生向けイベントを実施 企業や大学とセミナーを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力大学・企業 1大学、2事業者 ・セミナー回数 3回 ・参加者数 延べ100人（うち、小中学生50人） <p>◎京都大学宇治キャンパス産学交流会 市内製造業事業者へ京都大学宇治キャンパス産学交流企業連絡会等が主催する産学交流会の周知協力を行った。</p>		
事業評価	<p>大学や企業と連携したセミナーを実施し、参加者の関心に応える内容となった。地域の実情を踏まえ、柔軟に産学連携の促進に取り組むことで、現実的かつ効果的な事業を展開できた。</p> <p>今後は、大学との連携に加え、高校生や中学生が関わる機会も広げ、次世代人材の育成や、地域産業への関心を高める取組を進めていく必要がある。</p>		

事務事業名	市内企業PR動画作成事業費	所管課	産業振興課
		決算額	2,420 千円
事業内容	人材確保を目的とした企業紹介動画コンテンツを制作することで、市内製造業の人材確保支援を行う。		
成果・実績	<p>◎企業紹介動画の制作 市内事業者を取材し、求職者向け（高校生・専門大学生、大学生、大学院生及び既卒者）のプロモーション動画の作成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作事業者数 6事業者 <p>◎PR動画活用セミナーの開催 PR動画の必要性（近年の就活動向の把握）や活用方法を事例と有効的な人材確保への活用方法についてのセミナーを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加社数 3事業者 		
事業評価	求職者向けプロモーション動画の制作及び動画活用セミナーの実施により、市内製造業の人材確保を支援できた。動画は各事業者のホームページや説明会などで活用されており、効果的な情報発信手段となっている。今後は動画制作等を含め、WEBを活用した多様な企業情報の発信支援に取り組む必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	産業観光部
関連分野	文化芸術	

事務事業名 源氏ろまん事業費	所管課 観光振興課・文化スポーツ課
	決算額 21,742 千円

事業内容	ふるさと創生事業として創設した「紫式部文学賞」「紫式部市民文化賞」及び両賞の贈呈式をはじめとした「源氏ろまん」事業を実施し、文化の振興とともに「源氏物語のまち宇治」としての宇治市のイメージアップを図る。
-------------	---

成果・実績	<p>◎第34回紫式部文学賞・紫式部市民文化賞 11月23日に紫式部文学賞・市民文化賞贈呈式及び講演会を実施した。後日、市公式YouTubeチャンネル「宇治市ちはや茶んねる」にて動画の配信を行った。</p> <p>第Ⅰ部 贈呈式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紫式部文学賞（全国から51作品の推薦） 皆川 博子 氏 「風配図 WIND ROSE」 ・紫式部市民文化賞（30作品の応募・推薦） 松村 信二 氏 「雲に棲む 榎島昭光伝」 宮崎 周子 氏・宮崎 健創 氏 「ドイツアルプスのリュフトル画」 ・紫式部市民文化賞奨励賞 飯島 栄子 氏 「宇治歴史ひとりあるき」 ・紫式部市民文化賞ユース賞 小野田 磨柚 氏 「春のみなとは知らねども ー女陰陽師と鬼女の散逸譚ー」 <p>第Ⅱ部 講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演題 「『風配図』に至る皆川作品の多様な魅力をめぐる ＜酩酊船【よひどれぶね】＞の流れ寄る果てに……」 東 雅夫 氏（文芸評論家） ・参加者数 200人 <p>◎宇治田楽まつり 平安時代の民俗芸能である田楽を市民のまつりとして復活し、10月19日に宇治田楽まつり実行委員会関係者と市民参加者で盛大に開催した。 ※雨天のため、宇治市文化会館大ホールにて実施 ・参加者数 900人</p> <p>◎宇治十帖スタンプラリー 宇治橋周辺の宇治十帖ゆかりの地など21か所をスタンプスポットとし、スマートフォン等のGPS機能を使用したデジタルスタンプラリーを実施した。またウォーキングマップを用意し、スマートフォンをお持ちでない方もクイズを楽しみながら参加できるように工夫した。 新たな取組として、スマートフォン等を用いて、各スポットで声優梶裕貴氏の音声ガイドを聞くことができるようにしたほか、抽選賞品に宇治の多様な体験ができる賞品を追加した。さらに「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」の取組の一つとして、宇治の歴史、文化、観光の魅力をより多くの方に伝えるようにPR強化に努めた。 ・開催日数 61日（10月1日～11月30日） ・踏破者数 7,113人（スマートフォン4,458人、ウォーキングマップ2,655人）</p>
--------------	--



紫式部文学賞
皆川 博子 氏

事業評価	「紫式部市民文化賞奨励賞」「紫式部市民文化賞ユース賞」を設け、若年層が文化芸術活動に取り組みやすい環境の整備に努めた。また、『源氏物語』をテーマとするイベントの開催により、地域の文化資源や市民による文化芸術活動に触れる機会の充実とともに、市民の文化芸術活動の活性化と「源氏物語のまちづくり」の定着を図ることができた。引き続き、若年層を含めた文化芸術活動の活性化の推進を図る。
-------------	---

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	観光

所管部局
産業観光部

事務事業名	観光センター管理運営費	所管課	観光振興課						
		決算額	11,749 千円						
事業内容	観光情報サービスの拠点として、市内の観光案内のほか観光パンフレットの配布を行っている。センターの管理運営については（公社）宇治市観光協会を指定管理者としている。								
成果・実績	◎入館者数 : 136,464人 ◎観光案内件数 : 50,846件 ◎貸館状況 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">利用件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">展示会場</td> <td style="text-align: center;">82（うち有料件数7）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">和室</td> <td style="text-align: center;">4（うち有料件数2）</td> </tr> </tbody> </table>			利用件数		展示会場	82（うち有料件数7）	和室	4（うち有料件数2）
利用件数									
展示会場	82（うち有料件数7）								
和室	4（うち有料件数2）								
事業評価	指定管理者により適切に管理運営ができた。宇治観光の拠点施設として、より効果的な施設の運営に努める必要がある。								

事務事業名	市営茶室管理運営費	所管課	観光振興課
		決算額	25,987 千円
事業内容	宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図るために、市営茶室「対鳳庵」を設置している。宇治を訪れる観光客が本場の宇治茶を気軽に味わうことができるようになっており、茶室の管理運営については（公社）宇治市観光協会を指定管理者としている。		
成果・実績	◎入席者数 : 20,940人 うち有料券数 : 20,241人 うち招待券数 : 699人 ◎専用利用状況 件数 : 2件（うち有料件数2件） ◎キャッシュレス決済の導入 件数 : 2,252件 金額 : 3,129千円		
事業評価	指定管理者による適切な管理運営を通じて、観光客等に宇治茶を提供し、宇治茶の普及及び観光の振興に努めた。また、キャッシュレス決済を導入し、利便性の向上を図ることができた。引き続き国内外に対して施設のPR強化に努めるとともに、より効果的・効率的な宇治茶の普及及び観光の振興を図る必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	観光

所管部局
産業観光部

事務事業名	観光おもてなし推進事業費	所管課	観光振興課
		決算額	9,918 千円
事業内容	宇治市観光案内所（JR宇治駅前・近鉄大久保駅・京阪宇治駅前）を運営し、宇治を訪れる観光客への案内業務を行う。（公社）宇治市観光協会を管理運営者としている。		
成果・実績	◎観光案内所での案内業務件数 <ul style="list-style-type: none"> ・JR宇治駅前観光案内所 利用件数：157,175件（うちインバウンド案内件数：17,783件） ・近鉄大久保駅観光案内所 利用件数：6,092件（うちインバウンド案内件数：304件） ・京阪宇治駅前観光案内所 利用件数：60,625件（うちインバウンド案内件数：9,686件） 		
事業評価	宇治観光の玄関口となる各駅前の観光案内所において、インバウンドの受入体制の強化を図り、必要とされる観光情報を案内することができた。今後も観光客の視点に立った案内業務に努め、おもてなし力の向上に取り組む必要がある。		

事務事業名	宇治のまちあるきガイドツアー事業費	所管課	観光振興課
		決算額	118 千円
事業内容	宇治茶や宇治川の合戦をテーマにしたガイドツアーの実施。宇治観光ボランティアガイドクラブの案内による宇治茶関連施設や宇治川周辺を中心とした施設の無料ツアーを行う。		
成果・実績	宇治茶のルーツを巡る「宇治茶巡りガイドツアー」と宇治川を中心に巻き起こる合戦の舞台を巡る「宇治川合戦絵巻ガイドツアー」を実施した。参加者からは観光客が個人で宇治市内を巡るだけでは知ることのできない宇治のルーツを知ることができると好評であった。 <ul style="list-style-type: none"> ◎宇治茶巡りガイドツアー <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：74回 ・参加者数：182人 ◎宇治川合戦絵巻ガイドツアー <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：44回 ・参加者数：63人 		
事業評価	宇治茶を活かした観光振興の取組として、宇治茶に関する情報提供及び施設見学を行うことにより、宇治茶のブランド力の強化と宇治の魅力発信に努めることができた。また、宇治川合戦絵巻ガイドツアーにおいても、宇治の歴史を発信することができた。今後も宇治の魅力を伝える取組として、より効果的な手法を検討する。		



令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	産業観光部
関連分野	観光	

事務事業名	観光インバウンド推進事業費	所管課	観光振興課
		決算額	9,000 千円
事業内容	海外からの観光客誘客のために、様々なメディアによる海外向けの情報発信を行う。また、効果的なPRを行うため、宇治の情報を海外向けの情報誌に掲載する。		
成果・実績	<p>海外の観光動向について調査・分析を行い、海外の旅行代理店及び国内の観光事業者に対して継続的な情報発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎三市連携（宇治・亀岡・舞鶴）台湾FIT誘客事業 ◎海外向け情報誌（WEB）への記事掲載 ◎海外情報収集・分析業務の実施 ◎海外旅行会社との商談会参加 		
事業評価	海外に向けて宇治の情報発信・魅力発信を継続して行うことにより、外国人観光客の誘客促進を図った。外国人観光客のさらなる誘客のため、引き続き様々なメディアを利用し効果的な情報発信に努める必要がある。		

事務事業名	観光関連補助事業費	所管課	観光振興課
		決算額	6,809 千円
事業内容	宇治の観光振興に係るイベント及び放ち鶺鴒プロジェクトなどに対して（公社）宇治市観光協会等へ助成を行う。		
成果・実績	<p>◎観光活性化事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光宣伝事業 ・鶺鴒事業 ・観光ボランティアガイド運営事業 ・県祭り安全対策事業 ・萬福寺国宝指定記念事業 <p>◎放ち鶺鴒事業補助金</p> <p>宇治にしかない観光資源としての魅力を発信するため、放ち鶺鴒と宇治の魅力を発信する取組について支援を行った。</p>		
事業評価	<p>観光振興に係る諸事業への補助を通じ、宇治観光のイメージアップを図る取組に努めた。また、今年度は萬福寺の三棟（法堂・大雄宝殿・天王殿）が国宝指定されたことに伴い、地域全体で祝福機運の醸成を図り、黄檗地域への観光客誘致、観光の発展に寄与することに努めた。</p> <p>今後も引き続き、（公社）宇治市観光協会等と連携し、さらなる観光振興のための観光コンテンツの強化に向け、各種観光事業に対するより効果的な補助の手法について検討する必要がある。</p>		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	観光

所管部局
産業観光部

事務事業名	観光案内サイン整備事業費	所管課	観光振興課
		決算額	5,886 千円
事業内容	平成28年4月に策定した「宇治市観光案内サイン整備ガイドライン」に基づき、計画的に観光案内サインの整備を行う。		
成果・実績	◎サイン整備実施分 ・小倉エリア 新設：5基 ・JR宇治駅改札前 新設：3基 撤去：1基		
		小倉エリア 新設サイン	JR宇治駅改札前 新設サイン
事業評価	多言語での観光案内サイン整備に計画的に取り組むことにより、国内外の観光客に対するおもてなし力の向上に努めた。今後も多様な観光客により長く滞在してもらい、リピーターとして訪問してもらうため、観光案内の充実を図り、必要とされている情報を提供できるよう取り組む。		

事務事業名	お茶と宇治のまち歴史公園運営費	所管課	観光振興課
		決算額	63,206 千円
事業内容	「史跡の保存・活用」「宇治の歴史・文化・観光に関する情報発信」「宇治茶に関する魅力発信」を目的として整備した、お茶と宇治のまち歴史公園の維持管理・運営を行う。		
成果・実績	◎来園者総数 : 194,118人 ◎入館者数 : 161,749人 ◎ミュージアム入館者数 : 43,271人 ◎講座・体験事業参加者数 : 20,515人 ◎2024年NHK大河ドラマ「光る君へ」の放送を契機に「光る君へ宇治大河ドラマ展」を茶づな2階会議室で実施。 ・来場者数 : 117,160人		
事業評価	史跡宇治川太閤堤跡を含む宇治の歴史や、宇治茶を中心とした宇治の文化を分かりやすく伝える施設として、宇治茶の魅力や観光情報の発信を行った。また、「光る君へ宇治大河ドラマ展」の大型イベントを実施することで来園者の増加につながった。市内周遊観光の拠点として施設への誘客や効果的な施設運営について、引き続き指定管理者と取り組む必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	産業観光部
関連分野	観光	

事務事業名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり推進事業費	所管課	観光振興課
		決算額	9,815 千円
事業内容	天ヶ瀬ダム周辺に加え、宇治橋周辺の新たなにぎわい拠点を含め、一体的に観光資源として活用し、宇治川を軸とした回遊性の向上を図ることを目的とする。		
成果・実績	<p>◎宇治川・天ヶ瀬ダム活性化協議会 71千円 宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり計画に基づき、天ヶ瀬ダム周辺の観光資源を活かした広域的な周遊観光の活性化を図るため、河川等の活用について、地域の合意形成及び民間企業と行政の連携強化による取組の推進を目的として、協議会を開催した。</p> <p>第3回：令和6年11月20日 宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくりの今年度の取組についての説明 ほか</p> <p>第4回：令和7年3月26日 かわまちづくり計画の取組内容・都市・地域再生等利用区域指定の説明 ほか</p> <p>◎旧ガーデンズ天ヶ瀬跡地整備詳細設計業務 9,744千円 旧ガーデンズ天ヶ瀬跡地の整備にかかる詳細設計を行った。</p>		
事業評価	協議会の開催により、天ヶ瀬ダムツアーやかわまちづくり計画に基づくダム周辺の活性化等について検討を深めることができた。引き続き、天ヶ瀬ダム周辺と宇治橋周辺を一体としたにぎわいづくりや河川空間の活用方法を検討するとともに旧ガーデンズ天ヶ瀬跡地整備に向けて取り組む。		

事務事業名	戦略的観光情報発信事業費	所管課	観光振興課
		決算額	22,657 千円
事業内容	宇治市の観光資源の情報発信として、各地での観光プロモーションの実施、パンフレット等の発行、広報物への観光情報の掲載を行う。また、新たな観光資源であるアニメーションを活用し、他団体との連携を行う。		
成果・実績	<p>◎国内でのプロモーション活動</p> <p>◎観光大使オリジナルグッズ制作</p> <p>◎観光パンフレット・バック型クリアファイル製作</p> <p>◎「萬福寺国宝指定記念PR」広告放映</p> <p>◎あがた祭にあわせ、響け！ユーフォニアム等身大パネル製作</p>		
事業評価	様々な観光情報の発信に取り組むことにより、宇治の認知度及び宇治への訪問意欲の向上を図った。引き続き、国内外への積極的・戦略的な魅力発信を行い、宇治への訪問意欲の喚起に努める。		

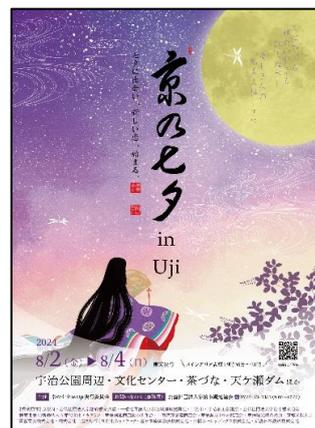


令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	観光

所管部局
産業観光部

事務事業名	「京の七夕 in Uji」事業費	所管課	観光振興課
		決算額	18,000 千円
事業内容	京都各地で開催されている「京の七夕」と連携し、宇治の風情を醸し出す情緒豊かな「京の七夕 in Uji」としてオリジナルの演出で実施する。		
成果・実績	<p>◎実施期間 8月2日～8月4日</p> <p>◎参加者数 15,000人 関連イベント10,000人</p> <p>◎実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライトアップ（府立宇治公園、関西電力宇治発電所、天ヶ瀬ダム、お茶と宇治のまち歴史公園「茶づな」） ・願いがかなう道（短冊を吊るす笹ロードの設置） ・宇治発電所特別公開 ・天ヶ瀬ダムスタディツアー ・七夕夜市 ・NAKEDディスタンス提灯 ・茶づなde水占い/天の川イルミネーション ・なないろカードラリー ・「#宇治の七夕2024」投稿キャンペーン <p>◎関連イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治橋通り商店街スマイルサタデークラフトビール夜市 ・集まれ子どもたち！楽しく学ぼう七夕まつり ・夏休み自由研究プロジェクト 		
事業評価	宇治オリジナルの昼夜の演出により、観光の振興と活性化を図ることができた。引き続き関係機関と連携し、時間のうつろいを感じられる観光の推進に努める。		



事務事業名	広域観光推進事業費	所管課	観光振興課
		決算額	2,434 千円
事業内容	新名神高速道路の延伸及び大阪・関西万博の開催などを契機とし、京都府内外の関連地域や地域をつなぐ交通事業者との連携による機会を捉えた誘客促進の取組を進める。		
成果・実績	<p>◎京都市認定通訳ガイド負担金</p> <p>京都市・宇治市・大津市で連携協定を結び、3市の深い知識と専門性を備えた通訳ガイドを育成することで、外国人観光客の京都市近郊への周遊の促進等を図った。</p> <p>◎トレインマーケットの実施</p> <p>関西万博6か月前イベントとして、淀川周辺自治体、沿線と連携し開催。京阪宇治駅のホームに電車を停車させ、車内で物販および、制服の試着など実施した。</p>		
事業評価	京都府内外の関連地域や交通事業者と連携した取組を実施することにより、広域への観光PRができた。引き続き、多様な主体と連携し、それぞれの魅力的な観光資源を活かすとともに、共同で情報発信を行うことにより、機会を捉えた誘客促進に取り組む。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	観光

所管部局
産業観光部

事務事業名	親子で宇治文化の魅力発見事業費	所管課	観光振興課
		決算額	2,000 千円
事業内容	宇治の伝統、文化を活かした体験事業のモニターツアーに親子で参加することで、親子ならではの楽しみ方を発見するとともに、親子目線での新たな宇治の魅力を伝えていくことを目的とする。		
成果・実績	親子で参加できる「宇治ならではの」学びの体験を盛り込んだツアー企画（有料）を秋、冬の年3回実施。		
	<p>◎親子で天ヶ瀬ダム探検ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 11月10日 ・参加者数 14組32人 <p>◎親子で禅体験in萬福寺</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 1月19日 ・実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・僧侶による案内つき特別拝観 ・「かいぱん」をたたく体験 ・ミニ坐禅体験 ・ミニ写経体験 等 ・参加者数 12組37人 <p>◎黄檗山萬福寺ファムトリップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 3月6日 ・実施内容 旅行会社から商品造成の方向性や販路構築、プロモーションについてファムトリップツアーを通し意見をいただいた。 ・参加者数 5社 		
事業評価	親子ならではの体験ができるモニターツアーを実施し、宇治の魅力を市内外にPRすることができた。また、旅行会社の商品造成に係る方々を対象にファムトリップツアーを実施し、宇治のツアー造成についての意見をいただいた。今後も、宇治の魅力をより多くの方に知っていただけるよう、取組を進める必要がある。		



令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	産業観光部
関連分野	観光	

事務事業名	紫式部のまちにぎわい創出事業費	所管課	観光振興課・文化スポーツ課
		決算額	134,674 千円
事業内容	2024年大河ドラマ「光る君へ」放映を契機にした源氏物語および紫式部ゆかりの地である宇治の歴史・文化・観光の魅力発信及びまちの活性化に向けた誘客促進の取組を実施する。		
成果・実績	<p>◎「光る君へ 宇治 大河ドラマ展 ～都のたつみ 道長が築いたまち～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場 : お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな ・会期 : 令和6年3月11日～令和7年1月13日 ・来場者数 : 117,160人 <p>◎「土スタ～『光る君へ』特集 in 京都」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所 : 宇治市文化センター ・参加者数 : 1,103人 <p>◎「光る君へ スペシャルトークショー in 宇治」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所 : 宇治市文化センター ・参加者数 : 約1,000人 <p>◎「なりきり平安装束体験」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所 : 宇治市内 ・参加者数 : 55人 <p>◎「BSよしもとの番組制作」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・番組名 : 「麒麟川島軍団で旅に行くならどやさ！～紫式部が繋いだ3つのゆかりの地～」 ・放送日 : 令和7年3月23日 <p>◎「スプリングコンサート2025～めぐりあう雅楽と吹奏楽～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所 : お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな ・来場者数 : 約1,300人 		
事業評価	宇治を訪れた人に平安時代の歴史・文化を伝えるトークショーや各種イベント等、展示を実施することで、紫式部ゆかりの地である宇治の魅力を伝えることができた。引き続き、紫式部ゆかりの地である宇治の魅力発信や誘客促進に努める。		



事務事業名	JR宇治駅前市民交流プラザ長寿命化事業費	所管課	観光振興課
		決算額	109,849 千円
事業内容	「公共施設アセットマネジメント推進計画」に基づき、施設の長寿命化を図るために改修を行う。		
成果・実績	<p>長寿命化改修工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ゆめりあうじ外壁ほか改修工事 102,718千円 外壁改修にかかるゆめりあうじ駐車場借上げ料 861千円 ◎ゆめりあうじエレベーター改修工事 6,270千円 		
事業評価	改修工事を実施し、施設の長寿命化を図るとともに、利便性の向上を図ることができた。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	産業観光部
関連分野	観光	

事務事業名	小倉エリアから広がるにぎわい創出事業費	所管課	観光振興課・産業振興課
		決算額	15,647 千円
事業内容	ニンテンドーミュージアムが開館し、小倉地域が宇治観光の新たな目的地となることを踏まえ、多くの来館者を効果的に中宇治地域へ誘導し、さらに市内他地域への周遊を促進して市域全体の活性化を図るため、各種広報・発信事業に取り組む。		
成果・実績	◎市内周遊促進パンフレット作成業務 ・中宇治・小倉の周遊を目的とした、宇治・小倉ダンジョンマップを制作 ◎ラッピングバス広告による宇治の魅力発信 ◎『ポケふた』お披露目会 ・2枚の『ポケふた』が(株)ポケモンより寄贈 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> ◎多言語対応WEBサイト「京都宇治観光マップ」のリニューアル ・9月25日公開 ・デザインを一新し、視認性及び利便性の向上 ・掲載スポット数の増加（約80→233） ・周遊観光活性化のため、宿泊や体験案内等の特設ページを追加		
事業評価	新たな観光スポットが誕生し、小倉と中宇治の周遊観光促進を目的に取組を行った。また、市内の観光名所や店舗等の情報発信を行う多言語対応WEBサイト「京都宇治観光マップ」をリニューアルすることで、宇治市内の魅力を発信することができた。今後も引き続き、周遊観光を促進できるよう、ラッピングバスや観光パンフレット等を活かしたにぎわいの創出に取り組む必要がある。		

事務事業名	小倉地域魅力発信事業費	所管課	観光振興課
		決算額	1,000 千円
事業内容	ニンテンドーミュージアムが開館し、小倉地域が宇治観光の新たな目的地となることから、小倉地域と中宇治地域をつなぐ「体験型ゲーム」を造成し、市内周遊を目的とした取組を実施する。		
成果・実績	◎小倉地域と中宇治地域をつなぐ「体験型ゲーム」の造成 市内周遊バスに乗りながらヒントを集め、スマートフォンを使って楽しめる謎解きゲームを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 随時内容を更新して行った。 第一弾 7月21日～10月31日 第二弾 11月11日～ 1月 5日 第三弾 1月16日～ 2月28日 参加者総数 961人 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>		
事業評価	地域の散策や小倉と中宇治をつなぐ周遊バスを活用することで、小倉地域と中宇治地域の相互誘客を促進し、周遊観光を活性化させることができた。今後も周遊観光を促進する取組を進める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	スポーツ

所管部局
産業観光部

事務事業名	スポーツ振興基金活用事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	4,063 千円
事業内容	市民の健康・体力の増進、競技力の向上、地域コミュニティの形成、競技人口の拡大を図るため、スポーツ振興基金を活用した諸事業を実施する。		
成果・実績	基金を活用し、市民レベルのスポーツ交流の促進、競技力の向上、競技人口の拡大を図った。		
	<ul style="list-style-type: none"> ◎府民総体選手派遣費 ・参加団体数 20団体 ◎世界大会等出場者激励金 ・交付件数 166件 ・交付人数 215人 ◎生涯スポーツ育成事業 委託先：（一財）宇治市スポーツ協会 ・参加団体数 13団体 ◎ジュニア技術講習会 委託先：宇治市中学校体育連盟 ・参加者数 339人 ◎宇部・宇治スポーツ交流大会 ・参加者数 122人 	 <p style="text-align: center;">激励会（高校生）</p>  <p style="text-align: center;">激励会（小中学生）</p>	
事業評価	基金を活用して各種事業を実施し、市民スポーツの水準向上と競技人口の拡大を図った。今後も引き続き、基金の有効活用に努めるとともに、より効果をあげられるよう事業内容を精査し、スポーツ交流の促進等を図る。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	スポーツ

所管部局
産業観光部

事務事業名	各種大会事業補助金	所管課	文化スポーツ課
		決算額	5,664 千円
事業内容	地域に根ざした市民スポーツの推進と競技力の向上を目的に、各種大会等の体育団体の事業を助成し、自主活動の促進と団体育成を図る。		
成果・実績	<p>大会等に助成を行い、自主活動の促進及び団体育成に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎市長杯等各種競技大会補助金 ・参加者数 6,903人 ◎障害者スポーツ大会補助金 ・参加者数 342人 ◎宇治川マラソン大会補助金 ・参加者数 1,834人 ◎地域体育振興事業補助金 ・加盟数 27,776世帯 ◎スポーツ少年団育成事業補助金 ・団体数 52団体 ◎体育団体設立記念事業補助金 ・団体数 2団体 		
事業評価	各種団体が主催する大会を支援し、宇治市の競技レベル向上及び市民スポーツの推進を図った。市民ニーズを把握し、宇治市のスポーツ推進に寄与するため、より効果的な支援に努める。		



宇治川マラソン大会

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	産業観光部
関連分野	スポーツ	

事務事業名	フライングディスクのまち宇治推進事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	352 千円
事業内容	ワールドマスターズゲームズ2027関西において、宇治市がフライングディスク（アルティメット競技）の開催会場となることを契機に、フライングディスクの活用による地域の活性化、スポーツ実施率の向上を図る。		
成果・実績	<p>市民スポーツまつりにおいてフライングディスクランドを設置し、アルティメットのデモンストレーション試合を開催するなど、競技の魅力と認知度の向上を図った。また、宇治市内の小中学校教師や宇治市スポーツ推進委員等を対象に講習会を実施し、宇治市内に広くフライングディスクを普及する環境を整え、スポーツ実施率の向上に努めた。</p> <p>◎フライングディスクランドの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加人数 659人（市民スポーツまつり内） ・デモンストレーション試合（アルティメット競技）の実施 <p>◎フライングディスク講習会実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 3回 ・参加者数 延べ45人 ・対象 宇治市内小中学校教師、宇治市スポーツ推進委員、宇治市新規採用職員 		
			
事業評価	従来の講習会による環境整備だけではなく、宇治市民の方にフライングディスクの魅力をより感じてもらえるようなイベントを開催できた。今後もワールドマスターズゲームズ2027関西の開催にむけ、フライングディスク及びワールドマスターズゲームズの認知度向上に努めていく。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	産業観光部	
関連分野	スポーツ		
事務事業名	つなげる・ひろがるスポーツ振興事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	3,048 千円
事業内容	スポーツを通じた子育てにやさしいまちづくりの推進を目的に、地域の団体等と連携したスポーツによる多世代の交流や運動機会創出のための各種イベントを開催する。		
成果・実績	<p>(一財)宇治市スポーツ協会、(公財)宇治市公園公社や地域の団体等と連携し、親子で楽しむことができる各種イベントを開催し、スポーツによる多世代の交流や運動機会の創出を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎第42回市民スポーツまつり <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 延べ13,000人 ◎2024Uji子どもスポーツフェスタ <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 延べ 1,436人 ◎2024多世代交流スポーツフェスティバル <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 延べ 2,345人 ◎ニュースポーツひろば <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 延べ 1,128人 ◎ニュースポーツひろば委託事業 (宇治市体育振興会連合会) <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 延べ 1,176人 		
	 <p style="text-align: center;">市民スポーツまつり</p>		
事業評価	親子で楽しむことができる各種イベントを開催することで、スポーツを開始するきっかけづくりだけでなく、子育て世代を含めた多世代の交流機会を創出できた。今後も各スポーツ団体とより連携を図りながらスポーツを通じた子育てにやさしいまちづくりを推進する。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
産業観光部

事務事業名	文化祭開催費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	1,950 千円
事業内容	市民文化芸術祭は、市民が日頃の文化活動の成果を発表し、あわせて相互交流を行うことにより、文化意識の高揚と文化活動の推進を図る。		
成果・実績	<p>市民文化芸術祭では、展示や舞台披露、体験コーナーを開催した。また、市民文化芸術祭から独立した参加事業として、市民いけばな展・フェニックスコンサート・市民写真展・市民絵画展を開催した。</p> <p>◎市民文化芸術祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 10月26日、27日 ・参加者数 約750人 ・来場者数 約4,500人 <p>◎同参加事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 約400人 ・来場者数 約2,150人 		
	 <p>市民文化芸術祭</p>		
事業評価	市民等が日頃の文化芸術活動の成果を発表することにより、文化芸術活動者間の交流を促進し、それぞれの活動への理解が深まるきっかけづくりができた。また、参加者が実施した体験型事業により、参加者と来場者が交流する機会の創出につながった。引き続き、さらなる文化芸術を基軸とした様々な地域のネットワークの構築を図る必要がある。		

事務事業名	文化センター管理運営費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	134,468 千円
事業内容	アクティオ株式会社を指定管理者とし、文化センターの健全な管理・運営を行う。多様で質の高い文化芸術事業を提供し、市民文化の振興を図る。また、市民参画の機会を提供することを目的に、市内の文化芸術団体を対象に、文化会館の使用に際し使用料の助成を行う。		
成果・実績	<p>◎文化センター指定管理事業</p> <p>次世代を育成する京阪フレッシュアーティストリレーコンサートや源氏物語朗読劇をはじめ、宇治セレクトシネマ、落語会など、幅広い多様なジャンルの事業を実施し、延べ17,653人が鑑賞し、3,028人の市民が事業実施に参加した。参加創造事業では、プロの交響楽団と市民コーラス等のコラボを実施し、市民が文化芸術に参加できる機会を創出し、市民が日常的に文化芸術に触れる機会の充実に努めたことに加え、市民の文化芸術活動の普及と振興を図るため、17の市民団体等に対して、文化会館の使用料の助成を行った。</p> <p>◎文化センター開館40周年記念事業</p> <p>指定管理事業者と連携し7月24日に文化センター開館40周年記念事業を実施し、約5,800人の幅広い世代が、宇治文でつながる夏のOneDayを楽しんだ。</p>		
	 <p>宇治文でつながる夏のOneDay</p>		
事業評価	文化センターの適切な管理・運営と多様で質の高い文化芸術事業の提供ができた。また、様々なジャンルのプロの公演等を開催し、市民が文化芸術に触れる機会を充実させることができた。今後も引き続き適切な管理・運営に努めるとともに、指定管理者の有するノウハウ等を積極的に活用していく。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	産業観光部
関連分野	文化芸術	

事務事業名	合唱団活動費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	2,015 千円
事業内容	合唱団活動を通して、自主的で情操豊かな児童・生徒を育成することを目的とし、昭和54年8月に、国際児童年を記念して結成した。毎週土曜日の定期練習及び定期演奏会の開催のほか、各種発表会・市の公式行事などに出演する。		
成果・実績	<p>団員は市内在住の小学2年生から中学3年生までの約20人で、土曜日午後の練習、コンサート出演などの活動を行った。主な活動として、京都こども合唱祭、音連ミュージックフェスティバル、全日本少年少女合唱祭全国大会などに参加するとともに、定期演奏会を開催した。</p> <div style="text-align: center;">  <p>第46回定期演奏会</p> </div>		
事業評価	合唱団活動に取り組むことにより、小・中学生の文化意識及び協調性などを育てることができた。今後もさらなる活性化に向けて、市内小・中学校の協力を得ながら団員確保に努めるとともに、持続可能な運営手法について検討する必要がある。		

事務事業名	市民交流ロビーコンサート開催費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	151 千円
事業内容	昼休憩時間にミニコンサートを開催。気軽な音楽活動を発表する場として市庁舎を提供し、音楽文化の促進と市民相互の交流を図る。		
成果・実績	<p>昼休み中の午後0時15分～45分に市役所1階市民交流ロビーを会場として開催し、毎回多数の観客を迎えた。</p> <p>◎開催回数 17回 ◎延べ観覧者数 1,960人</p> <div style="text-align: center;">  </div>		
事業評価	市民交流ロビーコンサートを開催することで、文化芸術の発表にとどまらず、市庁舎という身近な場所で、広く市民に文化芸術に触れる機会を提供することができた。引き続き市民が積極的に文化芸術活動に取り組める発表の機会の創出に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
産業観光部

事務事業名	文化芸術活動動画配信事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	718 千円
事業内容	多様な媒体を活用した文化芸術に関する情報発信のため、インターネット上の動画配信という形で、市内で活動している団体・個人の文化芸術作品を専用のYouTubeチャンネルにて配信を行う。		
成果・実績	<p>YouTube内の「宇治市文化芸術活動おうえんチャンネル」で、市内で文化芸術活動をされている個人・団体などが作成された動画を配信した。</p> <p>また、動画撮影・編集講座を生涯学習センターで3日間開催した。</p> <p>◎配信動画数 65本 ◎延べ視聴回数 232,767回（令和6年度末時点） ◎動画撮影・編集講座 ・参加者数 24人</p>		
事業評価	<p>動画配信という新しい生活様式に対応した文化芸術活動の発表の場を提供することにより、市内外の多くの人に見ていただくことで、文化芸術に触れる機会を創出できた。参加者が確実に動画を配信できるよう連続講座とし、市民の文化芸術活動のさらなる活性化に努めた。今後は、新規動画作品の応募者数増加へ向けて、広報手段等の検討が必要である。</p>		



事務事業名	文化センター長寿命化事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	36,170 千円
事業内容	令和2年6月に策定した「宇治市文化センター改修実施方針」に基づき、施設の長寿命化のための改修等を実施する。		
成果・実績	文化センター排煙窓の改修業務、文化会館大・小ホール音響卓更新業務を行った。		
事業評価	改修により、施設の耐久性と利用環境の向上を図ることができた。引き続き長寿命化の観点から、計画的な改修について取り組む必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
産業観光課

事務事業名	高校生文化芸術祭典事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	3,429 千円
事業内容	若年層の文化活動者の学校を越えた交流と、文化芸術のさらなる活性化を目的として、市内の高校生による舞台発表や作品展示を行う。		
成果・実績	<p>市内の全9校の高校生約250人が文化センターにて、12月7日(土)に舞台発表や作品展示を行った。</p> <p>また、高校生で組織する実行委員会を開催し、企画立案及び当日の運営などを行った。</p> <p>◎高校生文化芸術祭典FUN×FAN×FES</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 約 250人 (15団体) ・入場者数 約1,320人 <p>◎高校生文化芸術祭典FUN×FAN×FES実行委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 4回 ・実行委員数 9人 		
事業評価	<p>高校生の発表や作品の鑑賞、芸術祭の企画・運営を通じて、互いの活動や工夫などの情報交換の場とし、新たなつながりや活動を生み出す契機を提供できた。今後は、高校生が学校・学年・部活動の垣根を越えたさらなる交流の機会を創出し、今後の自主的な活動につなげられるよう努める。</p>		



事務事業名	五感で楽しむ古の文化講座開催費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	550 千円
事業内容	『源氏物語』及び紫式部ゆかりのまちである宇治の魅力を発信するため、「五感で楽しむ」をコンセプトに、平安時代の文化に触れる体験型講座を実施する。		
成果・実績	<p>季節に合わせて年に4回、誰もが楽しんで参加できる体験型講座を実施し、平安時代の文化・歴史を身近に感じる機会を提供した。</p> <p>◎春：ゆかしき薫り -オリジナル煉香づくり-</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者数 20人 <p>◎夏：KEMARI 蹴鞠 WORLD!!</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者数 22人 <p>◎秋：源氏物語を聴く -音色の彩り-</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者数 ワークショップ 20人 演奏会 54人 <p>◎冬：平安スイーツ・粉熟を食べよう!</p> <ul style="list-style-type: none"> -歴食のススメ- 参加者数 35人 		
事業評価	<p>NHK大河ドラマ「光る君へ」を契機に、幅広い世代に平安時代の文化に触れる機会を提供することができた。引き続き、紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクトの一環として、平安時代から広がる古の文化や歴史を体験できる取組等の実施に努める。</p>		



令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	産業観光部
関連分野	文化芸術	

事務事業名	つむぐみらい文化芸術活動支援事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	729 千円
事業内容	創造性あふれる地域づくりを目指し、市民と文化芸術をつなぐ、自主的かつ創造的な個人・団体の文化芸術活動について、補助金を交付する。		
成果・実績	<p>◎つむぐみらい文化芸術活動支援事業補助金 市民または構成員に市民を含む団体を対象に、自主的かつ創造的な文化芸術活動に要する経費の一部について、1/2（限度額10万円）を上限に支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 件数 9件 ・ 内容 音楽団体と連携した市内小学校への音楽出前授業 萬福寺を会場にオーケストラと生花装飾のコラボレーションイベント など 		
事業評価	「文化芸術がつむぐ ひと・まち・みらい」の実現に向け、市民の自主的かつ創造的な文化芸術活動に対して補助金を交付し、文化芸術の継承や活動者の育成を図った。今後も、交付団体の増加に向けた周知に努める。		

事務事業名	文化の都・京都プロジェクトin宇治事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	2,740 千円
事業内容	文化庁移転を契機とした新たな文化施策の展開に向けて、京都府と連携したイベントを実施する。		
成果・実績	<p>紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクトの一環として、宇治の歴史・文化・観光の魅力を発信する事業を実施した。</p> <p>◎宇治アートプロジェクト 日本画ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日 3月2日、8日、9日 ・ 参加者数 36人 <p>◎市民と創る紫式部ゆかりのアート展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 展示期間 令和6年3月11日～令和7年1月13日 ・ 参加団体数 13団体 		
			
	宇治アートプロジェクト		
事業評価	宇治の文化資源を手がかりに、次世代を担う子どもたちが宇治ゆかりの歴史や文化を学び地域の魅力を再認識し、アートな体験を通して表現する場を提供することができた。引き続き、表現した作品を発信する機会の創出に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	人権教育・啓発

所管部局
人権環境部

事務事業名	人権啓発事業費	所管課	人権啓発課
		決算額	2,411 千円

事業内容	人権尊重理念を普及し、様々な人権問題の解決に対する市民の理解を深めるため、「宇治市第2次人権教育・啓発推進計画」に基づき、各種の広報・啓発事業に取り組む。
------	---

成果・実績	◎人権強調月間（8月）の取組																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平和☆ひゅうまん夏フェスタ</td> <td>文化センター</td> <td>800人参加</td> </tr> <tr> <td>人権啓発スポットCM放送</td> <td>エフエム宇治放送</td> <td>1日3回放送</td> </tr> <tr> <td>人権啓発パネル展示</td> <td>市役所市民交流ロビー</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	実施場所	成果等	平和☆ひゅうまん夏フェスタ	文化センター	800人参加	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送	人権啓発パネル展示	市役所市民交流ロビー	—																							
	事業名	実施場所	成果等																																	
	平和☆ひゅうまん夏フェスタ	文化センター	800人参加																																	
	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送																																	
	人権啓発パネル展示	市役所市民交流ロビー	—																																	
	◎人権週間（12/4～12/10）の取組																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひゅうまんフェスタうじ</td> <td>生涯学習センター</td> <td>500人参加</td> </tr> <tr> <td>人権啓発スポットCM放送</td> <td>エフエム宇治放送</td> <td>1日3回放送</td> </tr> <tr> <td>人権啓発パネル展示</td> <td>市役所市民交流ロビー</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	実施場所	成果等	ひゅうまんフェスタうじ	生涯学習センター	500人参加	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送	人権啓発パネル展示	市役所市民交流ロビー	—																							
	事業名	実施場所	成果等																																	
	ひゅうまんフェスタうじ	生涯学習センター	500人参加																																	
人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送																																		
人権啓発パネル展示	市役所市民交流ロビー	—																																		
◎その他の取組																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施時期</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報紙「jinken」配布</td> <td>8月・1月</td> <td>—</td> <td>各号約8万部</td> </tr> <tr> <td>身近に感じる人権講座</td> <td>2月～3月</td> <td>生涯学習センター他</td> <td>397人参加</td> </tr> <tr> <td>人権の花運動</td> <td>10月～11月</td> <td>市立幼稚園</td> <td>3園で実施</td> </tr> <tr> <td>人権啓発物品配布</td> <td>年間</td> <td>各種催し</td> <td>3,370個配布</td> </tr> <tr> <td>啓発教材（DVD等）貸出</td> <td>年間</td> <td>—</td> <td>年20本貸出</td> </tr> <tr> <td>市政だよりによる広報・啓発</td> <td>年間</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>人権啓発懸垂幕掲示</td> <td>5・8・12月</td> <td>市役所庁舎</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>啓発教材上映会</td> <td>年2回</td> <td>市役所庁舎</td> <td>33人参加</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	実施時期	実施場所	成果等	情報紙「jinken」配布	8月・1月	—	各号約8万部	身近に感じる人権講座	2月～3月	生涯学習センター他	397人参加	人権の花運動	10月～11月	市立幼稚園	3園で実施	人権啓発物品配布	年間	各種催し	3,370個配布	啓発教材（DVD等）貸出	年間	—	年20本貸出	市政だよりによる広報・啓発	年間	—	—	人権啓発懸垂幕掲示	5・8・12月	市役所庁舎	—	啓発教材上映会	年2回	市役所庁舎	33人参加
事業名	実施時期	実施場所	成果等																																	
情報紙「jinken」配布	8月・1月	—	各号約8万部																																	
身近に感じる人権講座	2月～3月	生涯学習センター他	397人参加																																	
人権の花運動	10月～11月	市立幼稚園	3園で実施																																	
人権啓発物品配布	年間	各種催し	3,370個配布																																	
啓発教材（DVD等）貸出	年間	—	年20本貸出																																	
市政だよりによる広報・啓発	年間	—	—																																	
人権啓発懸垂幕掲示	5・8・12月	市役所庁舎	—																																	
啓発教材上映会	年2回	市役所庁舎	33人参加																																	
◎山城地区広域連携事業																																				
<p>山城人権ネットワーク推進協議会（ひゅうまんねっとやましろ）を通じて、広域連携・市民連携の啓発活動に取り組んだ。</p>																																				



人権擁護委員の取組への活動支援（人権の花運動）

事業評価	各種の広報・啓発事業を実施したことにより、人権尊重理念を普及し、様々な人権問題の解決に対する市民の理解を深めることができた。今後も、ニーズの把握、分析に努めるとともに、さらに啓発効果を高めるため、市民自らが実践活動できるような取組を検討する必要がある。
------	--

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	人権環境部	
関連分野	人権教育・啓発		

事務事業名	コミュニティワークうじ館・こはた館運営事業費	所管課	人権啓発課
		決算額	14,780 千円
事業内容	福祉の向上と人権啓発のための市民活動・市民交流促進に向けた、地域福祉の推進を図るため、事業及び各種人権啓発交流事業に取り組む。		
成果・実績	<p>◎コミュニティワークうじ館・こはた館地域福祉活動推進事業費 11,360千円 地域福祉の推進を図るため、相談事業及び学習講座開催事業、隣保館デイサービス事業を実施した。</p> <p>◎コミュニティワークうじ館・こはた館啓発交流活動推進事業費 3,420千円 人権尊重理念の普及及び様々な人権問題の解決に向け、交流講座の開催及び人権啓発事業を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>人権映画上映会（うじ館）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>人権問題学習会（こはた館）</p> </div> </div>		
事業評価	各種人権啓発交流事業等に取り組んだことにより、市民活動及び市民交流の促進を図ることができた。利用者が徐々に増えているが、さらなる利用者増を含め、今後も効果的な取組を検討する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	男女共同参画

所管部局
人権環境部

事務事業名	男女共同参画施策推進費	所管課	男女共同参画課																				
		決算額	17,634 千円																				
事業内容	男女の人権の確立と地域に根ざした男女共同参画社会を実現するため、「宇治市男女生き生きまちづくり条例」及び宇治市男女共同参画計画「UJIあさぎりプラン」に基づき、広報・啓発事業並びに学習機会の提供、市民活動支援を行う。また、女性・男性のための相談事業及び女性問題アドバイザー派遣事業を行う。																						
成果・実績	◎広報・啓発																						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">事業名</th> <th style="width: 15%;">実施時期</th> <th style="width: 20%;">実施場所</th> <th style="width: 25%;">成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男女共同参画情報誌「リズム」発行</td> <td>6・9・11・2月</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td>各2,000部</td> </tr> <tr> <td>市政だよりによる広報・啓発</td> <td style="text-align: center;">年間</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td>年31回掲載</td> </tr> <tr> <td>男女共同参画UJIのつどい講演会</td> <td style="text-align: center;">7月6日</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">男女共同参画支援センター</td> <td style="text-align: center;">125人参加</td> </tr> <tr> <td>UJIあさぎりフェスティバル</td> <td style="text-align: center;">10月5日・10月6日</td> <td style="text-align: center;">延べ1,100人参加</td> </tr> </tbody> </table>				事業名	実施時期	実施場所	成果	男女共同参画情報誌「リズム」発行	6・9・11・2月	—	各2,000部	市政だよりによる広報・啓発	年間	—	年31回掲載	男女共同参画UJIのつどい講演会	7月6日	男女共同参画支援センター	125人参加	UJIあさぎりフェスティバル	10月5日・10月6日	延べ1,100人参加
	事業名	実施時期	実施場所	成果																			
	男女共同参画情報誌「リズム」発行	6・9・11・2月	—	各2,000部																			
	市政だよりによる広報・啓発	年間	—	年31回掲載																			
	男女共同参画UJIのつどい講演会	7月6日	男女共同参画支援センター	125人参加																			
	UJIあさぎりフェスティバル	10月5日・10月6日		延べ1,100人参加																			
	◎学習機会の提供・市民活動支援																						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">事業名</th> <th style="width: 15%;">実施時期</th> <th style="width: 20%;">実施場所</th> <th style="width: 25%;">成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各種セミナー（全10回）</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">年間</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">男女共同参画支援センターほか</td> <td style="text-align: center;">延べ420人参加 (オンライン含む)</td> </tr> <tr> <td>ここからチャレンジ相談（全24回）</td> <td style="text-align: center;">延べ141人参加</td> </tr> <tr> <td>市民企画事業奨励事業（2件）</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">延べ301人参加</td> </tr> <tr> <td>市民企画サポート事業（5件）</td> </tr> <tr> <td>ここからチャレンジマルシェ</td> <td style="text-align: center;">6・10・11・12・3月</td> <td style="text-align: center;">JR宇治駅前広場</td> <td style="text-align: center;">延べ201ブース</td> </tr> </tbody> </table>				事業名	実施時期	実施場所	成果	各種セミナー（全10回）	年間	男女共同参画支援センターほか	延べ420人参加 (オンライン含む)	ここからチャレンジ相談（全24回）	延べ141人参加	市民企画事業奨励事業（2件）	延べ301人参加	市民企画サポート事業（5件）	ここからチャレンジマルシェ	6・10・11・12・3月	JR宇治駅前広場	延べ201ブース		
	事業名	実施時期	実施場所	成果																			
各種セミナー（全10回）	年間	男女共同参画支援センターほか	延べ420人参加 (オンライン含む)																				
ここからチャレンジ相談（全24回）			延べ141人参加																				
市民企画事業奨励事業（2件）			延べ301人参加																				
市民企画サポート事業（5件）																							
ここからチャレンジマルシェ	6・10・11・12・3月	JR宇治駅前広場	延べ201ブース																				
◎女性問題アドバイザー派遣実績 9件 行政6件、民間3件																							
◎女性のための相談事業実績																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="width: 60%;">相談区分</th> <th style="width: 40%;">件数 (うち主訴がDV)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">一般相談</td> <td style="text-align: center;">来館相談</td> <td style="text-align: center;">102 (13)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">電話相談</td> <td style="text-align: center;">212 (19)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">314 (32)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">専門相談</td> <td style="text-align: center;">フェミニスト・カウンセリング</td> <td style="text-align: center;">55</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">こころとからだの相談</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">法律相談</td> <td style="text-align: center;">44</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">105</td> </tr> </tbody> </table>				相談区分		件数 (うち主訴がDV)	一般相談	来館相談	102 (13)	電話相談	212 (19)	合計	314 (32)	専門相談	フェミニスト・カウンセリング	55	こころとからだの相談	6	法律相談	44	合計	105	
相談区分		件数 (うち主訴がDV)																					
一般相談	来館相談	102 (13)																					
	電話相談	212 (19)																					
	合計	314 (32)																					
専門相談	フェミニスト・カウンセリング	55																					
	こころとからだの相談	6																					
	法律相談	44																					
	合計	105																					
◎男性のための相談事業実績 37件																							
事業評価	女性のための相談、男性のための電話相談や女性問題アドバイザーの派遣、各種セミナーの実施に加え、市民企画事業の実施などにより、男女の人権の確立と地域に根ざした男女共同参画社会の推進に努めた。今後も市民・事業者等と協働・連携し、より効果的な事業実施に努める。																						

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	二酸化炭素排出抑制対策事業費	所管課	環境企画課
		決算額	199 千円
事業内容	「宇治市第3次環境保全計画」等に基づき、市民・事業者へ温室効果ガス排出削減の効果的な取組の普及啓発を行う。		
成果・実績	<p>◎緑のカーテン推進費 小学校（2校）、中学校（3校）、幼稚園（2園）、その他公共施設（6か所）がゴーヤ等のつる性植物を用いた「緑のカーテン」の設置に取り組み、建物の蓄熱を抑える等の対策を行った。</p> <p>◎緑のカーテン講習会 市民に対して講習会を年2回実施し、緑のカーテンが持つ環境効果や育成の楽しさを紹介することで、参加者の環境への関心を高め、意識の醸成を図った。</p>		
			
事業評価	緑のカーテンの設置及び普及啓発事業を実施することにより、市内の温室効果ガス排出量の低減をはじめとした地球温暖化対策を推進することができた。引き続き普及啓発に取り組む。		

事務事業名	家庭用雨水タンク設置事業費補助金	所管課	環境企画課
		決算額	219 千円
事業内容	雨水利用を通じた環境意識及び防災意識の向上を図るため、雨水タンクを設置する者に対し購入費用の3/4（上限2万円）を補助する。		
成果・実績	<p>補助対象となる雨水タンク設置費に対して、費用の一部を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助件数 13件 ・ 交付金額 219千円 		
事業評価	雨水タンクの設置費用の一部を補助することにより、雨水タンクの設置を促進し雨水利用を通じた環境意識及び防災意識の向上を図ることができた。今後も京都府の動向等を注視し、より設置促進に向けた効果的な手法について検討する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	人権環境部
関連分野	環境保全、ごみ減量	

事務事業名	自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金	所管課	環境企画課
		決算額	7,656千円
事業内容	家庭におけるエネルギーの自立化を促進するため、個人が所有する住宅に住宅用太陽光発電及び蓄電設備を同時設置した者に対し、設置に要した費用の一部を補助する。		
成果・実績	<p>補助対象となる住宅用太陽光発電及び蓄電設備の設置費用の一部を補助した。</p> <p>◎FIT制度（固定価格買取制度）の認定を取得した者を対象とする従来制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電 最大出力値1kWあたり1万円（上限4万円） ・蓄電設備 蓄電容量1kWhあたり2万円（上限12万円） <p>補助件数 49件 交付金額 7,656千円</p> <p>◎FIT制度（固定価格買取制度）の認定を取得しない者を対象とする新制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電 最大出力値1kWあたり2万円（上限8万円） ・蓄電設備 蓄電容量1kWhあたり3.5万円（上限21万円） <p>補助件数 0件</p>		
事業評価	家庭におけるエネルギーの自立化と再生可能エネルギーの普及を促進することができた。今後も温室効果ガス削減に向け再生可能エネルギーの普及啓発と補助制度の充実を図る。なお、新制度については、京都府の新たな補助制度を活用し、11月から開始した。しかし、制度の周知期間及び申請の受付期間が限られていたため、実際の申請には至らなかったものの、一定の相談が寄せられた。今後は、より一層制度の周知に努め、自家消費型再生可能エネルギーの普及促進に努める。		

事務事業名	ゼロ・エネルギー・ハウス普及促進事業費	所管課	環境企画課
		決算額	600千円
事業内容	住宅の省エネルギー対策の強化を図るため、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した住宅、ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）の導入費用の一部を補助し、ZEHの普及促進を行う。		
成果・実績	<p>補助対象となるZEH導入費用に対して、費用の一部を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1件あたり30万円 <p>補助件数 2件 交付金額 600千円</p>		
事業評価	ZEHの導入費用の一部を補助し、普及促進を行うことにより、市内の温室効果ガス排出量の低減をはじめとした地球温暖化対策を推進することができた。今後も、国の動向等を注視し、より普及促進ができる効果的な手法について検討する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	人権環境部
関連分野	環境保全、ごみ減量	

事務事業名	エコ・アクション推進事業費	所管課	環境企画課
		決算額	411 千円
事業内容	環境省が推奨する全国共通のポイントプログラム「エコ・アクション・ポイント」を活用することで地球温暖化対策への関心を深めるとともに、市民の環境に対する意識改革、行動変容を促し、市域の温室効果ガス排出量削減を目指す。		
成果・実績	<p>市域で「エコ・アクション・ポイント」アプリの利用推進を行い、宇治市民限定のエコ・アクションに取り組んだ方にポイントを付与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者数 2,152人（前年度末比+301人） ・総ポイント付与数 146,779ポイント ・ポイント付与に要した金額 147千円 ・システム使用料 264千円 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">   </div>		
事業評価	エコ・アクション・ポイントを活用することにより、市民一人ひとりが日々の暮らしの中で継続してエコ活動を行うきっかけとすることができた。さらに多くの市民が参加できるように、今後も効果的な取組を検討し、利用啓発に努める。		

事務事業名	環境保全関連事業費	所管課	環境企画課
		決算額	13,347 千円
事業内容	生活環境の状況把握を行うため、大気、水質、騒音などの監視測定を実施する。また、京滋バイパスを走行する車両の排気ガスによる大気汚染の状況把握を行うため、自動車排出ガス測定局を設置するとともに大気汚染物質の常時監視を実施する。		
成果・実績	<p>市内において自動車排出ガス等の大気測定、市内河川・事業場の水質測定、道路・鉄道等の騒音測定を行い、監視結果はいずれも概ね良好であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎環境監視費 1,839千円 ◎発生源監視費 819千円 ◎自動車排出ガス監視測定局運営費 10,689千円 		
事業評価	市内における大気、水質、騒音などの監視測定を適正に実施することにより、生活環境保全に努めることができた。測定結果を公表し周知するとともに、今後も引き続き環境測定及び発生源監視測定を行い、環境保全の推進に努める必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	人権環境部
関連分野	環境保全、ごみ減量	

事務事業名	狂犬病予防費	所管課	環境企画課								
		決算額	1,893 千円								
事業内容	狂犬病の発生予防、まん延防止及び撲滅のため、狂犬病予防注射接種を推進するとともに、犬の登録及び鑑札の交付、狂犬病事業の予防注射済票の交付などを行う。										
成果・実績	犬の登録業務において、新たに538頭の登録を行い、総登録数8,358頭となった。 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 85%;">犬の登録頭数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td style="text-align: right;">8,812頭</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td style="text-align: right;">8,374頭</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td style="text-align: right;">8,358頭</td> </tr> </tbody> </table>			年度	犬の登録頭数	令和4年度	8,812頭	令和5年度	8,374頭	令和6年度	8,358頭
年度	犬の登録頭数										
令和4年度	8,812頭										
令和5年度	8,374頭										
令和6年度	8,358頭										
事業評価	狂犬病予防のため、予防注射の推進及び犬の登録事務などを適正に実施することにより、狂犬病の発生予防に寄与することができた。今後も公衆衛生の更なる向上を図るため、引き続き効果的・効率的な啓発を行う必要がある。										

事務事業名	環境衛生対策関連事業費	所管課	環境企画課
		決算額	1,404 千円
事業内容	良好な生活環境を保全するため、「宇治市環境保全基本条例」「宇治市あき地の雑草等の除去に関する条例」などに基づき、各種の環境衛生対策を行う。		
成果・実績	◎そ族及び衛生害虫対策費 1,022千円 ・トビケラ駆除薬剤散布 年5回（宇治川両岸） ・電撃殺虫機の稼働 春から秋にかけて稼働（宇治川両岸） ◎あき地雑草等除去費 382千円 ・通知件数 46件 （うち処理済件数 46件） （うち未処理件数 0件）		
事業評価	衛生害虫対策、あき地の適正管理に関する指導等を実施することにより、生活環境の保全を図ることができた。住宅周辺の生活環境を改善するため、今後も引き続き環境衛生対策に努める必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	斎場施設運営費	所管課	環境企画課
		決算額	103,345 千円
事業内容	利用者の宗教的感情を意識した火葬・葬祭等の利便を供するため、厳粛な環境の整備に努めるとともに、公共の福祉に資する事業を行い、効率的で安全性が高く衛生的な施設運営を図る。		
成果・実績	日本管財・五輪グループを指定管理者として、葬祭場・有料待合室・安置室については、利用料金制により運営した。 ◎斎場利用実績 <ul style="list-style-type: none"> ・火葬場 4,039件 ・葬祭場 89件 ・待合室 619件 ・安置室 356件 		
事業評価	民間事業者の専門性や実績を活かし、利便性の向上を図るなど、適切に管理運営ができた。近年の火葬数の増加に対応すべく、必要な箇所への迅速な修繕等、今後も適切な施設管理に努めていく。		



事務事業名	斎場長寿命化事業費	所管課	環境企画課
		決算額	180,369 千円
事業内容	「公共施設アセットマネジメント推進計画」に基づき、施設の長寿命化を図るために改修を行う。		
成果・実績	外壁、屋上防水、建具、便所、回廊、外構、機械設備、非常用発電機、キュービクルの改修工事を行った。 ◎斎場再整備事業費 180,369千円		
事業評価	大規模改修により施設の安全性を高めることができた。今後も、施設の安全性を保持するため、必要に応じて施設の修繕を実施する。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	墓地公園管理費	所管課	環境企画課			
		決算額	27,743 千円			
事業内容	市民福祉の向上に寄与するため、公園と一体となった墓地として宇治市墓地公園を設置し、公営の墓地として公平性・永続性を踏まえた運営を行い、使用者が永代にわたり安心して墓参できる墓園環境を保持する。					
成果・実績	日本管財・五輪グループを指定管理者として、管理運営を行った。					
	◎墓所 墓所使用者を年1回募集し、新たに使用を許可した。 これにより総使用区画数は、2,919区画となった。	新規使用許可数（墓所）				
		2㎡	7 件			
		3㎡	1 件			
	4㎡	0 件				
	合計	8 件				
	◎合葬式墓地 令和3年7月から供用を開始し、令和6年度の使用許可件数は153件であった。					
	合葬式墓地使用許可件数 (単位:件)					
	施設の区分	申請数	市内	市外		
			焼骨有	生前予約	焼骨有	生前予約
	合葬室	144	84	41	13	6
	10年	7	2	5	0	0
	20年	2	0	0	0	2
	合計	153	86	46	13	8
	記名板	72	39	18	10	5
事業評価	今までの墓所に加え、令和3年度から合葬式墓地を供用開始したが、指定管理者によって適切に管理された。今後も引き続き、適切な墓地公園管理に努めるとともに、墓地に関する市民意識を踏まえた運用を検討する必要がある。					

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	人権環境部
関連分野	環境保全、ごみ減量	

事務事業名	地球環境保全活動推進事業費	所管課	環境企画課
		決算額	804 千円
事業内容	気候変動適応法の改正に伴い、市内公共施設等にクーリングシェルターを創設するとともに、市民に向けて熱中症特別警戒アラートやクーリングシェルターの創設について周知を行う。		
成果・実績	◎クーリングシェルター周知 ・周知チラシ作成、全戸配布 754千円 ・音訳手数料 2千円		
事業評価	熱中症特別警戒アラートとクーリングシェルターの創設の周知を図ることで、市民の熱中症予防意識を高めることができた。今後も引き続き、適正な時期に周知を図ることで、熱中症予防対策を継続する。		

事務事業名	親子で学ぶゼロカーボンツアー事業費	所管課	環境企画課																				
		決算額	282 千円																				
事業内容	市内在住の小学5・6年生とその保護者を対象としたゼロカーボン関連施設の見学ツアーを実施し、地球温暖化の原因や脱炭素の取組等を学ぶことで、環境にやさしい行動ができるよう、意識の向上を図る。																						
成果・実績	夏休み期間中に小学5・6年生とその保護者を対象としたゼロカーボンツアーを4回実施した。 各コース日帰りで実施し、下記施設での体験学習や専門講師による脱炭素についての学習会を行った。 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">コース</th> <th style="width: 15%;">日程</th> <th style="width: 50%;">目的地</th> <th style="width: 25%;">参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>7月22日</td> <td>あいとうエコプラザ菜の花館</td> <td>11組 25人</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>7月29日</td> <td>京エコロジーセンター</td> <td>2組 4人</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>8月1日</td> <td>さすてな京都</td> <td>4組 9人</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>8月7日</td> <td>大阪ガス科学館</td> <td>5組 12人</td> </tr> </tbody> </table>			コース	日程	目的地	参加者	A	7月22日	あいとうエコプラザ菜の花館	11組 25人	B	7月29日	京エコロジーセンター	2組 4人	C	8月1日	さすてな京都	4組 9人	D	8月7日	大阪ガス科学館	5組 12人
コース	日程	目的地	参加者																				
A	7月22日	あいとうエコプラザ菜の花館	11組 25人																				
B	7月29日	京エコロジーセンター	2組 4人																				
C	8月1日	さすてな京都	4組 9人																				
D	8月7日	大阪ガス科学館	5組 12人																				
事業評価	親子で地球温暖化について学ぶ機会を設けることができた。今後も継続して実施し、親子の地球温暖化防止の意識の啓発に努める。																						

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	人権環境部
関連分野	環境保全、ごみ減量	

事務事業名	猫の避妊等手術補助金	所管課	環境企画課						
		決算額	500 千円						
事業内容	殺処分される猫を減少させるとともに、飼い主のいない猫による糞尿などの被害の軽減のため、飼い主のいない猫への避妊・去勢手術を実施する市民に対し、手術費用を支援する。								
成果・実績	飼い主のいない猫への避妊・去勢手術 1件あたり5千円を上限に補助 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 35%;">受付件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td style="text-align: center;">110件</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td style="text-align: center;">113件</td> </tr> </tbody> </table>			年度	受付件数	令和5年度	110件	令和6年度	113件
年度	受付件数								
令和5年度	110件								
令和6年度	113件								
事業評価	飼い主のいない猫の繁殖を抑制することで、市民の動物愛護と適正な管理に関する意識を啓発するとともに、人と猫との調和のとれた共生社会の実現と市民の快適な生活環境を保持することにつながった。今後も引き続き、市民の動物愛護と適正な管理の意識啓発を図る。								

事務事業名	ZEV普及促進事業費	所管課	環境企画課						
		決算額	13,950 千円						
事業内容	宇治市域における温室効果ガスの排出量削減を推進するため、ZEV（電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車）、充電設備及びV2H充放電設備を導入する者に対し、費用の一部を補助する。								
成果・実績	補助対象となる導入費用に対して、費用の一部を補助した。 <ul style="list-style-type: none"> ◎ZEV 車両の購入に要する経費 150千円 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>補助件数</td> <td style="text-align: center;">93件</td> </tr> <tr> <td>交付金額</td> <td style="text-align: center;">13,950千円</td> </tr> </table> ◎充電設備及びV2H充放電設備の導入に要する経費 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>補助件数</td> <td style="text-align: center;">0件</td> </tr> </table> 			補助件数	93件	交付金額	13,950千円	補助件数	0件
補助件数	93件								
交付金額	13,950千円								
補助件数	0件								
事業評価	ZEVの導入費用の一部を補助し、普及促進を行うことにより、市内の温室効果ガス排出量の低減をはじめとした地球温暖化対策を推進することができた。今後も国の動向等を注視し、より普及促進ができる効果的な手法について検討する必要がある。								

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	人権環境部
関連分野	環境保全、ごみ減量	

事務事業名	ゼロカーボンセミナー開催費	所管課	環境企画課
		決算額	420 千円
事業内容	脱炭素について考え、自ら行動する人材の育成を図るとともに、あらゆる世代の市民、事業者、環境団体、職員等が学ぶ機会を提供し、脱炭素社会の実現に向け、意識や行動の変容を促す。また、ecoット宇治と協働し脱炭素の普及、啓発活動等を行う。		
成果・実績	◎ゼロカーボンセミナー		
	対象	内容	人数
	地域協議会	太陽光発電の現状と効果的な啓発方法等	約 30人
	職員(集合・WEB)	地球温暖化の最新事情等	約250人
	課長・副課長	脱炭素の推進	約 80人
	事業者	地球沸騰化時代のビジネスへ等	約 20人
	事業者(出前講座)	地球温暖化の現状及び脱炭素の取組等	約 15人
	◎ecoット宇治と協働した取組		
	イベント名	参加人数	
	環境フェスタ、環境展	約 760人	
	小学校出前講座、緑のカーテン講習会など	約1,820人	
事業評価	講演会やイベントを通じて、地球温暖化について学ぶ機会を設けることができた。今後も引き続き、地球温暖化防止の意識の啓発に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	不法投棄防止対策事業費	所管課	まち美化推進課
		決算額	1,950 千円
事業内容	不法投棄の抑止及び不法投棄されたごみなどの回収のため、特に不法投棄が多い市内山間地について、地域住民にパトロールを委託する。		
成果・実績	◎パトロール実施状況 延べ557人、304日		
事業評価	不法投棄されたごみ等を早期発見し回収することにより、不法投棄の連鎖的な発生を抑止することができた。今後も不法投棄の発生を抑止するため、効果的な手法について検討する必要がある。		

事務事業名	廃家電運搬委託費	所管課	まち美化推進課
		決算額	133 千円
事業内容	不法投棄された廃家電及びパソコンを「特定家庭用機器再商品化法」及び「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」に基づき、製造業者等が指定した引取場所や国の認定を受けた事業者の再資源化施設に運搬し、適切な処理を図る。		
成果・実績	◎不法投棄分処理台数 (台)		
	年度	令和4年度	令和5年度
	品目	令和4年度	令和5年度
	テレビ	45	38
	冷蔵庫（冷凍庫含む）	8	13
	洗濯機・衣類乾燥機	6	7
	エアコン	1	1
	パソコン	0	0
	その他	0	0
	合 計	60	59
事業評価	「特定家庭用機器再商品化法」及び「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」に基づき、不法投棄された廃家電について、適切に処理することができた。近年は、不法投棄件数も減少傾向にあるが、引き続き、発生の抑止に向けた効果的な手法を検討する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	人権環境部
関連分野	環境保全、ごみ減量	

事務事業名	一般廃棄物収集運搬事業費	所管課	まち美化推進課		
		決算額	353,325千円		
事業内容	一般家庭から排出される可燃性・不燃性一般廃棄物の収集運搬業務及び資源ごみの収集運搬業務、また町内会等が側溝を清掃する際に必要な容器の貸出、回収業務を民間委託を活用しながら実施する。				
成果・実績	◎可燃物等収集運搬委託費		209,944千円		
	◎不燃物収集運搬委託費		98,406千円		
	◎びん・ペットボトル収集運搬委託費		39,985千円		
	◎溝土収集運搬委託費		4,990千円		
	家庭系ごみ等収集実績				
		各年度の収集量 (t)			収集方法等
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	可燃ごみ	22,981	21,755	21,040	直営 (一部委託)
	不燃ごみ	5,310	5,168	5,075	委託 (一部地域除く)
	プラマーク	1,807	1,720	1,694	直営
	缶	319	258	203	直営 (一部委託)
	びん	1,034	965	937	委託 (一部地域除く)
	ペットボトル	583	576	597	委託 (一部地域除く)
	紙パック	13	16	12	直営
	溝土	32	21	25	委託
家電リサイクル法 対象家電製品	285台	364台	325台	直営	
死獣	957頭	930頭	904頭	直営 (一部委託)	
小型家電	17	38	20	直営	
	ごみ出しが困難な高齢者世帯等に対して、ふれあい収集(戸別収集)を実施 ふれあい収集 総世帯数579世帯(令和6年度末現在)				
事業評価	一般家庭から排出される廃棄物について、民間委託を活用しながら適切に収集することにより、快適な市民生活を支えることができた。今後も適切な収集に努める中で、ごみの減量化に向けた効果的な手法を検討する必要がある。				

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	人権環境部
関連分野	環境保全、ごみ減量	

事務事業名	古紙回収事業費	所管課	まち美化推進課																			
		決算額	26,959 千円																			
事業内容	宇治市と協定を締結した古紙類の集団回収に取り組む町内会・自治会などに対し、民間再生事業者へ引き渡した古紙類の量に応じて報償金を交付する。																					
成果・実績	<p>引き渡した古紙類の量に応じて、1kgあたり5円の報償金を交付した。</p> <p>◎古紙回収報償金 26,418千円</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th colspan="3">各年度の古紙類回収量 (t)</th> </tr> <tr> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集団回収</td> <td>6,275</td> <td>5,250</td> <td>5,284</td> </tr> <tr> <td>直営回収</td> <td>237</td> <td>226</td> <td>225</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>6,512</td> <td>5,476</td> <td>5,509</td> </tr> </tbody> </table>			種別	各年度の古紙類回収量 (t)			令和4年度	令和5年度	令和6年度	集団回収	6,275	5,250	5,284	直営回収	237	226	225	合計	6,512	5,476	5,509
種別	各年度の古紙類回収量 (t)																					
	令和4年度	令和5年度	令和6年度																			
集団回収	6,275	5,250	5,284																			
直営回収	237	226	225																			
合計	6,512	5,476	5,509																			
事業評価	市民のリサイクルに対する意識を高め、ごみの減量化と資源のリサイクルを促進することができた。集団回収の状況の把握・分析に努める中で、より効果的な手法について検討する必要がある。																					

事務事業名	リサイクル事業費	所管課	まち美化推進課																												
		決算額	3,844 千円																												
事業内容	第6次総合計画で掲げる「ごみの減量化・資源化の促進」として、ごみの発生抑制並びに再使用を市民と協働で取り組むため、使わなくなった状態の良い「かばん、くつ、ぬいぐるみ、衣類等」を集め、海外で再使用してもらう取組である「海外リユース事業」を実施する。																														
成果・実績	<p>◎海外リユース事業</p> <p>令和2年7月から市役所庁舎と木幡公民館に、令和5年12月から西小倉・槇島コミュニティセンターに常設の回収ボックスを設置（合計4箇所）</p> <p>回収した海外リユースの品物は1kg当り5円で売却することで新たな収入を創出した。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>回収量</th> <th>売却収入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>約71 t</td> <td>341千円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>約61 t</td> <td>298千円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>約58 t</td> <td>288千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎「ドライブスルーdeリサイクル」の実施</p> <p>資源物の回収イベントを実施し、市民から持ち込まれたリサイクル・リユース品を再利用、再資源化することによりごみの減量につなげることができた。</p> <p>ドライブスルーdeリサイクル回収実績</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>開催回数</th> <th>回収量</th> <th>来場台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>2回</td> <td>約27 t</td> <td>1,420台</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>2回</td> <td>約23 t</td> <td>1,016台</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>1回</td> <td>約 4 t</td> <td>200台</td> </tr> </tbody> </table>			実績	回収量	売却収入	令和4年度	約71 t	341千円	令和5年度	約61 t	298千円	令和6年度	約58 t	288千円	実績	開催回数	回収量	来場台数	令和4年度	2回	約27 t	1,420台	令和5年度	2回	約23 t	1,016台	令和6年度	1回	約 4 t	200台
実績	回収量	売却収入																													
令和4年度	約71 t	341千円																													
令和5年度	約61 t	298千円																													
令和6年度	約58 t	288千円																													
実績	開催回数	回収量	来場台数																												
令和4年度	2回	約27 t	1,420台																												
令和5年度	2回	約23 t	1,016台																												
令和6年度	1回	約 4 t	200台																												
事業評価	ごみの発生抑制並びに再使用を市民と協働で取り組み、ごみ処理費の抑制と新たな収入の確保につながった。今後も本事業を市民と協働して取組を進めるため、引き続き広報を行い、市民周知を図る中で、回収量の増加に努める。																														

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	環境教育充実事業費	所管課	まち美化推進課											
		決算額	499 千円											
事業内容	循環型社会の構築に向けて、将来の中心世代である幼児から中学生を対象に環境教育を実施する。													
成果・実績	◎環境教育実施状況													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">年度 対象</th> <th style="width: 20%;">令和5年度</th> <th style="width: 20%;">令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育所・幼稚園</td> <td>34園</td> <td>31園</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>21校</td> <td>21校</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>4校</td> <td>5校</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児への環境教育 紙芝居の読み聞かせやキャラクター参加のクイズ、教育絵本等の配布 ・ 小学生への環境教育 学習冊子を用いた座学、スケルトンパッカー車での実演 ・ 中学生への環境教育 パワーポイントを用いた座学、職業体験 			年度 対象	令和5年度	令和6年度	保育所・幼稚園	34園	31園	小学校	21校	21校	中学校	4校
年度 対象	令和5年度	令和6年度												
保育所・幼稚園	34園	31園												
小学校	21校	21校												
中学校	4校	5校												
事業評価	環境問題について楽しく学んでもらえるよう、子どもの成長段階に応じた学習内容を設定した他、体験型メニューを取り入れることにより、ごみ分別の大切さ等についてより身近に感じてもらうことができた。今後も循環型社会の構築に向け、次世代を担う子どもたちに対して当該事業を継続的に取り組んでいく必要がある。													

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
人権環境部

事務事業名	ごみ処理手数料キャッシュレス決済推進費	所管課	まち美化推進課											
		決算額	50 千円											
事業内容	市民サービス向上及びごみの有料収集業務の効率化を図るため、ごみ処理手数料の収受にスマートフォンを用いたキャッシュレス決済を実施する。													
成果・実績	◎利用実績													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">年度</th> <th style="width: 20%;">令和4年度</th> <th style="width: 20%;">令和5年度</th> <th style="width: 20%;">令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>72件</td> <td>46件</td> <td>75件</td> </tr> <tr> <td>手数料収入</td> <td>175千円</td> <td>167千円</td> <td>290千円</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	利用件数	72件	46件	75件	手数料収入	175千円	167千円
年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度											
利用件数	72件	46件	75件											
手数料収入	175千円	167千円	290千円											
事業評価	キャッシュレス決済により、利用者の利便性の向上及び業務の効率化を図ることができた。今後も引き続き利用件数の増加に努める。													

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	乳幼児教育・保育推進事業費	所管課	乳幼児教育・保育支援センター
		決算額	2,958 千円
事業内容	就学前施設職員等の間で、乳幼児期における子どもたちの状況・課題を共有し、連携・協働して研究・研修を行うことで、教育・保育の質の向上及び人材育成並びに就学前施設における施設類型を越えたネットワークの構築を図る。		
成果・実績	<p>民間・私立・公立の就学前施設職員等で構成する乳幼児教育・保育推進協議会及び専門部会を設置・開催し、乳幼児教育・保育支援センターで取り組む施策の検討等を実施した。</p> <p>◎乳幼児教育・保育推進協議会等の開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児教育・保育推進協議会 3回 ・保幼小連携専門部会 3回 ・発達・子育て支援専門部会 3回 ・研究・研修専門部会 1回 		
	<div style="text-align: right;">  </div> <p style="text-align: center;">乳幼児教育・保育推進事業研修</p> <p>全ての就学前施設、小学校及び療育施設の職員を対象として、施設類型を越えて学ぶ合う乳幼児教育・保育推進事業研修を実施した。</p> <p>◎乳幼児教育・保育推進事業研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3分野14研修 延べ401人参加 <p>小学校区を基礎に、小学校と就学前施設が連携・交流を進めやすくする仕組みとして「架け橋ブロック」を設定し、保幼小連携の推進に取り組んだ。</p>		
事業評価	協議会・専門部会における議論や、研修におけるグループワークなどを通じて、乳幼児教育・保育支援センターで実施する施策の検討や、施設類型を超えた顔の見える関係づくりに取り組むことができた。今後、乳幼児教育・保育支援センターにおいて、「研究・研修」「保幼小連携」「発達子育て支援」の3つの機能に基づく取組を実施していく必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
関連分野	地域福祉	

事務事業名	地域福祉推進事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	529 千円
事業内容	「宇治市地域福祉計画」及び「宇治市自殺対策計画」に基づき、福祉のまちづくりを進めるため実施する各事業の進行管理を行う。		
成果・実績	<p>地域福祉推進委員会において、令和4年3月に策定した「第3期宇治市地域福祉計画」の進行管理を行うとともに、「第2期宇治市自殺対策計画」の策定に向けた検討を行った。</p> <p>・開催数 3回</p>		
事業評価	令和4年3月に策定した「第3期宇治市地域福祉計画」及び令和2年3月に策定した「宇治市自殺対策計画」に基づき地域福祉の取組状況等について、地域福祉推進委員会を開催し、進行管理を行った。引き続き、進行管理を行うとともに「第2期宇治市自殺対策計画」に基づき市民とともに誰も自殺に追い込まれることのないまちの実現を目指して取組を進めていく必要がある。		

事務事業名	宇治市社会福祉協議会活動助成金	所管課	地域福祉課														
		決算額	68,593 千円														
事業内容	地域福祉推進の中核的役割を担っている（福）宇治市社会福祉協議会の独自事業及び人件費に対して財政的援助を行うことにより、地域福祉の充実強化を図る。																
成果・実績	<p>（福）宇治市社会福祉協議会に対し、次に掲げる補助を行い、財政的援助と事業の充実を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">◎宇治市社会福祉協議会事務所運営費事業補助金</td> <td style="text-align: right;">56,661 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">◎福祉活動専門員設置事業補助金</td> <td style="text-align: right;">2,535 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">◎福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金</td> <td style="text-align: right;">979 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">◎ボランティアコーディネーター設置事業補助金</td> <td style="text-align: right;">1,959 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">◎ふれあい福祉センター事業補助金</td> <td style="text-align: right;">3,600 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">◎学区福祉委員会活動事業補助金</td> <td style="text-align: right;">2,709 千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">◎災害ボランティアセンター体制整備事業補助金</td> <td style="text-align: right;">150 千円</td> </tr> </table>			◎宇治市社会福祉協議会事務所運営費事業補助金	56,661 千円	◎福祉活動専門員設置事業補助金	2,535 千円	◎福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金	979 千円	◎ボランティアコーディネーター設置事業補助金	1,959 千円	◎ふれあい福祉センター事業補助金	3,600 千円	◎学区福祉委員会活動事業補助金	2,709 千円	◎災害ボランティアセンター体制整備事業補助金	150 千円
◎宇治市社会福祉協議会事務所運営費事業補助金	56,661 千円																
◎福祉活動専門員設置事業補助金	2,535 千円																
◎福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金	979 千円																
◎ボランティアコーディネーター設置事業補助金	1,959 千円																
◎ふれあい福祉センター事業補助金	3,600 千円																
◎学区福祉委員会活動事業補助金	2,709 千円																
◎災害ボランティアセンター体制整備事業補助金	150 千円																
事業評価	民間組織の自主性と法に基づく公共性を持つ社会福祉協議会の活動を支援し、地域住民が主体となった地域福祉の推進を図った。少子高齢化の進展に伴い、福祉ニーズが複雑・多様化する中で、今後も引き続き、連携・協働して地域福祉の推進に取り組む必要がある。																

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	民生児童委員活動助成費	所管課	地域福祉課						
		決算額	39,715 千円						
事業内容	<p>「民生委員法」・「児童福祉法」に定められた民生児童委員の職務を遂行するために必要な活動費を助成し、地域における福祉活動を推進するとともにその向上を図る。民生児童委員は、高齢者等世帯、ひとり親世帯、児童・子育て支援世帯、障害児・者世帯、生活困難者世帯などの福祉向上及び公的福祉施策への協力など、地域福祉の担い手として広範な社会福祉活動を担っている。</p>								
成果・実績	<p>民生児童委員に対して次に掲げる補助を行い、委員活動の一層の充実を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">◎民生児童委員活動費補助金</td> <td style="text-align: right;">36,943千円</td> </tr> <tr> <td>◎民生児童委員協議会会長活動費補助金</td> <td style="text-align: right;">360千円</td> </tr> <tr> <td>◎民生児童委員地域福祉活動促進費補助金</td> <td style="text-align: right;">2,412千円</td> </tr> </table>			◎民生児童委員活動費補助金	36,943千円	◎民生児童委員協議会会長活動費補助金	360千円	◎民生児童委員地域福祉活動促進費補助金	2,412千円
◎民生児童委員活動費補助金	36,943千円								
◎民生児童委員協議会会長活動費補助金	360千円								
◎民生児童委員地域福祉活動促進費補助金	2,412千円								
事業評価	<p>民生児童委員の活動を助成し、地域福祉の推進を図った。少子高齢化の進展による老老介護や8050問題、ひきこもり、ヤングケアラーなど社会状況の変化に伴い、その活動は複雑・多様化している中で、民生児童委員の確保と相談などに的確に対処するための研修活動及び委員相互の連携強化に努める必要がある。</p>								

事務事業名	総合福祉会館管理運営費	所管課	地域福祉課								
		決算額	29,556 千円								
事業内容	<p>(福) 宇治市社会福祉協議会を指定管理者として、地域福祉推進の拠点施設である宇治市総合福祉会館（昭和58年1月開館）を管理・運営する。</p>										
成果・実績	<p>宇治市総合福祉会館を指定管理者によって管理・運営し、必要な修繕等を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">◎総合福祉会館指定管理料</td> <td style="text-align: right;">25,974千円</td> </tr> <tr> <td>◎建物定期点検・調査業務委託</td> <td style="text-align: right;">154千円</td> </tr> <tr> <td>◎仮設事務所移転費用等補助金</td> <td style="text-align: right;">3,396千円</td> </tr> <tr> <td>◎仮設事務所Wi-Fi使用料</td> <td style="text-align: right;">32千円</td> </tr> </table>			◎総合福祉会館指定管理料	25,974千円	◎建物定期点検・調査業務委託	154千円	◎仮設事務所移転費用等補助金	3,396千円	◎仮設事務所Wi-Fi使用料	32千円
◎総合福祉会館指定管理料	25,974千円										
◎建物定期点検・調査業務委託	154千円										
◎仮設事務所移転費用等補助金	3,396千円										
◎仮設事務所Wi-Fi使用料	32千円										
事業評価	<p>指定管理者により適正に管理運営が執行された。施設の経年劣化や利用者ニーズの多様化に対応するため、引き続き指定管理者と連携してサービスの向上に努めつつ、宇治市の福祉拠点施設としての役割を果たせるよう、管理運営に努める。</p>										

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
関連分野	地域福祉	

事務事業名	地域福祉活動応援事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	1,146 千円
事業内容	子どもの貧困、ひきこもり、地域福祉の担い手確保などの今日的課題の解決並びに地域共生社会の実現を目指し、(福)宇治市社会福祉協議会による間接助成として、地域における主体的な取組を行う団体等の支援により地域福祉の推進を図る。		
成果・実績	◎補助団体数 12団体(令和5年度 11団体)		
事業評価	地域課題の解決に向けて既に活動している団体を支援し、地域福祉活動のさらなる充実を図った。今後も引き続き、地域共生社会の実現に向け、今日的課題の解決等に取り組む団体等を支援する必要がある。		

事務事業名	地域共生社会実現サポート事業補助金	所管課	地域福祉課
		決算額	2,112 千円
事業内容	地域において社会福祉法人等が実施する社会貢献活動並びに福祉サービスの質の向上を促進し、共に生き、共に支え合う社会の実現を図るため、京都府が実施する「地域共生社会実現サポート事業」と協調して実施する。		
成果・実績	社会福祉法人に対し補助を行い、小規模法人の処遇改善、災害時の対応力向上を図った。 ◎補助実績(延べ) : 14法人 31事業所		
事業評価	京都府と連携し、社会福祉法人等が行う地域課題の解消に向けた取組等の支援を実施した。今後も地域共生社会の実現に向け、社会福祉法人等と連携し、地域福祉の推進を図る必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
関連分野	地域福祉	

事務事業名	自殺対策計画推進事業費	所管課	地域福祉課																																				
		決算額	186 千円																																				
事業内容	平成28年4月に改正された「自殺対策基本法」に基づき、宇治市において「宇治市自殺対策計画」を策定し、「自殺者ゼロ」を目標に誰も自殺に追い込まれることのないまちの実現を目指す。																																						
成果・実績	<p>◎自殺対策関連セミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲートキーパー養成研修（行政職員向け） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">日 時</td> <td>令和6年4月25日</td> <td style="text-align: right;">※参加人数：33人</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td colspan="2">宇治市生涯学習センター第1ホール</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治市ゲートキーパー養成講座 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">日 時</td> <td>①令和6年7月13日</td> <td>②令和7年1月25日</td> <td style="text-align: right;">※参加人数：57人</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td colspan="3">①②宇治市生涯学習センター第2ホール</td> </tr> <tr> <td>講 師</td> <td colspan="3">①NPO法人ゲートキーパー支援センター 理事長 竹内 志津香 氏 ②NPO法人ゲートキーパー支援センター 認定講師 岩崎 豊 氏</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・男性のストレス対策セミナー <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">日 時</td> <td>令和7年3月29日</td> <td style="text-align: right;">※参加人数：20人</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td colspan="2">宇治市生涯学習センター第2ホール</td> </tr> <tr> <td>講 師</td> <td colspan="2">京都文教大学 臨床心理学部 講師 橋本 俊之 氏</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・若年層向け自殺予防啓発事業 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">日 時</td> <td>令和7年3月22日</td> <td style="text-align: right;">※参加人数：22人 (会場：21人、オンライン：1人)</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td colspan="2">宇治市男女共同参画センター会議室1</td> </tr> <tr> <td>講 師</td> <td colspan="2">京都文教大学 臨床心理学部 教授 松田 真理子 氏</td> </tr> </table>			日 時	令和6年4月25日	※参加人数：33人	場 所	宇治市生涯学習センター第1ホール		日 時	①令和6年7月13日	②令和7年1月25日	※参加人数：57人	場 所	①②宇治市生涯学習センター第2ホール			講 師	①NPO法人ゲートキーパー支援センター 理事長 竹内 志津香 氏 ②NPO法人ゲートキーパー支援センター 認定講師 岩崎 豊 氏			日 時	令和7年3月29日	※参加人数：20人	場 所	宇治市生涯学習センター第2ホール		講 師	京都文教大学 臨床心理学部 講師 橋本 俊之 氏		日 時	令和7年3月22日	※参加人数：22人 (会場：21人、オンライン：1人)	場 所	宇治市男女共同参画センター会議室1		講 師	京都文教大学 臨床心理学部 教授 松田 真理子 氏	
日 時	令和6年4月25日	※参加人数：33人																																					
場 所	宇治市生涯学習センター第1ホール																																						
日 時	①令和6年7月13日	②令和7年1月25日	※参加人数：57人																																				
場 所	①②宇治市生涯学習センター第2ホール																																						
講 師	①NPO法人ゲートキーパー支援センター 理事長 竹内 志津香 氏 ②NPO法人ゲートキーパー支援センター 認定講師 岩崎 豊 氏																																						
日 時	令和7年3月29日	※参加人数：20人																																					
場 所	宇治市生涯学習センター第2ホール																																						
講 師	京都文教大学 臨床心理学部 講師 橋本 俊之 氏																																						
日 時	令和7年3月22日	※参加人数：22人 (会場：21人、オンライン：1人)																																					
場 所	宇治市男女共同参画センター会議室1																																						
講 師	京都文教大学 臨床心理学部 教授 松田 真理子 氏																																						
事業評価	各種研修・講座を通じて、市民や民生児童委員、行政職員などに対して、自殺に悩む人を1人でも救うために重要な“気づき”や傾聴方法について、理解を深めることができた。ゲートキーパー講座では、過去の受講者や支援者を対象としたフォローアップを行うことができた。今後もフォローアップを行い、計画の更なる推進を図る。																																						

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	ひきこもり対策事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	5,109 千円
事業内容	ひきこもりに関する身近な相談窓口の設置をはじめ、支援団体等のネットワークの構築及び啓発事業などを通して、ひきこもりの悩みを抱える人が相談しやすい環境を作り、専門の窓口や必要な支援に繋げるとともに、ひきこもりについて市民や福祉関係者の理解を深める。		
成果・実績	<p>ひきこもり相談窓口を令和2年10月1日に開設。事業の委託を行い、ひきこもり状態にある人や家族などに対する相談、支援や居場所づくりなどを行うとともに、ひきこもりサポーター養成講座を行った。</p> <p>◎ひきこもり相談窓口設置 相談回数 : 457回 相談人数 : 80人 居場所活動 : 12回 (参加者48人) 研修・会議 : 4回 (うち、2回はサポーター養成講座を兼ねる)</p> <p>◎ひきこもりサポーター養成講座 参加人数 : 12人 講座回数 : 全3回</p>		
事業評価	宇治市ひきこもり支援ネットワークに参加している団体がどのような支援を行っているかが一目でわかるひきこもり支援マップを作成し、市内各所へ配架するとともに、ひきこもりサポーター養成講座の開催により、ひきこもり対策を推進した。今後とも、悩みを抱える本人や家族にとって相談しやすい環境整備、ひきこもり支援ネットワークの強化、窓口周知などに取り組む必要がある。		

事務事業名	くらしの資金貸付事業費	所管課	地域福祉課																																												
		決算額	2,600 千円																																												
事業内容	生活保護（生活扶助）基準の1.8倍以下の収入世帯に対し、その経済的安定と生活意欲の向上を図るため、（福）宇治市社会福祉協議会へ事務委託し、生活維持に必要な資金を年2回（夏期、冬期）、貸付限度額10万円（夏期・冬期の合計）、償還期間最長20か月返済で貸し付ける。																																														
成果・実績	<p>厳しい生活状況に置かれた市民に対して、本事業により生活の安定を図った。</p> <p>◎くらしの資金貸付実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> <th colspan="2">令和5年度</th> <th colspan="2">令和6年度</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏期</td> <td>15</td> <td>1,500</td> <td>15</td> <td>1,500</td> <td>13</td> <td>1,300</td> <td>9</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>13</td> <td>1,300</td> <td>25</td> <td>2,450</td> <td>11</td> <td>1,100</td> <td>12</td> <td>1,150</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>28</td> <td>2,800</td> <td>40</td> <td>3,950</td> <td>24</td> <td>2,400</td> <td>21</td> <td>2,050</td> </tr> </tbody> </table>				令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	夏期	15	1,500	15	1,500	13	1,300	9	900	冬期	13	1,300	25	2,450	11	1,100	12	1,150	合計	28	2,800	40	3,950	24	2,400	21	2,050
	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度																																								
	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)																																							
夏期	15	1,500	15	1,500	13	1,300	9	900																																							
冬期	13	1,300	25	2,450	11	1,100	12	1,150																																							
合計	28	2,800	40	3,950	24	2,400	21	2,050																																							
事業評価	資金貸付により、低所得者等の生活意欲の向上と自立助成に一定の効果を上げることができた。前年度と比べて令和6年度は貸付件数が減少しており、市民ニーズ等を確認の上、必要な支援に努める。																																														

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
関連分野	地域福祉	

事務事業名	住居確保給付金給付費	所管課	地域福祉課
		決算額	1,593 千円
事業内容	離職・廃業後2年以内、または自己の責や都合によらない理由で収入が減少し、離職や廃業と同程度の状況にある者のうち、住宅を喪失するおそれのある者に対して、家賃相当額の住居確保給付金を支給する。		
成果・実績	◎支給状況等		
		令和4年度	令和5年度
	支給対象者	74人	34人
	支給額合計	12,313千円	3,062千円
	支給決定者数	74人	34人
	1人	6人	0人
事業評価	「生活困窮者自立支援法」に基づき、失業者に対する住居確保のセーフティネットとして適正に支援を実施した。就労要件の緩和や再支給などの新型コロナウイルス感染症に関する特例が終了したことにより、支援対象者数が前年度と比較し大幅に減少した。今後も引き続き国、京都府等の動向に注視し、生活困窮者自立支援制度の周知拡大とあわせて、取組をより一層推進する必要がある。		

事務事業名	生活困窮世帯等の子どもの学習支援事業費	所管課	地域福祉課	
		決算額	6,273 千円	
事業内容	生活困窮世帯等の子どもとその保護者に対して、個々の世帯の置かれている生活環境の状況を踏まえ学習支援、その他養育に関する相談支援等を行う。			
成果・実績	◎支援状況等			
	実施拠点	事業回数	事業利用者数	
	総合福祉会館	105	中学1年生	7人
			中学2年生	3人
			中学3年生	9人
			合計	19人
	大久保青少年センター (令和6年8月31日以前)	46	中学1年生	2人
			中学2年生	6人
	南宇治コミュニティセンター (令和6年9月1日以降)	52	中学3年生	11人
			合計	19人
槇島コミュニティセンター (令和5年7月25日開設)	112	中学1年生	1人	
		中学2年生	9人	
		中学3年生	11人	
		合計	21人	
※大久保青少年センターは9月より南宇治コミュニティセンターへ変更				
※うち12人(中学3年生は6名)は年度途中で支援終了				
※うち2人(中学3年生は2名)は年度途中で支援拠点変更				
※中学3年生23人が希望する高校へ進学				
事業評価	学習支援を行うことにより、学習習慣の定着、居場所づくり、家庭の教育力の醸成を進めることができた。今後も、より効果の高い実施手法を検討しつつ支援を継続する。			

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
関連分野	地域福祉	

事務事業名	生活困窮世帯等の家計改善支援事業費	所管課	地域福祉課																													
		決算額	530 千円																													
事業内容	<p>家計収支の均衡が取れていない等、家計に課題を抱える相談者からの相談に応じ、相談者自身が置かれている家計状況を理解できるよう家計の「見える化」を図る。また「家計表」や「家計再生プラン」などを作成し支援の方向性を提案し、生活の再生に向けた意欲を高めるとともに、家計の視点から必要な情報提供や専門的な助言などを行い、相談者の家計管理の力を高めていく支援を行う。</p>																															
成果・実績	◎支援状況等																															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">支援内容</th> <th rowspan="2">人数</th> <th colspan="2">R6年度末までの状況</th> </tr> <tr> <th>対応中</th> <th>終結</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">支援対象者</td> <td>29人</td> <td>9人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: left;">うち、 具体的 支援の 内容</td> <td>家計管理に関する支援</td> <td>29人</td> <td>9人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>滞納の解消や給付制度利用支援</td> <td>9人</td> <td>5人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>債務整理に関する支援</td> <td>14人</td> <td>6人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>貸付のあっせん</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※延べ支援回数：176回 ※1人の対象者が複数の具体的支援を受けている場合あり</p>				支援内容		人数	R6年度末までの状況		対応中	終結	支援対象者		29人	9人	20人	うち、 具体的 支援の 内容	家計管理に関する支援	29人	9人	20人	滞納の解消や給付制度利用支援	9人	5人	4人	債務整理に関する支援	14人	6人	8人	貸付のあっせん	2人	1人
支援内容		人数	R6年度末までの状況																													
			対応中	終結																												
支援対象者		29人	9人	20人																												
うち、 具体的 支援の 内容	家計管理に関する支援	29人	9人	20人																												
	滞納の解消や給付制度利用支援	9人	5人	4人																												
	債務整理に関する支援	14人	6人	8人																												
	貸付のあっせん	2人	1人	1人																												
	◎支援内容																															
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談者からの聞き取りや書類の確認により家計表を作成する ・ 家計の見える化など家計を改善するために必要な支援を行う ・ 来庁が困難な相談者に対し、アウトリーチによる支援を行う ・ 法テラスや弁護士事務所に同行し、債務整理に関する手続きの支援を行う 																															
事業評価	<p>生活困窮者の家計の状況を把握し、中長期的な生活設計を図るために、家計に関する課題のより踏み込んだ相談に対応することができた。今後も専門性を生かし、自ら家計管理ができることを目標として、支援に取り組む。</p>																															

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
関連分野	地域福祉	

事務事業名	生活困窮者自立支援事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	10,344 千円
事業内容	生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、「生活困窮者自立支援法」に基づき、生活困窮者に対して包括的な支援を行い、自立を促進する。		
成果・実績	<p>生活困窮者に対して、自立支援計画を作成し自立に向けた支援を行った。</p> <p>◎自立相談支援事業 延べ相談者数 1,013 人 相談者の抱える課題に応じ、課題の整理や必要な情報提供、助言等を行い、自立に向けた支援を行った。</p> <p>◎就労準備支援事業 延べ支援回数 188 回 すぐに就労することが難しい生活困窮者に対し、一般就労に向けた知識や能力向上のために必要な支援を行った。</p> <p>◎一時生活支援事業 利用者数 5 人 一定の住居を持たない生活困窮者に対し、宿泊場所の供与や食事の提供を行った。</p>		
事業評価	「生活困窮者自立支援法」に基づき、生活困窮者の自立に向けて支援を行った。国、京都府の動向に注視し、引き続き生活困窮者自立支援制度の周知拡大とあわせて、取組をより一層推進する必要がある。		

事務事業名	物価高騰対策給付金事業費（追加分）	所管課	地域福祉課
		決算額	2,530,831 千円
事業内容	国民の安心・安全と持続的な成長にむけた総合経済対策における物価高騰の対応として、特に影響を受ける低所得者世帯（住民税非課税世帯等）に対し、臨時的な措置として現金を支給する。		
成果・実績	<p>◎費用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費（給付金） 2,466,640千円 ・事務費 64,161千円 <p>◎給付件数 56,994世帯</p>		
事業評価	給付対象と見込まれる世帯に、順次、確認書を送付し、円滑に給付を行うことができた。給付が完了していないものについては、令和7年度へ予算を繰り越し、早期給付に向けて取り組む。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
関連分野	地域福祉	

事務事業名	総合福祉会館長寿命化事業費	所管課	地域福祉課						
		決算額	303,700 千円						
事業内容	「公共施設アセットマネジメント推進計画」に基づき、施設の長寿命化を図るために改修を行う。								
成果・実績	<p>長寿命化改修のため、令和6年度から令和7年度にかけて改修工事を実施。令和6年度は、改修工事1年目として、各階便所工事、浴室改修工事、内装改修工事、外構工事、これらに伴う撤去・処分工事を行った。</p> <p>キュービクル改修工事は、債務負担行為により令和6年度から令和7年度にかけて実施。</p> <p>また、内装改修工事により新たに設置した会議室・相談室等に係る備品を購入した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 70%;">◎建築・機械・電気工事</td> <td style="text-align: right;">271,541千円</td> </tr> <tr> <td>◎キュービクル改修工事（令和6年度分）</td> <td style="text-align: right;">26,500千円</td> </tr> <tr> <td>◎備品購入費</td> <td style="text-align: right;">5,207千円</td> </tr> </table>			◎建築・機械・電気工事	271,541千円	◎キュービクル改修工事（令和6年度分）	26,500千円	◎備品購入費	5,207千円
◎建築・機械・電気工事	271,541千円								
◎キュービクル改修工事（令和6年度分）	26,500千円								
◎備品購入費	5,207千円								
事業評価	施設の長寿命化及び利便性向上のため、令和5年度に実施した設計に基づき、令和6・7年度の2か年にわたり改修工事を行うこととしている。改修工事1年目の令和6年度は、浴室・内装改修工事等を行うとともに、必要な備品の購入を行った。令和7年度は、改修工事2年目として、外壁・屋上防水改修工事等を行う。								

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
関連分野	地域福祉	

事務事業名	生活保護	所管課	生活支援課
		決算額	4,669,724 千円
事業内容	「日本国憲法」第25条に基づき、生活困窮者に対し健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。国が示す生活保護基準により扶助費を支給する。		
成果・実績	生活困窮者の困窮の程度に応じて必要な保護を行い、生活、住宅、教育、介護、医療、出産、生業及び葬祭など扶助を実施した。被保護世帯は令和6年度中の月平均で2,078世帯、被保護人員は2,751人であった。		
	(千円)		
	扶助の種類	扶助費	
	生活	1,347,851	
	住宅	756,274	
	教育	17,010	
	介護	106,333	
	医療	2,379,078	
	出産	0	
	生業	13,655	
	葬祭	7,781	
	施設事務費	38,588	
	就労自立給付金	1,254	
進学準備給付金	1,900		
合計	4,669,724		
事業評価	国制度に基づき適正に執行し、対象世帯の経済的な生活支援と自立助長を図った。今後も濫給・漏給の防止等、法令遵守を徹底した生活保護運営に努めるとともに、受給者の自立に向けた支援を実施する。		

事務事業名	生活保護申請者つなぎ立替金貸付事業費	所管課	生活支援課
		決算額	490 千円
事業内容	平成15年度に発足した制度であり、生活保護の申請から決定までの期間、生活困窮者のつなぎ資金として、3万円を限度として生活費の貸付を行う。		
成果・実績	◎貸付件数	45件	
	◎貸付額合計	490千円	
事業評価	適正に貸付を実施し、対象者の生活安定を図ることができた。今後も、申請者の状況に応じた一時的な支援として、関連施策との連携を図りながら、適正な実施手法を検討する。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
関連分野	地域福祉	

事務事業名	被保護者自立支援事業費	所管課	生活支援課
		決算額	10,848 千円
事業内容	生活保護世帯の自立支援を図るため、就労支援体制を強化し、就労準備支援、家計改善支援と一体的に実施する。		
成果・実績	<p>◎被保護者就労支援事業 就労支援員2名を配置し、ハローワークや就労支援事業所と連携した就労支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労支援対象者数 178名 <li style="padding-left: 40px;">うち就職（増収）者数 48名 （うち保護廃止者数 7名） <p>◎被保護者就労準備支援事業 延べ支援回数 207回 雇用による就業が著しく困難な生活保護受給者に対し、就労に必要な知識及び能力向上のために必要な支援を行った。</p> <p>◎被保護者家計改善支援事業 家計に課題を抱える被保護者からの相談に応じ、必要な情報提供や助言を行い、家計管理の力を高めるための支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実支援対象者数 4人 ・延べ支援回数 14回 		
事業評価	就労支援員を配置し、ハローワーク等との連携を強化するとともに、就労準備支援、家計改善支援の各事業を活用することができた。生活保護受給者の課題解決に向けて、引き続き一体的実施を図る必要がある。		

事務事業名	中国残留邦人生活支援事業費	所管課	生活支援課														
		決算額	33,382 千円														
事業内容	「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律」の一部が改正されたことにより、平成20年4月1日より国からの法定受託事務として支援給付事業を行うこととされたもの。支援給付の内容はこれまでの生活保護費に代わるものである。																
成果・実績	<p>中国残留邦人等帰国者に対し、支援給付費の支給及び日本語教室の開催などの支援を行った。</p> <p>◎中国残留邦人等支援給付費 31,661千円（対象：7世帯、9人） (千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <tr> <td style="text-align: center;">支援の種類</td> <td style="text-align: center;">生活</td> <td style="text-align: center;">住宅</td> <td style="text-align: center;">介護</td> <td style="text-align: center;">医療</td> <td style="text-align: center;">その他</td> <td style="text-align: center;">合計</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">支援給付費</td> <td style="text-align: center;">7,860</td> <td style="text-align: center;">1,664</td> <td style="text-align: center;">490</td> <td style="text-align: center;">21,647</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">31,661</td> </tr> </table> <p>◎中国残留邦人等支援事務費 1,064千円 ◎中国残留邦人日本語教室等委託料 657千円</p>			支援の種類	生活	住宅	介護	医療	その他	合計	支援給付費	7,860	1,664	490	21,647	0	31,661
支援の種類	生活	住宅	介護	医療	その他	合計											
支援給付費	7,860	1,664	490	21,647	0	31,661											
事業評価	国制度に基づき、対象者の生活支援を実施した。今後も引き続き適正な事務執行に努める。																

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
関連分野	障害者福祉	

事務事業名	特別障害者手当等給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	144,388 千円
事業内容	在宅の重度障害児・者の福祉の向上を図るため、特別障害者手当、障害児福祉手当、経過的福祉手当を支給する。		
成果・実績	在宅の重度障害児・者に対し手当を支給し、経済的負担の軽減を図った。 ◎特別障害者手当支給延べ人数 3,673 人 ◎障害児福祉手当支給延べ人数 2,480 人 ◎経過的福祉手当支給延べ人数 15 人		
事業評価	国制度に基づき、適正に執行し、在宅の重度障害児・者の経済的負担の軽減を図った。今後も適正な事業運営に努める。		

事務事業名	障害者介護給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	4,260,793 千円
事業内容	障害福祉サービスの支給決定を受けた障害児・者が、都道府県の指定を受けた事業所と契約し、自立生活に必要な支援を受けることにより、障害児・者が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活を営むことができるよう介護給付費の給付を行う。		
成果・実績	「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、介護給付費の給付を行った。 ◎障害者介護給付利用延べ人数 33,812 人		
事業評価	国制度に基づき、適正に執行し、個々の障害の状況に応じた給付により、障害児・者の福祉の推進を図った。今後も適正な事業運営に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
関連分野	障害者福祉	

事務事業名	障害者補装具費	所管課	障害福祉課
		決算額	64,430 千円
事業内容	障害児・者の失われた身体機能を補完・代替するために用いられる用具である補装具の購入または修理に要する費用の一部または全部を支給する。		
成果・実績	義肢・装具・車いすなどの補装具の購入及び修理に要する費用を支給した。 ◎支給延べ件数 558 件		
事業評価	国制度に基づき適正に事務を執行し、引き続き障害児・者の福祉の推進に努める。		

事務事業名	障害者意思疎通支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	6,947 千円
事業内容	聴覚障害者に対し、日常生活及び社会生活に必要な意思疎通の円滑化を図るため、手話通訳者・要約筆記者の派遣を行う。		
成果・実績	聴覚障害者の意思疎通支援を行うため、手話通訳者・要約筆記者を派遣した。 ◎手話通訳者派遣延べ件数 250 件 ◎要約筆記者派遣延べ件数 394 件		
事業評価	手話通訳者・要約筆記者を派遣し、聴覚障害者の意思疎通の円滑化及び社会参加を促進した。聴覚障害以外の障害者に対しても意思疎通を円滑に行い、社会参加を促進できるよう、ニーズの把握・分析に努め、今後の事業実施の手法を検討する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
関連分野	障害者福祉	

事務事業名	手話奉仕員養成講座開設事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	1,730 千円
事業内容	聴覚障害者の意思疎通支援を行う手話奉仕員を養成する講座を開催する。		
成果・実績	<p>手話奉仕員を養成するため、市内在住・在勤・在学の方を対象とし、1か年の講座課程で手話奉仕員養成講座を実施した。</p> <p>◎受講者数 14 人</p>		
事業評価	講座課程を1か年で実施することにより、早期に手話奉仕員を養成し、京都府の養成講座につなげられている。手話通訳者の高齢化が進むなか、養成した受講者が聴覚障害者の意思疎通支援に携わることができるような環境を構築するなど、さらに成果が高まる手法を検討する必要がある。		

事務事業名	障害者移動支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	83,601 千円
事業内容	屋外での移動が困難な障害児・者に対し、地域における自立生活及び社会参加を促すことを目的に外出のための支援を行う。		
成果・実績	<p>屋外での移動が困難な障害児・者に対して、外出を支援した。</p> <p>◎利用時間 28,756 時間</p>		
事業評価	屋外での移動が困難な障害児・者に対して外出のための支援を実施し、障害児・者の地域における自立生活及び社会参加を促進した。今後も引き続き、利用者ニーズの把握・分析などに努め、支援に取り組む。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
関連分野	障害者福祉	

事務事業名	障害者日中一時支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	86,772 千円
事業内容	障害児・者の家族の就労支援及び障害児・者を日常的に介護している家族の一時的な休息を目的に障害児・者に活動の場を提供し、社会に適応するための日常的な訓練等の支援を行う。		
成果・実績	<p>日中に障害児・者の活動の場を提供し、障害者等の家族の就労支援及び一時的な休息を図った。</p> <p>◎利用時間 79,625 時間</p>		
事業評価	屋外での移動が困難な障害児・者に対して外出のための支援を実施し、障害児・者の地域における自立生活及び社会参加を促進した。今後も引き続き、利用者ニーズの把握・分析を行い支援に取り組む。		

事務事業名	福祉タクシー・ガソリン料金助成事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	27,610 千円
事業内容	外出困難な重度心身障害者の日常生活の利便を図り、生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進を図るため、タクシー料金及び自動車の燃料費の一部を助成する。		
成果・実績	<p>1か月あたり1,000円の福祉タクシー利用券又は1か月あたり700円の福祉ガソリン利用券を交付し、タクシー料金及び自動車の燃料費の一部助成を行った。</p> <p>◎交付件数 3,408 件</p>		
事業評価	対象者に福祉タクシー利用券及び令和2年度より福祉ガソリン券を交付し、外出困難な重度心身障害者の社会参加の促進を図った。今後も引き続き、効果的な取組となるよう検討する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
関連分野	障害者福祉	

事務事業名	各種自己負担助成金	所管課	障害福祉課
		決算額	2,826 千円
事業内容	身体障害者手帳及び精神障害者保健福祉手帳を交付（新規、再交付）申請する際に要する医師の診断書料の全部または一部を助成することで、障害児・者の経済的負担を軽減する。		
成果・実績	障害者手帳の交付申請等に要する診断書料の自己負担に対して助成を行った。 ◎延べ助成件数 1,372 件		
事業評価	障害者手帳の交付申請に要する診断書料を助成し、障害児・者の経済的な負担の軽減を図った。今後も適正な事業運営に努める。		

事務事業名	重度身体障害者訪問入浴サービス事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	4,381 千円
事業内容	在宅において家族等の介助による入浴が困難な重度身体障害児・者に対し、移動入浴車により家庭に訪問し、入浴サービスを実施することによって、在宅における家族等の介護負担の軽減と重度身体障害児・者の福祉の向上を図る。		
成果・実績	入浴が困難な重度身体障害児・者に対して、訪問入浴サービスを提供した。 ◎サービス利用者延べ人数 439 人		
事業評価	訪問入浴サービスを提供し、障害児・者の家族の介護負担を軽減するとともに障害児・者の在宅福祉の向上を図った。利用状況等を的確に把握する中で、今後の実施手法を検討する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
関連分野	障害者福祉	

事務事業名	障害者施設等通所交通費助成金	所管課	障害福祉課
		決算額	11,257 千円
事業内容	公共交通機関を利用して障害者施設等に通所する障害者に対し、通所に要した交通費の一部を助成する。		
成果・実績	公共交通機関を利用して障害者施設等に通所している障害者に対し、交通費の一部の助成を行った。 ◎延べ助成者数 642 人		
事業評価	施設に通所する障害者に交通費の一部助成を実施することにより、経済的な負担の軽減を図るとともに、障害者の自立生活及び社会参加を促進した。今後も引き続き、障害者の社会参加や負担軽減に取り組む。		

事務事業名	心身障害者介護支援（レスパイトサービス）事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	2,967 千円
事業内容	在宅において心身障害児・者を介護している介護者に対して、一時的に心身障害児・者が日常生活を支障なく営むために必要な設備を有している障害者施設にて介護支援を行い、介護者の負担軽減を図る。		
成果・実績	介護者の負担軽減を図るため、心身障害児・者の一時的な介護を実施した。 ◎利用回数 1,687 回		
事業評価	在宅障害児・者の一時的な介護支援を行い、介護に従事する家族等の負担軽減を図った。今後も引き続き、セーフティネットとしての役割を踏まえ、支援に取り組む。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
関連分野	障害者福祉	

事務事業名	障害者相談支援事業費	所管課	障害福祉課				
		決算額	32,127 千円				
事業内容	障害児・者が地域において自立した日常生活と社会生活を営むことができるように、障害福祉サービス等の利用に関する相談及び情報提供、その他社会資源を活用するための支援を行う障害者相談支援事業所を運営するとともに、成年後見制度の利用支援等を行う。						
成果・実績	川東エリアに設置しているセンター1か所に加え、11月から川西エリアに新たな相談支援事業所を開設したことで、昨年度に比べ相談件数が増加した。 ◎相談件数 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和5年度</td> <td style="padding: 5px;">令和6年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">4,170件</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">4,915件</td> </tr> </table> 成年後見制度に係る費用の負担が経済的に困難な65歳未満の障害者に対し、申立費用及び後見人等報酬を助成することにより、制度の利用を支援した。 ◎市長申立件数 3 件 ◎成年後見扶助件数 42 件			令和5年度	令和6年度	4,170件	4,915件
令和5年度	令和6年度						
4,170件	4,915件						
事業評価	新たな事業所が開設され、より身近にかつきめ細かく障害児・者及びその家族などの各種の相談に応じることが可能となり、地域生活の支援及び福祉の向上に寄与することができた。今後は、相談件数の動向や相談内容の把握・分析に基づき、事業の方向性を明確化する中で、相談支援体制の充実を更に図る必要がある。また、関係部局・機関と連携した成年後見制度の利用支援のあり方についても検討する必要がある。						

事務事業名	障害者生活支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	3,764 千円
事業内容	障害者等に対し、日常生活上必要な訓練・指導や本人活動支援などを行うことにより、生活の質的向上を図り、社会参加を促進する。		
成果・実績	宇治市視覚障害者協会に委託し、中途失明者を対象に点字講習会を行った。また、精神障害者を対象に、創作及びゲームなどのプログラムを通して、作業能力及び生活能力を高め、社会生活への適応を図ることができるように、うじ安心館等において精神障害者社会復帰集団指導事業を実施した。 ◎中途失明者点字講習会開催数 54 回 ◎精神障害者社会復帰集団指導事業 <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 37 回 ・延べ参加者数 142 人 		
事業評価	様々な生活支援事業を実施し、障害者の社会生活への適応を図った。社会的な交流の場としての役割を有する一方、社会復帰に向けた他事業へのつながりが課題となっており、より一層効果的な事業実施となるよう手法を検討する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
関連分野	障害者福祉	

事務事業名	障害者自立支援医療費(育成医療)	所管課	障害福祉課
		決算額	759 千円
事業内容	<p>「児童福祉法」第4条第2項に規定する障害児(障害に係る医療を行わないときは将来障害を残すと認められる疾患がある児童を含む。)で、その身体障害を除去、軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できる者に対して提供される、生活の能力を得るために必要な自立支援医療費の支給を行う。</p>		
成果・実績	<p>生活の能力を得るために必要な医療費の一部を21人に支給した。</p>		
事業評価	<p>国・京都府制度に基づき、適正に執行し、障害児の身体障害を除去及び軽減させる治療を促進することができた。今後も的確かつ円滑な事務の遂行に努める。</p>		

事務事業名	障害者音訳事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	610 千円
事業内容	<p>視覚障害者または文字による情報の取得が困難な方に、宇治市の広報等、市民生活を営むうえで必要度の高い情報を音訳により定期的に提供することにより、福祉の向上と社会参加の促進を図る。</p>		
成果・実績	<p>音訳事業の利用希望者に対し、市政だより等の録音物を作成し、情報提供を行った。</p> <p>◎利用者数 57人</p>		
事業評価	<p>視覚に障害がある方や識字が困難な方などに定期的に市政情報を提供し、福祉の向上と社会参加の促進を図った。今後も利用者ニーズの把握・分析に努めながら実施する。</p>		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
関連分野	障害者福祉	

事務事業名	障害者文化芸術活動振興事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	800 千円
事業内容	庁舎内にアートスペースを整備し、障害のある方の創作活動と社会参加を促進するとともに、多分野連携による障害者アートの取組を通じて共生社会の実現を図る。		
成果・実績	<p>庁舎2階エスカレーター前に常設のアートスペース（カフェ併設）を新たに整備し、展覧会及び関連企画を実施した。</p> <p>◎展覧会 尾上瑞紀展ー地球は人間だけが主役じゃないー 会期：令和6年11月25日（月）～令和7年5月16日（金）</p> <p>◎関連企画 オープニングセレモニー 開催日：令和6年11月25日（月） ワークショップ”紙粘土でウミウシをつくろう！” 開催日：令和7年2月8日（土） 参加者：小学生親子12組30名</p>		
事業評価	障害者アートの多様な表現や魅力、可能性を広く発信し、共生社会の実現に向けた取組を推進することができた。引き続き、多分野と連携した事業に取り組む。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	福祉こども部
関連分野	子育て環境	

事務事業名	こどもショートステイ事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	840 千円
事業内容	保護者が疾病、疲労その他の身体上若しくは精神上または環境上の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合に、実施施設において、児童の養育・保護を行う。		
成果・実績	<p>一時的に家庭で子育てが困難となった場合に、児童養護施設等で一定期間養育する事業を実施した。</p> <p>◎実施施設</p> <p style="margin-left: 20px;">桃山学園（京都市伏見区） 京都大和の家（精華町） 平安養育院（京都市東山区） 和敬学園（京都市上京区） メリーアティックボンド（京都市伏見区） ヴェインテ（京都市山科区）</p> <p>◎利用日数</p> <p style="margin-left: 20px;">137日</p>		
事業評価	より利用しやすい環境づくりに努めており、一定数の利用があった。今後も引き続きセーフティネットとしての機能を維持するとともに、必要な方に必要な支援を活用してもらえよう、制度の周知に努める。		

事務事業名	ファミリー・サポート・センター運営費	所管課	こども福祉課
		決算額	9,682 千円
事業内容	子育て等の援助を行いたい人と受けたい人で構成される会員組織であるファミリー・サポート・センターにおいて、会員相互間の活動を支援する。JR宇治駅前市民交流プラザ「ゆめりあ うじ」に事務所を設置している。		
成果・実績	<p>事業委託先（社会福祉法人宇治福祉園）においてファミリー・サポート・センターを運営し、地域における相互援助活動を支援した。</p> <p>◎援助会員数</p> <p style="margin-left: 20px;">129人</p> <p>◎依頼会員数</p> <p style="margin-left: 20px;">1,058人</p> <p>◎両方会員数</p> <p style="margin-left: 20px;">11人</p> <p>◎利用件数</p> <p style="margin-left: 20px;">752件</p>		
事業評価	市民等で構成される会員組織による地域における相互援助活動を支援し、安心して働くことのできる環境づくりを推進した。今後も引き続き、委託事業者と連携しながら、ファミリー・サポート・センター事業の充実に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	福祉こども部
関連分野	子育て環境	

事務事業名	地域子育て支援拠点事業費	所管課	こども福祉課																																												
		決算額	83,510 千円																																												
事業内容	地域子育て支援拠点において、子育て世代や親子が気軽に集い、相互に交流を図る場を提供するとともに、子育てについての相談及び情報の提供、講習などの実施を行う。																																														
成果・実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">名称</th> <th style="width: 10%;">運営</th> <th style="width: 20%;">延べ利用者数</th> <th style="width: 20%;">相談件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 西部地域子育て支援センター</td> <td>直営</td> <td>4,220 人</td> <td>109 件</td> </tr> <tr> <td>2 げんきひろば</td> <td>委託</td> <td>15,015 人</td> <td>709 件</td> </tr> <tr> <td>3 南部地域子育て支援センター</td> <td>委託</td> <td>2,279 人</td> <td>104 件</td> </tr> <tr> <td>4 東部地域子育て支援センター</td> <td>委託</td> <td>3,713 人</td> <td>86 件</td> </tr> <tr> <td>5 北部地域子育て支援センター</td> <td>委託</td> <td>7,565 人</td> <td>137 件</td> </tr> <tr> <td>6 りぼん</td> <td>委託</td> <td>9,369 人</td> <td>1,046 件</td> </tr> <tr> <td>7 ぶんきょうにこにこルーム</td> <td>委託</td> <td>6,728 人</td> <td>108 件</td> </tr> <tr> <td>8 ひあ にしおぐら</td> <td>委託</td> <td>2,309 人</td> <td>563 件</td> </tr> <tr> <td>9 toridori (とりどり)</td> <td>委託</td> <td>5,881 人</td> <td>340 件</td> </tr> <tr> <td>10 ぽけっと</td> <td>委託</td> <td>3,398 人</td> <td>473 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※延べ利用者数・相談件数は出張ひろば分を含む。</p>			名称	運営	延べ利用者数	相談件数	1 西部地域子育て支援センター	直営	4,220 人	109 件	2 げんきひろば	委託	15,015 人	709 件	3 南部地域子育て支援センター	委託	2,279 人	104 件	4 東部地域子育て支援センター	委託	3,713 人	86 件	5 北部地域子育て支援センター	委託	7,565 人	137 件	6 りぼん	委託	9,369 人	1,046 件	7 ぶんきょうにこにこルーム	委託	6,728 人	108 件	8 ひあ にしおぐら	委託	2,309 人	563 件	9 toridori (とりどり)	委託	5,881 人	340 件	10 ぽけっと	委託	3,398 人	473 件
名称	運営	延べ利用者数	相談件数																																												
1 西部地域子育て支援センター	直営	4,220 人	109 件																																												
2 げんきひろば	委託	15,015 人	709 件																																												
3 南部地域子育て支援センター	委託	2,279 人	104 件																																												
4 東部地域子育て支援センター	委託	3,713 人	86 件																																												
5 北部地域子育て支援センター	委託	7,565 人	137 件																																												
6 りぼん	委託	9,369 人	1,046 件																																												
7 ぶんきょうにこにこルーム	委託	6,728 人	108 件																																												
8 ひあ にしおぐら	委託	2,309 人	563 件																																												
9 toridori (とりどり)	委託	5,881 人	340 件																																												
10 ぽけっと	委託	3,398 人	473 件																																												
事業評価	各施設において身近で気軽に立ち寄ってもらえる雰囲気づくりに努めており、多くの子育て世代や親子の利用があった。今後も各施設の特徴を活かすとともに、互いに情報共有しながらより良い拠点作りに努める。																																														

事務事業名	要支援対象児童等見守り強化事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	10,021 千円
事業内容	児童虐待のリスクを軽減するため、地域の中で支援を必要とする子どものいる家庭を訪問し、食事の提供等を通じて、子どもの状況の把握や他の支援につなぐ等の見守り強化を行う。		
成果・実績	<p>訪問による声かけ、食事の提供等により児童の現認、家庭との関係構築を行い児童虐待防止に努めた。</p> <p>◎訪問家庭数 23家庭 ◎対象児童数 51人 ◎訪問回数 106回（延べ対象児童数213人）</p>		
事業評価	見守りが必要な家庭や今まで接触しづらかった家庭等について、本事業を実施することで児童の現認、必要な支援へのつなぎを行うことができた。今後も引き続き、訪問を続けることにより見守りが必要な家庭の状況を把握し支援につなげる。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	福祉こども部
関連分野	子育て環境	

事務事業名	子育ておうえん環境整備事業費	所管課	こども福祉課																											
		決算額	1,535千円																											
事業内容	子育て世代が安心して外出し周遊できるよう、中宇治地域(宇治中学校区)、小倉地域(北宇治中学校・西宇治中学校・西小倉中学校区)、木幡・黄檗地域(木幡中学校・黄檗中学校・東宇治中学校区)の店舗や団体が実施する環境整備等に対する支援を行う。																													
成果・実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="3">子育て支援</td> </tr> <tr> <td>対象経費</td> <td colspan="2">幼児用玩具、子育て世代イベント等</td> </tr> <tr> <td>補助上限</td> <td colspan="2">20万円</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td colspan="2">2/3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>件数</td> <td>補助金額</td> </tr> <tr> <td>中宇治</td> <td>7件</td> <td>993千円</td> </tr> <tr> <td>小倉</td> <td>3件</td> <td>536千円</td> </tr> <tr> <td>木幡・黄檗</td> <td>1件</td> <td>6千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11件</td> <td>1,535千円</td> </tr> </table>			子育て支援			対象経費	幼児用玩具、子育て世代イベント等		補助上限	20万円		補助率	2/3			件数	補助金額	中宇治	7件	993千円	小倉	3件	536千円	木幡・黄檗	1件	6千円	合計	11件	1,535千円
子育て支援																														
対象経費	幼児用玩具、子育て世代イベント等																													
補助上限	20万円																													
補助率	2/3																													
	件数	補助金額																												
中宇治	7件	993千円																												
小倉	3件	536千円																												
木幡・黄檗	1件	6千円																												
合計	11件	1,535千円																												
事業評価	店舗や商店街等において子育て世代向けのイベント等を実施し、気軽に外出し、安心して過ごせる取組により、子育てにやさしまちづくりの推進に努めた。引き続き取組を行うとともに、成果・実績などを踏まえて更なる制度周知のための広報方法や、今後の全市展開に向けての検討を行う。																													

事務事業名	乳幼児健康支援一時預かり事業費	所管課	こども福祉課												
		決算額	22,516千円												
事業内容	病気回復期等で集団保育が困難であり、保護者の就労の都合等により家庭での保育が困難な児童に対して保育と看護を行う。平成14年11月から浅妻医院、平成27年7月から宇治徳洲会病院の2か所で実施している。														
成果・実績	<p>児童の病気回復期における保護者の就労を支援するため、市内の医療機関で病児保育を実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">実施施設</td> <td>延べ利用者数</td> </tr> <tr> <td colspan="2">浅妻医院パピールーム（浅妻医院）</td> <td>482人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">宇治徳洲会病院ひまわりルーム（宇治徳洲会病院）</td> <td>251人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>733人</td> </tr> </table>			実施施設		延べ利用者数	浅妻医院パピールーム（浅妻医院）		482人	宇治徳洲会病院ひまわりルーム（宇治徳洲会病院）		251人	合計		733人
実施施設		延べ利用者数													
浅妻医院パピールーム（浅妻医院）		482人													
宇治徳洲会病院ひまわりルーム（宇治徳洲会病院）		251人													
合計		733人													
事業評価	医療機関での病児保育を実施し、児童の病気回復期等における保護者の就労を支援した。緊急時に対応する子育て支援施策として、今後も国の制度改正に対応しつつ適正に実施する。														

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	ヤングケアラー支援事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	4,698 千円
事業内容	ヤングケアラーに関する相談・支援を実施するため、子ども家庭総合支援拠点にヤングケアラー・コーディネーターを配置し、相談窓口を設置して相談・支援を行う。		
成果・実績	<p>コーディネーターによる相談・支援を実施するとともに、関係者向けの研修会等を実施した。</p> <p>◎相談窓口開設 電話相談の他、家庭訪問や保護者面談、関係機関と連携し支援を行った。</p> <p>◎研修会の実施 NPO法人等から講師を招いた研修会の企画運営や、市主催の出張研修会を実施した。</p> <p>◎その他 関係団体の会議等での広報活動やオレンジリボン・パープルリボンキャンペーンにあわせた啓発活動を実施するとともに、京都府ヤングケアラー総合支援センターとの連携を図った。</p>		
事業評価	ヤングケアラーに関する理解を深めるための研修会等を継続して実施するとともに、個別ケースに対しては、それぞれの家庭環境に寄り添いながら必要な相談・支援を行うことで、ヤングケアラーの早期発見及び環境改善を図った。今後も引き続き相談・支援に取り組むとともに、関係機関との連携しながら啓発に努める。		

事務事業名	子育て世帯訪問支援事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	757 千円
事業内容	食事や生活環境が不適切な状態にある家庭、出産前において支援が特に必要な妊婦のいる家庭、ヤングケアラーのいる家庭などに対し、訪問支援員による家事・育児等の支援や助言等を行う。		
成果・実績	<p>各家庭に寄り添い、家事・育児支援等を行うことで養育環境の改善を図り、児童虐待等のリスクの防止に努めた。</p> <p>◎支援家庭数 25家庭 ◎支援件数 81回</p>		
事業評価	支援を必要とする家庭に訪問し、それぞれの家庭が抱える不安や悩みに傾聴するとともに、食事の準備等の家事支援及び育児支援を行い養育環境の改善を図ることができた。今後も引き続き支援を実施し、児童虐待等のリスク防止に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	福祉こども部
関連分野	子どもの成長・発達	

事務事業名	子育て支援総合コーディネーター事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	5,681 千円
事業内容	子育て家庭への支援の充実を図るため、「来庁者子育て支援コーナー」に子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）と保育士を配置し、来庁者の子どもの一時預かり及び子育て支援全般に関する相談を実施する。		
成果・実績	<p>市役所1階市民交流ロビーにおいて、「来庁者子育て支援コーナー」を開設し、通年運営した。</p> <p>◎職員配置 保育士2人 子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）1人（週2日）</p> <p>◎利用人数 預かり 1,003人 相談 929人</p>		
事業評価	来庁者の子どもの一時預かり及び子育て全般に関する相談を実施し、子育て家庭への支援の充実を図った。今後も利用状況の分析に努めながら、気軽に相談しやすい環境づくりを行う。		

事務事業名	子ども・子育て会議運営費	所管課	こども福祉課
		決算額	710 千円
事業内容	宇治市の子ども・子育て支援に関して必要な事項を調査・審議するため、宇治市子ども・子育て会議を設置し、運営する。		
成果・実績	<p>「宇治市子ども・子育て支援事業計画」及び「宇治市子どもの貧困対策推進計画」の進捗状況の管理・評価などを行うとともに、「宇治市こどもまんなかプラン」策定にかかるニーズ調査結果や計画策定に関する意見を聴取するために、会議を開催した。</p> <p>◎子ども・子育て会議 委員数 24人 第1回：令和6年8月19日 第2回：令和6年10月15日 第3回：令和6年11月25日 第4回：令和7年2月20日</p>		
事業評価	「宇治市子ども・子育て会議」を開催し、令和6年度の取組状況の報告、令和5年度の取組成果等の報告を行うとともに、令和7年度からの新たな計画となる「宇治市こどもまんなかプラン」策定に向けての検討を行った。令和7年度からは新計画の進捗管理を図る。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	福祉こども部
関連分野	子どもの成長・発達	

事務事業名	児童手当費	所管課	こども福祉課
		決算額	2,691,739 千円
事業内容	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的に児童手当を支給する。		
成果・実績	<p>高校生年代までの児童を養育している人に児童1人につき月額10,000円もしくは15,000円または30,000円（児童数、児童の年齢によって異なる）を支給した。 ただし、所得制限限度額を超過している世帯には、特例給付として児童1人につき月額5,000円（一律）を支給した（令和6年9月まで）。 令和6年10月から制度改正により所得制限が撤廃され、高校生年代まで支給対象拡大、第3子以降加算30,000円、支給月が年3回から年6回（偶数月）に変更された。</p> <p>◎受給世帯 13,653世帯 ◎支給対象児童数 23,144人 ◎児童手当扶助額 2,686,180千円</p>		
事業評価	国制度に基づき適正に支給を行い、子育て家庭における生活支援に努めた。今後も市民への制度の周知及び適切な支給事務の遂行に努める。		

事務事業名	ひとり親家庭自立支援給付事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	15,808 千円
事業内容	ひとり親家庭の親の自主的な能力開発と資格取得を支援し自立の促進を図るため、養成機関等において資格の取得を目的とした講座を受講した場合に給付金を支給し、就職に有利で生活の安定に資する資格の取得を促進する。		
成果・実績	<p>ひとり親家庭の親が養成機関等において資格の取得のため、講座を受講した場合に給付金を支給した。</p> <p>◎高等職業訓練促進給付金支給件数 訓練促進給付金 13件 修了支援給付金 4件</p> <p>◎自立支援教育訓練給付金支給件数 6件 ◎高等学校卒業程度認定試験合格支援事業支給件数 0件</p>		
事業評価	高等職業訓練促進給付金等の支給により資格取得を支援し、ひとり親家庭の就業の促進と自立支援を図った。引き続き、国の制度改正に対応しつつ、利用者拡大に向けて一層の周知と相談体制の充実を検討する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	福祉こども部
関連分野	子どもの成長・発達	

事務事業名	児童扶養手当費	所管課	こども福祉課
		決算額	661,654千円
事業内容	離婚等の理由により父または母のいない（父または母が重度障害の状態である場合を含む）児童を養育する父または母などに対して手当を支給することにより、児童の福祉の増進を図る。		
成果・実績	<p>児童等の健やかな成長に資するため、児童扶養手当を支給した。</p> <p>◎受給資格世帯 1,438世帯 （うち受給世帯 1,186世帯）</p> <p>◎支給対象児童数 1,809人</p> <p>◎児童扶養手当扶助費 660,997千円</p>		
事業評価	国制度に基づき、手当受給申請に対して適正に審査・支給を行い、ひとり親家庭の生活の安定と自立を促進し、児童福祉の増進を図った。国の制度改正に対応しつつ、今後も市民への制度の周知及び適切な支給事務の遂行に努める。		

事務事業名	奨学金返還支援事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	17,029千円
事業内容	若年層の宇治市への定住促進、「子育てしやすいまちづくり」を目的に、日本学生支援機構等の奨学金の返還に対する支援金を最長5年間交付する。子育て世帯を優先とし、対象年度に結婚や出産のライフイベントがあった年度は支援額を増額する。		
成果・実績	<p>対象者（申請前年度の3月31日時点で、満35歳未満で、今後5年以上宇治市に在住予定、就労していること、前年中の合計所得金額が276万円以下であること、宇治市に納付すべき市税等を滞納していないことなどの要件をすべて満たす者）に支援金を交付した。</p> <p>◎返還支援額 前年度10月から1年間の奨学金返還額の1/2（85,000円上限） ライフイベント時は返還額の3/4（130,000円上限）</p> <p>◎支援者数 200人 うち令和6年度新規登録者数 50人 （うち子育て世帯36人・ライフイベント該当者12人）</p>		
事業評価	奨学金の返還支援事業により、若年層の宇治市への定住促進を図るとともに、子育て世帯を優先とし、結婚や出産のライフイベントがあった年度は増額することで「子育てしやすいまちづくり」の実現に努めた。今後も引き続き、効果的な取組となるよう検討する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	福祉こども部
関連分野	子育て環境	

事務事業名	育成学級運営費	所管課	こども福祉課
		決算額	454,553 千円
事業内容	宇治市立小学校に就学する児童であって、下校しても保護者の就労等の理由により保護に欠ける児童を組織的に指導し、危険防止と心身の健全な育成を図る。		
成果・実績	<p>放課後留守家庭児童の健全育成のため育成学級を運営した。</p> <p>◎開設学校数 20校</p> <p>◎学級数 20学級（44クラス）※令和6年5月1日現在</p> <p>◎入級児童数 2,038人 ※令和6年5月1日現在</p> <p>◎医療的ケア児受入実績 0人 ※令和6年5月1日現在</p>		
事業評価	育成学級の運営により、放課後に保護者が不在である児童の健全な育成を図ることができた。今後も子ども・子育て支援新制度を踏まえ、教育部と連携した総合的な放課後児童対策を引き続き検討する必要がある。		

事務事業名	育成学級緊急安全対策事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	4,449 千円
事業内容	安全・安心な育成学級運営のため、学校休業日である土曜日及び夏季休業日などに各学級に安全対策支援員等を配置し、児童の安全確保を図る。		
成果・実績	安全対策支援員等（1日4時間程度）を学校休業日に配置し、校内への不審者侵入を防ぐため、巡視及び来校者の確認などを行った。		
事業評価	安全対策支援員等の配置により、学校休業日における児童の安全確保を図り、安全・安心な学級運営に努めた。引き続き安全確保を図りつつ、今後の実施手法について検討する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	福祉こども部
関連分野	子育て環境	

事務事業名	民間学童クラブ運営補助金	所管課	こども福祉課
		決算額	21,130 千円
事業内容	民間学童クラブの安定運営を図るとともに、民間事業者が新規参入しやすい環境整備を行うことで、今後の受入態勢を拡大し、学童保育の待機児童解消を図る。		
成果・実績	<p>1人あたりの面積などの条例基準を満たし、放課後児童健全育成事業の届出をしている民間事業者に対し、補助を行った。</p> <p>放課後児童健全育成事業の待機児童の解消を図るため、令和6年度より、育成学級の定員超過分の児童数に応じた補助から受入児童数に応じた補助に変更するなど、制度の拡充を行った。</p> <p>◎補助対象民間事業者数 4法人</p> <p>◎補助対象児童数 延べ3,660人</p>		
事業評価	民間事業者の放課後児童健全育成事業への補助を行い、待機児童の解消と放課後の児童の健全育成を図った。令和6年度は補助制度の拡充により、補助対象の民間事業者及び児童数が増加した。今後も利用ニーズの把握に努め、多様な形態による事業実施を検討する。		

事務事業名	育成学級施設整備費	所管課	こども福祉課
		決算額	32,328 千円
事業内容	「公共施設アセットマネジメント推進計画」に基づき、施設の長寿命化を図るために改修を行う。		
成果・実績	<p>令和6年度は、長寿命化のための改修工事（空調・トイレ）を行った。</p> <p>◎工事請負費 32,328千円</p> <p>◎対象施設 4施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部育成学級 ・平盛育成学級 ・北楨島育成学級 ・岡屋育成学級 		
事業評価	長寿命化のための改修工事を円滑に行うことができた。今後も他施設の長寿命化及び利便性の向上を図る。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	福祉こども部
関連分野	子どもの成長・発達	

事務事業名	子ども・子育て支援事業計画策定費	所管課	こども福祉課
		決算額	4,448 千円
事業内容	「第2期宇治市子ども・子育て支援事業計画」及び「宇治市子どもの貧困対策推進計画」の計画期間が満了することに伴い、これらを承継する計画を一体的にまとめた「宇治市子どもまんなかプラン」の策定を行う。		
成果・実績	<p>宇治市の宝であるこどもを中心に考え、安心して子育て・子育てができるよう切れ目のない支援を行うとともに、地域が一体となって、子どもの夢を応援し、叶えることのできるまちを目指し、「宇治市子どもまんなかプラン」を策定した。</p> <div style="text-align: center;">  </div>		
事業評価	子ども・子育て会議を通して、有識者・関係各所から意見をいただくことで本市の課題や方向性を整理し、パブリックコメント等を通じて、より良い計画を策定することができた。今後は計画に基づき、子どもまんなかの事業の展開に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	福祉こども部
関連分野	子育て環境	

事務事業名	民間保育所等運営経費	所管課	保育支援課
		決算額	4,499,433 千円
事業内容	子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図るため、民間保育所（園）5園・民間認定こども園14園における児童の安全と良好な保育環境を確保する。		
成果・実績	<p>◎民間保育所（園）・民間認定こども園数 19園</p> <p style="margin-left: 20px;">・定員 3,080人 延べ入所数 36,315人</p> <p>◎民間保育所等運営費 3,836,797千円</p> <p>◎延長保育促進基盤整備事業費 41,307千円</p> <p>◎障害児特別保育費（負担金、補助及び交付金） 109,164千円 令和6年度より医療的ケア児を受入れる施設への支援を拡充 医療的ケア児受入実績 2施設 2人</p> <p>◎民間保育所等運営補助金 512,165千円</p>		
事業評価	民間保育所（園）・民間認定こども園19園の運営及び各種保育事業に対する補助を実施することにより、児童の安全と良好な保育環境の確保に努め、子育て支援を進め児童の健全な心身の発達を図った。今後も国の制度変更等の動向に留意しながら、各種保育ニーズに対応する必要がある。		

事務事業名	病児・病後児保育費	所管課	保育支援課
		決算額	40,750 千円
事業内容	保育中に微熱を出すなど体調不良となった児童に対し、保護者が迎えに来るまでの間、保育所（園）・認定こども園の専用スペースにおいて看護師等が緊急的な対応を行う。		
成果・実績	<p>◎実施施設（民間認定こども園10園）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（福）あけぼの会（登りこども園） ・（福）あけぼの会（第2登りこども園） ・（福）宇治福祉園（みんなのき三室戸こども園） ・（福）宇治福祉園（みんなのき黄檗こども園） ・（福）心華会（ひいらぎこども園） ・（福）同胞会（同胞こども園） ・（福）同胞会（こひつじこども園） ・（福）かおり福祉会（伊勢田こども園） ・（福）宇治明星園（明星っ子こども園） ・（福）心華会（榎島ひいらぎこども園） 		
事業評価	国制度に沿って病児・病後児保育事業を実施する民間認定こども園に補助を実施し、子育て支援と保護者負担の軽減を図った。利用状況を把握し、今後も国制度を活用しながら事業を実施する。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	福祉こども部
関連分野	子育て環境	

事務事業名	家庭的保育事業費	所管課	保育支援課
		決算額	102,592 千円
事業内容	喫緊の課題である待機児童対策として、3歳未満の児童を対象に、「児童福祉法」に位置付けられた家庭的保育事業を実施する。また、開設にあたり、保育環境整備のための改修等に対して補助を行う。		
成果・実績	◎開設場所 <ul style="list-style-type: none"> ・木幡花揃 (福) あけぼの会 (登りこども園) 定員5人 ・神明石塚 (福) 心華会 (ひいらぎこども園) 定員5人 ・木幡赤塚 (福) あけぼの会 (登りこども園) 定員5人 ・開町 (福) 心華会 (ひいらぎこども園) 定員5人 ・木幡陣ノ内 (福) あけぼの会 (登りこども園) 定員5人 ・伊勢田町ウトロ (福) かおり福祉会 (伊勢田こども園) 定員5人 		
事業評価	児童福祉法に位置付けられた家庭的保育事業を実施することにより、待機児童対策を図ることができた。子ども・子育て支援新制度の枠組みの中で、有効性について小規模保育事業との比較検討の必要がある。待機児童の状況を見ながら、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	小規模保育事業費	所管課	保育支援課
		決算額	114,788 千円
事業内容	喫緊の課題である待機児童対策として、3歳未満の児童を対象に、「児童福祉法」に位置付けられた小規模保育事業を実施する。また、開設にあたり、保育環境整備のための改修等に対して補助を行う。		
成果・実績	◎開設場所 <ul style="list-style-type: none"> ・六地蔵奈良町 (福) あけぼの会 (登りこども園、第2登りこども園) 定員15人 ・広野町西裏 (福) 同胞会 (同胞こども園) 定員18人 ・五ヶ庄梅林官有地 (福) 白菊福祉会 (いずみこども園) 定員15人 ・伊勢田町若林 (福) かおり福祉会 (伊勢田こども園) 定員15人 ・榎島町南落合 (福) 同胞会 (こひつじこども園) 定員15人 ・広野町西裏 (福) 同胞会 (同胞こども園) 定員9人 		
事業評価	児童福祉法に位置付けられた小規模保育事業を実施することにより、待機児童対策を図ることができた。子ども・子育て支援新制度の枠組みの中で、有効性について家庭的保育事業との比較検討の必要がある。待機児童の状況を見ながら、今後も引き続き実施する。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	福祉こども部
関連分野	子育て環境	

事務事業名	子育て支援施設等利用給付費補助金	所管課	保育支援課
		決算額	24,802千円
事業内容	令和元年10月から開始された幼児教育・保育の無償化により、保育要件のある世帯に対し、幼保連携型認定こども園の預かり保育、また、認可外保育施設や一時預かり事業（一般型）、ファミリーサポート事業を利用した際に、各種基準額を上限として、給付を行う。		
成果・実績	◎延べ申請件数 561件 ・幼保連携型認定こども園 預かり保育事業 378件 6,202千円 ・認可外保育事業 172件 18,352千円 ・一時預かり保育事業（一般型） 11件 248千円		
事業評価	幼児教育・保育の無償化の対象施設を利用した際に、補助を実施し、各施設に通う保護者負担の軽減を図った。今後も国制度を活用し、様々な保育ニーズに対応しながら実施する。		

事務事業名	こども誰でも通園制度事業費	所管課	保育支援課
		決算額	5,724千円
事業内容	全てのこどもの育ちを応援し、全ての子育て家庭に対して多様な働き方やライフスタイルにあわせた支援を強化し、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に保育所等を利用できる環境を整備する。		
成果・実績	◎利用登録者数 159人 年間延べ利用者数 394人 年間延べ利用時間 2,160時間 ◎こども誰でも通園制度（仮称）事業補助金 交付施設 8施設 交付金額 1,915千円 ◎事業運営経費 指導監督員人件費等 3,809千円		
事業評価	こども同士の触れ合いや保護者以外の大人との関わり、保育施設での新しい遊びなど家庭だけでは得られない経験を提供できた。今後もニーズを踏まえて、柔軟に利用できる環境整備に取り組む。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	福祉こども部
関連分野	子育て環境	

事務事業名	宇治茶ふれあい事業費	所管課	保育支援課
		決算額	825 千円
事業内容	宇治茶を通じて宇治への愛着を醸成するため、保育所等に通う児童を対象に宇治茶に触れる機会を創出する。		
成果・実績	<p>保育所等に通う5歳児を対象に宇治茶の作り方や淹れ方について触れる機会を創出し、事業実施に要した講師費用（謝礼）や、お茶代などについての補助を行った。</p> <p>◎実績件数 23施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公立保育所 7施設 ・ 民間保育園・認定こども園 16施設 		
事業評価	茶摘み体験をはじめ、茶匠を講師として招いての授業、宇治茶の試飲などを通じて、宇治茶と触れ合い、住んでいるまちの伝統産業を身近に感じる体験を創出することができた。今後も引き続き、宇治茶を通じた宇治への愛着醸成に向けて取組を進める必要がある。		

事務事業名	保育士確保対策強化事業費	所管課	保育支援課
		決算額	36,778 千円
事業内容	保育人材の確保等に必要な措置を講じることで、待機児童の解消を図るとともに、子どもを安心して育てることができる環境整備を行うため、保育士確保対策強化事業を実施する民間保育施設に対して、必要な経費を補助する。		
成果・実績	<p>保育補助者雇上強化事業について、これまでは保育士資格を有していないものを対象としていたが、令和6年度より潜在保育士の再就職の促進を図るため、保育士資格を有する者で就業していない保育士も対象とした。</p> <p>◎保育体制強化事業費補助金 実績件数：民間保育園・認定こども園 9施設 10,112千円</p> <p>◎保育補助者雇上強化事業費補助金 実績件数：民間保育園・認定こども園 7施設 26,666千円 うち潜在保育士 1施設 1人</p>		
事業評価	保育補助者、又は保育支援者の配置や雇用に必要な費用の補助を行うことで待機児童の解消をはじめ、保育士の業務負担の軽減、保育士の離職防止に取り組んだ。今後も引き続き、適切な支援に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉子ども部 健康長寿部

事務事業名	各種予防接種事業費	所管課	保健推進課・健康づくり推進課																																																		
		決算額	713,940 千円																																																		
事業内容	「予防接種法」に基づき、予防接種を実施することにより、発病及び感染を予防する。																																																				
成果・実績	<p>「予防接種法」に基づく予防接種は、健やかセンターと協力医療機関などで実施し、法改正に対応して適切な疾病予防に努めた。また、各種健診時、市政だより、市ホームページなどで幅広く広報することにより、接種率の向上を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">予防接種名</th> <th style="width: 20%;">接種者数（人）</th> <th style="width: 50%;">実施場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BCG</td> <td style="text-align: center;">914</td> <td>健やかセンター（うじ安心館内）</td> </tr> <tr> <td>不活化ポリオ</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td rowspan="20" style="text-align: center; vertical-align: middle;">協力医療機関等</td> </tr> <tr> <td>5種混合</td> <td style="text-align: center;">2,654</td> </tr> <tr> <td>4種混合</td> <td style="text-align: center;">1,293</td> </tr> <tr> <td>3種混合</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>2種混合</td> <td style="text-align: center;">1,031</td> </tr> <tr> <td>麻しん風しん混合</td> <td style="text-align: center;">2,178</td> </tr> <tr> <td>麻しん</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>風しん</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>日本脳炎</td> <td style="text-align: center;">4,775</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん</td> <td style="text-align: center;">5,845</td> </tr> <tr> <td>ヒブ</td> <td style="text-align: center;">1,093</td> </tr> <tr> <td>小児用肺炎球菌</td> <td style="text-align: center;">3,769</td> </tr> <tr> <td>水痘</td> <td style="text-align: center;">1,888</td> </tr> <tr> <td>B型肝炎</td> <td style="text-align: center;">2,747</td> </tr> <tr> <td>ロタ</td> <td style="text-align: center;">2,422</td> </tr> <tr> <td>BCG</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>高齢者インフルエンザ</td> <td style="text-align: center;">26,909</td> </tr> <tr> <td>高齢者肺炎球菌</td> <td style="text-align: center;">483</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">風しん (成人)</td> <td>抗体検査</td> <td style="text-align: center;">687</td> </tr> <tr> <td>予防接種</td> <td style="text-align: center;">158</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症</td> <td style="text-align: center;">10,624</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">※ 子宮頸がんは、令和4年度より定期接種対象者（小学校6年生を除く）とキャッチアップ接種対象者のうち未接種者に個別通知にて接種勧奨を実施</p> <p style="margin-top: 10px;">※ 風しん（成人）は接種機会がなかった世代（昭和37～53年度生まれの男性）を対象に実施</p> <p style="margin-top: 10px;">※ 令和6年度より新型コロナウイルス感染症の定期予防接種を開始</p>			予防接種名	接種者数（人）	実施場所	BCG	914	健やかセンター（うじ安心館内）	不活化ポリオ	0	協力医療機関等	5種混合	2,654	4種混合	1,293	3種混合	0	2種混合	1,031	麻しん風しん混合	2,178	麻しん	0	風しん	0	日本脳炎	4,775	子宮頸がん	5,845	ヒブ	1,093	小児用肺炎球菌	3,769	水痘	1,888	B型肝炎	2,747	ロタ	2,422	BCG	3	高齢者インフルエンザ	26,909	高齢者肺炎球菌	483	風しん (成人)	抗体検査	687	予防接種	158	新型コロナウイルス感染症	10,624
予防接種名	接種者数（人）	実施場所																																																			
BCG	914	健やかセンター（うじ安心館内）																																																			
不活化ポリオ	0	協力医療機関等																																																			
5種混合	2,654																																																				
4種混合	1,293																																																				
3種混合	0																																																				
2種混合	1,031																																																				
麻しん風しん混合	2,178																																																				
麻しん	0																																																				
風しん	0																																																				
日本脳炎	4,775																																																				
子宮頸がん	5,845																																																				
ヒブ	1,093																																																				
小児用肺炎球菌	3,769																																																				
水痘	1,888																																																				
B型肝炎	2,747																																																				
ロタ	2,422																																																				
BCG	3																																																				
高齢者インフルエンザ	26,909																																																				
高齢者肺炎球菌	483																																																				
風しん (成人)	抗体検査		687																																																		
	予防接種		158																																																		
新型コロナウイルス感染症	10,624																																																				
事業評価	「予防接種法」に基づき適正に感染症予防対策を実施し、市民の健康保持を図った。今後も、国の措置に対応し、適切な疾病予防の実施と市民への周知・啓発に努める。																																																				

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	福祉こども部
関連分野	子どもの成長・発達	

事務事業名	乳幼児健康診査費	所管課	保健推進課																									
		決算額	27,150 千円																									
事業内容	内科（小児科）健診、身体計測、保健・栄養指導などを実施し、必要に応じて個別の栄養相談を行う。総合的な判断と指導により、乳幼児期の疾病及び問題の早期発見をし、健やかな成長・発達を図る。また、育児不安の解消、子育て支援をする。																											
成果・実績	<p>◎乳幼児期の健康の保持・増進を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">健診名</th> <th style="width: 20%;">受診数（人）</th> <th style="width: 20%;">受診率（％）</th> <th style="width: 30%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1か月児健診</td> <td style="text-align: center;">754</td> <td style="text-align: center;">96.4</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">（一社）京都府医師会委託 健やかセンター 月3回</td> </tr> <tr> <td>3か月児健診</td> <td style="text-align: center;">918</td> <td style="text-align: center;">97.3</td> </tr> <tr> <td>1歳8か月児健診</td> <td style="text-align: center;">1,025</td> <td style="text-align: center;">98.6</td> </tr> <tr> <td>3歳児健診</td> <td style="text-align: center;">1,159</td> <td style="text-align: center;">95.7</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">（一社）宇治久世医師会委託 健やかセンター一月1回</td> </tr> <tr> <td>10か月児健診</td> <td style="text-align: center;">970</td> <td style="text-align: center;">89</td> </tr> <tr> <td>10か月児経過健診</td> <td style="text-align: center;">89</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎関係機関等による実務者会議を実施し、5歳児健康診査の準備を行った。</p>			健診名	受診数（人）	受診率（％）		1か月児健診	754	96.4	（一社）京都府医師会委託 健やかセンター 月3回	3か月児健診	918	97.3	1歳8か月児健診	1,025	98.6	3歳児健診	1,159	95.7	（一社）宇治久世医師会委託 健やかセンター一月1回	10か月児健診	970	89	10か月児経過健診	89		
健診名	受診数（人）	受診率（％）																										
1か月児健診	754	96.4	（一社）京都府医師会委託 健やかセンター 月3回																									
3か月児健診	918	97.3																										
1歳8か月児健診	1,025	98.6																										
3歳児健診	1,159	95.7	（一社）宇治久世医師会委託 健やかセンター一月1回																									
10か月児健診	970	89																										
10か月児経過健診	89																											
事業評価	子どもの発達段階に合わせた健診を実施し、子どもの健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援などにつながることができた。引き続き、乳児の健康維持及び増進に向けて、健康診査の充実を図るとともに、受診率の向上に取り組む。																											

事務事業名	離乳食教室開催費	所管課	保健推進課
		決算額	506 千円
事業内容	親が初めての離乳食を調理体験することにより、安心して適切な離乳食作りを家庭で実践するとともに、母子・親子関係の形成を促し、育児不安を緩和する。また、子どもの健康を維持し、成長・発達を促すとともに、生活リズムを身に付け、食べる楽しさを体験させることで「食べる力」を育む。		
成果・実績	<p>親が子どもの食生活についての知識を深め、自宅で安全に離乳食を実践できるよう促した。</p> <p>◎開催回数 12回 ◎参加者数 150人</p>		
事業評価	教室の開催やYouTubeによる動画配信により、子どもの健康づくりの促進を図った。今後も引き続き、発達年齢に応じた支援を行う必要があるため、子どもの食生活に関する知識の普及について、効率的な手法を検討する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	福祉こども部
関連分野	子どもの成長・発達	

事務事業名	親子あそびの教室運営費	所管課	保健推進課
		決算額	3,121 千円
事業内容	1歳8か月児健康診査の中で、発達面で経過観察の必要があるとされた子どものフォローの場として、遊びの場を提供し、保護者への指導を行う。教室は、発達相談員、保健師及び保育士が運営する。		
成果・実績	<p>親子で具体的な遊びを体験することにより、子どもの発達を促した。また、子どもとの関わりに不安を持っている保護者に対し、自信を持って子どもと関われる親になってもらうきっかけづくりを行った。</p> <p>◎開催数 1クール全13回を1クラス 1クール全12回を3クラス</p> <p>◎処遇児数 48人</p>		
事業評価	教室の開催により、子どもの発達段階に応じた健やかな成長支援を図った。発達支援が必要な子どもの利用ニーズの把握・分析に努め、より効果的な運営方法を検討する必要がある。		

事務事業名	風しん予防接種助成事業費	所管課	保健推進課
		決算額	217 千円
事業内容	妊婦と生まれてくる子どもの健康を守るため、京都府の助成制度を活用し、風しん予防接種にかかる費用を助成する。		
成果・実績	<p>風しん（R）ワクチン及び麻しん風しん混合（MR）ワクチンを全額自己負担にて接種した後に、1人1回を限度に費用の2/3程度を助成した。</p> <p>◎助成者数 37人</p>		
事業評価	京都府が実施する抗体検査等で抗体価が低いと診断された対象者の風しん予防接種にかかる費用の助成を行い、ワクチン接種を促進した。今後も国や京都府の制度に対応し実施する。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉こども部 健康長寿部

事務事業名	未熟児養育医療費給付費	所管課	保健推進課・年金医療課
		決算額	11,791 千円
事業内容	未熟児の養育に必要な医療の給付を行う。		
成果・実績	<p>入院養育にかかる「医療費（医療保険各法の適用範囲内）の患者負担額」及び「食事療養費の患者負担額」について、その一部を助成した。</p> <p>◎給付決定児数 47人 ◎給付延べ件数 98件 ◎給付延べ日数 1,994日</p>		
事業評価	国制度に基づき、適正に医療給付を行った。今後も国の制度改正等に対応し、適切な支給事務の遂行に努める。		

事務事業名	妊婦歯科健診費	所管課	保健推進課
		決算額	1,262 千円
事業内容	妊娠中の口腔の健康状態を確保し、妊婦の健康及び安全な分娩と健康な子の出産を支援するため、歯科健診にかかる費用を助成することで、健診の受診を推進する。		
成果・実績	<p>妊婦と胎児の健康を保ち、早産や低体重児出産のリスクを抑えるため、歯科健診にかかる費用の助成を行った。</p> <p>◎助成件数 337件 ◎受診率 33.9%</p>		
事業評価	妊婦の歯科健診にかかる費用助成により、受診を促進し、妊婦及び胎児の健康保持を支援した。受診率の向上を図るため制度の周知に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	福祉こども部
関連分野	子どもの成長・発達	

事務事業名	乳児家庭全戸訪問事業費	所管課	保健推進課
		決算額	895 千円
事業内容	生後4か月になるまでの子どもがいる家庭を対象に訪問し、子育てに関する悩み及び不安を聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、子ども及びその保護者の心身の状況並びに養育環境などの把握を行い、支援が必要な家庭に対し、適切なサービスにつなげる。		
成果・実績	親の育児不安の軽減と、子育て支援に関する必要な情報提供を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービスにつなげた。 ◎訪問件数 47件		
事業評価	新生児訪問等を受けていない生後4か月未満の子どもがいる家庭を訪問することで、子育ての孤立化を防ぐとともに、子育て支援に関する情報提供を行い、適切な支援につなげることができた。今後も引き続き、効果的な支援に努める必要がある。		

事務事業名	妊婦面談事業費	所管課	保健推進課
		決算額	827 千円
事業内容	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のないサポートを行うにあたり、行政とのファーストタッチとして保健推進課の地区担当保健師を紹介し、安心して相談できる場を提供する。		
成果・実績	親子健康手帳の交付時に、保健師による面談を行い、必要に応じて子育て支援サービスが利用しやすいように、支援プランを作成し、利用の手助けを行う。また、絵本を配付することで、子どもとのふれあいの大切さを理解してもらうとともに、行政との今後の関わりへのきっかけづくりとする。 ◎面談等件数 1,058件（転入妊婦含む） ※郵送等で届出のあった妊婦には電話による体調確認と情報提供等を実施		
事業評価	親子健康手帳交付時に、保健師による面談を行うことで安心して相談でき、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のないサポートができるよう、関係性の構築を図った。令和元年度から開始した産後ケア事業により、妊婦面談後の関わりも増えてきており、引き続き、切れ目のない子育て支援を継続していくよう努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	福祉こども部
関連分野	子どもの成長・発達	

事務事業名	産後ケア事業費	所管課	保健推進課									
		決算額	5,258 千円									
事業内容	産後において家族等の援助が受けられず支援を必要とする母子に対して、心身のケア、育児の支援その他母子の健康・増進に必要な支援を実施し、母親の身体的回復及び心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、母親及びその家族が健やかな育児ができるように支援する。											
成果・実績	<p>妊娠期から申請ができるため、妊婦は産後の支援体制を具体的に考えることができ、妊娠期から不安の軽減を図った。また、事業の利用により、産婦の心身の安定を図った。（令和5年度より多胎児の産婦には乳児数に応じて利用日数を増加）</p> <p>◎利用者数</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・ 宿泊型</td> <td style="text-align: right;">32人</td> <td style="text-align: right;">（延べ 83日）</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・ 訪問型（助産師）</td> <td style="text-align: right;">46人</td> <td style="text-align: right;">（延べ 62日）</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・ 日帰り型</td> <td style="text-align: right;">84人</td> <td style="text-align: right;">（延べ 105日）</td> </tr> </table> <p>※子育て世帯訪問支援事業として訪問型（介護福祉士）37人（延べ146日）</p>			・ 宿泊型	32人	（延べ 83日）	・ 訪問型（助産師）	46人	（延べ 62日）	・ 日帰り型	84人	（延べ 105日）
・ 宿泊型	32人	（延べ 83日）										
・ 訪問型（助産師）	46人	（延べ 62日）										
・ 日帰り型	84人	（延べ 105日）										
事業評価	妊婦面談及び訪問などを通して妊産婦の状態を把握することにより、必要な方への適切な支援に努めた。今後も関係機関等と連携し、健やかな育児につながるよう支援する。											

事務事業名	新生児聴覚スクリーニング検査費	所管課	保健推進課						
		決算額	2,896 千円						
事業内容	聴覚障害の有無を早期に発見するための新生児聴覚スクリーニング検査の受診券を親子健康手帳交付時に配付する。								
成果・実績	<p>生後28日未満の新生児を対象に新生児聴覚スクリーニング検査にかかる費用を助成した。</p> <p>◎助成内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">対象となる検査</th> <th style="text-align: center;">助成金額上限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>聴性脳幹反応検査（ABR検査）</td> <td style="text-align: right;">4,020円</td> </tr> <tr> <td>耳音響放射検査（OAE検査）</td> <td style="text-align: right;">1,500円</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎助成件数 781件</p>			対象となる検査	助成金額上限	聴性脳幹反応検査（ABR検査）	4,020円	耳音響放射検査（OAE検査）	1,500円
対象となる検査	助成金額上限								
聴性脳幹反応検査（ABR検査）	4,020円								
耳音響放射検査（OAE検査）	1,500円								
事業評価	新生児期の聴覚検査を実施し、要精密検査と判定された場合には、医療機関との連携や本人への支援などを行うことで、聴覚障害の早期発見と早期治療等の実施を図った。今後も関係機関と連携し、効果的な事業実施に努める。								

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	高齢者福祉	

事務事業名	老人保護措置費等	所管課	長寿生きがい課
		決算額	84,930 千円
事業内容	環境上及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難と認める65歳以上の高齢者等について、養護老人ホームへの入所措置を行う。		
成果・実績	対象者について養護老人ホームに入所措置を行った。 ◎措置延べ人数 447人 ◎措置人数 37人（令和6年度末現在）		
事業評価	老人福祉法に基づき養護老人ホームへの入所措置を適正に実施した。今後も引き続き高齢者福祉の推進に向け、適正な事務運営に努める。		

事務事業名	在宅要援護老人対策費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	2,651 千円
事業内容	寝たきり・一人暮らし高齢者、高齢者世帯の要援護者などが、地域社会で日常生活を送れるよう、日常生活で手助けが必要な部分について、類型に応じたサービスを提供する。		
成果・実績	在宅で援護が必要である高齢者等に対して、各種事業を行った。 ◎一人暮らし高齢者等訪問活動事業 1,619千円 おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に自宅への訪問等を月1回以上行い、一人暮らし高齢者の安否確認及び不安解消を行った。 ・対象者数 1,687人 ◎福祉電話の設置費・基本通話料の助成 1,022千円 所得税非課税の65歳以上の一人暮らし及び高齢者世帯で電話のない高齢者に貸与、設置した福祉電話の設置費及び基本通話料などを助成した。 ・助成対象者数 35人 ◎家具等転倒防止金具等購入の助成 10千円 家具等転倒防止金具等を設置する高齢者(65歳以上の市民税非課税世帯)に、購入費用を助成した。 ・助成件数 2件		
事業評価	社会的支援が必要な高齢者の見守りを行うなど在宅生活を支援した。今後も市民ニーズや社会情勢の把握・分析に努め、地域・他団体と連携しながら、支援内容の改善を図る必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	高齢者福祉	

事務事業名	一人暮らし高齢者等給配食サービス補助金	所管課	長寿生きがい課
		決算額	2,634 千円
事業内容	一人暮らし高齢者等の不安と孤独感の解消及び社会参加の促進のために、地区社会福祉協議会と学区福祉委員会が実施している一人暮らし高齢者等給配食サービスを支援する。		
成果・実績	給配食サービスへの助成を行い、一人暮らし高齢者等の福祉の向上を図った。 ◎延べ給配食数 7,525食		
事業評価	社会的支援が必要な一人暮らし高齢者等への給配食サービスを実施し、在宅福祉の向上を図った。今後も引き続き地域・他団体との連携等を強化し、効果分析や改善に努める。		

事務事業名	介護予防安心住まい推進事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	1,796 千円
事業内容	運動機能が低下しても安心して在宅での生活を送り続けられるよう、住宅での転倒事故を未然に防ぐための住宅改修工事経費の一部を支援する。		
成果・実績	生活機能に関する「安心住まいチェックリスト」による運動器の機能低下が見られ、かつ市民税非課税の世帯が居住する住宅の介護保険給付対象工事に要する経費の一部を助成した。 ◎助成件数 14件		
事業評価	介護保険給付対象工事となる住宅改造費を助成し、転倒事故の防止対策を図ることにより、介護予防の促進に努めた。今後も転倒等の事故を未然に防ぎ、運動機能が低下しても安心して在宅生活を送り続けられるよう支援する。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	高齢者福祉	

事務事業名	認知症総合センター機能強化事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	5,000 千円
事業内容	包括的な医療・介護サービスを提供する「京都認知症総合センター」の運営を通し、地域資源との連携体制を強化し、認知症に係る初期から看取り期までの課題に対応できる機能を持つモデルを完成させるとともに、京都認知症総合センターの初期支援プログラム等の他地域への普及を推進する。		
成果・実績	<p>◎就労・社会参加支援のための体制構築事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携の充実・強化（推進協議会） 2回 <p>◎若年性認知症等の就労・社会参加支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期支援プログラムの開発 10種類 合計150回 ・支援活動の効果検証会議 12回 ・就労支援、就労活動の実践 72回 ・寄り添いサポート（看護相談） 通年 <p>◎若年性認知症等の普及啓発（本人発信）・ピアサポート活動推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症本人・家族・支援者教室 26回 ・ピアサポートの実施 24回 ・認知症当事者実践活動 19回 ・市民向け講座開催 1回 <p>◎認知症ケア人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェ運営者・スタッフ研修 3回 ・介護事業者向け研修 2回 		
事業評価	「京都認知症総合センター」の運営を通し、認知症に係る医療・介護連携の枠組みの構築をはじめとする各種施策を推進した。より発展的な施策展開となるよう事業内容を検討する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	高齢者福祉	

事務事業名	地域福祉センター運営費	所管課	長寿生きがい課														
		決算額	127,250 千円														
事業内容	<p>地域住民の福祉ニーズに応じた事業を総合的に行うとともに、地域住民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図り、地域の実情に応じた各種事業を実施する。また、高齢者が健康づくり及び生きがいづくりなど様々な活動に気軽に利用でき、集会所機能も持たせた多目的活用によって、世代間交流及び地域交流を促進する複合施設である地域福祉センターの管理・運営を行う。</p>																
成果・実績	<p>市内6か所の地域福祉センターを管理・運営した。木幡・開については直営で管理し、その他4か所は管理者を指定し、管理・運営した。 また、地域福祉センターの老朽化への対応や、介護予防教室を実施するために必要な改修を計画的に実施した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">◎木幡地域福祉センター管理運営費 ・直営</td> <td style="text-align: right; width: 40%;">8,155千円</td> </tr> <tr> <td>◎開地域福祉センター管理運営費 ・直営</td> <td style="text-align: right;">8,182千円</td> </tr> <tr> <td>◎西小倉地域福祉センター管理運営費 ・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社</td> <td style="text-align: right;">20,065千円</td> </tr> <tr> <td>◎東宇治地域福祉センター管理運営費 ・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社</td> <td style="text-align: right;">8,180千円</td> </tr> <tr> <td>◎広野地域福祉センター管理運営費 ・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社</td> <td style="text-align: right;">9,564千円</td> </tr> <tr> <td>◎榎島地域福祉センター管理運営費 ・指定管理者：（福）山城福祉会</td> <td style="text-align: right;">8,704千円</td> </tr> <tr> <td>◎地域福祉センター等再整備事業費 ・平盛デイホーム 空調設備改修工事 ・榎島地域福祉センター 空調電灯設備改修設計委託</td> <td style="text-align: right;">64,400千円</td> </tr> </table>			◎木幡地域福祉センター管理運営費 ・直営	8,155千円	◎開地域福祉センター管理運営費 ・直営	8,182千円	◎西小倉地域福祉センター管理運営費 ・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社	20,065千円	◎東宇治地域福祉センター管理運営費 ・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社	8,180千円	◎広野地域福祉センター管理運営費 ・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社	9,564千円	◎榎島地域福祉センター管理運営費 ・指定管理者：（福）山城福祉会	8,704千円	◎地域福祉センター等再整備事業費 ・平盛デイホーム 空調設備改修工事 ・榎島地域福祉センター 空調電灯設備改修設計委託	64,400千円
◎木幡地域福祉センター管理運営費 ・直営	8,155千円																
◎開地域福祉センター管理運営費 ・直営	8,182千円																
◎西小倉地域福祉センター管理運営費 ・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社	20,065千円																
◎東宇治地域福祉センター管理運営費 ・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社	8,180千円																
◎広野地域福祉センター管理運営費 ・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社	9,564千円																
◎榎島地域福祉センター管理運営費 ・指定管理者：（福）山城福祉会	8,704千円																
◎地域福祉センター等再整備事業費 ・平盛デイホーム 空調設備改修工事 ・榎島地域福祉センター 空調電灯設備改修設計委託	64,400千円																
事業評価	<p>各センターの管理・運営を適正に実施し、地域住民の福祉ニーズに応じた事業を行うなど、高齢者福祉の向上を図った。地域福祉の拠点としての役割等を踏まえ、今後の施設の運用方法等について検討する必要がある。</p>																

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	高齢者福祉	

事務事業名	認知症地域支援事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	13,241 千円
事業内容	高齢者が地域で心身ともにいきいきと暮らすことができるように、予防可能な段階である初期認知症高齢者を早期に発見し、認知症の改善と進行、悪化の防止のための教室を行う。		
成果・実績	<p>認知症予防を目的とした教室及び認知症の正しい理解の普及・啓発（認知症あんしんサポーター養成講座）を行った。</p> <p>◎あたまイキイキ教室参加者数（実人数） 139人</p> <p>◎幸齢者健康づくり教室参加者数（延べ人数） 3,279人</p> <p>◎認知症あんしんサポーター養成講座（延べ人数） 1,063人</p> <p>◎認知症あんしんサポーター養成講座（累計養成人数） 23,769人</p> <p>◎キャラバン・メイト養成フォローアップ講座（延べ人数） 48人</p> <p>◎認知症等により行方不明になる恐れのある高齢者等の情報を事前に登録し、事前登録者に対して「身元確認シール」を交付する</p> <p style="text-align: right;">新規登録者数 67人(更新登録者2人含む)</p>		
事業評価	認知症の改善や進行の防止を図るための教室及び認知症の正しい理解の普及・啓発を行うための講座を開催し、認知症関連施策の推進を図った。他事業との連携を深め、より効果的な事業実施となるよう、引き続き手法を検討する必要がある。		

事務事業名	地域支援型介護予防教室開催費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	22,599 千円
事業内容	65歳以上の市民に対し、介護予防の三本柱である運動、栄養、口腔及び認知症予防について複合的に学ぶことで生活機能全般の改善を図る。また、地域で介護予防を継続できるように仲間づくりを目的に教室を実施する。		
成果・実績	<p>通所により介護予防を目的とした地域支援型介護予防教室を市内14会場で行った。</p> <p>◎実人数 409 人</p> <p>◎延べ人数 6,881 人</p> <p>◎自主グループの立ち上げ 10 団体</p>		
事業評価	複合型プログラムを実施し、対象者の生活機能の改善を図った。教室終了後も地域において自主的な介護予防活動ができるよう取組を続ける。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	地域包括支援センター運営事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	161,741 千円
事業内容	<p>介護、福祉、医療、保健などのサービスを包括的・継続的に提供するために、地域包括支援センターを市内8か所の日常生活圏域に設置。高齢者が可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるように、総合相談、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント、第一号介護予防支援を実施する。また、地域包括支援センター運営協議会を設置する。</p>		
成果・実績	<p>3職種（保健師、社会福祉士及び主任介護支援専門員）の専門職を配置し、圏域内の高齢者の心身の状況に応じた介護予防ケアプランの作成、高齢者及びその家族に対する相談支援、高齢者の権利擁護、包括的・継続的なケア体制の構築などを行った。</p> <p>◎新規相談者数（実人数） 3,916人</p> <p>◎地域包括支援センター運営協議会 年2回開催</p>		
事業評価	<p>国の指針に基づき日常生活圏域ごとに専門職を配置し、地域の中で高齢者の生活を支援した。新規相談件数が増加している状況において、包括的支援の充実に向けた取組を検討する必要がある。</p>		

事務事業名	地域包括ケア体制推進事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	595 千円
事業内容	<p>地域の高齢者が安心していきいきと暮らせるまちづくりを行うことを目的として「地域包括ケア会議」、「小地域包括ケア会議」及び「自立支援型ケア会議」を開催し、地域ネットワークの構築を図る。講義、事例検討を通して地域包括支援センター及びケアマネジャーの資質向上を図る。</p>		
成果・実績	<p>地域ネットワークの構築を図るとともに、地域包括支援センター及びケアマネジャーへ資質向上のための研修を実施した。</p> <p>◎延べ人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治市地域包括ケア会議 40人 ・小地域包括ケア会議 235人 ・自立支援型ケア会議 89人 ・資質向上研修 97人 		
事業評価	<p>地域包括ケア会議を開催して地域ネットワークの構築を図るとともに、地域包括支援センターに所属する専門職等の資質向上研修を実施し、地域包括ケアの推進を図った。今後も効果的な会議のあり方や時宜を得た研修内容を検討し、支援体制の強化に努める。</p>		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	高齢者成年後見制度助成費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	15,993 千円
事業内容	判断能力が不十分な認知症等高齢者のうち、身寄りがないなど当事者による成年後見人の申立が期待できない状況にある者について、成年後見制度の利用による本人の権利を擁護するため、審判の請求手続きの代行を行う。また、成年後見制度の利用に要する費用について助成を受けなければ利用が困難である者に対して、後見人等の報酬等を市が助成する。		
成果・実績	<p>判断能力がないまたは乏しいことにより契約等の行為が行えない認知症等高齢者に対して、成年後見人等を選任するための申立の代行、報酬助成などを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎申立相談件数 16件 ◎申立件数 9件 ◎報酬助成件数 85件 		
事業評価	前年度よりも多くの申立の代行及び報酬補助を実施した。今後も引き続き、成年後見制度の利用促進に努める。		

事務事業名	認知症家族介護者支援事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	409 千円
事業内容	認知症家族支援プログラム及びOB会を通して認知症の人を介護する家族を支援する。		
成果・実績	<p>介護者家族に対し、認知症の理解を促進し、介護者同士の交流を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎延べ人数 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症家族支援プログラム 32人 ・OB会支援 74人 		
事業評価	認知症介護者等によるピアサポートを通じ、認知症の人を介護する家族を支援した。プログラムの構成や他事業との連携など、より効果的な事業実施となるよう内容の改善に努める必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	高齢者福祉	

事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	6,140 千円
事業内容	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供するため、城陽市・久御山町と連携して地域における医療・介護の関係機関の連携体制を構築する。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ◎在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討会議 ◎切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築推進 <ul style="list-style-type: none"> ・医療介護連携センター運営委員会 ◎医療・介護関係者の情報共有の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ココカラまるごとねっとによる情報発信 ・意見交換会 ◎在宅医療・介護連携に関する相談支援（13回） <ul style="list-style-type: none"> ・在宅サポート医制度勉強会 ・地域包括支援センターからの各種困難支援事例の相談対応 ◎医療・介護関係者の研修（20回） <ul style="list-style-type: none"> ・多職種事例検討会 ・出張講座 ◎地域住民への普及啓発（4回） <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療についての住民向け講演会の実施 ・出張講座 ・人生会議（ACP）について住民向け啓発の実施 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">} (12回)</div>		
事業評価	高齢者が、医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、地域の関係機関との連携体制の構築に努めた。今後は、介護分野の機関との更なる連携強化を図るとともに、引き続き、在宅での看取りに関する「人生会議」等の情報の周知に重点的に取り組む。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	高齢者福祉	

事務事業名	生活支援体制整備事業費	所管課	長寿生きがい課								
		決算額	18,014 千円								
事業内容	生活支援コーディネーターを配置し、身近な地域で、多様な生活支援のニーズに対応できる支援体制の整備や、地域における支え合い・助け合いの支援体制の充実を図る。										
成果・実績	<p>地域の支え合い仕組みづくり会議を開催し、構成メンバーである関係団体と、事業の進捗状況や各地の地域活動などの情報共有を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 2回 <p>地域住民を中心とした、地域の支え合い仕組みづくり会議（地域版）を開催し、地域課題の解決に向けて勉強会や意見交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8団体 <p>健康長寿サポーターを担い手とした住民主体活動の立ち上げ支援及び継続的な運営支援に取り組んだ。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・訪問B運営支援</td> <td style="text-align: right;">3団体</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・通所B立ち上げ支援</td> <td style="text-align: right;">1団体</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・通所B運営支援</td> <td style="text-align: right;">9団体</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・その他、通いの場団体立ち上げ支援</td> <td style="text-align: right;">1団体</td> </tr> </table> <p>住民主体型サービスや地域活動の担い手となる人材を養成するため、健康長寿サポーター養成講座（宇治源輝人講座）を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成講座開催数 2回 ・健康長寿サポーター新規登録者数 27人（累計 281人） <p>サロンや自治会などに出向き、地域の支え合いやつながりの大切さについて意識醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気にかけて地域づくり勉強会（出前講座） 11回 ・参加人数 延べ 215人 			・訪問B運営支援	3団体	・通所B立ち上げ支援	1団体	・通所B運営支援	9団体	・その他、通いの場団体立ち上げ支援	1団体
・訪問B運営支援	3団体										
・通所B立ち上げ支援	1団体										
・通所B運営支援	9団体										
・その他、通いの場団体立ち上げ支援	1団体										
事業評価	生活支援コーディネーターを中心に、各地域包括支援センターと情報共有・連携しながら、地域住民を中心とした話し合いの場や勉強会を設けることができた。圏域ごとのグループで地域課題を検討する場を設け、より地域課題を自分事ととらえ、主体的に課題解決に向けた話し合いができる体制づくりを行った。今後はさらに積極的に地域に出向き、地域共生社会が実現できるよう地域住民、民間企業、社会福祉法人など多様な主体に働きかけ地域づくりを進めていく。										

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	高齢者福祉	

事務事業名	初期認知症総合相談支援事業費	所管課	長寿生きがい課						
		決算額	32,261 千円						
事業内容	認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続するために、認知症コーディネーターを配置し、認知症の人とその家族への効果的な支援を行う。また、医療機関、介護サービス及び地域の支援機関の連携強化などによる支援体制の構築を図る。								
成果・実績	<p>認知症の人とその家族に訪問を実施し、早期発見、早期支援を行った。また、認知症対応型カフェを市内8圏域で56回開催し、認知症の人に社会参加ができる場、居場所、生きがいづくり、ピアサポートの場を提供し、加えて、認知症の人とその家族、地域住民に、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">◎認知症対応型カフェ参加者数（延べ人数）</td> <td style="text-align: right;">862人</td> </tr> <tr> <td>◎認知症初期集中支援チーム対象事例数</td> <td style="text-align: right;">78例</td> </tr> <tr> <td>◎認知症フォーラム参加者数</td> <td style="text-align: right;">157人</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">令和7年3月20日 宇治市生涯学習センターにて開催</p>			◎認知症対応型カフェ参加者数（延べ人数）	862人	◎認知症初期集中支援チーム対象事例数	78例	◎認知症フォーラム参加者数	157人
◎認知症対応型カフェ参加者数（延べ人数）	862人								
◎認知症初期集中支援チーム対象事例数	78例								
◎認知症フォーラム参加者数	157人								
事業評価	令和6年度は、東宇治北及び西宇治包括支援センターに認知症コーディネーターを増員し、支援チームによる認知症の方への初期段階の集中的な介入が大きく増加した。今後も、地域住民に対する正しい知識の普及啓発にも積極的に取り組み、地域全体で支援できるように引き続き連携強化等に努め、認知症初期段階の方やその家族への早期の支援を行う体制の構築を図る。								

事務事業名	認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業費	所管課	長寿生きがい課						
		決算額	894 千円						
事業内容	平成27年3月に宣言した「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現のために、認知症を「自分のこと」と捉え、市民一人ひとりが認知症を正しく理解し、やさしいまちづくりを目指して自分のできる行動を起こしていく「宇治市認知症アクションアライアンス」通称“れもねいど”活動を広める。								
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 40%;">◎れもねいど新規加盟企業</td> <td style="text-align: right;">10団体（令和6年度末時点 92団体）</td> </tr> <tr> <td>◎れもねいだー（ボランティア）</td> <td style="text-align: right;">新規登録者数 14人 （令和6年度末時点 120人）</td> </tr> <tr> <td>◎チームれもんの新規立ち上げ</td> <td style="text-align: right;">2団体（令和6年度末時点 2団体）</td> </tr> </table>			◎れもねいど新規加盟企業	10団体（令和6年度末時点 92団体）	◎れもねいだー（ボランティア）	新規登録者数 14人 （令和6年度末時点 120人）	◎チームれもんの新規立ち上げ	2団体（令和6年度末時点 2団体）
◎れもねいど新規加盟企業	10団体（令和6年度末時点 92団体）								
◎れもねいだー（ボランティア）	新規登録者数 14人 （令和6年度末時点 120人）								
◎チームれもんの新規立ち上げ	2団体（令和6年度末時点 2団体）								
事業評価	「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向け、全国に先駆けて一般企業や団体との連携を通じた施策を実施した。令和6年度より、認知症になっても地域の中で役割を持って活躍することができる地域づくりを目指し、チームれもんの立ち上げに取り組み、2団体立ち上げることができた。今後も一般企業や市民との連携に努め、より一層の施策推進を図る必要がある。								

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	健康・保険	

事務事業名	健康づくり・食育推進事業費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	8,809 千円
事業内容	「健康づくり推進プラン」と「食育推進計画」を一体化した「宇治市健康づくり・食育推進計画」に基づき、「健康長寿日本一」の実現に向けて健康づくりと食育を一体的に推進する。		
成果・実績	<p>「宇治市健康づくり・食育推進計画」に基づき、「健康長寿日本一」の実現に向けて、各種団体で構成する協議会において市民の健康づくりと食育の推進に関して宇治市を含めた各団体の取組の共有、協議・検討を行った。現行の計画が令和6年度で計画期間の満了を迎えるため、令和5年度から約2年間をかけて計画の策定を行った。</p> <p>◎計画策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの実施（8月～9月） ・宇治市健康づくり・食育推進計画(第2次)（12月策定） <p>◎協議会開催回数 4回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回（令和6年6月14日） ・第2回（令和6年7月30日） ・第3回（令和6年10月18日） ・第4回（令和7年3月4日） 		
事業評価	「宇治市健康づくり・食育推進計画」に基づき、健康づくりと食育を一体的に推進した。第1次計画の最終評価として実施した市民アンケート結果等から、市の現状と課題が明らかとなったため、令和7年1月より開始となった第2次計画の推進に向け、引き続き取組を進める必要がある。		

事務事業名	食生活改善推進員地区組織活動費	所管課	健康づくり推進課																		
		決算額	406 千円																		
事業内容	市民の健康づくり及び生活習慣病予防のために食生活改善を進める宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」の活動を支援する。																				
成果・実績	<p>食生活改善推進員の地域での活動に対して支援を行い、行政研修会を実施した。</p> <p>◎65歳未満 決算額：199千円 ◎65歳以上 決算額：207千円</p> <p>「若葉の会」活動状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%;">65歳未満</th> <th style="width: 35%;">65歳以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援活動回数</td> <td>24回</td> <td>23回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>208人</td> <td>156人</td> </tr> </tbody> </table> <p>「若葉の会」に対する行政研修会の実施</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%;">65歳未満</th> <th style="width: 35%;">65歳以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>参加会員数</td> <td>50人</td> <td>50人</td> </tr> </tbody> </table>				65歳未満	65歳以上	支援活動回数	24回	23回	参加者数	208人	156人		65歳未満	65歳以上	実施回数	2回	2回	参加会員数	50人	50人
	65歳未満	65歳以上																			
支援活動回数	24回	23回																			
参加者数	208人	156人																			
	65歳未満	65歳以上																			
実施回数	2回	2回																			
参加会員数	50人	50人																			
事業評価	ボランティアの活動を支援し、地域での健康増進活動を推進した。会員の高齢化及び会員数の減少などの課題を踏まえ、支援内容を検討する必要がある。																				

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	健康教育費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	1,150 千円
事業内容	生活習慣病の予防及び健康増進、介護予防など健康に関する正しい知識の普及により、健康の保持増進を図る。市内各会場において、知識・経験を有する各専門職を講師とし、広く市民に対し各種健康教室等を行う。		
成果・実績	<p>各種健康教室等を各教室の目的に応じて専門職が実施した。生活習慣病の予防及び健康増進、介護予防など健康に関する正しい知識を普及するほか、家庭で継続しやすい内容の紹介に努めた。また、地域からの依頼並びにイベントなどの機会を利用して広く市民へ普及することに努めた。</p> <p>◎ (65歳未満) 決算額：684千円 ・実施回数 93回 ・実施人数 2,065人</p> <p>◎ (65歳以上) 決算額：466千円 ・実施回数 62回 ・実施人数 1,214人</p>		
事業評価	各種健康教室を開催し、健康に関する正しい知識の普及を行い、健康の保持増進を図った。今後も、アンケートの実施による市民ニーズの把握に努め、生活習慣病の予防や介護予防など健康に関する正しい知識を普及するための手法を検討する必要がある。		

事務事業名	健康相談費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	170 千円
事業内容	市民の心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。うじ安心館を拠点に、気軽に幅広く相談できるように実施する。		
成果・実績	<p>市民に対し、個別に健康相談を実施した。</p> <p>◎ (65歳未満) 決算額：60千円 ・実施回数 29回 ・実施人数 221人</p> <p>◎ (65歳以上) 決算額：110千円 ・実施回数 54回 ・実施人数 437人</p>		
事業評価	心身の健康に関する相談に個別対応し、健康の促進を図った。今後も多くの市民の健康増進に向け、広報の見直し及び実施手法の改善に努める必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	各種がん検診等事業費	所管課	健康づくり推進課	
		決算額	346,304 千円	
事業内容	各種がん検診等を実施することにより、がんによる死亡率等を減少させることを目的とし、検診等を実施する。			
成果・実績	対象者に個別検診及び集団検診を実施した。			
	健（検）診名	受診者数 （人）	市健（検）診 人間ドック	
	健康診査	330	330	
	前立腺がん検診	1,774	1,774	
	子宮頸がん検診	4,530	3,836 694	
	乳がん検診	3,769	3,769	
	肺がん検診	5,609	3,628 1,981	
	大腸がん検診	11,256	9,296 1,960	
	成人歯科健診	267	267	
	肝炎ウイルス検診	1,204	1,204	
	結核健診	2,646	2,646	
	胃がん検診	胃内視鏡検査 (R6～)	2,857	1,211 1,646
		胃部X線検査	954	768 186
	胃がんリスク (ABC) 検診 (R6～)	2,031	2,031	
令和6年度より内視鏡による胃がん検診と胃がんリスク (ABC) 検診を実施				
事業評価	検診等を実施し、疾病等の早期発見・治療につなげるとともに、受診率向上のため、広報やイベントを通じて受診勧奨の強化を図った。今後も市民ニーズの把握に努め、市民の意識啓発・周知活動など、更なる効果的な事業実施手法を検討する必要がある。			

事務事業名	骨粗しょう症予防対策費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	429 千円
事業内容	骨粗しょう症予防を目的に、骨密度測定及び骨の健康に関する学習をすることにより、現在の骨及び体の状態を把握するとともに、市民自らが生活習慣病予防及び健康づくりを実践する動機付けとなるように実施する。		
成果・実績	骨粗しょう症予防講座を開催し、骨密度の測定及び生活・栄養の講習と運動実技の体験を行った。 令和5年度より、乳幼児相談と同時開催を行う日程を設け、乳幼児相談の参加者が、骨粗しょう症予防講座に参加しやすい環境づくりを行い、出産後の骨密度が低下しやすい時期における骨粗しょう症予防の啓発を行った。		
	◎骨粗しょう症予防講座 決算額：429千円 ・対象 20歳から64歳の宇治市民 ・実施回数 4回（うち2回は乳幼児相談と同日に開催） ・受講者数 98人		
事業評価	教室の実施により、市民の食や運動を始めとした生活習慣の改善等を図るための動機付けを行った。市民全体に向けた普及・動機付けが課題であり、引き続き効果的な実施手法について検討する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	健康・保険	

事務事業名	病院群輪番制病院運営事業費補助金	所管課	健康づくり推進課
		決算額	11,580 千円
事業内容	山城北医療圏内において、第二次救急医療体制の整備に要する経費を補助し、休日（昼・夜）における初期医療を受けた救急患者（入院等を要する重傷患者）搬送の円滑化及び医療の確保を目的とする。		
成果・実績	<p>4市3町で構成する山城北医療圏において専用病床を2床確保し、休日における二次救急医療体制を確立している。宇治市が事務局となり、11病院等へ補助を行った。</p> <p>◎医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院 ◎社会医療法人岡本病院（財団） 京都岡本記念病院 ◎医療法人社団一心会 都倉病院 ◎宇治武田病院 ◎医療法人啓信会 京都きづ川病院 ◎医療法人徳洲会 六地藏総合病院 ◎独立行政法人国立病院機構南京都病院 ◎医療法人八仁会 久御山南病院 ◎社会医療法人美杉会 男山病院 ◎医療法人社団医聖会 八幡中央病院 ◎医療法人社団石鎚会 京都田辺中央病院</p>		
事業評価	他自治体と広域的に連携し、休日における二次救急医療体制の確立に努めた。今後も医療機関と協力・連携しながら引き続き医療の確保に努める。		

事務事業名	障害者歯科治療事業費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	7,252 千円
事業内容	市内に居住する身体障害者手帳、療育手帳の交付を受けている者及び特別児童扶養手当の対象児童に、毎週水曜日（年末年始除く）に、歯科サービスセンター（うじ安心館内）で口腔衛生指導、処置、歯科治療並びに歯科相談を行う。		
成果・実績	<p>歯科サービスセンターにおいて、京都府宇治久世歯科医師会及び（公社）京都府歯科衛生士会の協力を得て、歯科治療等を行った。</p> <p>◎診療日数 51日 ◎受診者数 334人</p>		
事業評価	歯科サービスセンターにおける歯科治療等により、障害者の健康維持・増進を図った。診察時に利用者からの要望や意見を聞きとり、より効果的な事業実施手法を検討する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	健康・保険	

事務事業名	健康アライアンス事業費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	4,143 千円
事業内容	地域での健康づくり・食育活動を活性化と普及を図るため、地域で個々に健康づくり・食育活動に取り組む団体同士を結びつけ、団体同士の交流を深める新たなネットワーク「宇治市健康づくり・食育アライアンス U-CHA」を構築する。		
成果・実績	<p>◎総会の開催（5月） ※ZOOMによるオンライン併用開催</p> <p>◎ホームページ、Instagram、Facebookなどによる広報</p> <p>◎うーちゃミーティング（加入団体交流会）の開催（計6回）</p> <p>◎役員会議の開催（計2回）</p> <p>◎コラボ事業（小学生の親子向け講座 うーちゃ学校）の開催（計5回）</p> <p>◎うーちゃ弁当の販売（計2回 全861食）</p> <p>◎食育ラジオリレーへの出演（計10回）</p> <p>◎市役所食堂での適塩ランチの提供（2回） （協力：京都文教短大）</p> <p>◎アライアンスへの加入促進 加入団体数 健康づくり54団体 食育59団体 ⇒合計113団体（R7.3.31時点）となり、令和5年度に比べ16団体増加</p>		
事業評価	健康長寿日本一の実現に向けて「宇治市健康づくり・食育アライアンス U-CHA」の活動を通じて、市民の健康意識の醸成をはじめ、健康行動の変容促進を図るとともに、加入団体相互の有機的な連携を目的とした交流支援を行った。今後も引き続き、効果的な支援を図れるよう、事業実施の手法について検討する必要がある。		

事務事業名	未来をつくる食育推進事業費	所管課	健康づくり推進課																															
		決算額	1,566 千円																															
事業内容	「子育てにやさしいまち実現プロジェクト」の一環として、食生活を取り巻く状況が変化する中、次世代の健全な食生活の実践につなげ、子どもの生きる力を育む環境づくりを行うため、地域が主体となって行う食育活動による交流が図れるよう支援を行う。																																	
成果・実績	<p>木幡・黄檗エリア及び小倉エリアにおいて地域主体による食育活動の展開を支援するための補助金制度を実施した。</p> <p>補助件数 13件</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 55%;">源氏物語レシピに挑戦</td> <td style="width: 5%;">8</td> <td style="width: 35%;">食に関する話と実践</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>夏休みサンロックでパン作り体験</td> <td></td> <td>調活のお話&簡単クッキング</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>減塩メシ動画作成講座</td> <td>9</td> <td>野菜を作って、収穫野菜でクッキング</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>みんなでつくってたべる</td> <td>10</td> <td>手作りソーセージ教室</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>防災教室「段ボール窯でピザを焼こう」</td> <td rowspan="2">11</td> <td>管理栄養士監修 発酵ワークショップ</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>親子で楽しむ料理教室</td> <td>お味噌作り 栄養講座付き</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>お味噌づくりの実践とお味噌汁を味わってもらう会</td> <td>12</td> <td>季節のごちそう「宇治茶のおにぎりとお恵方巻」「マイ箸づくり」</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>13</td> <td>源氏物語レシピに挑戦!!～リターンズ～</td> </tr> </table>			1	源氏物語レシピに挑戦	8	食に関する話と実践	2	夏休みサンロックでパン作り体験		調活のお話&簡単クッキング	3	減塩メシ動画作成講座	9	野菜を作って、収穫野菜でクッキング	4	みんなでつくってたべる	10	手作りソーセージ教室	5	防災教室「段ボール窯でピザを焼こう」	11	管理栄養士監修 発酵ワークショップ	6	親子で楽しむ料理教室	お味噌作り 栄養講座付き	7	お味噌づくりの実践とお味噌汁を味わってもらう会	12	季節のごちそう「宇治茶のおにぎりとお恵方巻」「マイ箸づくり」			13	源氏物語レシピに挑戦!!～リターンズ～
1	源氏物語レシピに挑戦	8	食に関する話と実践																															
2	夏休みサンロックでパン作り体験		調活のお話&簡単クッキング																															
3	減塩メシ動画作成講座	9	野菜を作って、収穫野菜でクッキング																															
4	みんなでつくってたべる	10	手作りソーセージ教室																															
5	防災教室「段ボール窯でピザを焼こう」	11	管理栄養士監修 発酵ワークショップ																															
6	親子で楽しむ料理教室		お味噌作り 栄養講座付き																															
7	お味噌づくりの実践とお味噌汁を味わってもらう会	12	季節のごちそう「宇治茶のおにぎりとお恵方巻」「マイ箸づくり」																															
		13	源氏物語レシピに挑戦!!～リターンズ～																															
事業評価	食材・食文化に関する教室及び調理実習などの体験型講座を通じて、食について考える機会の創出と、地域における食のコミュニケーションの促進を図ることができた。今後も引き続き、健全な食生活の実践と、子どもの生きる力を育む環境づくりの推進に努める。																																	

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	健康・保険	

事務事業名	休日急病診療所運営費	所管課	健康づくり推進課									
		決算額	37,616千円									
事業内容	日曜、祝日、振替休日及び年末年始において、急病で医療を望む市民に対し応急的な診療を、内科・小児科・歯科について行う。保健・消防センター（うじ安心館内）に開設している。											
成果・実績	<p>（一社）宇治久世医師会・京都府宇治久世歯科医師会・宇治久世薬剤師会並びに（公社）京都府歯科衛生士会の協力を得て、休日に内科・小児科・歯科の応急診療を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%;">受診者数（人）</th> <th style="width: 35%;">診療日数（日）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科・小児科</td> <td style="text-align: center;">1,375</td> <td style="text-align: center;">71</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td style="text-align: center;">417</td> <td style="text-align: center;">72</td> </tr> </tbody> </table>				受診者数（人）	診療日数（日）	内科・小児科	1,375	71	歯科	417	72
	受診者数（人）	診療日数（日）										
内科・小児科	1,375	71										
歯科	417	72										
事業評価	休日急病診療所において休日、年末年始における応急診療を行い、市民の健康保持に努めた。引き続き、第一次救急医療機関として感染症の流行等、緊急的な事態にも対応できる体制の維持に努める。											

事務事業名	健康診査費（後期高齢者医療事業特別会計）	所管課	健康づくり推進課		
		決算額	114,279千円		
事業内容	疾病の早期発見・治療及び医療費の適正化を図るため、後期高齢者に対し、健康診査及び歯科健診を実施する。健診事業は後期高齢者医療制度において努力目標として明記されているもので、保険者である京都府後期高齢者医療広域連合と連携して行う。				
成果・実績	<p>6月1日～10月31日に（一社）宇治久世医師会及び宇治久世歯科医師会に委託して実施した。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>◎健康診査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診者数 11,053人 ・健診委託料 114,135千円 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>◎歯科健診</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診者数 37人 ・健診委託料 144千円 </td> </tr> </table>			<p>◎健康診査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診者数 11,053人 ・健診委託料 114,135千円 	<p>◎歯科健診</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診者数 37人 ・健診委託料 144千円
<p>◎健康診査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診者数 11,053人 ・健診委託料 114,135千円 	<p>◎歯科健診</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診者数 37人 ・健診委託料 144千円 				
事業評価	後期高齢者を対象に健康診査及び歯科健診を実施し、被保険者の健康の保持増進を図った。今後も高齢者人口の増加及び医療費の増加が見込まれるため、疾病の早期発見・治療につなぐための制度周知等に努める。				

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	健康・保険	

事務事業名	人間ドック受診補助金（後期高齢者医療事業特別会計）	所管課	健康づくり推進課
		決算額	4,026 千円
事業内容	後期高齢者医療制度被保険者を対象に、生活習慣病の早期発見・治療を図るために半日人間ドックに係る健診料の一部を後期高齢者医療事業特別会計から助成する。		
成果・実績	◎受診者数 366人 ◎人間ドック受診委託料 4,026千円（1人あたり11,000円を助成）		
事業評価	令和3年度から定員制を廃止し、人間ドック受診にかかる経費を一部助成しており、希望者全員が受診できる体制を整備している。今後も利用状況等の把握に努め、引き続き実施する。		

事務事業名	特定健康診査等事業費（国民健康保険事業特別会計）	所管課	健康づくり推進課																		
		決算額	85,619 千円																		
事業内容	生活習慣病の予防による医療費の適正化を目的として、40歳以上75歳未満の被保険者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導を実施し、メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少を図る。																				
成果・実績	特定健康診査は、6月1日～10月31日に（一社）宇治久世医師会に委託して実施した。 ◎特定健康診査委託の支払件数と支払額 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 15%;">令和2年度</th> <th style="width: 15%;">令和3年度</th> <th style="width: 15%;">令和4年度</th> <th style="width: 15%;">令和5年度</th> <th style="width: 15%;">令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td style="text-align: center;">9,970</td> <td style="text-align: center;">10,164</td> <td style="text-align: center;">9,558</td> <td style="text-align: center;">8,793</td> <td style="text-align: center;">8,276</td> </tr> <tr> <td>支払額(千円)</td> <td style="text-align: center;">102,173</td> <td style="text-align: center;">104,007</td> <td style="text-align: center;">98,224</td> <td style="text-align: center;">90,377</td> <td style="text-align: center;">85,619</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	件数	9,970	10,164	9,558	8,793	8,276	支払額(千円)	102,173	104,007	98,224	90,377	85,619
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																
件数	9,970	10,164	9,558	8,793	8,276																
支払額(千円)	102,173	104,007	98,224	90,377	85,619																
事業評価	メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少に努めた。対象者へ受診勧奨通知を送付し、周知の充実に努めるとともに、電話による受診勧奨を実施した。また特定保健指導未利用者に対し、電話による利用勧奨を行うとともに、ICT等を活用するなど、利用率向上の取組を実施し、保健指導を行った。引き続き、特定健診受診率向上及び特定保健指導利用率向上に取り組む。																				

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	健康・保険	

事務事業名	人間ドック受診補助金（国民健康保険事業特別会計）	所管課	健康づくり推進課																										
		決算額	64,049 千円																										
事業内容	35歳以上75歳未満の国民健康保険の被保険者を対象に、疾病の早期発見・治療により、健康管理に対する自覚を深めて医療費の適正化を図ることを目的として、半日人間ドック・脳ドックの健診料の7割を国民健康保険事業特別会計から補助する。																												
成果・実績	<p>半日人間ドック・脳ドックに対する受診補助事業を行った。</p> <p>（人間ドック定員）2,000人 （脳ドック定員）1,400人 ※いずれもR5から拡充</p> <p>◎ドック受診者数と決算額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック(人)</td> <td>1,306</td> <td>1,490</td> <td>1,570</td> <td>1,777</td> <td>1,653</td> </tr> <tr> <td>脳ドック(人)</td> <td>684</td> <td>737</td> <td>737</td> <td>812</td> <td>706</td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>53,071</td> <td>59,860</td> <td>62,315</td> <td>69,925</td> <td>64,049</td> </tr> </tbody> </table>					年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	人間ドック(人)	1,306	1,490	1,570	1,777	1,653	脳ドック(人)	684	737	737	812	706	決算額(千円)	53,071	59,860	62,315	69,925	64,049
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																								
人間ドック(人)	1,306	1,490	1,570	1,777	1,653																								
脳ドック(人)	684	737	737	812	706																								
決算額(千円)	53,071	59,860	62,315	69,925	64,049																								
事業評価	令和5年度より半日人間ドック・脳ドックに対する受診補助の定員を拡充し、受診者の健康保持と経済的負担の軽減を図った。今後も受診ニーズの把握に努め、引き続き実施する。																												

事務事業名	うじスマートウェルネス推進事業費	所管課	健康づくり推進課		
		決算額	4,626 千円		
事業内容	医療・介護・保健等のデータを統合して分析用ソフト（LIFEDB）を活用することで、地域ごとの健康課題を明確にする。また、市民・地域・行政が一体となって健康づくりを進めるため、分析結果を活用し、その地域特性に合わせた健康づくりの推進を行う。				
成果・実績	<p>健康データ分析に必要なデータを収集し、分析を行い、運動習慣の動機づけ・継続支援として健康アプリを導入した。また、モデル地域として選定した榎島地域にて、分析結果を踏まえたワークショップを行い、参加者からの意見を基にウォーキングイベントを実施した。</p> <p>◎実施内容</p> <p>6月 :モデル地域である榎島地域にて健康データ分析結果について説明及びワークショップを開催</p> <p>7月 :分析機関より健康データ分析結果（令和5年度分）説明 分析結果を踏まえ、包括圏域ごとに地域診断を実施、地域健康かるてを更新</p> <p>9月～翌2月 :健康アプリ導入・運用</p> <p>10月～翌1月 :顔の見える関係づくりとして榎島地域のイベントへ参加</p> <p>11月 :榎島地域でウォーキングイベントの開催</p>				
事業評価	市全体の健康課題である運動不足へのアプローチとして健康アプリを導入し、運動習慣の定着に向けた動機付けと継続支援を図ることができた。地域の健康課題については、引き続き、地域と健康データを共有し、地域の特性及びニーズを踏まえた、エビデンスに基づく健康づくりに取り組む。健康アプリでは、歩数以外の健康行動についてもデジタル管理できるアプリの活用などを検討する必要がある。				

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	健康・保険	

事務事業名	糖尿病性腎症重症化予防事業費（国民健康保険事業特別会計）	所管課	健康づくり推進課
		決算額	886 千円
事業内容	<p>国民健康保険の被保険者を対象に、QOLの向上と医療費の適正化等を目的に、糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者又は治療中断者に対し、受診勧奨と保健指導を行う。また糖尿病で通院中であるが血糖コントロール不良のハイリスク者に対し、主治医の了解を得て保健指導を行う。</p>		
成果・実績	<p>未受診者及び治療中断者に対し、受診勧奨の個別通知（調査票同封）を行った後、調査票の返却がなかった者に対し、市専門職による電話での再勧奨及び保健指導を実施。その後、レセプト及び特定健診（人間ドック含む）結果確認を行い、状況把握できない者や未受診者等に対し、市専門職による電話や訪問での再々勧奨及び保健指導を実施した。</p> <p>ハイリスク者に対しては、個別通知にて利用勧奨を行い、主治医と適切に連携し、市専門職と京都府栄養士会による並走型の保健指導を実施した。</p> <p>また、前年度以前のハイリスク者保健指導利用者のうち、希望者に対しては、継続支援を実施した。</p> <p>◎実施者数（計）120人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未受診者：71人 ・中断者：31人 ・ハイリスク者：14人 ・ハイリスク者(継続)：4人 <p>◎ハイリスク者保健指導委託料 753千円</p>		
事業評価	<p>糖尿病性腎症の重症化を予防することによって、人工透析への移行を未然に防ぎ、被保険者のQOL向上と医療費適正化を図った。今後も対象者に対して、引き続き受診勧奨及び保健指導を実施する。</p>		

事務事業名	がんとの共生支援事業費	所管課	健康づくり推進課																		
		決算額	1,420 千円																		
事業内容	<p>がん罹患した人の治療と治療後の社会参加等の両立を支援するため、がん治療によるアピアランスの変貌を補完する補整具の購入費用や、若年がん患者が在宅療養する際のサービス費用や福祉用具の貸与・購入費用の一部を補助する。</p>																				
成果・実績	<p>◎がん患者アピアランスケア支援事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">種別</th> <th style="width: 20%;">補助件数（人）</th> <th style="width: 20%;">補助金交付額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウィッグ等</td> <td style="text-align: center;">56</td> <td style="text-align: right;">1,014</td> </tr> <tr> <td>乳房補整具等</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: right;">209</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">68</td> <td style="text-align: right;">1,223</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎若年がん患者在宅療養支援事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">補助件数（人）</th> <th style="width: 20%;">補助月数（か月）</th> <th style="width: 20%;">補助金交付額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: right;">198</td> </tr> </tbody> </table>			種別	補助件数（人）	補助金交付額（千円）	ウィッグ等	56	1,014	乳房補整具等	12	209	合計	68	1,223	補助件数（人）	補助月数（か月）	補助金交付額（千円）	1	10	198
種別	補助件数（人）	補助金交付額（千円）																			
ウィッグ等	56	1,014																			
乳房補整具等	12	209																			
合計	68	1,223																			
補助件数（人）	補助月数（か月）	補助金交付額（千円）																			
1	10	198																			
事業評価	<p>事業開始年度として、市広報誌やホームページなどによる市民への広報や、京都府を通じて府内の国指定のがん診療連携拠点病院等及び府指定のがん診療連携・推進病院へ事業内容を共有することにより、支援を必要とする人への広報に努めた。今後も支援を必要とする人への周知に努め、引き続き実施する。</p>																				

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	高齢者福祉	

事務事業名	保険給付費	所管課	介護保険課
		決算額	15,967,211 千円
事業内容	要介護・要支援認定者が介護サービス・介護予防サービス等を受けた時、その費用の一部を負担する。		
成果・実績	(千円)		
	保険給付費	令和5年度	令和6年度
	介護サービス等諸費	14,805,439	15,554,665
	居宅介護サービス	6,170,573	6,609,551
	地域密着型介護サービス	2,287,620	2,320,292
	施設介護サービス	4,698,032	4,885,875
	特定入所者介護サービス	255,335	249,990
	その他	1,393,879	1,488,957
	介護予防サービス等諸費	362,906	393,932
	介護予防サービス	254,604	272,503
	地域密着型介護予防サービス	262	347
	特定入所者介護予防サービス	227	327
	その他	107,813	120,755
	その他諸費	17,658	18,614
審査支払手数料	17,658	18,614	
事業評価	国制度に基づき適正に給付した。今後も高齢者数の増加に伴い、認定者数及びサービス利用者数が増加する見込みであることから、持続可能な事業運営のため、適正な執行に努めるとともに、ニーズを的確に把握し、事業計画に反映する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	介護サービス相談員派遣事業費	所管課	介護保険課															
		決算額	1,422 千円															
事業内容	<p>申し出のあったサービス事業者に介護サービス相談員の派遣を行うことにより、利用者の疑問及び不満、不安の解消を図るとともに、相談等を通してサービスの現状を把握し、派遣先事業者の介護サービスの質の向上を図る。また、苦情に至る事態を未然に防止すること及び利用者・家族の日常的な不満・疑問に対応して改善を図る事前的な対応を行う。</p>																	
成果・実績	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、多くの事業所で介護サービス相談員の訪問による相談活動を再開した。引き続き訪問を中止している事業所については、文書及びオンラインによる相談活動を継続した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">派遣事業所種別</th> <th style="text-align: center;">派遣事業所数 (か所)</th> <th style="text-align: center;">派遣人数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別養護老人ホーム</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">18</td> </tr> <tr> <td>介護老人保健施設</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>グループホーム</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">18</td> </tr> <tr> <td>指定地域密着型特別養護老人ホーム</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※文書による相談活動は3事業所</p>			派遣事業所種別	派遣事業所数 (か所)	派遣人数 (人)	特別養護老人ホーム	8	18	介護老人保健施設	3	6	グループホーム	18	18	指定地域密着型特別養護老人ホーム	1	2
派遣事業所種別	派遣事業所数 (か所)	派遣人数 (人)																
特別養護老人ホーム	8	18																
介護老人保健施設	3	6																
グループホーム	18	18																
指定地域密着型特別養護老人ホーム	1	2																
事業評価	<p>施設利用者の疑問及び不安を解消するとともに、サービスの質の向上を図った。介護サービス相談員は利用者と施設をつなぐ役割を担っているため、今後も介護サービス相談員の資質の向上に努める。</p>																	

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	高齢者福祉	

事務事業名	福祉人材研修事業費	所管課	介護保険課
		決算額	709 千円
事業内容	介護保険制度創設後、要介護・要支援認定者数及び介護サービス利用者数は年々増加しており、介護サービスの質の向上・確保が課題となっている。介護サービス事業所職員を対象にサービスの質の向上・確保を目的とした研修を行い、介護サービス事業者が利用者の自立支援につながる質の高いサービスを提供できる環境を整備する。		
成果・実績	公益財団法人介護労働安定センターに委託し、介護サービス事業所職員を対象に研修を行った。		
	研修名	参加 (人)	対象
	『研修』を楽しむための研修 研修の有効な活用による キャリアアップと組織活性化について学ぼう！	19	ケアマネジャー 介護サービス事業所職員
	生活困窮者支援に関する研修 ①福祉サービス利用援助事業、くらしの資金貸付事業について ②生活保護制度について ③生活困窮者自立支援制度について	51	
	カスタマーハラスメント対策 実務セミナー ヘビークレームへの対応	30	
	介護技術スキルUP研修 お互いに負担が少ない介護技術を学ぼう！	28	
	リスクマネジメント研修 介護保険事業所にも起こり得る、 災害対応と今後のBCPIについて考えよう！	45	
	介護医療連携研修 ①介護医療連携（ACP）について学ぼう！ ②介護職に認められている医療行為について確認しよう！	33	
	ケアプラン作成スキルUP研修 介護予防計画書作成について学ぼう！	32	
	福祉人材パワーUP研修 私と職場の成長を進めよう！ ～「社会人基礎力」とは？ 業務推進に使える引き出しを増やそう！～	21	
	事例発表 『医療ニーズが高い利用者を支援した事例』 ①通院等乗降介助の実践事例 ②医療ニーズが高い利用者への訪問入浴の実践事例 ③医療ニーズが高い利用者への訪問介護の実践事例	20	
コミュニケーション力UP研修 『報・連・相』に大切な、コミュニケーションマインドを鍛えよう！	28		
事業評価	介護サービス事業所職員に対して研修を実施し、介護サービス事業者が提供するサービスの質の向上・確保を図った。今後も介護サービス事業所の質をより高めるための支援・指導の手法について、引き続き検討する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	高齢者福祉	

事務事業名	介護保険料（歳入）	所管課	介護保険課	
		決算額	3,610,728 千円	
事業内容	令和6年度から令和8年度までの第1号被保険者の保険料は、第9期介護保険事業計画期間の介護保険サービス見込み量等をもとに算出し、15段階の設定としている。			
成果・実績	◎第1号被保険者数	54,259人（令和6年度末現在）		
	◎保険料収納率	現年度分	99.69 %	
		滞納繰越分	13.56 %	
		合計	98.83 %	
		【令和6年度の保険料段階別年間保険料額】		
		保険料段階	年間保険料額(円)	
		第1段階	17,700	
		第2段階	24,780	※
		第3段階	46,020	※
		第4段階	56,640	
		第5段階	70,800	（基準額）
		第6段階	77,880	
		第7段階	92,040	
		第8段階	116,820	
		第9段階	138,060	
	第10段階	148,680		
	第11段階	159,300		
	第12段階	169,920		
	第13段階	180,540		
	第14段階	191,160		
	第15段階	208,860		
	※ 保険料段階が第2段階または第3段階の者のうち、特に低所得である者については申請により保険料の減額を行っている			
事業評価	第9期介護保険事業計画期間における保険給付費等を見通し、保険料収入を確保する原則に基づき適切な事業運営を行った。今後もケースに応じた納付指導等により収納率の向上を図り、安定的な事業運営に努める。			

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	高齢者福祉	

事務事業名	地域密着型サービス等整備費補助金	所管課	介護保険課
		決算額	71,434 千円
事業内容	「宇治市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、地域において適切に介護サービスを提供できるよう、施設整備を計画的に進める。		
成果・実績	<p>◎地域密着型サービス等整備等助成事業（面的整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（介護予防）認知症対応型共同生活介護 36,600 千円 整備法人 社会福祉法人 洛和福祉会 整備施設名称 洛和グループホーム宇治 施設場所 宇治市宇治山本25-2 <p>◎施設開設準備経費等支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（介護予防）認知症対応型共同生活介護 17,802 千円 整備法人 社会福祉法人 洛和福祉会 整備施設名称 洛和グループホーム宇治 施設場所 宇治市宇治山本25-2 ・認知症対応型共同生活介護 17,032 千円 整備法人 総合ケア株式会社 整備施設名称 そうごうケアホーム六地藏 施設場所 宇治市木幡赤塚24-6 		
事業評価	計画に定める施設整備を進めることができた。今後も介護サービスのニーズを的確に把握し、効果的かつ計画的な施設整備に努める。		

事務事業名	地域介護・福祉空間整備費補助金	所管課	介護保険課
		決算額	12,793 千円
事業内容	「宇治市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、地域において適切に介護サービスを提供できるよう、高齢者施設等の防災・減災対策に対する補助を実施する。		
成果・実績	<p>◎認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（介護予防）認知症対応型共同生活介護 7,249 千円 整備法人 株式会社 ケアトラスト 整備施設名称 グループホーム メイプルリーフ宇治 施設場所 宇治市榎島町本屋敷10-1 ・小規模多機能型居宅介護 5,544 千円 整備法人 株式会社 ケアトラスト 整備施設名称 メイプルリーフ宇治 施設場所 宇治市榎島町本屋敷10-1 		
事業評価	利用者及び利用者家族が安心して利用できるよう、グループホーム等の防災改修などを支援した。今後も介護サービスの提供において求められる防災・減災対策に関するニーズを的確に把握し、効果的かつ計画的な施設整備に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	高齢者福祉	

事務事業名	介護人材確保事業費	所管課	介護保険課						
		決算額	488 千円						
事業内容	介護支援専門員実務研修受講試験の受験を希望する市内在勤の介護職員等に対し、合格に必要な専門知識を学ぶ対策講座を実施する。								
成果・実績	<p>公益財団法人介護労働安定センターに委託し、市内在勤の介護職員等を対象に講座を実施した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">講座申込者</th> <th style="text-align: center;">合格者数</th> <th style="text-align: center;">申込者合格率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">55人</td> <td style="text-align: center;">21人</td> <td style="text-align: center;">38.2%</td> </tr> </tbody> </table>			講座申込者	合格者数	申込者合格率	55人	21人	38.2%
講座申込者	合格者数	申込者合格率							
55人	21人	38.2%							
事業評価	講座の開催により、合格率は、前年を上回るとともに、京都府平均の32.8%を上回ることができた。今後も介護支援専門員の確保のため、効果的な事業実施に努める。								

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	健康長寿部
関連分野	子育て環境	

事務事業名	子育て支援医療費支給費	所管課	年金医療課																
		決算額	621,147 千円																
事業内容	乳幼児の健康保持増進と子育て支援を図ることを目的に、平成5年10月1日から乳幼児医療助成事業を実施している。子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分から一部負担金を控除した額を助成しており、申請に基づいて乳幼児、小学生及び中学生の保護者に京都子育て支援医療費受給者証を交付し、現物給付方式又は償還給付方式で助成を行う。																		
成果・実績	<p>子育て支援の観点から子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分のうち一部負担金を除いて助成を行った。</p> <p>◎受給者数 19,071 人 ◎扶助費 601,928 千円</p> <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">一部負担金</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">0～5歳</td> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">小学生</td> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">中学生</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">入院</td> <td colspan="3" style="text-align: center; border: 1px solid black;">1医療機関 200円／月</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">外来</td> <td colspan="3" style="text-align: center; border: 1px solid black;">1医療機関 200円／月※</td> </tr> </table> <p style="text-align: right; margin-right: 100px;">※中学生外来の府制度は1,500円／月</p>			一部負担金					0～5歳	小学生	中学生	入院	1医療機関 200円／月			外来	1医療機関 200円／月※		
一部負担金																			
	0～5歳	小学生	中学生																
入院	1医療機関 200円／月																		
外来	1医療機関 200円／月※																		
事業評価	京都府制度と市独自制度を適正に執行し、対象者の健康の保持と子育て家庭の経済的負担の軽減を図った。子育てに要する経済的負担の軽減については、引き続き国等に要望する。																		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	健康・保険	

事務事業名	福祉医療費支給費	所管課	年金医療課		
		決算額	470,217千円		
事業内容	一定の障害のある重度心身障害者並びにひとり親家庭児及びその親などに対し、健康の保持と福祉の向上を図るため、疾病に係る医療保険各法による医療費のうち自己負担分を支給し、経済的負担の軽減を図る。				
成果・実績	<p>対象者へ助成を行い、経済的負担の軽減を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>◎ひとり親家庭・重度障害者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重度障害者 1,713人 ・ ひとり親家庭児 2,027人 ・ ひとり親家庭児の親 1,348人 ・ 扶助費 441,205千円 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>◎療育手帳Bのみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 療育手帳Bのみ 256人 ・ 扶助費 21,117千円 </td> </tr> </table>			<p>◎ひとり親家庭・重度障害者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重度障害者 1,713人 ・ ひとり親家庭児 2,027人 ・ ひとり親家庭児の親 1,348人 ・ 扶助費 441,205千円 	<p>◎療育手帳Bのみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 療育手帳Bのみ 256人 ・ 扶助費 21,117千円
<p>◎ひとり親家庭・重度障害者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重度障害者 1,713人 ・ ひとり親家庭児 2,027人 ・ ひとり親家庭児の親 1,348人 ・ 扶助費 441,205千円 	<p>◎療育手帳Bのみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 療育手帳Bのみ 256人 ・ 扶助費 21,117千円 				
事業評価	京都府制度と市独自制度を適正に執行し、対象者の健康の保持と経済的負担の軽減を図った。今後も引き続き適正な支給事務の遂行に努めるとともに、京都府の動向を注視しながら制度対象の拡大等について要望等を行う必要がある。				

事務事業名	重度心身障害老人健康管理費	所管課	年金医療課		
		決算額	142,526千円		
事業内容	後期高齢者医療制度の被保険者である重度心身障害老人等に対し、一部負担金に相当する額を健康管理費として給付する。				
成果・実績	<p>対象者に健康管理に要する費用を給付し、健康の保持と障害者福祉の向上を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>◎重度障害者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受給者数 1,489人 ・ 扶助費 140,932千円 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>◎療育手帳Bのみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受給者数 3人 ・ 扶助費 28千円 </td> </tr> </table>			<p>◎重度障害者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受給者数 1,489人 ・ 扶助費 140,932千円 	<p>◎療育手帳Bのみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受給者数 3人 ・ 扶助費 28千円
<p>◎重度障害者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受給者数 1,489人 ・ 扶助費 140,932千円 	<p>◎療育手帳Bのみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受給者数 3人 ・ 扶助費 28千円 				
事業評価	京都府制度と市独自制度を適正に執行し、対象者の健康の保持と経済的負担の軽減を図った。今後も引き続き適正な支給事務の遂行に努めるとともに、京都府の動向を注視しながら制度対象の拡大等について要望等を行う必要がある。				

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	健康・保険	

事務事業名	国民健康保険料（歳入）	所管課	国民健康保険課		
		決算額	3,197,748 千円		
事業内容	宇治市の国民健康保険料については、制度改革に伴い、京都府が示す標準保険料率に基づき設定することを基本としつつ、宇治市国民健康保険運営協議会の答申を踏まえ、設定する。				
成果・実績	◎加入世帯数 21,103世帯、被保険者数 30,628人（令和6年度末現在）				
	◎保険料収納率 現年度分 96.02% 滞納繰越分 35.06% 合計 90.88%				
	◎令和6年度 国民健康保険料率				
		所得割	均等割	平等割	賦課限度額
	医療給付費分	8.94 %	31,300円	20,500円	65万円
後期高齢者支援金分	3.07 %	10,500円	6,800円	24万円	
介護納付金分	2.93 %	12,200円	6,000円	17万円	
事業評価	国民健康保険事業特別会計において、単年度の収支均衡を図るため、保険給付費等を見通して保険料収入を確保するという原則に基づき、京都府と連携しながら適切な事業運営を行った。				

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	道路

所管部局
建設部

事務事業名	地籍調査事業費	所管課	建設総務課
		決算額	11,905千円
事業内容	土地の地目・面積・所有者など、土地の実態を正確に把握することを目的とし、地権者立会いのもと、官民境界および民民境界を決める「一筆地調査」を行う。これにより災害復旧の迅速化・土地の有効活用の促進・課税の適正化などの効用が期待できる。		
成果・実績	<p>小倉町において、地籍調査を実施した。</p> <p>◎調査実施箇所 小倉町南浦の一部 (0.02km²) 4,345千円</p> <p>◎調査実施箇所 小倉町西浦、南堀池の一部 (0.02km²) 7,560千円</p>		
事業評価	一筆地調査の実施により、土地の実態を正確に把握し、地籍図、地籍簿を作成することができた。今後も、災害復旧の迅速化・土地の有効活用の促進等に資するため、調査を継続していく必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち	建設部
関連分野	道路	

事務事業名	交通安全施設整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	22,906 千円

事業内容	交通安全対策として、路面標示、ガードレール、カーブミラー、防護柵、歩道の設置、段差解消などを実施する。
-------------	---

成果・実績	<p>通学路であることを明示する横断歩道のカラー化や、交差点の強調として交差点のカラー化を行い、歩行者等の安全を確保した。 市内全域を対象として交通安全施設の設置を行うなど、歩行者等の安全確保の取組を進めた。</p> <p>◎交通安全施設設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路反射鏡設置 16 基 ・防護柵設置 78 m ・薄層カラー舗装 155 m² ・区画線設置 2,760 m
	<p style="text-align: center;">交通安全施設設置 琵琶台12号線</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">交通安全施設設置 十一外線</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>

事業評価	道路の安全対策に係る施設整備を実施したことにより、歩行者等の安全確保を図ることができた。今後も各地域の歩行者等の交通安全対策を実施するとともに、宇治市通学路交通安全プログラムの取組を継続して進める。
-------------	---

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち	建設部
関連分野	道路	

事務事業名	一般道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	26,909 千円
事業内容	市内生活道路等の整備を図り、安全で安心な道路網を確保する。		
成果・実績	地元町内会等からの要望を受け、宇治五ヶ庄線（瓦塚）ほか5路線の道路改良工事及び2路線の測量等を実施した。		
	宇治五ヶ庄線（瓦塚）		
			
	着工前	完成後	
事業評価	市民の要望等を受け、道路改良工事を実施したことにより、安全で安心な道路網を確保できた。今後も事業箇所を精査し、道路整備を実施する。		

事務事業名	辺地整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	4,420 千円
事業内容	「辺地に係る公共的施設の総合整備計画」に基づき、笠取地区、炭山地区、二尾・池尾地区における道路で、幅員狭隘で通行が危険な箇所の道路改良を実施し、山間地における市民の生活環境の改善を図る。		
成果・実績	梅谷大平線で、一部区間の道路拡幅のための用地取得が完了した。		
	梅谷大平線		
			
	現況（令和7年3月末時点）		
事業評価	道路改良工事によって、幅員狭隘で危険な箇所の改善に効果を上げることができるよう、引き続き「辺地に係る公共的施設の総合整備計画」に基づき事業を進め、山間部の生活環境の改善を図る取組を進める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち	建設部	
関連分野	道路		

事務事業名	六地蔵地区道路整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	32,251 千円
事業内容	JR六地蔵駅北周辺地区地区計画に基づき、交通利便性の向上を図るため、区画道路及び自転車歩行者専用道路を整備する。		
成果・実績	六地蔵33号線の道路改良工事を実施し、六地蔵サポート道路が開通した。 六地蔵33号線		
			
事業評価	隣接する開発工事との工程調整を行いながら、六地蔵33号線の道路改良工事を行った。関係機関及び地域などとの調整を図り、六地蔵サポート道路を開通することができた。		

事務事業名	小倉地区駅間誘導ルート整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	20,819 千円
事業内容	ニンテンドーミュージアムの開館を契機として、JR小倉駅から近鉄小倉駅までの駅間誘導のため、車道・歩道のカラー化等を整備する。		
成果・実績	小倉西山一ノ坪線の歩行空間のカラー舗装等を実施した。 小倉西山一ノ坪線		
			
事業評価	関係機関との調整を行い、府道と市道での連続的なカラー化の整備により、駅間誘導ルートを視覚的に誘導することができた。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	道路

所管部局
建設部

事務事業名	木幡41号線道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	103,973 千円
事業内容	京阪木幡駅と木幡中学校が近接したところで歩行者が多く、十分な歩道幅員が確保されていないため、木幡41号線の道路を改良する。		
成果・実績	歩道幅員を拡げるための道路改良工事を実施した。		
	 <p>着工前</p>	 <p>完成後</p>	
事業評価	歩道幅員を拡げたことにより、歩行者の安全性の向上を図ることができた。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち	建設部
関連分野	道路	

事務事業名	道路インフラ長寿命化事業費	所管課	維持課
		決算額	180,678 千円
事業内容	道路（舗装、小規模附属物）、橋梁、トンネル等の道路施設について長寿命化を図るため、計画的な点検や修繕などを実施する。		
成果・実績	道路（舗装、小規模附属物）、橋梁、トンネル等の長寿命化計画に基づき、定期点検や長寿命化計画改定業務及び養老橋ほか3橋の修繕設計業務などを行った。 また、大峰橋や落合4号橋の修繕工事、宇治白川線の舗装修繕工事などを行った。		
事業評価	定期的な点検や長寿命化計画改定業務及び修繕工事を実施することにより、道路施設の長寿命化を図ることができた。引き続き、個別施設の長寿命化計画を更新し、長寿命化に向けて計画的に取り組む。		

事務事業名	私道改良事業費	所管課	維持課
		決算額	11,711 千円
事業内容	私道に係る舗装新設・補修工事、排水設備の改良・補修工事を実施する自治会等に対して、その対象工事費の80%を補助する。（平成21年度より横断側溝は90%）		
成果・実績	◎実施数 6件 ◎補助金額 11,711千円		
	 <p style="text-align: center;">着工前</p>	 <p style="text-align: center;">完成後</p>	
事業評価	自治会等に対して工事費を補助したことにより、私道の安全な通行確保を図ることができた。市民の身近な道路整備に対応している事業であり、要望に応えつつ、適正な運営に努める必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

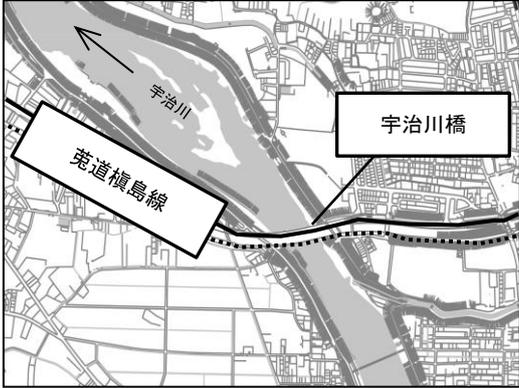
総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち	建設部
関連分野	道路	

事務事業名	道路等維持修繕関連事業費	所管課	維持課
		決算額	567,979 千円
事業内容	<p>道路を常に安全な状態に維持するため、市民要望等に基づき道路の修繕並びに清掃、側溝改修、舗装補修、橋梁及び街灯の維持管理などを行い、安全安心なまちづくりを推進するほか、草刈り、街路樹の剪定・補植などを実施する。また、市民要望に即応するため、緊急を要する維持修繕については直営により機動修理班が対応する。</p>		
成果・実績	<p>地元要望による側溝改修（1,288m）及び舗装補修（7,399㎡）工事を実施するとともに、道路区画線の敷設及び道路側溝などの清掃のほか、街灯の新設、街路樹の剪定・補植などの道路全般に係る維持管理を実施した。</p> <p>緊急を要する維持修繕については、2班体制の機動修理班によって対処した。</p> <p>本年度の機動修理班による対処件数は、道路側溝修繕253件、道路保全646件、交通安全施設の補修等110件、防災関係69件、溶接関係16件で、全体では1,572件であった。このうち特に緊急対応が必要な出動回数は18件であり、いずれも応急処置等を行い、事故・災害の未然防止を行った。</p> <p>◎道路維持修繕事業費 523,509千円（うち繰越分 47,000千円） ◎街灯設置保全事業費 44,470千円</p>		
			
	大久保町58号線（歩道改修工事）	機動修理班による作業状況	
事業評価	<p>道路の修繕並びに清掃、側溝改修、舗装補修、橋梁及び街灯の維持管理などを実施するとともに、即時、緊急対応を行ったことにより、着実に道路等の環境整備及び事故の未然防止、安全な通行の確保を図ることができた。一方、町内会等からの側溝改修等の要望は年々増加しており、安全で快適な道路管理を今後も引き続き実施する。</p>		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	道路

所管部局
建設部

事務事業名	菟道榎島線橋梁耐震化事業費	所管課	維持課
		決算額	20,826 千円
事業内容	<p>「宇治市国土強靱化計画」に基づき、災害時における早期復旧や物資の輸送道路を確保するため、菟道榎島線の橋梁及び緊急輸送路を跨いでいる跨道橋について順次、耐震化（耐震補強）を実施する。</p>		
成果・実績	<p>◎菟道榎島線(宇治川橋)橋梁耐震化工事委託 (対象橋梁)宇治川橋</p> <ul style="list-style-type: none"> 宇治川橋の下部工は、緊急輸送路である一般国道1号(京滋バイパス)と構造が一体的となっているため、西日本高速道路(株)(NEXCO西日本)に耐震工事を委託して実施。 令和5年度より下部工の施工を開始し、令和6年度は橋脚に鉄筋コンクリートを巻き立てる耐震補強を実施。 		
			
事業評価	<p>関係機関と調整を図り、宇治川橋の橋脚部の耐震補強を実施することができた。引き続き、災害時における早期復旧や物資の輸送道路を確保するため、菟道榎島線における橋梁耐震化を進める必要がある。</p>		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	建設部
関連分野	防災、河川・治水	

事務事業名	排水路改良事業費	所管課	治水対策課
		決算額	98,444 千円
事業内容	都市化の進行に伴う保水機能の低下及び近年多発している局地的豪雨による著しい雨水流出量の増加に対応し、水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図るため、排水路の改良工事を実施する。		
成果・実績	<p>排水路の流下能力の向上を図るため、老朽化施設の改良工事を行った。</p> <p>◎改良工事等 98,309千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治7号排水路（その4）改良工事 工事延長 L=75.9m ・他3件 <p style="text-align: center;">宇治7号排水路（その4）改良工事</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
事業評価	排水路の流下能力の向上及び老朽箇所の補強改良工事を実施したことにより、浸水被害の軽減に向けた安全快適な都市基盤の整備を図ることができた。引き続き、治水能力の向上に向け、計画的に実施する。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	建設部
関連分野	防災、河川・治水	

事務事業名	河川改修事業費	所管課	治水対策課
		決算額	18,579千円
事業内容	都市化の進行に伴う雨水流出量の増加と護岸等の老朽化に対応した水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図るため、河川の機能増強等の改修整備を実施する。特に市街地において緊急な対策を要する河川については重点整備を行う。		
成果・実績	河川の機能増強を図り、浸水被害を軽減するため、河川改修工事や設計、測量業務を行った。		
	<p>◎改修工事等 18,579千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山王ヶ谷川改修工事（その2） 工事延長 L=104.1m ・他2件 <p style="text-align: center;">山王ヶ谷川改修（その2）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
事業評価	河川の機能増強等を実施したことにより、雨水流出量の増加と護岸等の老朽化に対応した水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図ることができた。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	建設部
関連分野	防災、河川・治水	

事務事業名	河川維持管理費	所管課	治水対策課
		決算額	11,897千円
事業内容	河川施設等の機能の維持・向上に努め、流域の水害防除と沿川の環境整備を図る。		
成果・実績	河川（排水路）の修繕工事を行った。		
	◎修繕工事 11,897千円 ・五ヶ庄4号排水路修繕工事 工事延長 L=43.0m		
	五ヶ庄4号排水路修繕工事		
			
	着工前	完成後	
事業評価	河川施設等の適正な維持管理を実施したことにより、排水機能の向上を図ることができた。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち	建設部
関連分野	市街地形成	

事務事業名	市営住宅施設改良事業費	所管課	住宅課
		決算額	102,764 千円
事業内容	市営住宅の入居者の居住性の向上やストックの長寿命化を図るため、「宇治市公営住宅等長寿命化計画」等に基づき、既存市営住宅の計画的な改良事業を実施する。		
成果・実績	各計画に基づき、事業を実施した。		
	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 榎島吹前市営住宅7号棟外壁ほか改修工事 88,833千円 ◎ 宇治東山市営住宅（21号～28号）浴室等改修設計業務委託 5,500千円 ◎ 大久保旦椋市営住宅受水槽ほか改修設計業務委託 5,170千円 ◎ 神明宮東市営住宅屋根ほか改修設計業務委託 2,420千円 	 <p style="text-align: center;">榎島吹前市営住宅7号棟外壁ほか改修工事</p>	
事業評価	「宇治市公営住宅等長寿命化計画」等に基づき、既存市営住宅の計画的な改修工事及び設計業務などを実施することができた。今後も引き続き、施設の長寿命化に向けて取り組む。		

事務事業名	善法・東山地区住環境改善基本計画等策定事業費	所管課	住宅課
		決算額	19,065 千円
事業内容	宇治東山市営住宅のあり方を検討し、安全で安心して暮らせる善法・東山地区のまちづくりの方向性等に係る基本構想・基本計画を策定する。		
成果・実績	宇治東山市営住宅の建替候補地として選定された善法青少年センター及び善法保育所敷地において、既存施設である青少年センターと保育所の機能を保持しつつ、新たに複合施設として地域に有用な施設となるよう、地域や施設利用者など多数の方に意見等を伺い、基本構想・基本計画を取りまとめた。		
	<p>地域・保護者等説明会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 宇治東山市営住宅建替推進委員会（総開催4回、令和6年度1回） ◎ 地元・保護者説明会（総開催3回、令和6年度1回） ◎ 保護者等茶話会（総開催4回、令和6年度1回） <p>実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 善法青少年センター及び善法保育所敷地 境界確定等業務委託（繰越） ◎ 宇治・東山市営住宅建替基本構想・基本計画策定業務（繰越） 		
事業評価	地域や保護者の意見を踏まえ、宇治東山市営住宅の建替並びに善法青少年センター、善法保育所の複合施設の基本構想・基本計画を策定した。今後も地域や保護者の意見を伺いながら、計画施設の基本・実施設計並びに土地造成に係る設計業務に取り組む。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	市街地形成

所管部局
建設部

事務事業名	空き家等対策関連事業費	所管課	住宅課
		決算額	6,083 千円
事業内容	「宇治市空き家等対策計画」に基づき、管理が行われていない空き家等の発生を抑止し、地域住民の生活環境の保全を図るとともに、併せて空き家等の利活用に取り組み、空き家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ◎管理不全な空き家等への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・管理不全な空き家等の解決件数 60件 ◎管理不全な空き家等の発生抑止 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家等アドバイザーの派遣 11件 ・空き家情報誌（ハンドブック）の作成 2,500部 ・固定資産税納税通知への啓発チラシの同封 約70,000通 ◎流通・利活用の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・新婚・子育て世帯等住宅確保おうえん事業補助金 5件 ・狭小地等解消推進補助金 2件 ・空き家居住支援補助金（就業場所の確保） 2件 ・住宅確保要配慮者専用賃貸住宅改修補助金 1件 		
事業評価	適切に管理されていない空き家等への対応を関係各課と連携して効率的に取り組むことができた。また、補助事業を通じて、空き家流通・利活用の促進を図った。令和7年度からは「宇治市特定空家等及び管理不全空家等の判断基準」に基づき対応を行うとともに、引き続き種々の補助事業を展開していく。		

事務事業名	高齢者優良賃貸住宅供給事業費補助金	所管課	住宅課
		決算額	9,911 千円
事業内容	高齢者の居住の安定の確保を図るため、高齢者の身体機能に対応したバリアフリー化及び入居者の緊急時に対応するシステムを備えた高齢者向け優良賃貸住宅を民間事業者等が整備・運営するにあたり、建設費、家賃などの一部補助を行う。		
成果・実績	<p>高齢者向け優良賃貸住宅を運営する事業者に対し、家賃減額補助金の交付を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎交付件数 1件 ◎補助金額 9,911千円 		
事業評価	高齢者向け優良賃貸住宅を運営する事業者に、入居者の家賃減額分に対する補助を交付することにより、高齢者の居住の安定に努めることができた。今後も国及び京都府の制度の動向を注視しつつ、引き続き実施する。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち	都市整備部
関連分野	公園緑地	

事務事業名	まちかどふれあい花だん推進事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	1,967 千円
事業内容	市民が日常生活の関わりの中で、自らの意思と手法により身近な地域の環境美化に努め、ゆとりとうるおいのある生活空間を創造するため、公園や歩道などの一部をボランティア団体等の活動により、花及び木を植えて花壇化する。		
成果・実績	<p>町内会、喜老会及びまちの美化・緑化活動をしているボランティア団体を対象に、花壇管理に必要な花苗・肥料などの支給を行った。</p> <p>◎花壇箇所数 59か所（令和6年度末時点）</p> <div style="text-align: right;">  </div>		
事業評価	公共施設の敷地の一部を花壇として維持管理してもらうことで、市内の緑化推進を図るとともに、地域活動の支援を図ることができた。今後継続して事業に取り組むため、活動をより多くの団体等に知ってもらう必要がある。		

事務事業名	緑化啓発費	所管課	公園緑地課
		決算額	114 千円
事業内容	市民の「みどり」を守り育てる意識の高揚を図るため、春の「みどりの月間」の「緑のウォークラリー」を中心として啓発事業を展開する。		
成果・実績	<p>「緑のウォークラリー」を実施するとともに、宇治市緑化ボランティア「みどりの会」が植物公園において展示を行い、緑化啓発活動を行った。</p> <p>◎緑のウォークラリー 開催日：4月29日(月・祝) 開催場所：宇治市植物公園、太陽が丘、クリーンパーク折居</p> <p>◎みどりの会春展 開催時期：4月13日～5月6日 宇治市植物公園 緑の館前テラス 5月8日～5月9日 市役所ロビー</p> <p>◎みどりの会秋展 開催時期：10月1日～10月27日 開催場所：宇治市植物公園 緑の館前テラス</p> <div style="text-align: right;">  </div>		
事業評価	ウォークラリー及び展示会の実施により緑に親しむとともに、都市における緑化の必要性を市民に認識してもらうことができた。今後はウォークラリーではゴール地点の追加や景品の種類を増やすことで参加者が増えてもらうように工夫し、展示会では回数を多く開催することにより、緑化啓発に取り組む。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち	都市整備部
関連分野	公園緑地	

事務事業名	みどりのボランティア推進事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	2,175 千円
事業内容	宇治市の緑の拠点である植物公園で市民が園芸の知識及び技術などを学びながら、魅力あふれる植物公園づくりを協働で行うとともに、そこで得た知識・技術を活かして地域の公共施設・公共空地の緑化・美化を進め、みどりのボランティアリーダーの育成を図る。		
成果・実績	<p>「緑のボランティア養成講座」修了生が学んだ知識及び技術を活かして、植物公園をはじめ、西宇治公園、黄檗公園、市役所北玄関で花壇管理を行ったほか、植物公園で苗作り、花壇管理、バラ園管理、ハーブ園管理、イベント協力などの活動を行った。</p> <p>◎ボランティア登録数 60人(令和6年度末時点)</p> <div style="text-align: right;">  <p style="text-align: center;">活動の様子</p> </div>		
事業評価	都市の緑化及び美化を進めるための緑化リーダーとなるボランティアの養成とその活動を支援することにより、緑化・美化の推進を図ることができた。今後もボランティア活動の幅を広げる手法等を検討する必要がある。		

事務事業名	公園バリアフリー等整備事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	31,703 千円
事業内容	安全で安心して公園を利用できるように公園施設のバリアフリー化基準等に基づく公園施設のバリアフリー化及び遊具の更新を行う。		
成果・実績	<p>安全で安心して利用できる公園とするため、遊具の更新を行った。</p> <p>◎遊具更新公園数 7公園(月夜児童遊園ほか)</p> <p>◎遊具更新数 10基</p> <div style="text-align: right;">  <p style="text-align: center;">月夜児童遊園</p> </div>		
事業評価	遊具の更新を行い、安全で安心して公園利用ができるように努めることができた。引き続き、公園施設の状況を把握し計画的な整備を検討する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	公園緑地

所管部局
都市整備部

事務事業名	公園維持管理費	所管課	公園緑地課
		決算額	195,924 千円
事業内容	公園の運営管理等、公園としての機能を維持し、適正な利用を増進する。		
成果・実績	<p>公園の運営管理等、利用しやすい環境整備を行った。</p> <p>◎公園施設の除草・樹木剪定及び修繕・維持改良などを実施 ◎地元自治会・町内会の公園管理に対する報償費</p>		
事業評価	清掃及び剪定などについて地元自治会及び外部への委託により、適正な管理に努め、利用しやすい環境を維持することができた。今後は、公園施設の管理・利用状況などを踏まえ、計画的な修繕・更新を図る必要がある。		

事務事業名	公園施設管理委託費	所管課	公園緑地課
		決算額	241,830 千円
事業内容	有料都市公園施設の管理運営及び施設の小修繕などを指定管理者である（公財）宇治市公園公社が行い、利用者の利便性向上を図る。		
成果・実績	<p>各施設の運営にあたっては、維持管理及び施設貸出業務を適切に行うとともに、利用者へのサービス向上と、開催イベントの充実等の利用促進を行い、併せて業務の見直し、経費の削減に努めた。</p> <p>指定管理者である（公財）宇治市公園公社による利用者へのサービス向上の取組として、植物公園は年間入園券、16時以降の入園料金の値下げ等を行い、運動公園はテニスコート、野球場の夏季早朝利用枠の設定等を行った。</p> <p>◎指定管理料 241,680千円</p>		
事業評価	指定管理者によって適切に管理運営ができた。今後も利用者の利便性向上のため、引き続き効果的・効率的な管理運営と、さらなる魅力増進に向けた施設づくりに努める必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	公園緑地

所管部局
都市整備部

事務事業名	黄檗公園再整備事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	169,312 千円
事業内容	黄檗公園は、多世代が交流できるスポーツ・レクリエーション活動の場であり、宇治市地域防災計画において東宇治地域の防災拠点として位置付けられていることから、災害時における現地対策本部及び避難場所などの機能を兼ね備えた都市公園として施設の再整備を行う。		
成果・実績	<p>災害発生時に避難者と緊急車両が安全に移動できるよう、園路の改修工事を実施するとともに、被災情報を表示するため、野球場スコアボード改修工事を実施。</p> <p>◎園路改修工事 73,626千円</p> <p>◎野球場スコアボード改修工事 93,134千円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>		
事業評価	園路及び野球場施設の改修を実施し、防災拠点の機能強化につなげた。引き続き、防災機能の向上に向けた整備に取り組む必要がある。		

事務事業名	植物公園施設改修事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	207,035 千円
事業内容	植物公園の長寿命化対策として施設改修（空調設備）を実施する。		
成果・実績	<p>令和5～6年度の債務負担行為により、宇治市植物公園の緑の館及び温室の空調設備の改修を実施。</p> <p>◎宇治市植物公園空調設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑の館：パッケージエアコン機器、動力盤、中央監視盤 ・温室：空調熱源機器 		
事業評価	適正な工事の進捗管理により、植物への影響がないように改修を実施することができた。引き続き、植物公園の長寿命化に向けた施設改修を実施する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	公園緑地

所管部局
都市整備部

事務事業名	源氏で彩る植物公園魅力発信事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	4,300 千円
事業内容	源氏物語及び紫式部ゆかりの地である宇治の魅力発信に向けて、宇治市植物公園を舞台として、源氏物語や紫式部関連の催しを行う。		
成果・実績	<p>下記取組を宇治市植物公園で実施した。</p> <p>◎花と水のタペストリー絵柄「紫式部」 開催時期：5月21日～11月30日</p> <p>◎源氏物語に関わる植物クイズラリー 開催時期：3月30日～4月14日 7月20日～7月28日 11月9日～11月24日</p>		
			
事業評価	源氏物語をテーマとしたイベントを通じて、宇治の魅力を発信することができた。また、源氏物語と植物のつながりをキーワードに様々な植物をアピールし、植物公園により親しみを持ってもらうことができた。		

事務事業名	公園照明LED化事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	34,648 千円
事業内容	市内の公園にある公園灯をLED化することにより、省電力化による地球温暖化対策に寄与するとともに維持管理の低減を図る。		
成果・実績	<p>市内の公園にある公園灯をLEDに変更した。</p> <p>◎市内公園、緑地の水銀灯、蛍光灯をLED化 188箇所交換実施</p> <p>◎西宇治公園テニスコートほか照明LED化</p>		
事業評価	市内の公園にある公園灯をLED化することにより、CO ₂ 排出量削減や電気代、修繕費の縮小を図ることができた。また、LED化により従来より明るくなり安全性の向上にも寄与した。引き続き、市内公園の公園灯について、計画的に整備する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	都市整備部
関連分野	子育て環境	

事務事業名	公園でつなぐ子育てにやさしいまち創出事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	10,518 千円
事業内容	子育て世代が安全で安心して暮らせる「子育てにやさしいまち」を推進するため、植物公園、黄檗公園及び西宇治公園において、利用環境を整備するとともに、様々な団体と連携し、各種イベントや体験の取組を実施する。		
成果・実績	<p>◎子育て応援イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会（ゆめりあうじ：「子どもの育ちを“カラダ”と“口”から考えてみませんか？」子育てフォーラム2024） （黄檗公園：親子でチャレンジ 呼吸ワークショップ） ・親子スポーツ広場（西宇治公園：ヨガ、水遊び体験、体操等） ・親子スポーツ教室（黄檗公園：ダンス、英語体操、リトミック等） ・こどもスポーツフェスタ（西宇治公園：移動式の鉄棒や滑り台等の遊具体験） ・スポーツ交流フェスタ（黄檗公園：親子ラジオ体操体験会） ・キッズフェスタ（植物公園：キッズフェスタ2024） ・子ども花壇植付け体験（植物公園：こども用花壇で花苗や球根の植付け体験） <p>◎「子どもの遊び」環境整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西宇治公園体育館中庭の芝生ひろばにブランコや鉄棒などの移動式遊具を設置 ・黄檗公園の遊具ゾーンの側に日陰となるパーゴラを設置 ・子どもが利用しやすいよう植物公園のトイレに洋式便器等を設置 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>西宇治公園移動式遊具</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>キッズフェスタ2024</p> </div> </div>		
事業評価	子育てにやさしいまちの実現に向け、子どもが安心して遊べる空間を整備するとともに、各種イベントを通じ、子どもの育ちへの支援や親子で交流する場を創出することができた。引き続き、各種イベントや環境整備を実施して、子育てにやさしいまちを推進する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	公園緑地

所管部局
都市整備部

事務事業名	公園施設府内産木材備品等整備事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	3,772 千円
事業内容	市内の公園や植物公園のベンチ、黄檗公園の下駄箱などに府内産木材を活用し、府内産木材の利用拡大を図るとともに、市民が府内産木材を身近に感じられる機会を創出する。		
成果・実績	<p>◎市内公園：ベンチ補修用木材 ◎植物公園：ベンチ補修用・机天板用・展示台枠用等各種木材 ◎黄檗公園体育館：下駄箱 7台</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>京都府内産木材使用の表示</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>黄檗公園体育館（下駄箱）</p> </div> </div>		
事業評価	市民が触れるところに京都府内産を記した木材を使用することで、京都府内産の木材を身近に感じてもらい、木のぬくもりやその木を育む山林への愛着を感じてもらうきっかけを創出できた。引き続き、府内産木材の普及を進めていく必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち	都市整備部
関連分野	市街地形成	

事務事業名	まちづくり活動支援事業費	所管課	都市計画課
		決算額	284 千円
事業内容	宇治市まちづくり・景観条例に基づく市民主体のまちづくりを推進するため、まちづくり活動へのさまざまな支援を行い、地区まちづくり協議会の設立及び地区まちづくり計画の作成を進め、まちづくりの実現を目指す。		
成果・実績	<p>◎うじまちパネル展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間 10月28日～10月31日 ・目的 まちの魅力を再発見し地域（うじ）に対する興味・愛着を深めてもらう ・内容 協議会の活動内容のパネルや地域の写真を展示  <p>◎まち協交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 12月4日 ・目的 他の協議会と交流し、互いの活動を知ることによって今後の活動の参考にする ・内容 協議会の活動状況及び共通して抱える課題について意見交換 <p>◎宇治市まちづくり審議会 1回開催（委員14人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治市まちづくり審議会景観部会 1回開催（委員4人） 		
事業評価	うじまちパネル展では、協議会、まちづくりマイスター、市職員が来場者と協議会活動、交通及び防災などについて意見交換を行うことができた。また、まち協交流会では、協議会間でまちづくり情報及び課題の共有ができた。今後も地域のまちづくり活動が継続できるよう支援に努める。		

事務事業名	近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本計画策定費	所管課	都市計画課
		決算額	52,065 千円
事業内容	「近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本構想」に示すまちの将来像等の実現に向け、具体的な整備手法や実現方策を示す基本計画を策定する。		
成果・実績	<p>近鉄小倉駅周辺地区におけるまちづくりの将来像を示した「近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本構想」を踏まえつつ、都市基盤の整備方針等について、より具体的な整備内容を提示する「近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本計画」を策定した。</p> <p>◎近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本構想推進会議 3回開催（委員14人）</p> <p>◎近鉄小倉駅周辺地区まちづくり地域説明会、オープンハウスの実施</p> <p>◎駅前広場や自由通路に関する整備の方向性並びに事業手法及び今後の進め方と流れについて検討</p>		
事業評価	地域の方々並びに近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本構想推進会議での意見を踏まえ「近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本計画」を策定したことにより、駅前広場や都市計画道路等、都市基盤施設の整備や土地利用計画及びその実現に向けた事業手法等について取りまとめることができた。今後は、策定した基本計画をもとに、土地区画整理事業の事業認可に向けた事業計画の作成等を進める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	都市整備部
関連分野	歴史、景観、文化財保護	

事務事業名	文化的景観保護推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	13,038 千円
事業内容	平成21年2月に「宇治の文化的景観」が都市部の景観としては全国初の重要文化的景観に選定された。平成27年度に策定した整備計画に基づき、重要な構成要素となっている建物の修理・修景工事に補助を行う。		
成果・実績	<p>景観の保全を図るため、重要な構成要素となっている建物の改修について所有者等と調整を行い、修理・修景事業として、芳春園岩井勘造商店作業場の修理工事に補助を行った。また、文化庁の研修に参加するなどして技術力向上を図った。</p> <p style="text-align: center;">芳春園 岩井勘造商店 作業場</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>改修前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>改修後</p> </div> </div>		
事業評価	重要な構成要素となっている建物の修理等を実施することにより、宇治の文化的景観を保存することができた。引き続き、歴史的な資産と一体となった魅力あふれる宇治のまちづくりを進める必要がある。		

事務事業名	歴史的風致維持向上計画推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	269 千円
事業内容	平成21年7月に策定した「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」の実現とともに平成24年3月に策定した宇治市歴史的風致維持向上計画により、お茶と宇治のまち歴史公園の整備等、様々な取組を総合的に実施する。令和4年度に認定された第2期計画に基づき、実施2年度として取組を行う。		
成果・実績	<p>外部委員等により構成された歴史的風致維持向上協議会を開催して、令和5年度の各課における事業内容の報告、令和6年度の事業予定の説明を行い、進行管理を行った。</p> <div style="text-align: center;">  <p>歴史的風致維持向上協議会</p> </div>		
事業評価	第2期計画に基づき歴史公園を活用した情報発信や未指定文化財の保護などに取り組んだ。引き続き、宇治の歴史的風致維持向上を図る必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	都市整備部
関連分野	歴史、景観、文化財保護	

事務事業名	違反広告物除却推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	36 千円
事業内容	市民と協働して良好な景観を形成するため、市民参加による違反広告物の除却を行うとともに、関係機関と協働して違反広告物の一斉撤去を年1回実施する。		
成果・実績	違反広告物追放推進団体員として、1団体2人を登録し、違反広告物の除却を行うとともに、10月9日には関係機関による違反広告物の一斉撤去を行った。 ◎違反広告物撤去枚数 4枚		
			
	違反広告物の例		
事業評価	市民や関係機関と協働して違反広告物の除却を推進したことにより、良好なまちなみ形成と景観への意思向上を図ることができた。今後も、登録団体数の増加を図るとともに、関係機関と連携し地域の目による抑止力の向上及び景観意識の向上に努める必要がある。		

事務事業名	都市景観形成対策費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	2,412 千円
事業内容	良好な景観の形成に著しく寄与する行為や阻害要因の除去に対して景観形成助成を行うとともに、景観アドバイザーの助言等を受け、良好な景観の形成を推進する。		
成果・実績	空き家であった旧店舗の改修工事に対して景観形成助成を実施した。 ※令和6年度より制度拡充した空き家加算を適用 ◎令和6年度の景観形成助成 <ul style="list-style-type: none"> ・建築物等 1件 ・広告物 1件 		
			
	助成前 助成後		
事業評価	景観形成助成により良好な景観形成の推進が図られた。引き続き、良好な景観形成に向けて、景観形成助成制度の活用を推進するため周知活動に取り組んでいく。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	歴史、景観、文化財保護

所管部局
都市整備部

事務事業名	文化財指定推進費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	2,589 千円
事業内容	市内各所に所在する文化財調査を行い、宇治市にとって歴史上、芸術上価値の高いものを市指定文化財に指定し、伝えられてきた貴重な文化財の保護と活用を図る。併せて国・京都府指定及び未指定文化財の修理などに補助を行い、文化財保護を推進する。		
成果・実績	<p>重要文化財松殿山荘修礼講堂及び事務所の防災施設整備や、市指定文化財大幣神事など、11件の事業に対して補助を行った。</p> <div style="text-align: center;">  <p>大幣神事</p> </div>		
事業評価	文化財の修理等への補助を実施したことにより、文化財の保全に努めることができた。引き続き、優先度を見極めて文化財保護の推進を図るとともに、未指定を含めた文化財の修理等への補助を実施する中で、保存・活用に努める必要がある。		

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査費（受託・国庫補助）	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	487 千円
事業内容	文化財保護法に基づいて、埋蔵文化財包蔵地内での開発事業と重要な遺跡保存の調和を図るため、発掘調査を実施する。また、発掘成果を基に史跡指定等の保存処置の検討を行うほか、市民へ成果を公開する。		
成果・実績	<p>開発に伴う埋蔵文化財の保護のため、受託事業として宇治市街遺跡の発掘調査を実施した。</p> <div style="text-align: center;">  <p>宇治市街遺跡 発掘調査の実施状況</p> </div>		
事業評価	市内に遺存する重要な遺跡について発掘調査及び調査記録の作成することにより、文化財の保存を図るとともに、その成果を周知できた。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	都市整備部	
関連分野	歴史、景観、文化財保護		

事務事業名	歴史文化体験事業	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	4,987 千円
事業内容	<p>紫式部のまち魅力発信事業として、7月に中宇治地域での発掘成果を踏まえ、ARによる平安時代の宇治のまち並みや生活を疑似体験するツアー「中宇治地域をまち歩き！平安時代の宇治さんぼ」を行う。</p> <p>また、10月に安養寺、放生院、恵心院、西導寺、蔵林寺の平安時代から鎌倉時代に作られた仏像の特別公開を行い、12月には小・中学生を対象に平安時代の鏡や瓦のミニチュア製作体験を行う。</p>		
成果・実績	<p>◎中宇治地域をまち歩き！平安時代の宇治さんぼ 参加者数 25人</p> <p>◎平安時代から鎌倉時代に作られた仏像の特別公開 拝観者数 1,475人</p> <p>◎鏡や瓦のミニチュア製作体験 参加組数(小学生は保護者同伴) 9組</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>まち歩きAR再現画像</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>仏像の特別公開</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>鏡のミニチュア製作体験</p> </div> </div>		
事業評価	<p>紫式部のまち魅力発信事業として、平安時代にスポットを当てた各事業を通じて、参加者に宇治の重層的な歴史の体感、魅力の再発見の機会を提供し、歴史的価値を知ってもらうことができた。今後は、子どもや子育て世代を対象とした、地域文化の理解と愛着の醸成を図る取組を実施する。</p>		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	都市整備部
関連分野	防災、河川・治水	

事務事業名	耐震診断・耐震改修推進事業費	所管課	建築指導課
		決算額	59,435 千円
事業内容	<p>「建築物の耐震改修の促進に関する法律」第6条により、平成28年度に「宇治市建築物耐震改修促進計画」を改定し、市有建築物を含めた既設建築物の耐震化を促進する。民間の既設建築物について、耐震化を図るため、耐震診断・耐震改修の助成制度を実施している。</p>		
成果・実績	<p>旧耐震住宅の多い地域を中心に、順次、啓発チラシの配布や個別訪問を実施した。また、防災フェア、その他防災関係のイベント等でパネル展示、耐震化への啓発、リーフレット・チラシ配布等の啓発活動を行い、耐震診断・耐震改修希望者に対し、助成事業を実施した。</p> <p>◎木造住宅耐震診断 110件 ◎木造住宅耐震改修 46件（本格改修28棟、簡易改修18棟）</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">耐震化の普及啓発イベント『耐震フェア2024 in MOMOテラス』 (7月6日実施)</p>		
事業評価	<p>耐震診断・耐震改修の助成制度を実施したことにより、既設建築物の耐震化の促進を図ることができた。また、令和6年1月の能登半島地震以降、啓発活動に力を入れており、相談・問い合わせ件数が急増し、耐震診断の申込が増え、耐震改修の補助額の引き上げにより、改修件数も増加した。令和7年度の国支援の拡大による個人負担の低減など周知に努め、更なる耐震化促進を図る。</p>		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	都市整備部
関連分野	防災、河川・治水	

事務事業名	建築指導事務費	所管課	建築指導課																				
		決算額	903 千円																				
事業内容	<p>建築主は、建築工事に着手する前に建築基準法による確認申請書を提出し、建築主事または民間指定確認検査機関にて確認を受けなければならない。本市は建築基準法を所管する特定行政庁として、安全で安心な、環境にやさしい建築物の供給、法的確な履行に取り組んでいる。</p>																						
成果・実績	<p>◎建築確認等申請件数（計画通知を含む・計画変更含まず）</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>建築物</th> <th>昇降機等</th> <th>工作物</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本市</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">15</td> </tr> <tr> <td>民間確認検査機関</td> <td style="text-align: center;">551</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">578</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">565</td> <td style="text-align: center;">21</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">593</td> </tr> </tbody> </table> <p>建築主から建築基準法に基づく申請を受け、建築確認処分を行った。 また、安全で安心な、環境にやさしい建築物が供給されるように以下の各事業に取り組んだ。</p> <p>◎違反建築物対策（行政指導件数 21件） 違反建築物防止のため、建築関係者への啓発及び現場パトロールなどを実施した。 また、違反建築物に対する是正指導等を行った。</p> <p>◎長期優良住宅の認定（認定件数236件） 長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づき認定を行った。</p> <p>◎建設リサイクル法に基づく業務（届出347件・通知105件 合計 452件） 建築物の分別解体及び再資源化等の適正かつ円滑な実施を確保するため、届出の受理を行い、併せて制度定着のため広報及び現場パトロールを実施した。</p> <p>◎都市の低炭素化の促進に関する法律に基づく業務（認定件数 9件） 市街化区域内における低炭素化等の措置が講じられている建築物について、その措置に係る基準に適合していることについて認めた。</p> <p>◎建築物省エネルギー法に基づく届出（届出件数 11件） 地球温暖化の防止及び省エネルギーの実効性を向上させるため、一定規模以上の建築物について義務付けられている省エネルギー措置の届出の受理を行った。</p> <p>◎京都府地球温暖化対策条例 兼 京都府再生可能エネルギーの導入の促進に関する条例に基づく業務（届出件数 5件）（変更件数1件） 地球環境問題への関心が高まる中、建築分野においても地球温暖化防止等への配慮が求められているため、2,000㎡以上の建築物に対して義務付けられている計画書等の届出の受理を行った。</p> <p>◎京都府再生可能エネルギーの導入の促進に関する条例 に基づく完了届出受理（届出件数 19件） 当該条例に基づき、300㎡以上2,000㎡未満の準特定建築物に対して義務付けられる再生可能エネルギー設置完了について届出の受理を行った。</p>				建築物	昇降機等	工作物	計	本市	14	1	0	15	民間確認検査機関	551	20	7	578	合計	565	21	7	593
	建築物	昇降機等	工作物	計																			
本市	14	1	0	15																			
民間確認検査機関	551	20	7	578																			
合計	565	21	7	593																			
事業評価	<p>パトロール等の啓発活動を実施したことにより、建築確認・検査制度の適正な執行及び適正な建築物の供給を担保することができた。 今後も効果的な啓発内容を検討しながら、適正な建築物の供給に努める必要がある。</p>																						

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	都市整備部
関連分野	防犯、事故防止	

事務事業名	交通安全対策事業費	所管課	交通政策課
		決算額	829 千円
事業内容	交通安全対策を推進するため、交通安全教室を始めとする各種啓発活動を通して、交通事故防止に向けた取組を実施する。		
成果・実績	<p>保育所（園）、認定こども園、幼稚園、小・中・高等学校において、警察の協力のもと、それぞれの学習段階に応じた交通安全教室を開催し、交通ルール・マナーの普及に努めた。あわせて、宇治市交通安全対策協議会等の関係機関・団体と連携し、交通安全運動期間における街頭啓発活動をはじめとする取組により、市民の交通安全の意識向上を図った。</p> <p>また、地域からの交通安全要望を踏まえ、必要な交通規制及び安全対策を実施するため、警察及び関係機関との緊密な連携を図り、市民の交通安全確保に努めた。</p> <p>◎交通安全教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 101回 ・参加者数 約6,300人 <p>◎啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 57回 		
事業評価	交通安全教室を始めとする各種啓発活動を実施することで、交通安全への意識向上を図ることができた。今後も関係機関と連携を深め、交通事故が起こりにくい地域づくりの推進に努める必要がある。		

事務事業名	高齢者運転免許証自主返納支援事業費	所管課	交通政策課								
		決算額	1,000 千円								
事業内容	高齢者の運転による車両の交通事故の抑制を図るとともに、高齢者が移動手段を公共交通へと転換することを支援するため、運転免許証を自主的に返納した高齢者を対象に、交通系電子マネー（ICOCA）を交付する。										
成果・実績	<p>対象者からの申請に対して、ICOCA 2,000円分（デポジット 500円を含む）を交付した。また、市民への支援事業の周知については、街頭啓発活動時のチラシ配布や、FMうじでの放送等により行った。</p> <p>◎対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有効な運転免許証を自主的に返納（全部取消）した人 ・自主返納及び申請時点で宇治市に住民登録がある人 ・自主返納した時点で65歳以上の人 ・返納した日から起算して1年以内に支援事業の申請をした人 <p>◎年間申請状況</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">年度</td> <td style="padding: 5px;">R4</td> <td style="padding: 5px;">R5</td> <td style="padding: 5px;">R6</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">申請者数（人）</td> <td style="padding: 5px;">476</td> <td style="padding: 5px;">430</td> <td style="padding: 5px;">476</td> </tr> </table>			年度	R4	R5	R6	申請者数（人）	476	430	476
年度	R4	R5	R6								
申請者数（人）	476	430	476								
事業評価	自身の運転に不安を感じている高齢者の運転免許証自主返納を支援することで、車両から公共交通への移動手段の転換を促進することができた。										

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち	都市整備部	
関連分野	交通		

事務事業名	交通バリアフリー推進事業費	所管課	交通政策課
		決算額	34,101 千円
事業内容	平成17年に策定した「宇治市交通バリアフリー全体構想」に基づき、鉄道駅を中心に市内のバリアフリー化を推進する。また、高齢者、障害のある人及び妊産婦などの社会参加への理解や協力を促す「心のバリアフリー」の啓発を行う。		
成果・実績	<p>黄檗駅周辺地区交通バリアフリー基本構想をもとに、令和3年度からJR黄檗駅のバリアフリー化工事の取組を進めており、令和7年度の完成に向け、JR西日本と協議を行いながら事業の推進に取り組んだ。また、白杖や車椅子の体験などを行う「心のバリアフリー講習」を小中学校、大学、庁内職員を対象に実施し、交通バリアフリーに対する理解や関心を深めた。</p> <p>◎駅周辺のバリアフリー化工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR黄檗駅（令和7年度完成予定） <p>◎心のバリアフリー講習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宇治小学校5年生 授業2コマ ・ 京都文教大学 授業4コマ ・ 京都文教大学 ともいきフェスティバル出展 1回 ・ バリアフリー研修（庁内向け） 1回 		
事業評価	<p>関係機関と連携しながら駅周辺のバリアフリー対策を進め、高齢者・障害者等の移動の円滑化を推進することができた。また、関係機関と連携しながら啓発を行うことで、若い世代を中心にバリアフリーへの関心、理解を一定深めることができた。引き続き、市内のバリアフリー化を継続して推進していく必要がある。</p>		



事務事業名	山間地域移動支援事業費	所管課	交通政策課															
		決算額	300 千円															
事業内容	地域の協力体制のもと山間地域の移動手段確保のため、持続可能な交通手段を提案し普及させることを目的として、炭山助け合い移動支援事業を公共交通空白地有償運送の登録を行い、その運行等について支援を行うとともに、持続可能な交通手段の検討を行う。																	
成果・実績	<p>炭山区町内会において、令和4年2月1日から運行を開始している公共交通空白地有償運送への支援を行うとともに地域の持続可能な交通手段について協議を行った。</p> <p>◎運行実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運行回数</td> <td>20回</td> <td>118回</td> <td>51回</td> <td>65回</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>22人</td> <td>129人</td> <td>59人</td> <td>91人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和3年度は2月から運行</p>				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	運行回数	20回	118回	51回	65回	延べ利用者数	22人	129人	59人	91人
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度														
運行回数	20回	118回	51回	65回														
延べ利用者数	22人	129人	59人	91人														
事業評価	定期的に炭山区町内会と協議を行い、持続可能な移動手段確保の検討を進めるとともに、地域に対し支援を行うことにより、山間地域の移動手段確保に寄与した。今後も引き続き、地域と協働して持続可能な移動手段確保の検討を行う必要がある。																	

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち	都市整備部
関連分野	交通	

事務事業名	地域公共交通活性化事業費	所管課	交通政策課
		決算額	4,323 千円
事業内容	<p>バス路線の再編等により公共交通の利用が困難となった明星町において、公共交通を確保するための地域の取組を支援する「宇治市のりあい交通事業」を実施する。また、全市的な公共交通の利用促進のため、各種イベントでの啓発等を行い、公共交通の活性化を図る。</p>		
成果・実績	<p>「宇治市のりあい交通事業」の活用により、明星町で運行を継続することができた。また、公共交通の利用促進の取組として、イベントでの啓発や小・中学校を対象とした講座を開催したほか、市内の公共交通網の位置をわかりやすく示した「お出かけマップ」の配布などを行うことで、公共交通への理解を深めることができた。</p> <p>◎宇治市のりあい交通事業 明星町地区のりあい交通事業 利用者数：41,853人</p> <p>◎公共交通の利用促進の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「宇治橋通り笑顔がいっぱいわんさかフェスタ（10月26日）」ブース出展 ・「宇治環境フェスタ（11月17日）」ブース出展 ・「バスの乗り方教室」実施（実施した小中学校は1校） ・「お出かけマップ」配布 約2,000枚 		
事業評価	<p>宇治市のりあい交通事業では、公共交通の確保の取組を支援し、地域住民と協働してその利用促進に取り組んだ。また、イベントでの啓発、お出かけマップの配布等を行い、公共交通の活性化を図った。今後も引き続き、公共交通の確保及び利用促進に努める必要がある。</p>		

事務事業名	高齢者買物移動支援事業費	所管課	交通政策課						
		決算額	200 千円						
事業内容	<p>駅やバス停留所から距離のある地域を対象に、移動ニーズの特性を把握する中で、既存公共交通との整合性を図りながら、公共交通に限らない移動手段を含めた検討を行う。</p>								
成果・実績	<p>駅やバス停留所から距離のある地域において、高齢者の買い物支援のための必要最小限の移動手段を確保するために、槇島町紫ヶ丘地域において、地域、病院との協働の取組を進め、令和5年1月20日から宇治徳洲会病院が運行する送迎車両を活用した実証運行を開始し、令和5年8月1日から本格運行を開始した。</p> <p>◎年間利用状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">年度</td> <td style="padding: 5px;">R5</td> <td style="padding: 5px;">R6</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">利用者数</td> <td style="padding: 5px;">660人</td> <td style="padding: 5px;">578人</td> </tr> </table>			年度	R5	R6	利用者数	660人	578人
年度	R5	R6							
利用者数	660人	578人							
事業評価	<p>長寿生きがい課と連携し、槇島町紫ヶ丘地域で病院送迎車両を活用した運行を実施することで、高齢者の買い物支援に限定した移動手段の確保に努めた。今後も引き続き、高齢者の買い物支援等に必要な移動手段を確保する必要がある。</p>								

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	交通

所管部局
都市整備部

事務事業名	将来の移動手段のあり方検討費	所管課	交通政策課
		決算額	57千円
事業内容	将来の市全体のまちづくりを見据え、病院・買い物等、生活に必要な施設等への外出機会の創出に向け、公共交通に限らない他の分野も含めた移動手段のあり方を検討する。		
成果・実績	<p>移動手段のあり方を検討するため、学識経験者へのヒアリングや、先進地への視察・調査を実施した。</p> <p>◎学識経験者へのヒアリング 2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回目：令和6年10月10日 ・第2回目：令和6年10月30日 <p>◎先進地への視察 2か所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治田原町：令和6年12月23日 ・東近江市：令和7年3月25日 		
事業評価	学識経験者へのヒアリングや、先進地への視察結果をもとに、令和7年度に予定する実証運行実施に向けた検討を進めることができた。今後、買い物支援をはじめ、通院、外出機会の創出等の支援について、新たな取組を検討する必要がある。		

事務事業名	自転車等駐車場管理費	所管課	交通政策課																												
		決算額	150,462千円																												
事業内容	自転車等駐車場の適切な管理運営により、交通結節点における市民の利便性を確保するとともに、自転車等の放置防止、歩行者及び通行車両などの安全確保を図るため、市内の14駅中11駅周辺に16か所の有料自転車等駐車場を設置し、通勤・通学などで利用される自転車等を収容する。																														
成果・実績	<p>◎自転車等駐車場利用台数 (台)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: left;">年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">自転車</td> <td>一時利用</td> <td>80,945</td> <td>101,599</td> <td>103,685</td> <td>116,676</td> </tr> <tr> <td>定期利用</td> <td>10,246</td> <td>10,395</td> <td>10,272</td> <td>10,512</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原動機付自転車等</td> <td>一時利用</td> <td>21,396</td> <td>25,962</td> <td>26,839</td> <td>28,716</td> </tr> <tr> <td>定期利用</td> <td>2,083</td> <td>2,011</td> <td>2,004</td> <td>1,926</td> </tr> </tbody> </table>			年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	自転車	一時利用	80,945	101,599	103,685	116,676	定期利用	10,246	10,395	10,272	10,512	原動機付自転車等	一時利用	21,396	25,962	26,839	28,716	定期利用	2,083	2,011	2,004	1,926
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																										
自転車	一時利用	80,945	101,599	103,685	116,676																										
	定期利用	10,246	10,395	10,272	10,512																										
原動機付自転車等	一時利用	21,396	25,962	26,839	28,716																										
	定期利用	2,083	2,011	2,004	1,926																										
事業評価	施設の適切な管理運営により、市民の利便性の確保及び自転車等の放置防止に努め、鉄道駅周辺の歩行者及び通行車両などの安全確保を図ることができたが、施設の老朽化等の問題があり、利用者ニーズを踏まえながら、自転車等駐車場の利便性の向上や施設規模の適正化を図る必要がある。																														

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	交通

所管部局
都市整備部

事務事業名	自転車放置防止対策費	所管課	交通政策課		
		決算額	3,323 千円		
事業内容	駅周辺において良好な環境を保つため、駅周辺の自転車放置禁止区域を指定し、区域内に放置されている自転車を定期的に撤去し、景観の維持を図るとともに、歩行者及び通行車両などの安全確保を図る。				
成果・実績	91台の自転車を撤去し、38台を所有者に返還した。他の自転車は、リサイクル自転車として活用するため、福祉施設へ無償譲渡するほか、有価物として売却を行った。				
	◎放置自転車撤去台数等 (台)				
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	撤去台数	110	151	118	91
	返還台数	36	68	40	38
事業評価	自転車放置禁止区域内の放置自転車の撤去を実施し、鉄道駅周辺の歩行者及び通行車両などの安全確保を図ることができた。 これまでの取組により自転車放置禁止区域での放置自転車数は減少しているものの、年間100台近い放置自転車があり、引き続き、自転車放置防止対策を実施する必要がある。				

事務事業名	市営駐車場管理費	所管課	交通政策課		
		決算額	6,078 千円		
事業内容	JR宇治駅前及び近鉄大久保駅前における迷惑駐車をなくし、安全で快適な駅前交通環境を維持するため、自動車駐車場を設置し、管理・運営を行う。				
成果・実績	駐車場は乗降客の多い駅前に立地し、終日営業するなど利便性が高いことから、多くの市民等に利用された。				
	◎自動車駐車場利用台数 (台)				
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	JR宇治駅前	22,630	24,620	25,480	26,078
	近鉄大久保駅前	137,042	173,607	169,652	174,293
事業評価	指定管理者によって適切な管理運営ができた。迷惑駐車をなくし、安全で快適な駅前交通環境を維持するため、今後も適切な施設管理・運営に努める。				

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	交通

所管部局
都市整備部

事務事業名	自転車等駐車場再整備事業費	所管課	交通政策課
		決算額	52,404 千円
事業内容	「宇治市自転車等駐車場再整備実施方針」及び「宇治市公共施設アセットマネジメント推進計画」に基づき、駅毎の稼働率や施設老朽化の状況などに応じた自転車等駐車場の再整備を実施する。		
成果・実績	<p>◎JR六地蔵駅前自転車等駐車場・JR新田駅前自転車等駐車場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車等駐車場再整備のための改修工事に着手 <p>◎JR六地蔵駅前第2自転車等駐車場・京阪三室戸駅前自転車等駐車場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化改修のための詳細設計を実施 		
事業評価	「宇治市自転車等駐車場再整備実施方針」及び「宇治市公共施設アセットマネジメント推進計画」に基づき、駅毎の稼働率や施設老朽化の状況などに応じた自転車等駐車場の再整備に着手及び実施し、利便性の向上や規模の適正化に努めた。		

事務事業名	自転車等駐車場利便性向上事業費	所管課	交通政策課
		決算額	704 千円
事業内容	自転車等駐車場において、始発及び終電の駅利用者等が早朝・夜間においても自転車等駐車場を利用できるよう整備を行い、利便性の向上を図る。		
成果・実績	<p>JR黄檗駅前第2自転車等駐車場に防犯カメラ(4台)を設置し、始発終電の駅利用者等が早朝・夜間においても自転車等駐車場を利用できるように、終日開場を実施した。</p> <p>◎時間帯の運用変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6:00~23:15 変更なし 1階に常時管理人配置 ・23:15~6:00 変更あり 施錠 ⇒ 門扉を開放し、常時照明点灯で無人対応 		
事業評価	新たな取組として、始発終電の駅利用者への対応を試行的に実施した。適切に管理運営ができており、今後は、他の自転車等駐車場においても実施について検討を行う。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち	都市整備部
関連分野	交通	

事務事業名	JR奈良線複線化事業補助金	所管課	交通政策課
		決算額	172,615 千円
事業内容	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業については、京都府・宇治市を含む沿線市町・JR西日本で締結された「基本協定書」「実施等に関する協定書」及びこれらの変更協定書に基づき、補助金をJR西日本に支出し、事業の推進を図っている。		
成果・実績	<p>労務賃金の上昇、環境対策の追加等による総事業費の増加、開業後の環境アセスメント実施などに対応するため、令和7年1月9日にJR奈良線の高速化・複線化第二期事業の実施等に関する変更協定を締結した。</p> <p>これまでの経過 令和5年3月18日・・・複線化開業 令和5年3月18日・・・JR六地蔵駅供用開始</p> <p>複線化区間 JR藤森～宇治間、新田～城陽間、山城多賀～玉水間</p>		
事業評価	第二期複線化開業後の環境影響評価法に基づく調査や残工事等が行われた。引き続き、事業完了に向け適切な補助を実施する。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育環境	

事務事業名	緊急安全対策関連事業費	所管課	教育総務課・学校教育課
		決算額	16,195 千円
事業内容	安全対策に向けて、幼稚園・小学校に地域・保護者の協力を得て学校運営支援員（スクールサポーター）を配置し、園児・児童の安全確保を図る。		
成果・実績	<p>◎地域緊急安全対策事業費（教育総務課） 15,312千円 25校・園のモニターカメラ監視、校内巡視、門扉状況監視を行った。</p> <p>◎幼稚園緊急安全対策事業費（学校教育課） 883千円 私立幼稚園における運営支援員の配置に対して補助を行った。</p>		
事業評価	各校園において安全対策を講じるとともに、私立幼稚園の安全対策に対して適切に補助を行うなど、安全確保に努めた。適切な安全対策の構築を行うため、今後も検討を行うとともに、他の地域安全活動との連携も図りながら、安心して学べる環境づくりに努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育	

事務事業名	幼稚園、小・中学校保健管理費	所管課	学校管理課
		決算額	111,314千円
事業内容	学校保健及び学校安全に関し、法令に定める健康診断を実施し、環境衛生の確保に努めるとともに、学校管理下における事故災害に対する必要な給付を行い、園児、児童・生徒の心身の健全な育成を図る。		
成果・実績	<p>園児、児童・生徒の健康診断及び各種検診・検査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎結核予防対策費 31千円 ◎小学校保健管理費 67,941千円 ◎小学校心臓検診充実費 5,259千円 ◎中学校保健管理費 31,797千円 ◎中学校心臓検診充実費 2,738千円 ◎幼稚園保健管理費 3,548千円 		
事業評価	法令に定める健康診断及び各種検診・検査を実施し、園児、児童・生徒の心身の健全な育成を図った。今後も引き続き実施する。		

事務事業名	へき地校通学対策費	所管課	学校管理課・学校教育課
		決算額	19,227千円
事業内容	へき地における特殊な教育条件を考慮し、教育水準の維持・向上を図り、児童・生徒の通学の負担を軽減するために、笠取地区内及び笠取地区と市街地を結ぶ通学用輸送車を運行する。		
成果・実績	<p>笠取地区スクールバス3台及び給食配送車の運行・維持管理を行った。（笠取小学校特認校児童等の送迎を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎特認入学パンフレット印刷費 71千円 ◎笠取地区通学バス等維持管理費 823千円 ◎笠取地区通学バス等運行委託料 18,333千円 		
事業評価	<p>スクールバス及び給食配送車を運行し、へき地における教育水準の維持・向上を図った。山間部の通学と特認校制度の運用に必要となっているが、車両の有効活用のため、利用状況等を把握し、その他の活用方法についても検討する必要がある。</p>		



令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育	

事務事業名	中学校昼食提供事業費	所管課	学校管理課																								
		決算額	7,176 千円																								
事業内容	中学校での昼食は生徒が弁当を持参することを基本としているが、家庭の事情等で持参できない場合に補完するため昼食の提供を行う。																										
成果・実績	◎利用実績 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">学校名</th> <th style="width: 25%;">平均利用率</th> <th style="width: 25%;">学校名</th> <th style="width: 25%;">平均利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.4%</td> <td>西宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.2%</td> </tr> <tr> <td>西小倉中学校</td> <td style="text-align: center;">0.6%</td> <td>広野中学校</td> <td style="text-align: center;">0.8%</td> </tr> <tr> <td>宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.7%</td> <td>東宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.1%</td> </tr> <tr> <td>北宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.5%</td> <td>木幡中学校</td> <td style="text-align: center;">0.5%</td> </tr> <tr> <td>榎島中学校</td> <td style="text-align: center;">2.2%</td> <td>黄檗中学校</td> <td style="text-align: center;">0.5%</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	平均利用率	学校名	平均利用率	南宇治中学校	0.4%	西宇治中学校	0.2%	西小倉中学校	0.6%	広野中学校	0.8%	宇治中学校	0.7%	東宇治中学校	0.1%	北宇治中学校	0.5%	木幡中学校	0.5%	榎島中学校	2.2%	黄檗中学校	0.5%
学校名	平均利用率	学校名	平均利用率																								
南宇治中学校	0.4%	西宇治中学校	0.2%																								
西小倉中学校	0.6%	広野中学校	0.8%																								
宇治中学校	0.7%	東宇治中学校	0.1%																								
北宇治中学校	0.5%	木幡中学校	0.5%																								
榎島中学校	2.2%	黄檗中学校	0.5%																								
事業評価	弁当を持参できない生徒に栄養面を考慮した昼食を提供し、生徒の健全な発育を促進した。中学校給食の実施までの間、より効率的な事業実施方法を引き続き検討する必要がある。																										

事務事業名	給食配膳室整備事業費	所管課	学校管理課
		決算額	210,356 千円
事業内容	栄養バランスの取れた完全給食を中学校で実施するため、各校における給食配膳室を整備する。		
成果・実績	中学校給食を給食センター方式で実施するにあたり、榎島中学校、北宇治中学校、南宇治中学校、広野中学校の4校分の給食配膳室の整備工事を実施した。 ◎給食配膳室工事費等 210,356千円		
事業評価	令和8年4月からの中学校給食開始に向けて、榎島中学校、北宇治中学校、南宇治中学校、広野中学校の4校分の給食配膳室の整備工事を実施することができた。中学校給食開始に向けて、残りの配膳室整備等を実施する必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育	

事務事業名	給食センター整備事業費	所管課	学校管理課
		決算額	1,623,714 千円
事業内容	中学校給食の実施に向け、設計・施工の一括発注であるデザインビルド方式による給食センターの整備を進める。		
成果・実績	給食センター用地を取得するとともに、デザインビルド方式による給食センター整備事業について、設計を完了し、工事を進めることができた。 ◎給食センター整備支援業務委託料 2,552千円 ◎DB事業設計委託料 47,221千円 ◎DB事業工事費 1,399,579千円 ◎給食センター用地購入費 163,557千円 ◎給食センター工事用地賃貸借料 10,730千円 ◎学校給食センター検討委員会委員報償費等 75千円		
事業評価	6月の用地取得後、造成工事を実施し、建築工事に着手した。令和8年4月の給食提供開始に向けて整備を進めることができた。		

事務事業名	学校給食費高騰対策事業費	所管課	学校管理課
		決算額	57,084 千円
事業内容	食料品の価格が上昇している中でも、保護者の給食費負担額を变えることなく、これまで通りの学校給食が実施できるよう宇治市学校給食会に対して給食費の補助を行う。		
成果・実績	宇治市学校給食会からの実績報告に基づき、事業補助金を交付した。 ◎補助対象期間 令和6年4月12日～令和7年3月18日 ◎補助金額 57,084千円（給食1食あたり35円～45円）		
事業評価	本補助金を適用することで、食料品等の価格が上昇している中でも、これまで通りの栄養バランスや量を保った学校給食を、保護者の負担を増やすことなく実施することができた。令和7年度も引き続き、これまで通りの栄養バランスや量を保った学校給食を保護者の負担を増やすことなく実施できるように学校給食会に対して給食費の補助を行う。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育環境	

事務事業名	小・中学校、幼稚園維持整備事業	所管課	学校管理課																		
		決算額	227,658千円																		
事業内容	学校教育環境の充実と安全性の確保のため、幼稚園、小・中学校の施設・設備について、老朽化対応修繕、緊急修繕、及び法令等に適合させる修繕を行う。また、老朽化や損耗が著しい施設・設備について、計画的に改修を実施するとともに、体育館非構造部材の耐震改修やプール施設の改築など大規模改造事業を実施する。																				
成果・実績	<p>良好な教育環境の確保と施設の維持・保全を図るために対応を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">事業名</th> <th style="width: 45%;">主な内容</th> <th style="width: 30%;">事業費（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校維持修繕費</td> <td>各小学校施設の小修理他</td> <td style="text-align: right;">76,728</td> </tr> <tr> <td>小学校施設整備費</td> <td>各小学校施設の環境整備他</td> <td style="text-align: right;">85,453</td> </tr> <tr> <td>中学校維持修繕費</td> <td>各中学校施設の小修理他</td> <td style="text-align: right;">30,865</td> </tr> <tr> <td>中学校施設整備費</td> <td>各中学校施設の環境整備他</td> <td style="text-align: right;">30,822</td> </tr> <tr> <td>幼稚園維持修繕費</td> <td>各幼稚園施設の小修理他</td> <td style="text-align: right;">3,790</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	主な内容	事業費（千円）	小学校維持修繕費	各小学校施設の小修理他	76,728	小学校施設整備費	各小学校施設の環境整備他	85,453	中学校維持修繕費	各中学校施設の小修理他	30,865	中学校施設整備費	各中学校施設の環境整備他	30,822	幼稚園維持修繕費	各幼稚園施設の小修理他	3,790
事業名	主な内容	事業費（千円）																			
小学校維持修繕費	各小学校施設の小修理他	76,728																			
小学校施設整備費	各小学校施設の環境整備他	85,453																			
中学校維持修繕費	各中学校施設の小修理他	30,865																			
中学校施設整備費	各中学校施設の環境整備他	30,822																			
幼稚園維持修繕費	各幼稚園施設の小修理他	3,790																			
事業評価	教育施設の老朽化等に対応し、計画的に改修工事等を実施した。今後も計画的に施設の維持・保全に努め、園児、児童・生徒が安全で安心して授業に臨むことができるよう、教育環境の整備を図る。																				

事務事業名	学校照明LED化事業	所管課	学校管理課																
		決算額	95,633千円																
事業内容	児童・生徒の学習環境の維持向上及び学校施設の脱炭素化を進めるため、照明のLED化を実施する。																		
成果・実績	<p>小学校・中学校の照明設備について、LED照明器具への更新を実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">小学校</th> <th style="width: 25%;">事業費（千円）</th> <th style="width: 25%;">中学校</th> <th style="width: 25%;">事業費（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三室戸小学校</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">61,054</td> <td>黄檗中学校</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">34,579</td> </tr> <tr> <td>平盛小学校</td> <td>北宇治中学校</td> </tr> <tr> <td>西大久保小学校</td> <td>榎島中学校</td> </tr> <tr> <td>大久保小学校</td> <td></td> </tr> <tr> <td>宇治小学校</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			小学校	事業費（千円）	中学校	事業費（千円）	三室戸小学校	61,054	黄檗中学校	34,579	平盛小学校	北宇治中学校	西大久保小学校	榎島中学校	大久保小学校		宇治小学校	
小学校	事業費（千円）	中学校	事業費（千円）																
三室戸小学校	61,054	黄檗中学校	34,579																
平盛小学校		北宇治中学校																	
西大久保小学校		榎島中学校																	
大久保小学校																			
宇治小学校																			
事業評価	照明器具のLED化により学校環境の向上を実現できた。今後も引き続き、電力使用量の実績を確認しながら温室効果ガス排出量削減効果の検証を行う。																		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育環境	

事務事業名	学校長寿命化事業費	所管課	学校管理課										
		決算額	328,936 千円										
事業内容	児童・生徒の安全を確保し、円滑な学習を進めるため、学校施設長寿命化計画に基づく長寿命化改修を進める。												
成果・実績	西宇治中学校及び東宇治中学校の改修工事等を実施した。												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">実施内容</th> <th style="width: 20%;">実施校</th> <th style="width: 20%;">事業費(千円)</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">長寿命化改修工事</td> <td>西宇治中学校</td> <td style="text-align: right;">149,982</td> <td>管理棟外壁、教室棟内装</td> </tr> <tr> <td>東宇治中学校</td> <td style="text-align: right;">178,954</td> <td>本館棟、新館棟一部</td> </tr> </tbody> </table>			実施内容	実施校	事業費(千円)	備考	長寿命化改修工事	西宇治中学校	149,982	管理棟外壁、教室棟内装	東宇治中学校	178,954
実施内容	実施校	事業費(千円)	備考										
長寿命化改修工事	西宇治中学校	149,982	管理棟外壁、教室棟内装										
	東宇治中学校	178,954	本館棟、新館棟一部										
事業評価	長寿命化改修工事として屋上防水及び外壁改修などの工事を行い、より長期的に施設の機能維持を図ることができた。また、内装のリニューアル工事を行い、改修実施校の教育環境を向上させた。												

事務事業名	学校空調設備整備事業費	所管課	学校管理課			
		決算額	26,588 千円			
事業内容	近年の気候変動に伴う気温上昇による教育活動等への影響を踏まえて、①熱中症から児童を守る、②体育館の避難所としての活用、③教育環境の更なる充実の基本的な考え方に基づき、学校体育館等への空調設備の整備等を実施する。					
成果・実績	各小学校の設計業務委託を実施した。					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">実施校</th> <th style="width: 30%;">事業費(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>菟道第二小学校、大開小学校、三室戸小学校、木幡小学校、御蔵山小学校、笠取第二小学校</td> <td style="text-align: right;">26,588</td> </tr> </tbody> </table>			実施校	事業費(千円)	菟道第二小学校、大開小学校、三室戸小学校、木幡小学校、御蔵山小学校、笠取第二小学校
実施校	事業費(千円)					
菟道第二小学校、大開小学校、三室戸小学校、木幡小学校、御蔵山小学校、笠取第二小学校	26,588					
事業評価	令和7年度の工事実施に向けて、設計業務委託を実施することができた。					

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	教育部
関連分野	学べる環境	

事務事業名	学校施設地域開放費	所管課	生涯学習課											
		決算額	2,215 千円											
事業内容	西宇治中学校の地域開放型教室の特質を活かし、特別教室の積極的な開放を行うことで、地域住民が学び、様々な活動を行う場を提供する。また、各種教育情報を提供し、地域住民に学習機会の場を設け、地域の活性化を図る。													
成果・実績	◎利用状況													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">視聴覚室</td> <td style="width: 20%;">音楽室</td> <td style="width: 20%;">美術室</td> <td style="width: 20%;">調理室</td> <td style="width: 20%;">図書室</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">65件</td> <td style="text-align: center;">175件</td> <td style="text-align: center;">51件</td> <td style="text-align: center;">0件</td> <td style="text-align: center;">520人</td> </tr> </table>					視聴覚室	音楽室	美術室	調理室	図書室	65件	175件	51件	0件
視聴覚室	音楽室	美術室	調理室	図書室										
65件	175件	51件	0件	520人										
事業評価	◎西宇治オープンフェスタ 地域開放型教室の利用団体が、コーラス及び楽器の演奏など、日頃の活動の成果を発表する場であり、利用団体や在校生、地域住民の交流する機会の場となっている。令和6年度は当日に大雨警報が発表されたため、中止となった。													
事業評価	地域住民のニーズに応じて特別教室を開放し、地域の生涯学習活動の場を提供した。教室の利用件数は昨年度より増加傾向となっており、今後も運営委員会との連携を図る中で、より効果的な事業実施ができるよう検討する。													

事務事業名	障害者教室開催費	所管課	生涯学習課														
		決算額	79 千円														
事業内容	「宇治市障害者福祉基本計画」の趣旨を踏まえ、障害者の自立と社会参加を促進するため、学習機会の提供と仲間づくりを目的として、障害者関係団体及びボランティアと連携しながら、障害の種別に応じた障害者教室等を開催する。																
成果・実績	障害の種別に応じた教室及び講座を開催し、延べ232人の参加があった。																
	◎各障害者教室開催状況																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">内容</th> <th style="width: 30%;">対象者</th> <th style="width: 30%;">人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>やまぶき学級</td> <td>心身障害者</td> <td style="text-align: center;">140</td> </tr> <tr> <td>合同社会見学</td> <td>市内在住・在勤</td> <td style="text-align: center;">32</td> </tr> <tr> <td>合同講座（一般含む）</td> <td>市内在住・在勤</td> <td style="text-align: center;">60</td> </tr> </tbody> </table>					内容	対象者	人数	やまぶき学級	心身障害者	140	合同社会見学	市内在住・在勤	32	合同講座（一般含む）	市内在住・在勤	60
内容	対象者	人数															
やまぶき学級	心身障害者	140															
合同社会見学	市内在住・在勤	32															
合同講座（一般含む）	市内在住・在勤	60															
事業評価	障害者団体・ボランティアと連携して教室を開催し、障害の種別に応じた学習機会の提供や仲間づくりに取り組むことができた。障害がある人・ない人が共に学び、共生社会の形成に向けて市民の共通理解が進むよう、今後も障害者団体等と連携しながら効果的な事業運営に努める。																

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	公民館活動費	所管課	生涯学習課	
		決算額	1,172 千円	
事業内容	公民館を拠点として活動する市民が、より住みよい地域づくりの担い手として活動するため、市民がいつでも気軽に利用できる公民館を目指し、地域住民の学習意欲及び社会の変化に対応する各種講座及び教室の開設、文化活動事業など学習機会を提供する。			
成果・実績	◎決算額内訳 中央公民館 266千円 宇治公民館 15千円 木幡公民館 285千円 小倉公民館 325千円 広野公民館 281千円 ◎子どもを対象とした事業、公民館まつりなど			
	公民館名	事業名	回数	参加延べ人数
	中央	子どもの遊び場	12回	116人
		夏休み親子木工教室	3回	20人
		成人講座（大人の木工）	2回	18人
		宇治の形・学びの広場	1回	48人
		サタデーコンサート	1回	100人
		中央公民館まつり（2日間）	1回	900人
	宇治	トマトケチャップづくり講習会	1回	16人
		味噌づくり講習会	2回	32人
	木幡	親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部	4回	51人
		チャレンジ・やってみよう	5回	106人
		夏休みはなまる工作教室	1回	9人
		楽しい小学生科学実験教室	2回	26人
		手づくりみそづくり	2回	20人
		木幡公民館まつり（3日間）	1回	300人
	小倉	おぐらクッキングクラブ	5回	65人
		子ども教室（親子農業体験）	3回	156人
		夏休み子どもふれあい広場	1回	12人
		お茶を使ったスイーツづくり	2回	24人
		子ども教室（書き初め教室）	1回	27人
		手づくり味噌講習会	3回	30人
		小倉公民館まつり（1日間）	1回	312人
	広野	子ども茶道教室	8回	70人
		科学の教室	4回	64人
		サークル活動展（水彩画・水墨画）	1回	147人
		夏休み親子木工教室	1回	21人
		音楽の広場	1回	53人
		手づくり味噌講習会	2回	20人
		広野公民館まつり（1日間）	1回	800人

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	教育部
関連分野	学べる環境	

事務事業名	公民館活動費	所管課	生涯学習課																				
		決算額	1,172 千円																				
成果・実績	◎高齢者を対象とした事業（公民館高齢者教室） <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">公民館名</th> <th style="width: 35%;">事業名</th> <th style="width: 15%;">講座数</th> <th style="width: 35%;">参加延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央</td> <td>宇治鳳凰学級</td> <td>6回</td> <td>408人</td> </tr> <tr> <td>木幡</td> <td>木幡許乃国教室</td> <td>6回</td> <td>464人</td> </tr> <tr> <td>小倉</td> <td>小倉蓮の実教室</td> <td>6回</td> <td>539人</td> </tr> <tr> <td>広野</td> <td>広野久里古教室</td> <td>6回</td> <td>480人</td> </tr> </tbody> </table>			公民館名	事業名	講座数	参加延べ人数	中央	宇治鳳凰学級	6回	408人	木幡	木幡許乃国教室	6回	464人	小倉	小倉蓮の実教室	6回	539人	広野	広野久里古教室	6回	480人
公民館名	事業名	講座数	参加延べ人数																				
中央	宇治鳳凰学級	6回	408人																				
木幡	木幡許乃国教室	6回	464人																				
小倉	小倉蓮の実教室	6回	539人																				
広野	広野久里古教室	6回	480人																				
事業評価	上記の講座に加え、おたのしみ会や特別講座など、多くの市民が参加、活動できる事業を実施し、多様な学びの機会を提供することができた。今後も生涯学習のニーズに応じて、市民が学び、活動できる仕組みづくりに取り組む必要がある。																						

事務事業名	総合野外活動センター管理運営費	所管課	生涯学習課																												
		決算額	116,992 千円																												
事業内容	「自然とのふれあい、自然のなかでの交流」をテーマに、（公財）宇治市野外活動センターを指定管理者として、総合野外活動センター「アクトパル宇治」の施設管理・運営を行う。センターの各施設を活用した野外活動、宿泊研修、スポーツ活動などを行う。																														
成果・実績	野外活動に関する事業を通じて、青少年の豊かな感性を育むとともに、市民のふれあいの場を提供する等、生涯学習の推進を図った。平成11年度から令和6年度までの延べ利用者数は約222万人となった。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために実施した休所・利用制限の影響で、大幅に減少していた利用者数については、コロナ禍以前の水準まで回復した。 <p>◎利用者数 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">年度</th> <th style="width: 12.5%;">令和元年度</th> <th style="width: 12.5%;">令和2年度</th> <th style="width: 12.5%;">令和3年度</th> <th style="width: 12.5%;">令和4年度</th> <th style="width: 12.5%;">令和5年度</th> <th style="width: 12.5%;">令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宿泊</td> <td>30,787</td> <td>8,401</td> <td>11,516</td> <td>24,655</td> <td>30,450</td> <td>30,335</td> </tr> <tr> <td>日帰り</td> <td>66,178</td> <td>53,732</td> <td>34,385</td> <td>53,194</td> <td>59,641</td> <td>66,533</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>96,965</td> <td>62,133</td> <td>45,901</td> <td>77,849</td> <td>90,091</td> <td>96,868</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	宿泊	30,787	8,401	11,516	24,655	30,450	30,335	日帰り	66,178	53,732	34,385	53,194	59,641	66,533	合計	96,965	62,133	45,901	77,849	90,091	96,868
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																									
宿泊	30,787	8,401	11,516	24,655	30,450	30,335																									
日帰り	66,178	53,732	34,385	53,194	59,641	66,533																									
合計	96,965	62,133	45,901	77,849	90,091	96,868																									
事業評価	指定管理者により、適切に管理運営を実施した。コロナ禍で落ち込んだ利用者数が回復した中で、近年高まっている野外活動のニーズに応えられるよう指定管理者との連携を深めながら事業実施に努める。また、教育施設として利用者自身が学び考える力を育む活動や笠取地域の地域振興につながる事業に取り組む。																														

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	教育部
関連分野	学べる環境	

事務事業名	総合野外活動センター再整備事業費	所管課	生涯学習課
		決算額	29,368 千円
事業内容	来場者が安全・安心に施設利用できるように、計画的な大規模修繕を実施する。		
成果・実績	<p>老朽化が進んでいた管理棟厨房用給排気ファンを更新した。</p> <p>◎施設改修費 管理棟厨房用給排気ファン改修工事 29,368千円</p>		
事業評価	<p>予防保全のため、老朽化が進んでいた管理棟の厨房用給排気ファンを更新した。引き続き、安全・安心な施設利用を継続できるよう修繕計画を立て、計画的な改修等に着実に取り組む。</p>		

事務事業名	宇治のまち魅力再発見事業費	所管課	生涯学習課
		決算額	2,116 千円
事業内容	大河ドラマ「光る君へ」の放送を契機に、中宇治地域をフィールドワークすることで、自分たちが暮らす宇治のまちが、紫式部にゆかりのあるまちであることを学ぶ。		
成果・実績	<p>宇治市立全小学校6学年児童が平等院、源氏物語ミュージアム等の施設をめぐるフィールドワークを実施した。</p> <p>◎参加者数 6年生児童：1,434人</p>		
事業評価	<p>フィールドワークを通して、普段暮らしている宇治のまちについて、新たな発見をし、児童のふるさと宇治に対する関心を深めることができた。</p>		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	子育て環境	

事務事業名	幼稚園預かり保育事業費	所管課	学校教育課
		決算額	3,200 千円
事業内容	<p>市立幼稚園の教育課程に係る教育時間終了後に、在籍園児のうち希望する者を対象に預かり保育を行う。</p> <p>平成30年度より神明幼稚園、木幡幼稚園の2園、令和3年度より東宇治幼稚園を含め、市立幼稚園全3園で実施している。</p>		
成果・実績	<p>市立幼稚園3園において、園の開園日に預かり保育を試行実施した。</p> <p>◎実施時間：月・火・木・金 14:00～17:00 水 11:45～17:00</p> <p>◎利用料：1時間200円（上限1,000円／日）</p> <p>◎利用人数（延べ）：神明幼稚園 207人 東宇治幼稚園 1,649人 木幡幼稚園 236人</p>		
事業評価	<p>開園日において保育の必要性がある園児に対する預かり保育を試行実施した。令和7年度から新たな幼稚園（ひがしうじ幼稚園）で預かり保育事業を実施する。</p>		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
教育部

事務事業名	小・中学校就学援助費	所管課	学校教育課				
		決算額	106,763 千円				
事業内容	義務教育を受ける機会を均等に保障するため、経済的な理由で就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学校で必要な学用品費、給食費、校外活動費、医療費などの援助を行う。						
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">◎小学校就学援助費</td> <td style="text-align: right;">69,627千円</td> </tr> <tr> <td>◎中学校就学援助費</td> <td style="text-align: right;">37,136千円</td> </tr> </table>			◎小学校就学援助費	69,627千円	◎中学校就学援助費	37,136千円
◎小学校就学援助費	69,627千円						
◎中学校就学援助費	37,136千円						
事業評価	就学援助費の支給を適正に執行し、児童・生徒の教育機会の確保を図った。今後も引き続き適正な支給事務の遂行に努める。						

事務事業名	小・中学校特別支援教育費	所管課	学校教育課																
		決算額	8,923 千円																
事業内容	特別な支援を必要とする児童・生徒の就学を保障するため、特別支援学級等の運営を行う。また、特別支援学級在級児童・生徒の保護者の経済的負担軽減を図り、義務教育を保障するため、就学奨励費の支給事業を行う。																		
成果・実績	<p>小学校20校48学級、中学校10校24学級の特別支援学級を設置し、児童・生徒の発達促進と学力充実に努めるとともに、就学奨励費を支給した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">◎小学校特別支援教育費</td> <td style="text-align: right;">4,186千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">うち扶助費</td> <td style="text-align: right;">3,814千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">うち備品等</td> <td style="text-align: right;">372千円</td> </tr> <tr> <td>◎中学校特別支援教育費</td> <td style="text-align: right;">2,030千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">うち扶助費</td> <td style="text-align: right;">1,788千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">うち備品等</td> <td style="text-align: right;">242千円</td> </tr> <tr> <td>◎小学校特別支援学級開設費</td> <td style="text-align: right;">2,369千円</td> </tr> <tr> <td>◎中学校特別支援学級開設費</td> <td style="text-align: right;">338千円</td> </tr> </table>			◎小学校特別支援教育費	4,186千円	うち扶助費	3,814千円	うち備品等	372千円	◎中学校特別支援教育費	2,030千円	うち扶助費	1,788千円	うち備品等	242千円	◎小学校特別支援学級開設費	2,369千円	◎中学校特別支援学級開設費	338千円
◎小学校特別支援教育費	4,186千円																		
うち扶助費	3,814千円																		
うち備品等	372千円																		
◎中学校特別支援教育費	2,030千円																		
うち扶助費	1,788千円																		
うち備品等	242千円																		
◎小学校特別支援学級開設費	2,369千円																		
◎中学校特別支援学級開設費	338千円																		
事業評価	就学奨励費の支給を適正に執行し、特別な支援を必要とする児童・生徒の教育機会の確保を図った。また、特別支援教育にかかる物品の購入により教育環境の充実を図った。引き続き、すべての子どもが均等に義務教育を受けられるよう、適正な事業実施に努める。																		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	子どもの成長・発達	

事務事業名	子育て支援施設等利用給付費補助金	所管課	学校教育課
		決算額	401,974 千円
事業内容	<p>令和元年10月から開始された幼児教育保育の無償化により、宇治市に居住する満3～5歳の幼稚園就園児の保育料が無償化（上限25,700円/月）され、就園する私立幼稚園等に保育料分として給付し、保育の必要性があると宇治市から認定を受けた保護者に対して、公立及び私立幼稚園の預かり保育料を給付する（3歳児以上：上限11,300円/月、市民税非課税世帯の満3歳児：上限16,300円/月）。また、年収約360万円未満相当世帯や小学生3年生以下の第3子以降の子どもの副食材料費を補助する。</p>		
成果・実績	<p>◎子育て支援施設等利用給付費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育料・入園費分 382,368千円 ・ 預かり保育事業利用料 13,303千円 ・ 副食材料費補助 6,303千円 		
事業評価	<p>幼児教育保育の無償化にかかる事務を適正に執行した。引き続き、保育を必要とする保護者に対して預かり保育事業の利用料の給付、低所得世帯や多子世帯に対して副食材料費の補助を適正に行い、保護者の経済的負担の軽減を図る。</p>		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育	

事務事業名	教育だより発行費	所管課	学校教育課
		決算額	659 千円
事業内容	市内幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校、保育所などの保護者及び市民に対して、本市の教育施策及び特色ある教育活動等時宜を得た教育行政情報の提供を行うため、「宇治市の教育だより」を発行する。		
成果・実績	<p>第97・98・99号を発行し、西小倉地域における小中一貫校の整備、宇治市学校給食センターの整備、小中一貫教育の取組、学力向上の取組、幼稚園児及び小・中学生の活躍の様子、各幼稚園・小学校・中学校の特色ある取組、子育て応援コラムなど、宇治市の教育行政並びに幼稚園・学校教育などに係る情報を記載した。</p> <p>◎発行回数 3回 ◎発行部数 18,000部（1回につき）</p>		
事業評価	教育だよりを発行し、保護者等に対し、西小倉地域における小中一貫校の整備、宇治市学校給食センターの整備、小中一貫教育の取組、園児・児童・生徒の活動の様子など、教育行政情報の周知を行った。今後も掲載情報の充実に努める。		

事務事業名	英語指導助手設置費	所管課	学校教育課																		
		決算額	37,791 千円																		
事業内容	<p>児童・生徒の国際理解教育とコミュニケーション能力の向上を図るため、英語指導助手（AET）を、幼稚園、小・中学校に派遣する。</p> <p>また、英語教員の研修で活用するとともに、生涯学習の一環として市民への学習機会での活用を図る。</p>																				
成果・実績	<p>JETプログラムの英語指導助手を市立小・中学校へ派遣した。また、市立幼稚園にも定期的に派遣した。ふれあい教室にも要請に応じて派遣した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">〈派遣日数〉</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">〈人員配置〉</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">学 校</th> <th style="width: 70%;">日 数</th> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td style="text-align: right;">1,002日</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td style="text-align: right;">685日</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td style="text-align: right;">63日</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 50%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%;">学 期</th> <th style="width: 50%;">J E T</th> </tr> <tr> <td>1学期（6月～）</td> <td style="text-align: right;">9人</td> </tr> <tr> <td>2～3学期</td> <td style="text-align: right;">10人</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>			〈派遣日数〉	〈人員配置〉	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">学 校</th> <th style="width: 70%;">日 数</th> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td style="text-align: right;">1,002日</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td style="text-align: right;">685日</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td style="text-align: right;">63日</td> </tr> </table>	学 校	日 数	小学校	1,002日	中学校	685日	幼稚園	63日	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%;">学 期</th> <th style="width: 50%;">J E T</th> </tr> <tr> <td>1学期（6月～）</td> <td style="text-align: right;">9人</td> </tr> <tr> <td>2～3学期</td> <td style="text-align: right;">10人</td> </tr> </table>	学 期	J E T	1学期（6月～）	9人	2～3学期	10人
〈派遣日数〉	〈人員配置〉																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">学 校</th> <th style="width: 70%;">日 数</th> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td style="text-align: right;">1,002日</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td style="text-align: right;">685日</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td style="text-align: right;">63日</td> </tr> </table>	学 校	日 数	小学校	1,002日	中学校	685日	幼稚園	63日	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%;">学 期</th> <th style="width: 50%;">J E T</th> </tr> <tr> <td>1学期（6月～）</td> <td style="text-align: right;">9人</td> </tr> <tr> <td>2～3学期</td> <td style="text-align: right;">10人</td> </tr> </table>	学 期	J E T	1学期（6月～）	9人	2～3学期	10人						
学 校	日 数																				
小学校	1,002日																				
中学校	685日																				
幼稚園	63日																				
学 期	J E T																				
1学期（6月～）	9人																				
2～3学期	10人																				
事業評価	小・中学校、幼稚園へ派遣を行い、園児・児童・生徒の国際理解とコミュニケーション能力の向上を図った。引き続きAETの効果的な活用を検討し、事業を推進する。																				

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育	

事務事業名	いきいき学級支援員設置費	所管課	学校教育課
		決算額	21,289 千円
事業内容	通常の学級での発達障害を含む障害のある児童・生徒の学習面及び生活面での課題の改善を図るため、各小・中学校に支援員を配置して支援体制を整備することにより、特別支援教育の充実を図る。		
成果・実績	<p>児童・生徒の個別の指導計画に基づいて、支援員が授業の指導補助及び個別指導などを行った。</p> <p>◎いきいき学級支援員配置校 小学校 15校 中学校 9校 (京都府特別支援教育充実事業対象校を除く小・中学校に配置)</p> <p>◎通常学級における特別な教育的支援が必要な児童・生徒数及び割合 1,543人 (12.6%)</p>		
事業評価	支援員の配置により特別支援教育体制を整備し、学習・生活の両面において課題の改善を図った。発達障害への対応について学校の役割は大きくなり傾向にあり、引き続き効果的な支援体制について検討する必要がある。		

事務事業名	小中一貫教育推進費	所管課	学校教育課
		決算額	35,684 千円
事業内容	義務教育9年間の学びの連続性を意識した系統的、継続的な指導を行い、子どもたちの学習意欲を高め、確かな学力を身に付けさせることをねらいとした小中一貫教育を推進する。		
成果・実績	<p>全小・中学校において小中一貫教育を推進するにあたり、令和元年度より全ての中学校に「ラーニングコーディネーター」及び教科連携教員を配置し、系統的・継続的指導を進め、各中学校ブロックでの広報・啓発等を行った。 また、「宇治市小中一貫教育推進協議会」による取組状況の進行管理を行った。</p> <p>◎小中一貫教育取組推進教員の配置 35,418千円 小中一貫教育非常勤講師として、ラーニングコーディネーターの後補充教員を全中学校ブロックに配置するとともに、府費小中連携教員配置校5校を除く中学校ブロックに教科連携教員を配置することで、系統的・継続的指導を進めた。</p> <p>◎宇治市小中一貫教育推進協議会 266千円 学識経験者、保護者、地域関係団体、教職員により構成し、年間5回会議を開催、宇治市小中一貫教育の取組についての進行管理を行うとともに、小中一貫教育12年間の振り返りを行った。また、中学校ブロックへの視察を5回実施し、意見交換及び協議を行った。</p>		
事業評価	ラーニングコーディネーターを要とした小中一貫教育推進体制を基盤に、各中学校ブロックの課題を焦点化させることにより、目指す子ども像や学力観について理解を深め、とりわけ、学力定着・向上に向けた取組を進めた。引き続き、小中一貫教育の取組を推進する。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育	

事務事業名	基礎学力課題支援費	所管課	学校教育課
		決算額	7,640 千円
事業内容	児童・生徒の基礎学力の定着・向上及び希望進路の実現を図るため、非常勤講師の配置及び補習授業・学習相談の実施、教材・参考図書の配付などを行う。		
成果・実績	<p>学びを保障する観点から、引き続き中学校において、少人数授業の指導方法の改善を図るとともに、希望者を対象とした補習授業及びテスト前の学習相談会などを実施した。</p> <p>指導方法及び指導機会の方策について全小・中学校へ啓発するとともに、児童・生徒の学力の充実、希望進路実現に向けて、教材・参考図書の配付等を行った。</p>		
事業評価	児童・生徒の基礎学力の定着、学習意欲の向上を図るとともに、家庭と連携した取組を進めることにより、学びを止めず希望進路の実現につながる支援を図ることができた。今後も、児童・生徒の実態に応じて、学習相談を進めたり、指導方法の工夫改善に向けた手法を検討する。		

事務事業名	「宇治学」推進事業費	所管課	学校教育課
		決算額	1,477 千円
事業内容	宇治市小中一貫教育の特色ある教育活動として「総合的な学習の時間」を「宇治学」と称し、全ての市立小学校3年生から中学校3年生の7学年で実施している。この「宇治学」の指導充実を図るため、「宇治学」副読本及び指導の手引きを作成し、対象児童・生徒全員と教員に貸与する。また、すべての市立小学校3年生の宇治抹茶体験学習への支援を実施する。		
成果・実績	<p>改訂版の発行から4か年が経過した「宇治学」副読本及び指導の手引き（小学校3年生）、同じく3か年が経過した同副読本（中学校2年生）を改訂し、指導の手引きを担当教員に貸与した。</p> <p>◎テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「宇治茶」のステキをつたえよう（小学校3年生） ・「ふるさと宇治」と生きる～これからの自分の生き方を考える～（中学校2年生） <p>市立小学校22校の全ての3年生の児童が宇治抹茶（お点前）体験を実施できるよう、年に2回抹茶を配付した。</p>		
事業評価	「宇治学」副読本及び指導の手引きを改訂し、児童・生徒及び各担当の教員に貸与することにより、新情報・新制度に対応できるよう内容の充実を図った。今後も各校での「宇治学」の探究的学習がさらに充実したものとなるよう支援・広報に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育	

事務事業名	教育研究費	所管課	学校教育課									
		決算額	568 千円									
事業内容	宇治市の学校教育において必要となる教育諸課題の解決と一層の教育内容の充実・振興に対応するため、教育研究員による実践研究を実施し、その成果を小・中学校に還元する。											
成果・実績	<p>2部会で教育研究を実施した。また、成果を教職員研修講座の開催、活動報告及び研究冊子などの配布により報告する等、周知を図った。</p> <p>◎教育研究員部会と研究内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">部会名</th> <th style="width: 15%;">部員数</th> <th style="width: 55%;">主な研究内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>授業づくり研究部会</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td>ICTを効果的に活用した授業設計力の向上</td> </tr> <tr> <td>幼小中学びに向かう力研究部会</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>幼児期の教育から小中学校教育を見通した資質・能力の育成に関する研究</td> </tr> </tbody> </table>			部会名	部員数	主な研究内容	授業づくり研究部会	13	ICTを効果的に活用した授業設計力の向上	幼小中学びに向かう力研究部会	6	幼児期の教育から小中学校教育を見通した資質・能力の育成に関する研究
部会名	部員数	主な研究内容										
授業づくり研究部会	13	ICTを効果的に活用した授業設計力の向上										
幼小中学びに向かう力研究部会	6	幼児期の教育から小中学校教育を見通した資質・能力の育成に関する研究										
事業評価	宇治市教員全体の教育力の向上を目指し、教育研究員が各々創意工夫し、教育実践に基づき研究を行い、宇治市の学校教育における課題解決を図った。今後も、本事業の成果がより宇治市全体に展開されるよう、実践報告会の実施や、各校や各ブロックにおける研究員の活用を市教委が支援するなど宇治市全体の教育力向上に努める。											

事務事業名	講座等開催費	所管課	学校教育課
		決算額	163 千円
事業内容	学校教育に係る体系的な教職員研修と校内研修の実施を促し、教職員の資質向上と学校教育の充実・発展を図る。		
成果・実績	<p>◎職務及び教職経験年数別研修 開催数 4回 受講者数 122人 管理職研修講座、初任者研修講座1・2、人権教育研修講座</p> <p>◎専門研究研修 開催数 15回 受講者数 232人 学力向上研究研修講座1・2、学校図書館活用研修講座 特別支援教育研修講座、部活動指導員研修講座 ICT活用研修講座1～10 等</p>		
事業評価	社会が変化する中、今後も宇治市が重点とする目標の達成に向け、また、求められる教員の資質能力の向上を図るため、内容の充実に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育	

事務事業名	スクール・サイエンス・サポート事業費	所管課	学校教育課								
		決算額	206 千円								
事業内容	京都大学宇治キャンパスとの連携協力により、児童・生徒の「知りたい」、「学びたい」という学力向上の第一歩となる科学に対する興味・関心を高める事業として、京都大学宇治キャンパスによる小学生対象の親子理科教室、中学校科学（理科）部員対象の実験実習、小・中学校への出前講座、施設見学などの取組を進める。										
成果・実績	下記3事業を実施した。 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">事業名（実施場所）</th> <th style="width: 40%;">対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏休み親子理科教室in京大 （京都大学宇治キャンパス）</td> <td>小学校5・6年 児童及び 保護者</td> </tr> <tr> <td>京都大学出前講座 （御蔵山小学校）</td> <td>小学校5年生</td> </tr> <tr> <td>宇治市中学生理科教室 （京都大学宇治キャンパス）</td> <td>中学校科学 （理科）部員</td> </tr> </tbody> </table>			事業名（実施場所）	対象者	夏休み親子理科教室in京大 （京都大学宇治キャンパス）	小学校5・6年 児童及び 保護者	京都大学出前講座 （御蔵山小学校）	小学校5年生	宇治市中学生理科教室 （京都大学宇治キャンパス）	中学校科学 （理科）部員
事業名（実施場所）	対象者										
夏休み親子理科教室in京大 （京都大学宇治キャンパス）	小学校5・6年 児童及び 保護者										
京都大学出前講座 （御蔵山小学校）	小学校5年生										
宇治市中学生理科教室 （京都大学宇治キャンパス）	中学校科学 （理科）部員										
事業評価	京都大学宇治キャンパスとの連携により、児童・生徒の興味や関心、学びの意欲を高める取組を実施できた。とりわけ、夏休み親子理科教室は、保護者、児童に好評であった。今後も同キャンパスとの連携を図り、児童・生徒の学習意欲の向上につながる取組を検討する。										

事務事業名	学びのステップアップ事業費	所管課	学校教育課
		決算額	2,083 千円
事業内容	宇治市における学力の課題を解決するため、小学校2・3年生を対象に学力調査を実施し、子ども一人ひとりの、学校及び家庭での学習を充実させ、学力調査による学力分析データを活用し、低学年から強みと弱みを把握して授業改善に生かし、基礎学力の定着と家庭での学習習慣を確立する。		
成果・実績	言語能力や認識力が高まる低学年に課題を確認し、授業改善を行うなど、有効な手立てを早い段階から継続的に講じることができた。 また、調査結果をAIドリルと連携して活用し、学力定着に向け、個に応じた課題に取り組みせることができた。 令和6年11月14日 : 教職員向け事前説明会 12月2日～6日 : 調査実施 令和7年1月14日 : 各校へ結果データ返却 1月30日 : 児童・保護者へ個人票返却 2月7日 : 教職員向け事後説明会		
事業評価	低学年段階で実施することで、早期に児童の学習でのつまづきを児童、保護者、学校が把握することとなり、早期に学力向上への対策を行うことができた。日常の学習記録データと併せて分析を行い、個別の指導及び授業改善を行うとともに、個別最適な学習課題に取り組むことで、確かな学力をはぐくむことができるよう努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育	

事務事業名	「宇治学」デジタル化事業費	所管課	学校教育課
		決算額	977 千円
事業内容	本市小中一貫教育の特色ある教育活動である「宇治学」（総合的な学習の時間）で、市独自に作成している副読本を、令和6年度更新に併せてデジタル教材化してタブレット端末で活用し、より分かりやすかつ、充実したICT教育の推進を図る。		
成果・実績	小学校3年生及び中学校2年生(8年生)用副読本を改訂にあわせてデジタル教材化し、令和7年度よりタブレット端末で活用できるようにした。 ※今後2年間で、改訂にあわせて全学年デジタル教材化予定。		
事業評価	児童生徒の宇治学での探究的な学びをより深めるため、令和7年度において小学校3年と中学校2年で宇治学副読本のデジタル教材を使用できるよう、準備を進めることができた。今後も更新にあわせてデジタル教材化を行い、「宇治学」（総合的な学習の時間）充実につなげる。		

事務事業名	安心子育て支援事業費	所管課	学校教育課
		決算額	6,360 千円
事業内容	医療的ケア児に対する保育及び教育の拡充に係る施策を実施することにより、医療的ケア児の健やかな成長を図るとともに、就学前施設との連携により、切れ目のない支援を行うことによりその家族を支援し、安心して子育てできる環境をつくる。		
成果・実績	<p>◎該当校への学校看護師配置（4月） ※4月宿泊学習への看護師対応のため民間派遣業者を活用</p> <p>◎医療的ケア検討会議開催（令和7年1月開催） ・令和7年度医療的ケア児の受け入れについて検討 （医療的ケア実施の可否、認定基準に基づく区分認定等について） ・令和7年度学校看護師配置等について検討</p> <p>◎京都府主催の医療的ケア児支援者養成研修への参加（令和7年1月開催）</p>		
事業評価	6人の学校看護師を配置し、医療的ケア児への必要な医療行為を行うことにより、医療的ケア児の健やかな成長を図るとともに保護者が安心して子育てや就労が行える環境を確保できた。今後も医療的ケアが必要な児童生徒が安心して教育を受けることができるよう事業を進める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育	

事務事業名	アイススケートチャレンジ事業費	所管課	学校教育課
		決算額	2,993 千円
事業内容	「木下アカデミー京都アイスアリーナ」と連携して、府内唯一の通年型スケート場を活用し、市立小学校在籍児童への多様な運動経験の機会として、アイススケート体験・見学会等を実施し、生涯スポーツにつながる運動習慣の定着を図る。		
成果・実績	<p>◎市立小学校第4学年に在籍する全児童を対象とし、約2時間のアイススケート体験を実施</p> <p>◎スケート体験にあわせて事前の出前授業及びトップ選手の練習見学会を実施</p> <p>◎学校～施設間のバス代、施設利用料（滑走料）、出前授業等に係る講師派遣手数料を全額補助</p>		
事業評価	体験授業後にも保護者とともにスケート場を訪れるケースがあり、体験を通して、アイススケートに興味・関心を持ち、アイススケートに親しむことで、生涯スポーツにつながる機会とすることができた。今後も、適切にスケート体験事業を進め、児童の多様な運動経験の創出に努める。		

事務事業名	多様な学びの場創造事業費	所管課	学校教育課
		決算額	10,955 千円
事業内容	インクルーシブ教育システムの構築を目指し、障害のある子ども一人ひとりに適切な支援及び学びの場を保障するため、多様な教育的ニーズに対応できる支援体制づくりを行うとともに、教員の専門性を高め、支援の充実を図る。		
成果・実績	<p>◎モデル校に元教員で特別支援教育について専門性の高いインクルーシブサポーターを配置し、まずは特別支援学級に在籍している児童生徒へのきめ細やかな支援及び指導、支援体制の構築などについて研究を進めた。</p> <p>◎モデル校3校による公開授業・研究協議を行い、各校へ周知を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・榎島中学校 令和7年1月22日 ・北榎島小学校 令和7年2月20日 ・榎島小学校 令和7年2月25日 <p>◎研究内容の検討や進捗状況などを確認するため、研究協議会、プロジェクト会議及びインクルーシブサポーター会議を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブサポーター会議（月1回開催） ・宇治市インクルーシブ教育システム研究協議会（令和6年6月開催） ・プロジェクト会議（令和6年8月・令和7年3月開催） ・研究員会議（令和6年12月開催） 		
事業評価	インクルーシブ教育は、通常の学級も含めた学校全体で行うものだという教員の意識改革を研修等を通して行い、授業のUD化等の授業改善に取り組んだ。多角的な視点から児童生徒の実態把握を行い、よりよい支援方法及び支援の場の検討を行うとともに特別支援学級での授業形態を見直し、小集団での一斉授業を充実させることで、互いを認め合う関係づくりを進めることができた。今後も多様な児童生徒へのきめ細やかな支援体制の構築に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育	

事務事業名	新たな部活動環境創出事業費	所管課	学校教育課
		決算額	19,699 千円
事業内容	国ガイドラインの策定等を踏まえ、子ども達が様々なスポーツや文化に触れることができる充実した部活動環境の構築及び学校の働き方改革の推進を目指し、休日部活動の持続に向けた部活動指導員を配置する。		
成果・実績	<p>◎部活動指導員の任用状況 部活動において、各校運動部3部、文化部1部を原則として、令和5年6月から順次指導員を配置</p> <p>◎運動部活動 ・10校すべてで実施 ・設置部活動数 28部活動（競技種目は様々） ・部活動指導員 29人（1部活動に2人配置あり）</p> <p>◎文化部活動 ・9校で実施 ・部活動指導員 12人</p> <p>◎部活動指導員の活動時間 ・運動部活動 5,983時間 ・文化部活動 1,781時間</p>		
事業評価	生徒は活動機会が確保されることに加え、部活動指導員による専門的な指導を受けることにより、専門的な技術を身に付けることができた。部活動指導員が教員の代わりとなって指導を行うことで、教員の時間外勤務の削減につながった。今後も、充実した部活動環境の構築に向けて取り組む。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育環境	

事務事業名	小・中学校教材充実費	所管課	学校教育課
		決算額	61,437千円
事業内容	各教科の授業等で必要な教材について、学校間の格差が生じないように配慮しながら、教材等の充実を図るとともに、学校図書館図書を充実させて、教育環境の充実を図る。		
成果・実績	<p>小・中学校の一般教材備品、理科教育振興備品、学校図書などの充実を図り、教育環境の整備に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎小学校教材充実費 30,437千円 ◎中学校教材充実費 15,522千円 ◎小学校図書館図書充実費 7,778千円 ◎中学校図書館図書充実費 7,700千円 		
事業評価	教材を適正に購入し、児童・生徒の教育環境の整備・充実を図った。また、学校図書標準達成校の増加など、図書館環境整備を進めることができた。ICT教育にかかる教材の充実を含め、引き続き教育環境の整備・充実に努める。		

事務事業名	小・中学校ICT教育充実事業費	所管課	学校教育課
		決算額	49,712千円
事業内容	小・中学校のICT環境を整備し教育環境の充実を図るとともに、効果的に活用することにより学習活動の充実や学習意欲の向上を目指す。		
成果・実績	<p>小・中学校のICT環境を整備し教育環境の充実を図るとともに、ICT利活用推進のための環境整備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎小・中学校コンピュータシステム周辺機器一式賃貸借 1,898千円 ◎通信料等 5,857千円 ◎ネットワーク保守委託料等 8,382千円 ◎フィルタリングソフト等ライセンス料 30,456千円 ◎教育用無線端末賃貸借 3,119千円 		
事業評価	ICT利活用推進のため、環境整備を実施した。今後も各校の活用状況や国の動向も注視しながら、引き続き環境整備に努めるとともに、ICTの効果的な活用により、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に向けた指導を進める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育環境	

事務事業名	ICT未来っこ育み事業費	所管課	学校教育課
		決算額	19,402 千円
事業内容	子ども主体の学びを実現するため、教員がICTを活用した指導力を段階的に育成する研修を実施するとともに、授業で効果的にICTを活用するために専門的知識や先進事例を有するICT授業アドバイザーを配置する。		
成果・実績	<p>教職員のICT利活用のスキルに応じて京都府総合教育センターの学校DX研修を全教職員が受講するとともに、ICT利活用に対する教職員の意識改革を図るため、文部科学省より講師を招き、ICT利活用を含む今日の学校教育に求められる教育実践について講演会を実施した。</p> <p>また、日常的な教職員への支援として、ICT授業アドバイザーが各学校を訪問し、授業での効果的な活用の推進と、伴走支援による活用の底上げを図った。</p> <p>◎1校あたり 月2回訪問</p>		
事業評価	1人1台端末整備後、市教委研修やICT支援員配置等で教職員のICT機器の操作技術は向上している。次のステップとしてICTを効果的に活用して学びを深める授業改善に取り組み、新しい価値を創造できる子どもの育成のために、教員のICT活用指導力向上を図る必要がある。		

事務事業名	小・中学校教員用教科書・指導書購入費	所管課	学校教育課
		決算額	112,647 千円
事業内容	小・中学校で使用する教員用の教科書・指導書を整備する。		
成果・実績	<p>教員用の紙媒体の教科書・指導書を学級数及び担当教員数に応じて購入した。小学校については、令和6年度に教科書改訂があり、指導者用デジタル教科書の全教科導入を実施した。</p> <p>◎小学校 110,980千円 ◎中学校 1,667千円</p>		
事業評価	教員用の教科書・指導書を適正に購入し、児童・生徒の教育環境の整備・充実を図った。また、指導者用デジタル教科書を導入し、動画や音声の活用、書き込みや編集機能などにより、主体的に学ぶことができる環境を整備した。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育環境	

事務事業名	教育DXを支える環境整備事業費	所管課	学校教育課
		決算額	13,356千円
事業内容	<p>教員が子どもや学級の状況を分析し、一人ひとりに寄り添ったきめ細かい教育の充実を図るため、様々なデータを活用するとともに、ICT化により校務を含めた学校教育活動全体の業務改善や、保護者の利便性向上を図る。</p>		
成果・実績	<p>児童生徒の学籍や成績処理等の多様な情報について校内で管理している校務支援システムが令和7年10月をもってシステムのサポートが終了することに伴い、デジタル化による業務効率化のため、都道府県単位での業務の標準化、教職員の異動に伴う業務の負担軽減の観点から、学籍、成績、出欠、保健（健診、保健室来室）等の情報を一元管理する京都府共同利用型校務支援システムを導入した（令和7年4月より本格運用開始）。</p> <p>◎新校務支援システムの構築 13,356千円</p>		
事業評価	<p>京都府共同利用型校務支援システムの導入に伴い、旧校務支援システムのデータを移行し、運用開始に向けて環境を構築した。今後は、国の実証事業の動向等を踏まえ、ICT環境を整備する必要がある。</p>		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育	

事務事業名	学校支援チーム活動費	所管課	教育支援課
		決算額	11,013 千円
事業内容	いじめ及び不登校といった教育課題への取組を推進するため、学校現場のみでは解決困難な問題について、組織的、体系的な支援を行う。		
成果・実績	<p>校長OBである学校教育指導主事による市立小・中学校への相談対応などの日常的な支援を行うとともに、学校だけでは解決が困難な事象や、解決にあたり時間を要する問題について、社会福祉士、臨床心理士、弁護士、精神科医、警察官、児童相談所員といった専門家を交えた「学校支援チーム会議」を設置し、専門的見地からの指導助言による支援を行った。</p> <p>さらに、顧問弁護士による法律相談、スクールソーシャルワーカーによる学校現場の困難な事象解決へ向けたアプローチにより、効果的な支援を行った。</p> <p>◎支援チーム会議開催数 8回</p>		
事業評価	学校現場の円滑な運営のため専門家による学校支援チームを設置し、専門的・組織的な支援を行うことで、学校現場で起こる困難事例に対しても解決を図ることができた。今後も効果的な学校支援に努める。		

事務事業名	生徒指導研究推進費	所管課	教育支援課								
		決算額	1,394 千円								
事業内容	<p>児童・生徒の問題行動は低年齢化等の課題があり、適切な指導体制、相談体制を確保するため、生徒指導の推進と研究、指導体制の整備などを行う。</p> <p>また、「いじめ防止啓発月間」を設定し、いじめ防止の取組を強化する。</p>										
成果・実績	<p>児童・生徒の問題行動に対して適切な指導を行うために、生徒指導主任会議を開催して事例交流等を行い、学校の組織としての対応力の向上を図った。</p> <p>11月の「いじめ防止啓発月間」に啓発活動として、市政だよりへの掲載等の広報活動を行った。</p> <p>◎問題行動 延べ指導人数</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">小学校</td> <td style="width: 15%;">416人</td> <td style="width: 15%;">(前年比 210人増)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中学校</td> <td>447人</td> <td>(前年比 95人増)</td> </tr> </table>				小学校	416人	(前年比 210人増)		中学校	447人	(前年比 95人増)
	小学校	416人	(前年比 210人増)								
	中学校	447人	(前年比 95人増)								
事業評価	問題行動の延べ指導人数が増加傾向にあるため、児童・生徒が自分自身の行動を振り返り、今後の行動に生かすことができるように指導を行うとともに、未然防止として集団生活上のルールを守ることや、自身の行動に責任を持つことについての指導を継続して実施していく必要がある。										

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育	

事務事業名	不登校児童生徒自立支援教室運営費	所管課	教育支援課
		決算額	8,530 千円
事業内容	不登校の児童・生徒に対して、社会的自立ができるように教室を開設し、小集団による援助・指導を行う。また、家庭に引きこもった状態やその傾向があり、友人などとの接触が困難である児童・生徒には個別支援を行う。		
成果・実績	<p>小学校3年生から中学校3年生までの不登校児童・生徒に対して、個々の状態に応じて不登校児童生徒自立支援教室(Ujiふれあい教室)で受け入れ、学校、保護者、関係機関と連携を図り、社会的自立に向けて支援を行った。</p> <p>◎在籍数 30人</p> <p>◎改善状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校復帰 8人 ・部分登校 11人 ・好転 10人 ・変化なし 1人 		
事業評価	不登校児童生徒自立支援教室での支援・指導を通じ、不登校の児童・生徒の学校生活及び社会生活への復帰、社会的自立に向けての支援を図った。今後も学校及び関係機関との連携を強化し、効果的な教室運営に努める。		

事務事業名	心と学びのパートナー派遣事業費	所管課	教育支援課
		決算額	1,330 千円
事業内容	問題行動及び不登校の未然防止を図るため、生徒が身近に感じる大学(院)生、教員志望者などの若い世代、若しくは教職経験者などの相談員を配置し、いつでも気軽に相談できる環境をつくる。		
成果・実績	<p>別室登校及び不登校傾向の生徒の悩みに気軽に応じる相談員を「心と学びのパートナー」として、市内6中学校に派遣した。</p> <p>◎延べ対応人数 951人</p>		
事業評価	生徒が悩みを気軽に相談できる若い世代等の相談員を配置し、関係機関等と連携しながら問題行動及び不登校の未然防止を図った。今後も不登校対策事業全体の中で、体系的な事業効果の向上に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育	

事務事業名	不登校児童支援強化費	所管課	教育支援課
		決算額	9,619 千円
事業内容	<p>登校はできるものの、教室に入ることが難しい児童に、学びの場の選択肢を広げるため、小学校10校に不登校児童を支援する不登校児童支援員を配置し、校内におけるもう一つの居場所を確保する。</p>		
成果・実績	<p>小学校の別室へ常駐できる支援員を配置することで安定した別室運営を行うことができた。</p> <p>また、支援員を配置した10校においては、ほとんど登校できなかった児童が別室へ登校できるようになった事例や、別室から所属学級へ入ることができはじめた等の事例があり、不登校児童への支援に資することができた。</p> <p>◎配置校 北槇島小学校、西小倉小学校、西大久保小学校、岡屋小学校、木幡小学校、菟道第二小学校、小倉小学校、伊勢田小学校、大開小学校、宇治小学校</p> <p>◎別室支援児童数 10校計 39人</p>		
事業評価	<p>来室児童への学習補助及び悩みや不安を聞くなど、児童に寄り添った対応を実施した。引き続き、関係職員と連携し、通常学級への復帰をはじめ、不登校の未然防止及び欠席日数の減少を図るなど、来室児童への支援に努める。</p>		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	家庭・学校・地域の協働	

事務事業名	少年補導活動費	所管課	教育支援課
		決算額	6,132 千円
事業内容	少年補導委員を中心に、街頭補導活動、社会環境浄化活動、市民啓発活動などを実施し、地域での青少年非行の未然防止に努め、青少年の健全育成を図る。		
成果・実績	県祭りの街頭補導及び全中学校区で地域懇談会を実施することができた。また、社会環境浄化活動、ブロック補導、年末の一斉補導活動、年始補導出発式も計画通り実施できた。さらに、7月に「青少年の非行被害防止全国強調月間」の啓発パネル展、10月には京都地方裁判所への管外研修を実施した。加えて、各校区の少年補導委員ができる範囲でパトロールを実施した。		
事業評価	各委員ができる範囲でパトロールをはじめとする活動を実施し、青少年の非行の未然防止に取り組むことができた。今後とも、各種団体との協力を図りながら、引き続き青少年の健全育成に努める。		

事務事業名	中学生の主張大会開催費	所管課	教育支援課
		決算額	325 千円
事業内容	宇治市教育委員会・宇治市青少年健全育成協議会・宇治市連合育友会の共催により、中学生、保護者、市民などが参加し、各中学校の代表生徒が主張を発表して互いに考え学び合う機会とするとともに、市民全般に中学生への理解と認識を深め、青少年の健全育成を推進する。		
成果・実績	<p>中学生が考え、悩み、求めていることを自己の主張として発表することにより、市民の青少年に対する理解と認識を深めるため、第43回宇治市「中学生の主張」大会を開催した。また、会場では宇治支援学校の取組の紹介及び中学部生徒の作品展示を行った。開催後、市長との懇談会の実施や大会のまとめ冊子を作成し、学校関係者やその他の施設に配布した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「中学生の主張」大会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>市長との懇談会</p> </div> </div>		
事業評価	中学生が学校、家庭、地域生活の中で感じたことを発表することで、同世代の青少年の学び合いと、市民の中学生に対する理解と認識の促進を図った。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	家庭・学校・地域の協働	

事務事業名	青少年健全育成推進費	所管課	教育支援課
		決算額	2,040 千円
事業内容	青少年の健全育成及び社会環境づくりの推進を図るため、社会参加等の青少年育成事業を実施するとともに、青少年育成団体の活動を助成し、青少年育成に係る啓発活動を行う。		
成果・実績	<p>市内の青少年健全育成を目的に組織されている宇治市青少年健全育成協議会の活動に対して支援を行った。今年度は、ジュニアリーダー宿泊研修会、ジュニアリーダー養成（ふる里）学習会、「宇治市青少年健全育成推進大会」を実施することができた。</p> <p>◎青少年健全育成協議会補助金 1,419千円</p>		
事業評価	当協議会の大きな事業の一つであるジュニアリーダー養成（ふる里）学習会をはじめ、ジュニアリーダー研修会、青少年健全育成推進大会は従来どおり実施できたが、地域の取組は一部再開できていない。今後も社会状況に応じて、各種関係団体と連携を深めつつ、青少年の健全育成に向けて各種事業の実施に努める。		

事務事業名	放課後子ども教室支援事業費	所管課	教育支援課																
		決算額	2,091 千円																
事業内容	平日の放課後及び土曜日の午前中に、地域住民等で構成される推進組織の運営により、子どもに安全・安心な居場所を提供し、自主的な学習及びスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの支援を行う。また、地域の方の協力を得ることによって地域と学校との連携を図り、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進める。																		
成果・実績	<p>遊びと学びの場を提供する地域活動に対して、教育活動推進員及び教育活動サポーターの派遣を行い、子どもの放課後の居場所を確保した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">取組の名称</th> <th style="width: 25%;">放課後学習会&北槇っ子くらぶ</th> <th style="width: 25%;">笠二っ子クラブ</th> <th style="width: 25%;">まなび(宿題)教室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催場所</td> <td>北槇島小学校</td> <td>笠取第二小学校</td> <td>平盛小学校</td> </tr> <tr> <td>開催日数</td> <td style="text-align: center;">19日</td> <td style="text-align: center;">195日</td> <td style="text-align: center;">151日</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td style="text-align: center;">延べ505人</td> <td style="text-align: center;">延べ1,420人</td> <td style="text-align: center;">延べ2,293人</td> </tr> </tbody> </table>			取組の名称	放課後学習会&北槇っ子くらぶ	笠二っ子クラブ	まなび(宿題)教室	開催場所	北槇島小学校	笠取第二小学校	平盛小学校	開催日数	19日	195日	151日	参加人数	延べ505人	延べ1,420人	延べ2,293人
取組の名称	放課後学習会&北槇っ子くらぶ	笠二っ子クラブ	まなび(宿題)教室																
開催場所	北槇島小学校	笠取第二小学校	平盛小学校																
開催日数	19日	195日	151日																
参加人数	延べ505人	延べ1,420人	延べ2,293人																
事業評価	地域住民等で構成される推進組織の運営により、放課後等の学校において児童の遊びと学びの場を提供した。地域学校協働活動を推進していく中で、引き続き国の動向等を踏まえ、子どもの健全育成に向けた環境づくりを推進する。																		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	家庭・学校・地域の協働	

事務事業名	地域学校協働活動推進費	所管課	教育支援課
		決算額	12,688 千円
事業内容	保護者及び幅広い地域住民などが学校運営へ参画する「学校運営協議会」と、社会全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を一体的に推進するコミュニティ・スクールを目指して、「地域とともにある学校」「学校を核とした地域づくり」の実現に努める。		
成果・実績	◎コミュニティ・スクール（学校運営協議会と地域学校協働活動）の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働本部委託料（5万円）の申請数 28校 ・CSコーディネーター連絡会の実施 開催数3回 4月24日 9月20日 令和7年2月4日 ・コミュニティ・スクール交流会の実施 6月4日開催 地域・教員対象（64人参加） 		
事業評価	宇治市立全小中学校において、コミュニティ・スクールを一体的に推進しており、今後も各校との連携・協力・支援の継続が必要である。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	教育部	
関連分野	学べる環境		

事務事業名	大久保青少年センター活動費	所管課	教育支援課
		決算額	1,486 千円
事業内容	青少年の「生きる力」を育み、豊かな人間性及び協調性を養うことを目的に、文化・芸術・スポーツなどの事業を実施する。また、各種教室・催し物の開催及びこどもクラブでの活動を通じて青少年の育成指導を行う。		
成果・実績	子どもたちの参加意識は高く、目的をもってのびのびと主体的に活動する場面が多く見られた。また、学校・学年・地域を越えて友達関係の輪を広げることができた。		
	◎教室・各種事業 ・実施回数 26回 ・参加者数 1,043人		
	◎こどもクラブ ・実施回数 119回 ・参加者数 1,301人		
			
	ストリートダンスクラブの練習風景		
事業評価	各種活動を通じ、青少年の生きる力を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図った。今後も事業参加を促すため、子どもたちのニーズを把握し、引き続き事業内容の工夫に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	教育部
関連分野	学校教育環境	

事務事業名	(仮) 西小倉地域小中一貫校整備事業費	所管課	学校改革推進課
		決算額	1,607,572 千円
事業内容	小中一貫教育を推進するため、西小倉中学校敷地に宇治市2校目となる施設一体型小中一貫校を整備する。		
成果・実績	<p>令和8年4月に開校する「宇治西小倉学園」の整備に向けて、主に下記の業務を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎グラウンドほか詳細設計業務 9,794千円 ◎工事監理業務 39,011千円 令和5年度からの3か年業務 ◎空調設備設計業務（体育館ほか） 13,970千円 ◎電波障害対策 4,950千円 ◎体育的校外学習バス借上げ等 707千円 ◎校舎等建設工事（建築・機械・電気） 1,499,462千円 令和5年度からの3か年工事 ◎学校敷地内排水路改修工事 36,156千円 令和5年度からの2か年工事 		
			
	東門から見た状況 (令和7年4月)	東門から見た校舎完成イメージ (令和8年度以降)	
事業評価	宇治市2校目となる施設一体型小中一貫校の令和8年4月開校に向けた建設工事等を生徒の安全確保を最優先に実施した。また、工事の他、グラウンド等の設計業務や電波障害対策など関連業務を実施し、開校時の小中学校名や学園名（愛称）の選考を行った。引き続き、工事をはじめとした各種業務を着実に進める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	教育部
関連分野	文化芸術	

事務事業名	源氏物語ミュージアム企画展示費	所管課	博物館管理課(源氏物語ミュージアム)
		決算額	1,390 千円
事業内容	<p>話題性のある企画展の開催はミュージアムの広報・宣伝にもつながり、企画展を目的としたリピーターを含む来館者を誘致する。館蔵品のみではなく、他館及び関係者から作品・資料を借用し、毎回テーマを決めて魅力ある展示を行う。</p>		
成果・実績	<p>様々な視点から趣向を凝らし、源氏物語及び平安時代の文化を紹介する展示を行った。令和6年度は、『源氏物語』や『平家物語』などを題材にした絵画資料を紹介する企画展「絵になる源氏」や、「光る君」をはじめとする個性豊かな登場人物や物語ゆかりの地などを絵画や書籍を通して紹介する企画展「光る君の面影をもとめて」などの企画展を年4回開催した。</p> <p>◎企画展 絵になる源氏 ・4月24日～7月7日 『源氏物語』や『平家物語』などを題材にした屏風や錦絵を紹介した。</p> <p>◎企画展 光る君の面影をもとめて ・10月2日～12月15日 千年余の間、読者ひとりひとりが思い描き、心のなかで生き続けている「光る君」の姿を追い求めた。</p> <p>◎企画展 平家はどうする ・12月18日～令和7年2月16日 『源氏物語』宇治十帖の主な舞台である宇治は、『平家物語』においても合戦の舞台として登場する。宇治が舞台となった源氏による合戦を屏風絵や錦絵、名所図会などから紹介した。</p> <p>◎企画展 UKIYO 江戸時代の出版文化と古典の世界 ・令和7年2月19日～4月20日 多色刷りの浮世絵である錦絵をはじめ、絵入り本、名所案内など、江戸時代の出版物を通して、古典の広がりを紹介した。</p>		
事業評価	<p>今年度も引き続き「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」との連携事業として、企画展を開催した。企画展や併せて実施した関連事業（ワークショップ）を通して多くの観覧者に重層的で多彩な宇治の歴史や名所、そして『源氏物語』をはじめとする古典の魅力を発信することができた。</p>		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	教育部
関連分野	文化芸術	

事務事業名	源氏物語ミュージアム講座等開催費	所管課	博物館管理課(源氏物語ミュージアム)
		決算額	722 千円
事業内容	<p>源氏物語及び平安時代の文化について、より理解を深めるために、講演会及び講座などを実施する。ミュージアムの展示を観覧し、源氏物語及び平安時代の文化について、興味・関心を抱いた来館者のニーズに応え、さらに学ぶ機会を提供するとともに、より多くの人にミュージアムの存在を知ってもらうきっかけをつくる。</p>		
成果・実績	<p>連続講座及び源氏物語セミナーなどでは、最新の研究成果を織り交ぜた講演により、より深く学べる場と古典に親しむ機会を提供した。</p> <p>◎連続講座「紫式部とその時代」(全10回) ・5月～令和7年2月 参加者数 延べ1,469人 (一部会場を変更して実施)</p> <p>◎入門講座「超！入門講座 宇治で源氏物語を読むために」(全9回) ・6月～令和7年2月 参加者数 延べ852人</p> <p>◎源氏物語セミナー「描かれた源氏物語－宇治十帖から」 ・11月29日 参加者数 112人</p> <p>◎特別企画展関連企画「演劇ワークショップ ものがたりを遊ぼう」 ・9月16日 参加者数 8人</p> <p>◎古典に親しむ講座「源氏寄席 一笑う門にはフグ来る」 ・令和7年2月9日 参加者数 128人</p> <p>◎子ども体験型教室ワークショップ「三葉虫を調べよう！」 ・令和7年3月23日 参加者数 19人</p>		
事業評価	<p>今年度も引き続き「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」との連携事業として、幅広い世代を対象とした多彩で魅力ある講座及びワークショップを提供することができた。</p>		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	教育部
関連分野	文化芸術	

事務事業名	源氏物語ミュージアム長寿命化事業費	所管課	博物館管理課(源氏物語ミュージアム)
		決算額	22,858 千円
事業内容	源氏物語ミュージアムは平成10年の開館から20年以上が経過しており、適切な維持管理を図るため、長寿命化改修を実施する。		
成果・実績	経年劣化が進んでいた高圧設備の電気改修を発注し、機器製作を進めた。		
事業評価	高圧設備の電気改修を発注し、機器製作を進めることができた。令和7年度に設備改修を実施し、適切な維持管理を図り、施設の長寿命化に努める。		

事務事業名	源氏物語ミュージアム広報活動費	所管課	博物館管理課(源氏物語ミュージアム)
		決算額	1,544 千円
事業内容	「源氏物語をテーマとしたまちづくり」の中核的役割を担う施設として、初めての来館者の獲得をはじめ、リピーターの増加を目指し、広報宣伝活動を行う。		
成果・実績	<p>特別企画展に合わせて、7月に東京駅構内でデジタルサイネージを1週間掲出するとともに大河ドラマや旅行に関心のある東京都・神奈川県18歳以上をターゲットに当館をPRするWEBバナーを1か月間配信した。また、令和7年3月には、京都市営地下鉄四条駅で大型デジタルサイネージを2週間掲出した。</p> <p>さらに、年間を通じてインバウンド向け情報誌に広告を掲載したほか、京都府内のホテルや旅館700施設の各部屋に常設される観光情報誌に当館の広告を掲載した。</p>		
事業評価	当館の魅力を年間を通じて実施する広報活動と、特別企画展に合わせて実施する短期集中的な広報活動によって、メリハリのある計画的で効果的な広報活動が実施できた。引き続き、リピーター確保に向けて、計画的、かつ効果的な広報活動に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	教育部
関連分野	文化芸術	

事務事業名	源氏物語ミュージアム特別企画展示費	所管課	博物館管理課(源氏物語ミュージアム)
		決算額	1,147 千円
事業内容	特別企画展は、歴史資料館の特別展と隔年で実施する。令和6年度は、歴史資料館の特別展開催年度であるが、令和6年1月から放送されている大河ドラマ「光る君へ」の放送にあわせて実施する。		
成果・実績	<p>『源氏物語』に関する江戸時代の注釈書や関連書籍のほか、屏風絵などの絵画や工芸品など、他館の史料も含めて、『源氏物語』の世界を紹介した。</p> <p>◎特別企画展 『源氏物語』が呼んでいる ―広がる古典の世界― ・7月10日～9月29日</p> <div style="text-align: right;">  </div>		
事業評価	今年度も引き続き「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」との連携事業として実施した。プロジェクトとの連携や当館で実施する計画的で効果的な広報活動を通じて、積極的に『源氏物語』の魅力を観覧者に発信することができた。		

事務事業名	源氏物語ミュージアム管理運営費	所管課	博物館管理課(源氏物語ミュージアム)
		決算額	72,518 千円
事業内容	源氏物語ミュージアム施設全体の維持管理、建物・展示物のメンテナンス業務及び受付をはじめとする入館者への対応など博物館の維持管理運営業務を行う。		
成果・実績	<p>インバウンド対策等として、令和7年2月にキャッシュレス決済を導入したほか、駐車場精算機の更新や観覧券券売機の新紙幣・新500円硬貨対応を行った。</p> <p>◎キャッシュレス決済 ・件数 576件 ・金額 611,670円</p>		
事業評価	適切に館の維持管理、管理運営業務を行うことができた。キャッシュレス決済の導入、駐車場精算機の更新及び観覧券券売機の新紙幣・新500円硬貨対応により来館者の利便を図った。今後も引き続き、館の運営及び維持管理など適切な対応に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター
		決算額	1,918 千円

事業内容 宇治市教育振興基本計画に基づき、生涯学習センター及び公民館などで、市民のライフステージに対応した講座・イベントを実施し、学習の機会を提供する。

成果・実績	◎学習機会の提供・充実		
	事業名	回数	参加延べ人数
	夏休み子ども★わくわくフェア（2日間）	1回	909人
	小学生のためのiPad活用教室	1回	15人
	宇治鳳凰大学（4コース）	28回	1,620人
	宇治鳳凰大学祭	1回	565人
	『源氏物語』と仮名書道	1回	111人
	シニア向けスマートフォン講座	10回	113人
	バリアフリー上映会	1回	179人
	NHKオンデマンド講座	10回	102人
	あつまれ！うじキッズ にこにこシアター	1回	300人
	宇治市の鳥カワセミを見る会	1回	20人
	おやこで理科実験 いろんなふしぎを発見しよう！	3回	69人
	みんなで楽しもう！平安あそび ～すごろくゲームと貝あわせ～	1回	34人



『源氏物語』と仮名書道



夏休み子ども★わくわくフェア



おやこで理科実験



宇治市の鳥カワセミを見る会

◎学習情報提供の充実
情報紙「生涯学習情報UJI」年4回 計9,600部 発行

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター
		決算額	1,918 千円

成果・実績	◎生涯学習団体等の育成・人材養成と活用																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>参加延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロビー展示</td> <td>43回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ロビー展示 ミニ講習会</td> <td>9回</td> <td>90人</td> </tr> <tr> <td>ロビー展示 源氏物語ゆかりの作品展</td> <td>2回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>うじ市民活動サポート事業（5事業）</td> <td>21回</td> <td>144人</td> </tr> <tr> <td>はじめよう！セカンドライフ</td> <td>4回</td> <td>59人</td> </tr> <tr> <td>フューチャー・デザインワークショップ だれもがいきいきと学べる30年後の宇治</td> <td>1回</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>キックオフ100関連講座 「つながりを生み出す居場所の必要性」</td> <td>1回</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>記者から学ぶ「匠の技」</td> <td>3回</td> <td>73人</td> </tr> <tr> <td>つながりづくり</td> <td>2回</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>はじめの一步！子育て応援サポーター講座</td> <td>3回</td> <td>42人</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	回数	参加延べ人数	ロビー展示	43回	—	ロビー展示 ミニ講習会	9回	90人	ロビー展示 源氏物語ゆかりの作品展	2回	—	うじ市民活動サポート事業（5事業）	21回	144人	はじめよう！セカンドライフ	4回	59人	フューチャー・デザインワークショップ だれもがいきいきと学べる30年後の宇治	1回	18人	キックオフ100関連講座 「つながりを生み出す居場所の必要性」	1回	24人	記者から学ぶ「匠の技」	3回	73人	つながりづくり	2回	21人	はじめの一步！子育て応援サポーター講座	3回	42人
	事業名	回数	参加延べ人数																																	
	ロビー展示	43回	—																																	
	ロビー展示 ミニ講習会	9回	90人																																	
	ロビー展示 源氏物語ゆかりの作品展	2回	—																																	
	うじ市民活動サポート事業（5事業）	21回	144人																																	
	はじめよう！セカンドライフ	4回	59人																																	
	フューチャー・デザインワークショップ だれもがいきいきと学べる30年後の宇治	1回	18人																																	
	キックオフ100関連講座 「つながりを生み出す居場所の必要性」	1回	24人																																	
	記者から学ぶ「匠の技」	3回	73人																																	
	つながりづくり	2回	21人																																	
	はじめの一步！子育て応援サポーター講座	3回	42人																																	
	 <p>記者から学ぶ「匠の技」</p>																																			
	 <p>うじ市民活動サポート事業</p>																																			
 <p>つながりづくり</p>																																				
 <p>子育て応援サポーター講座</p>																																				
◎生涯学習の基礎づくり																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>参加延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おやこっころんど</td> <td>12回</td> <td>480人</td> </tr> <tr> <td>小学生の親のための講座 ～小学生のiPad活用について～</td> <td>1回</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	回数	参加延べ人数	おやこっころんど	12回	480人	小学生の親のための講座 ～小学生のiPad活用について～	1回	9人																									
事業名	回数	参加延べ人数																																		
おやこっころんど	12回	480人																																		
小学生の親のための講座 ～小学生のiPad活用について～	1回	9人																																		

事業評価	市民の声や団体のニーズを汲み取った講座を複数回実施することができた。また、オンデマンド形式の講座も実施し、これまで開催できていなかったジャンルの講座も実施することができた。今後も現代的課題の学習機会の創出と市民ニーズに応じた事業実施に努める。
------	---

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	教育部
関連分野	学べる環境	

事務事業名	市民まなびの集い（宇治まなびんぐ）	所管課	生涯学習センター
		決算額	259 千円
事業内容	「つながれ・ひろがれ・まなびの“わ”」をテーマに、生涯学習に取り組んでいる市民の日常活動の発表及び交流の場、これから何かを始めたい市民のきっかけづくりの場として、「市民まなびの集い（宇治まなびんぐ）」を開催する。		
成果・実績	<p>◎宇治まなびんぐフェスタ2025 市民公募による実行員会形式で開催した。実行委員（16人）が準備及び当日運営を当日のボランティア（15人）も出展者補助等を積極的に行った。</p> <p>開催日 令和7年2月15日～2月16日 出展者 37団体・個人 参加延べ人数 752人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>実行委員</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>オープニングイベント</p> </div> </div>		
事業評価	例年と同規模の出展者数があり、学習活動の発表と交流の場、参加者のきっかけ作りの場とすることができた。今後も実行委員の前向きなアイデアを大事にしながら、出展者・参加者・実行委員が学び合う場の充実を図る。		

事務事業名	生涯学習センター長寿命化事業費	所管課	生涯学習センター
		決算額	7,810 千円
事業内容	「公共施設アセットマネジメント推進計画」に基づき、施設の長寿命化を図るために改修を行う。		
成果・実績	<p>長寿命化改修のための実施設計を行った。</p> <p>◎生涯学習センター改修設計業務委託 7,810千円</p>		
事業評価	長寿命化改修のための実施設計を円滑に行うことができた。今後は、改修工事を実施し、施設の長寿命化を図るとともに、利便性の向上を図る。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	図書館資料提供費等	所管課	各図書館																																																	
		決算額	17,879千円																																																	
事業内容	市民等の読書活動、生涯学習、調査研究、課題解決などを支援するため、図書、雑誌、新聞、郷土資料、行政資料などの図書館資料を幅広く収集して提供し、長期的に保存すると共に、読書推進や課題解決のための講座、朗読会、おはなし会など様々な企画事業を実施する。																																																			
成果・実績	◎中央図書館資料提供費 10,819千円 ◎東宇治図書館資料提供費 3,530千円 ◎西宇治図書館資料提供費 3,530千円 ◎資料数 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">館名</th> <th style="width: 15%;">購入冊数 (冊)</th> <th style="width: 15%;">年度末蔵書数 (冊)</th> <th style="width: 15%;">受入雑誌 (誌)</th> <th style="width: 15%;">購入新聞 (紙)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td style="text-align: center;">3,268</td> <td style="text-align: center;">181,944</td> <td style="text-align: center;">80</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> <tr> <td>東宇治図書館</td> <td style="text-align: center;">1,409</td> <td style="text-align: center;">62,845</td> <td style="text-align: center;">49</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td>西宇治図書館</td> <td style="text-align: center;">1,545</td> <td style="text-align: center;">71,029</td> <td style="text-align: center;">45</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">6,222</td> <td style="text-align: center;">315,818</td> <td style="text-align: center;">174</td> <td style="text-align: center;">26</td> </tr> </tbody> </table> ◎利用状況 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">館名等</th> <th style="width: 15%;">貸出点数 (点)</th> <th style="width: 15%;">延べ貸出者数 (人)</th> <th style="width: 15%;">登録者数 (人)</th> <th style="width: 15%;">市民登録率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td style="text-align: center;">328,921</td> <td style="text-align: center;">105,972</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">58,109 うち市外 1,449</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">31.7</td> </tr> <tr> <td>東宇治図書館</td> <td style="text-align: center;">140,465</td> <td style="text-align: center;">37,301</td> </tr> <tr> <td>西宇治図書館</td> <td style="text-align: center;">141,530</td> <td style="text-align: center;">38,931</td> </tr> <tr> <td>団体貸出</td> <td style="text-align: center;">4,352</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">615,268</td> <td style="text-align: center;">182,204</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ◎団体貸出 13団体（地域・家庭文庫、笠取地区、青少年センター、Ujiふれあい教室）に4,231冊の貸出を行った。また、9の幼稚園及び小学校に、121冊の学校等団体貸出を行った。			館名	購入冊数 (冊)	年度末蔵書数 (冊)	受入雑誌 (誌)	購入新聞 (紙)	中央図書館	3,268	181,944	80	10	東宇治図書館	1,409	62,845	49	8	西宇治図書館	1,545	71,029	45	8	合計	6,222	315,818	174	26	館名等	貸出点数 (点)	延べ貸出者数 (人)	登録者数 (人)	市民登録率 (%)	中央図書館	328,921	105,972	58,109 うち市外 1,449	31.7	東宇治図書館	140,465	37,301	西宇治図書館	141,530	38,931	団体貸出	4,352	—	合計	615,268	182,204		
館名	購入冊数 (冊)	年度末蔵書数 (冊)	受入雑誌 (誌)	購入新聞 (紙)																																																
中央図書館	3,268	181,944	80	10																																																
東宇治図書館	1,409	62,845	49	8																																																
西宇治図書館	1,545	71,029	45	8																																																
合計	6,222	315,818	174	26																																																
館名等	貸出点数 (点)	延べ貸出者数 (人)	登録者数 (人)	市民登録率 (%)																																																
中央図書館	328,921	105,972	58,109 うち市外 1,449	31.7																																																
東宇治図書館	140,465	37,301																																																		
西宇治図書館	141,530	38,931																																																		
団体貸出	4,352	—																																																		
合計	615,268	182,204																																																		
	◎予約図書配本サービス 利用者の利便性向上を図るため、事前に予約された図書を、週1回、公共施設等に設置した7か所の配本所に搬送し、19,499冊の貸出を行った。																																																			
	◎資料の活用（リサイクル事業：年1回） 図書館資料の有効活用を図るため、リサイクル市を開催し、除籍図書及び保存期限が経過した雑誌等を市民に提供した。 ・提供冊数 4,106冊																																																			

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	教育部
関連分野	学べる環境	

事務事業名		所管課	
	図書館資料提供費等	決算額	各図書館 17,879 千円
成果・実績	◎テーマ図書展示 季節や時事等に応じ、様々なテーマの図書展示を行った。		
	・成人書 中央図書館 「ものがたり動物園」他46回 東宇治図書館「今日なに作ろう？」他21回 西宇治図書館「戸外であそぼう！」他22回		
	・児童書 中央図書館 「夏の読書大作戦！！」他21回 東宇治図書館「はな・しょくぶつの本」他24回 西宇治図書館「ほんをひらけば」他15回		
	◎読書推進事業等 読書活動及び生涯学習の推進のため、朗読会、講座、おはなし会などを行った。		
	・成人向け 中央図書館 読書週間記念講演会 : 延べ参加者209人 「ものがたり創造の楽しみー「源氏物語」から 「響け！ユーフォニアム」までー」他15回		
	東宇治図書館 読書週間記念講演会 : 延べ参加者 54人 「江戸時代の旅と名所と宇治の里」他4回		
	西宇治図書館 読書推進講座 : 延べ参加者 69人 「大和街道をゆく 江戸時代の旅人たち」他6回		
	・児童向け 中央図書館 科学実験教室「回転のふしぎ」他13回 : 延べ参加者127人 東宇治図書館 「わくわく！コラボおはなし会 「人形劇×えほん」」他8回 : 延べ参加者189人 西宇治図書館 「西宇治図書館クイズラリー」他5回 : 延べ参加者366人		
	◎課題解決支援事業 地域の課題解決を支援するための事業を実施した。		
	中央図書館 不登校児童生徒読書活動支援事業 : 延べ参加者 30人 教育支援課 (Ujiふれあい教室) と共催 図書館のスマートフォン体験講座 5回 : 延べ参加者 50人 OPAC (図書検索機) 活用講習会 5人		
	東宇治図書館 図書館のスマートフォン体験講座 4回 : 延べ参加者 33人 OPAC (図書検索機) 活用講習会 7人		
	西宇治図書館 図書館のスマートフォン体験講座 3回 : 延べ参加者 25人		
	◎行政支援サービス 図書館の豊富な資料等を行政団体貸出により市内各課に提供し、行政課題の解決や職員のスキルアップを支援し、ひいては市民サービスの向上を図った。		
	中央図書館 利用所属数 延べ11所属、貸出冊数89冊		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	図書館資料提供費等	所管課	各図書館
		決算額	17,879 千円

成果・実績	◎おはなし会（出張おはなし会を含む）			
	館名	回数	参加者数	内容
	中央図書館	30	398	絵本の読み聞かせ、紙芝居、ペープサートなど
	東宇治図書館	31	577	
	西宇治図書館	38	311	
◎学校等連携				
館名	図書館見学等 (小学校・幼稚園等)		中学生の 職場体験学習等	
	学校等の数	参加者人数	学校数	人数
中央図書館	3	92	7	13
東宇治図書館	6	221	2	4
西宇治図書館	2	30	4	7



中央図書館
「おれの人どんなん？」



中央図書館
「読書感想文の書き方教室」



東宇治図書館
「ぬいぐるみの図書館おとまり会」



西宇治図書館
「大人のリサイクル工作」

事業評価	幅広い資料の収集や企画事業などの取組により、豊富な知識・情報の提供を行い、市民の読書活動や生涯学習を促進することができた。今後も社会状況の変化に伴う多様化・高度化したニーズへの対応に努める。
------	---

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	電子図書館サービス事業費（学校連携事業含む）	所管課	中央図書館
		決算額	13,413 千円
事業内容	利用者がインターネット上の電子図書館サイトにアクセスすることで、いつでもどこでも電子書籍の貸出や閲覧などができるサービスを提供する。また、学校連携事業として、宇治市立学校に在籍する小学3年生以上の全小中学生に電子図書館を利用できる環境を整備する。		
成果・実績	学校や家庭などでいつでも電子書籍が読める環境を作り、読書意欲を喚起するとともに、読書活動や学習活動を推進することを目的として、5月に宇治市立学校に在籍する小学3年生及び中学1年生に電子図書館の学校連携専用IDカードを配付した。		
	◎利用状況等 電子書籍点数 23,685点		
	・図書館分 登録者数 6,539人 貸出人数 5,822人 貸出点数 9,404点		
	・学校連携分 登録者数 11,082人 貸出人数 40,789人 貸出点数 95,957点		
			
	電子図書館サービス		
事業評価	来館せず電子書籍を読むことができる本サービスは、書籍点数も増え、登録者数も増加しているが貸出人数・点数は若干減少した。利用者の興味を引く電子書籍画面でのテーマづくりやイベント等、貸出増加に向けた取組が必要である。また、令和4年7月から開始した学校連携事業については、今年度においても同様に専用IDカードを配付しており、読書習慣のない小中学生が本に触れたり、家族で図書館を訪れるきっかけを提供でき、貸出人数・点数共に大幅に増加した。今後も電子図書館サービスの充実に努める。		

事務事業名	視覚障害者専用電子図書館事業費	所管課	中央図書館
		決算額	132 千円
事業内容	市内在住の視覚障害者がスマートフォン等の音声自動読み上げ機能を使って電子書籍を楽しむ視覚障害者専用電子図書館サービスを提供する。		
成果・実績	◎利用状況等 電子書籍点数 19,311点 登録者数 28人		
事業評価	電子書籍点数が増加し、知識・情報の提供ができた。今後もより多くの方に利用されるよう広報等利用者拡大に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	教育部
関連分野	文化芸術	

事務事業名	歴史資料館調査研究費	所管課	博物館管理課(歴史資料館)
		決算額	253 千円
事業内容	宇治市関係歴史資料について、旧家及び社寺、博物館などが所蔵する資料の調査を行い、データの充実を図るとともに、収蔵資料調査報告書により成果を広く公開する。		
成果・実績	かつて宇治市の西部にまたがって、豊かな自然の恵みを人々に提供してきた巨椋池の漁具や関係資料等をまとめた「収蔵資料調査報告書27 巨椋池等の漁労用具・関係資料」を刊行した。 ◎収蔵資料調査報告書発行数 400部		
事業評価	歴史資料の調査を行い、調査結果をまとめ、報告書を刊行した。宇治市の歴史・文化を広く公開し、市民の生涯学習の促進を図るため、引き続き取り組む。		

「収蔵資料調査報告書27 巨椋池等の漁労用具・関係資料」

事務事業名	歴史資料館資料収集保存費	所管課	博物館管理課(歴史資料館)
		決算額	638 千円
事業内容	資料を収集して充実を図るとともに、これらをより良い状態で後世に伝えるため、資料の燻蒸及び収蔵庫の環境維持に努める。		
成果・実績	宇治市関係歴史資料として下記の資料を購入した。 ◎購入資料 ・源氏須磨之浦 三枚続 ・月が啼せた雁の声 ・其姿紫の写絵 五十二 蜻蛉		
事業評価	資料の収集、保存、管理を適切に行うことにより、宇治市に留まらず他館等への貸出し等、広く資料の活用を図ることができた。今後も資料の充実や適切な保存、整理を図り、その活用に努める。		

月が啼せた雁の声

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
教育部

事務事業名	歴史資料館展示活動費	所管課	博物館管理課(歴史資料館)																					
		決算額	500 千円																					
事業内容	宇治市の歴史に関する多様なテーマについて、調査・研究の成果を市民に還元し、後世に伝えるため、特別展、企画展、常設展及び関連事業を実施する。開館以来収集してきた資料を中心に、実物資料、写真パネル、映像資料を組み合わせ、市民が親しみやすい展示に努める。																							
成果・実績	宇治の歴史及び文化財に関し、様々な視点からテーマを設定して、展覧会を開催した。 令和6年度は、企画展を5回開催した。 ◎企画展 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">展覧会名</th> <th style="width: 25%;">会期</th> <th style="width: 25%;">入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇治茶 名所絵から製茶図まで</td> <td>5月11日～6月23日</td> <td style="text-align: right;">1,311人</td> </tr> <tr> <td>戦争遺品展 戦時中の暮らし</td> <td>7月6日～9月1日</td> <td style="text-align: right;">2,478人</td> </tr> <tr> <td>黄檗山萬福寺－普茶料理・豆腐羹－</td> <td>9月14日～12月1日</td> <td style="text-align: right;">2,095人</td> </tr> <tr> <td>ちょっと昔の街と暮らし おとぎ電車が走った頃</td> <td>12月14日～令和7年2月9日 [1月13日臨時開館]</td> <td style="text-align: right;">1,460人</td> </tr> <tr> <td>発掘ものがたり宇治・2025</td> <td>令和7年2月22日～4月20日</td> <td style="text-align: right;">1,032人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計</td> <td style="text-align: right;">8,376人</td> </tr> </tbody> </table>			展覧会名	会期	入館者数	宇治茶 名所絵から製茶図まで	5月11日～6月23日	1,311人	戦争遺品展 戦時中の暮らし	7月6日～9月1日	2,478人	黄檗山萬福寺－普茶料理・豆腐羹－	9月14日～12月1日	2,095人	ちょっと昔の街と暮らし おとぎ電車が走った頃	12月14日～令和7年2月9日 [1月13日臨時開館]	1,460人	発掘ものがたり宇治・2025	令和7年2月22日～4月20日	1,032人	合計		8,376人
展覧会名	会期	入館者数																						
宇治茶 名所絵から製茶図まで	5月11日～6月23日	1,311人																						
戦争遺品展 戦時中の暮らし	7月6日～9月1日	2,478人																						
黄檗山萬福寺－普茶料理・豆腐羹－	9月14日～12月1日	2,095人																						
ちょっと昔の街と暮らし おとぎ電車が走った頃	12月14日～令和7年2月9日 [1月13日臨時開館]	1,460人																						
発掘ものがたり宇治・2025	令和7年2月22日～4月20日	1,032人																						
合計		8,376人																						
事業評価	市民が宇治の歴史や文化を身近に感じられるテーマを選び、企画展を実施した。展覧会を通して、市民が継続的に歴史資料に親しみ、その重要性を知る機会を提供し、宇治の歴史及び文化について理解を深めることができるよう、今後も工夫を凝らした展示の実施に努める。																							

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
教育部

事務事業名	歴史資料館教育普及活動費	所管課	博物館管理課(歴史資料館)																					
		決算額	40 千円																					
事業内容	歴史講座等を開催し、調査・研究成果を広く公開する。市民の歴史研究に資するとともに、博物館活動への理解を深める。																							
成果・実績	<p>歴史講座を3回、展覧会関連事業を2回実施し、市民への教育普及活動に努めた。</p> <p>◎歴史講座</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">講座名</th> <th style="width: 20%;">講師</th> <th style="width: 20%;">開催日</th> <th style="width: 20%;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ご隠居さん、きょうをいく 第1回 江戸時代の出版と学び</td> <td>博物館管理課 学芸員</td> <td>令和7年1月16日</td> <td style="text-align: center;">15人</td> </tr> <tr> <td>ご隠居さん、きょうをいく 第2回 人々の文化享受と交流</td> <td>博物館管理課 学芸員</td> <td>令和7年1月30日</td> <td style="text-align: center;">14人</td> </tr> <tr> <td>巨椋池の名残を探る</td> <td>京都府立京都学・ 歴彩館資料課主幹 若林正博氏</td> <td>令和7年2月25日</td> <td style="text-align: center;">80人</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">合計</td> <td style="text-align: center;">109人</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎展覧会関連事業 ・事業数：2回 ・参加者数：20人</p>				講座名	講師	開催日	参加者数	ご隠居さん、きょうをいく 第1回 江戸時代の出版と学び	博物館管理課 学芸員	令和7年1月16日	15人	ご隠居さん、きょうをいく 第2回 人々の文化享受と交流	博物館管理課 学芸員	令和7年1月30日	14人	巨椋池の名残を探る	京都府立京都学・ 歴彩館資料課主幹 若林正博氏	令和7年2月25日	80人	合計			109人
講座名	講師	開催日	参加者数																					
ご隠居さん、きょうをいく 第1回 江戸時代の出版と学び	博物館管理課 学芸員	令和7年1月16日	15人																					
ご隠居さん、きょうをいく 第2回 人々の文化享受と交流	博物館管理課 学芸員	令和7年1月30日	14人																					
巨椋池の名残を探る	京都府立京都学・ 歴彩館資料課主幹 若林正博氏	令和7年2月25日	80人																					
合計			109人																					
事業評価	多様な世代の市民に向けた各講座を開催した。今後も講座を通して、宇治の歴史と文化や博物館活動について、持続的に市民が関心を持ち、理解を深める機会を提供するよう努める。																							

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	教育部
関連分野	学べる環境	

事務事業名	善法青少年センター活動費	所管課	善法青少年センター
		決算額	2,059 千円
事業内容	人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動などのセンター事業を行う。		
成果・実績	◎学習・文化活動 書道教室、えいごくらぶ、手作り教室、園芸教室、折り紙教室などを実施した。 ・実施回数 284回 ・参加者数 3,678人 ◎体育・スポーツ・レクリエーション活動 ダンス教室、スポーツクラブ、お楽しみ会などを実施した。 ・実施回数 31回 ・参加者数 534人		
事業評価	各種活動を通じ、青少年の生きる力を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図った。今後も事業参加を促すため、子どもたちのニーズを把握し、引き続き事業内容の工夫に努める。		

事務事業名	河原青少年センター活動費	所管課	河原青少年センター
		決算額	1,143 千円
事業内容	人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動などのセンター事業を行う。		
成果・実績	◎学習・文化活動 体験学習、英語教室、お茶教室、工作教室などを実施した。 ・実施回数 79回 ・参加者数 1,119人 ◎体育・スポーツ・レクリエーション活動 カメレオン・パニック、ダンス教室、アウトドア教室などを実施した。 ・実施回数 19回 ・参加者数 1,115人		
事業評価	各種活動を通じ、青少年の生きる力を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図った。今後も、新規事業の取組みや事業内容を工夫するなどして、参加者の増加と事業の発展に努める。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	消防本部
関連分野	消防・救急	

事務事業名	消防団関連事業費	所管課	消防総務課																									
		決算額	50,326 千円																									
事業内容	消防団の任務は、火災等あらゆる災害から市民の生命、身体及び財産を守ることであり、消防精神を養うため日頃から教養訓練、研修などを逐次実施し、知識技能の向上を図るとともに火災予防を推進し、災害に強いまちづくりに努める。																											
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">◎消防団員報酬</td> <td style="width: 10%;">333人</td> <td style="width: 10%;">13,652千円</td> <td rowspan="8" style="width: 30%; text-align: center;">  </td> </tr> <tr> <td>◎消防団員退職報償金</td> <td>8人</td> <td>3,853千円</td> </tr> <tr> <td>◎出動報酬</td> <td>延べ4,745人</td> <td>8,625千円</td> </tr> <tr> <td>◎小型動力ポンプ一式装備</td> <td></td> <td>1,498千円</td> </tr> <tr> <td>◎京都府消防協会宇城久支部負担金等</td> <td></td> <td>599千円</td> </tr> <tr> <td>◎白川消防団器具庫改築工事等</td> <td></td> <td>4,708千円</td> </tr> <tr> <td>◎西目川消防団器具庫改築設計測量業務委託</td> <td></td> <td>4,319千円</td> </tr> <tr> <td>◎トランシーバー38基配備</td> <td></td> <td>627千円</td> </tr> </table>			◎消防団員報酬	333人	13,652千円		◎消防団員退職報償金	8人	3,853千円	◎出動報酬	延べ4,745人	8,625千円	◎小型動力ポンプ一式装備		1,498千円	◎京都府消防協会宇城久支部負担金等		599千円	◎白川消防団器具庫改築工事等		4,708千円	◎西目川消防団器具庫改築設計測量業務委託		4,319千円	◎トランシーバー38基配備		627千円
◎消防団員報酬	333人	13,652千円																										
◎消防団員退職報償金	8人	3,853千円																										
◎出動報酬	延べ4,745人	8,625千円																										
◎小型動力ポンプ一式装備		1,498千円																										
◎京都府消防協会宇城久支部負担金等		599千円																										
◎白川消防団器具庫改築工事等		4,708千円																										
◎西目川消防団器具庫改築設計測量業務委託		4,319千円																										
◎トランシーバー38基配備		627千円																										
事業評価	近年の災害や消防団の活動内容に応じた装備の充実を図るとともに、各種訓練等を通じて火災予防活動・防火啓発活動を実施し、地域一体となった安全・安心なまちづくりの推進を図ることができた。「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、今後も積極的に消防団員の確保に努めるとともに消防団活動の活性化を図り、災害に強いまちづくりを進める必要がある。																											

事務事業名	職員教養研修費	所管課	消防総務課																																								
		決算額	6,531 千円																																								
事業内容	全国消防長会のほか、消防庁消防大学校、京都府立消防学校が実施する各種の教養資格講習等を受講し、消防職員の知識、技能を向上させる。																																										
成果・実績	<p>◎研修実績（主なもの）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">研修内容</th> <th style="width: 30%;">場所</th> <th style="width: 15%;">期間（日）</th> <th style="width: 25%;">人数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初任教育</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>117</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>専科教育 警防科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 特殊災害科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 予防査察科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 危険物科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 火災調査科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 救助科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>20</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>幹部教育 初級幹部科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>消防大学校 火災調査科</td> <td>消防大学校（東京都）</td> <td>35</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			研修内容	場所	期間（日）	人数（人）	初任教育	京都府立消防学校	117	9	専科教育 警防科	京都府立消防学校	10	1	専科教育 特殊災害科	京都府立消防学校	7	1	専科教育 予防査察科	京都府立消防学校	10	1	専科教育 危険物科	京都府立消防学校	5	1	専科教育 火災調査科	京都府立消防学校	10	1	専科教育 救助科	京都府立消防学校	20	2	幹部教育 初級幹部科	京都府立消防学校	10	1	消防大学校 火災調査科	消防大学校（東京都）	35	1
研修内容	場所	期間（日）	人数（人）																																								
初任教育	京都府立消防学校	117	9																																								
専科教育 警防科	京都府立消防学校	10	1																																								
専科教育 特殊災害科	京都府立消防学校	7	1																																								
専科教育 予防査察科	京都府立消防学校	10	1																																								
専科教育 危険物科	京都府立消防学校	5	1																																								
専科教育 火災調査科	京都府立消防学校	10	1																																								
専科教育 救助科	京都府立消防学校	20	2																																								
幹部教育 初級幹部科	京都府立消防学校	10	1																																								
消防大学校 火災調査科	消防大学校（東京都）	35	1																																								
事業評価	国・京都府等が実施する各種教育課程の受講及び各種免許・資格習得により、職員の知識・技能の向上を図ることができた。今後も複雑多様化している災害等に的確に対応するため、計画的な職員の知識・技能のさらなる向上に努める必要がある。																																										

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	消防本部
関連分野	消防・救急	

事務事業名	保健・消防センター長寿命化事業費	所管課	消防総務課
		決算額	115,938千円
事業内容	「公共施設アセットマネジメント推進計画」に基づき、施設の長寿命化を図るために改修を行う。		
成果・実績	<p>施設の長寿命化を図るために、うじ安心館のオーバースライドドアの改修工事、高圧受電設備部品（キュービクル）改修業務、うじ安心館非常用自家発電設備の更新、うじ安心館床暖房改修工事を行った。</p> <p>◎うじ安心館オーバースライドドア改修工事 2,706千円</p> <p>◎高圧受電設備部品改修工事業務委託 2,209千円</p> <p>◎うじ安心館非常用自家発電設備一部更新 38,833千円</p> <p>◎うじ安心館床暖房改修工事 69,916千円</p>		
事業評価	施設長寿命化のため各種改修工事を円滑に行うことができた。今後も引き続き実施設計に基づく改修工事や設備更新を令和7年度にかけて実施し、施設の長寿命化を図るとともに、利便性の向上を図る。		

事務事業名	防火意識啓発費	所管課	予防課
		決算額	596千円
事業内容	市内における火災の発生防止を図るとともに、市民に火災時の対応等について啓発・指導を図り、防火等への関心を高めることにより、災害のない、安全・安心で住みよいまちづくりを推進する。		
成果・実績	<p>消防の仕事について学ぶ小学生への防火読本を作成配布することにより、市民への防火啓発や火災予防意識の高揚を図り、児童への防火教育に努めた。</p> <p>また、市民に訓練の重要性及び初期消火における消火器の有効性を認識してもらうため、町内会等の消火訓練に使用した消火器及び初期消火に使用された消火器に対し、消火薬剤の補填を行うことにより火災予防意識の高揚に努めた。</p> <p>◎防火読本配布数 2,000冊（市内小学3年生及び市民に配布）</p> <p>◎消火薬剤補填数 55本（訓練 28本、初期消火 27本）</p>		
事業評価	小学生への防火読本の作成配布などを実施することにより、火災予防への意識高揚及び火災発生防止の防止効果につなげることができた。今後もより効果的な啓発等に努め、引き続き火災予防意識の高揚を図る必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	消防・救急

所管部局
消防本部

事務事業名	消防水利維持管理・消防水利拡充事業費	所管課	警防救急課
		決算額	19,543 千円
事業内容	消火活動において、消防水利が有効に活用できるように維持管理するとともに必要に応じ修繕を行う。また、市街地における水利不便地に消火栓等を新設し、消防水利の充実を図る。		
成果・実績	<p>火災時に活用する消防水利等の維持管理、新設を行った。</p> <p>◎消火栓維持管理 消火栓83基の修繕工事等を行った。</p> <p>◎消防水利新設 消火栓2基を新設した。</p>		
事業評価	消防水利の補修、改修及び新設をすることにより、火災等災害時の対応に備えることができた。今後も引き続き消防水利等の維持管理・拡充を行い、災害対応力の充実に努める必要がある。		

事務事業名	消防機械器具整備費	所管課	警防救急課																										
		決算額	62,912 千円																										
事業内容	老朽化した消防車両、消防機械器具等の更新整備に伴い、災害活動時の安全管理対策及び高機能化を行う。																												
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4">◎消防活動資機材の更新整備</td> </tr> <tr> <td style="width: 40%;">消防用ホース</td> <td style="width: 10%;">85本</td> <td rowspan="2" style="width: 5%; text-align: center;">}</td> <td rowspan="2" style="width: 45%; vertical-align: middle;">3,671千円</td> </tr> <tr> <td>山林火災用消防水囊</td> <td>10基</td> </tr> <tr> <td>空気呼吸器の更新整備</td> <td>5基</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">}</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">7,369千円</td> </tr> <tr> <td>空気呼吸器用軽量空気ポンベ</td> <td>25本</td> </tr> <tr> <td>空気呼吸器用面体</td> <td>6基</td> </tr> <tr> <td>◎消防ポンプ自動車1台の更新整備</td> <td>1台</td> <td>50,820千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎消防救助用小型舟艇及び船外機</td> <td>1艇</td> <td>1,041千円</td> <td></td> </tr> </table>			◎消防活動資機材の更新整備				消防用ホース	85本	}	3,671千円	山林火災用消防水囊	10基	空気呼吸器の更新整備	5基	}	7,369千円	空気呼吸器用軽量空気ポンベ	25本	空気呼吸器用面体	6基	◎消防ポンプ自動車1台の更新整備	1台	50,820千円		◎消防救助用小型舟艇及び船外機	1艇	1,041千円	
◎消防活動資機材の更新整備																													
消防用ホース	85本	}	3,671千円																										
山林火災用消防水囊	10基																												
空気呼吸器の更新整備	5基	}	7,369千円																										
空気呼吸器用軽量空気ポンベ	25本																												
空気呼吸器用面体	6基																												
◎消防ポンプ自動車1台の更新整備	1台	50,820千円																											
◎消防救助用小型舟艇及び船外機	1艇	1,041千円																											
																													
	消防ポンプ自動車																												
事業評価	消防車両、消防機械器具などの更新により、被害の軽減及び隊員の安全管理を図ることができた。今後も引き続き必要な機能及び数量を精査しながら、計画的に更新を行い、消防力の充実強化に努める必要がある。																												

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	消防本部
関連分野	消防・救急	

事務事業名	専門職員養成費	所管課	警防救急課																					
		決算額	3,563 千円																					
事業内容	救急救命士制度の創設及び救急隊員の行う応急処置範囲の拡大に伴い、専門教育を受講し、隊員の資質・技能を向上することで救命率の向上を図る。																							
成果・実績	<p>救急救命士の新規養成1人、気管挿管認定2人、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用した気管挿管認定2人を養成し、救急高度化の充実・強化を図った。</p> <p>また、資格取得後の救急救命士については、1年間で24時間（3日間）の病院実習を行い、病院前救護に必要な医学的知識と技能の維持に努め、資質の向上を図った。</p> <p style="text-align: center;">救急救命士新規養成及び救急救命士研修実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">研修名</th> <th style="width: 30%;">場 所</th> <th style="width: 15%;">期間等</th> <th style="width: 10%;">人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急救命士養成教育</td> <td>京都市救急教育訓練センター</td> <td>7か月</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>気管挿管病院実習</td> <td>市内医療機関</td> <td>30症例</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用した気管挿管病院実習</td> <td>市内医療機関</td> <td>3症例</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>現任救急救命士病院実習</td> <td>協力医療機関</td> <td>3日間</td> <td>31人</td> </tr> </tbody> </table>				研修名	場 所	期間等	人数	救急救命士養成教育	京都市救急教育訓練センター	7か月	1人	気管挿管病院実習	市内医療機関	30症例	2人	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用した気管挿管病院実習	市内医療機関	3症例	2人	現任救急救命士病院実習	協力医療機関	3日間	31人
研修名	場 所	期間等	人数																					
救急救命士養成教育	京都市救急教育訓練センター	7か月	1人																					
気管挿管病院実習	市内医療機関	30症例	2人																					
ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用した気管挿管病院実習	市内医療機関	3症例	2人																					
現任救急救命士病院実習	協力医療機関	3日間	31人																					
事業評価	新規救急救命士、並びに気管挿管及びビデオ挿管認定救命士を養成し、救急高度化の充実・強化を図ることができた。また、現任救急救命士対象に病院実習を行い、医学的知識と技能の維持及び資質の向上が図れた。今後も新たな時代に対応するため計画的な救急救命士の養成に努め、救命率の向上を図る必要がある。																							

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	消防本部
関連分野	消防・救急	

事務事業名	AED整備費	所管課	警防救急課
		決算額	2,580 千円
事業内容	市内各公共施設にAEDを設置し、心肺停止傷病者に対して即時対応できる体制整備を行うことにより、救命率の向上を図る。		
成果・実績	<p>公共施設におけるAEDの整備・維持管理については、新たに令和5年8月1日から8年間の長期賃貸借契約を締結し、市内公共施設84施設にAEDの更新整備を行い、迅速に救命できる体制づくりを行った。また、設置AEDと同型のAEDトレーニング機材も整備し、各公共施設職員や利用者に講習を実施し、救命に関する知識と技術の習得促進に努めた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>AED（自動体外式除細動器）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>プライバシー保護タオル付</p> </div> </div>		
事業評価	心肺停止傷病者に対し迅速に除細動が行える体制を整備することにより、救命率の向上を図り、安全・安心のまちづくりに貢献できた。今後も引き続きAEDの取扱いの習得促進など、効果的・効率的な維持管理の検討を行い、救命率の向上を図る必要がある。		

事務事業名	通信施設維持管理費	所管課	指揮指令課
		決算額	14,788 千円
事業内容	各種災害の受信・指令など、災害事案を管理する高機能指令システムの維持管理及び災害出動隊の通信手段である消防救急デジタル無線設備の維持管理を行う。		
成果・実績	◎NET119緊急通報システム業務委託 726千円 ◎119番通報等に係る電話通訳業務委託 396千円		
事業評価	NET119緊急通報システムにより、会話に不自由な聴覚・言語機能障がい者の方が、スマートフォン等のインターネット機能を利用して、いつでも全国どこからでも119番通報できる体制の構築を図れた。また、電話通訳業務を行うことにより日本語を介しての会話が困難な市内に居住する外国人の方、外国人観光客の方からの通報や災害現場で円滑な対応が図れた。今後も多様化する119番通報に対応できる体制を整備していく必要がある。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち	消防本部
関連分野	消防・救急	

事務事業名	救急安心センター事業費	所管課	警防救急課
		決算額	0千円
事業内容	<p>京都府と府内の消防本部が共同で運営する救急安心センター事業（救急安心センターきょうと）は、共通の短縮ダイヤル#7119を使用し、医師・看護師・相談員などが救急車を呼ぶべきか、医療機関を受診すべきかなど、医療相談をはじめ、受診可能な医療機関の案内まで、判断に悩む住民（全年齢）からの相談に対して助言を行う。</p>		
成果・実績	<p>専門家の緊急度判断支援による住民への安心の提供、また、救急車の適正利用の推進として、不急の救急要請の抑制、潜在的な重症者の早期発見・救護に繋げることができた。</p> <p>なお、当該事業に係る費用は、京都府及び府内消防本部で負担しているが、令和6年度の費用については、京都府負担分の2千万円を下回ったことから、宇治市の負担金は0円となり、決算額については、0円となった。</p> <div style="text-align: right;">  </div>		
事業評価	<p>令和6年度救急安心センターきょうと検証会議においても、不急の救急要請の抑制、潜在的な重症者の早期発見・救護に繋げる事業効果が確認されており、今後も検証結果を注視しつつ、継続して市民に周知を図る必要がある。</p>		

事務事業名	高度救急設備整備費	所管課	警防救急課
		決算額	36,755千円
事業内容	<p>救急車の更新計画に基づき、東消防署の高規格救急自動車及び積載する救急資機材の更新を行う。</p>		
成果・実績	<p>更新計画に基づき東消防署に配置した。</p> <p>◎高規格救急自動車 20,130千円 ◎高規格救急自動車用資機材 16,610千円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>AED (自動体外式除細動器)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>自動心臓マッサージ器</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>高規格救急自動車</p> </div> </div>		
事業評価	<p>救命率の向上を目指し、自動心臓マッサージ器を導入、資機材についても既存の資機材に加えて感染対策物品を導入した。感染症流行下でも対応可能な体制を構築し、安全・安心のまちづくりに貢献できた。今後も必要な設備について整備を図る。</p>		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	消防・救急

所管部局
消防本部

事務事業名	救急搬送体制強化事業費	所管課	警防救急課
		決算額	4,954 千円
事業内容	感染症対策をはじめとした救急医療体制の変化に即応できる体制を構築する。		
成果・実績	<p>感染症流行当初の医療用マスクや感染防止衣等の世界的な品薄による納期の延長を経験し、リユース可能な感染防止衣の導入などの対策を行い、救急活動を継続できる体制を構築できた。</p> <p>◎感染防止体制の充実</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>医療用マスク</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>感染防止衣</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>		
事業評価	<p>総務省消防庁が、最新の医学的知見及び新型コロナウイルス感染症患者への対応の経験等を踏まえ策定した「救急隊員感染防止対策マニュアル」に基づき感染防止対策を実施し、救急業務における各種感染症への対応を行うことができた。今後も市民の安全・安心を守るため必要な整備を図る。</p>		

事務事業名	京都府南部消防指令センター共同運用事業費	所管課	指揮指令課
		決算額	48,704 千円
事業内容	災害情報の一元管理による災害対応力の向上と大規模災害発生時の他消防本部との連携の迅速化等を目的に京都府南部消防指令センター共同運用の整備を実施する。		
成果・実績	<p>京都府南部9消防本部で構成する京都府南部消防指令センター共同運用の整備に向けた先進的かつ効率的な消防通信指令システムの構築に必要な具体的な整備費用の算出を行った。</p>		
事業評価	<p>災害情報の一元管理により複雑・多様化する災害へのより効果的、効率的な対応及び大規模災害発生時の消防相互応援協定の迅速化など、住民サービスの向上及び消防体制の充実強化に向けた取組を行うことができた。今後も市民の安全・安心を守るため消防体制の充実を図る必要がある。</p>		

令和 6 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営	その他
取組の方向	戦略的な広報／魅力発信	

事務事業名	議会改革推進事業費	所管課	議会事務局												
		決算額	2,209 千円												
事業内容	円滑な議会運営のため、議会改革に取り組む。各委員会活動充実のための研修会及び市民に開かれた議会を目指し、本会議及び委員会のインターネット中継と録画配信を行う。また、議会関連資料の閲覧や検索など、情報の共有化及び情報伝達の簡素化を図るため、タブレット端末を活用する。														
成果・実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">◎委員会研修</td> <td style="text-align: right;">30 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">委員会</td> <td style="text-align: center;">テーマ</td> <td style="text-align: center;">参加人数</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">総務</td> <td>巨大地震がもたらす被害への対応</td> <td style="text-align: center;">42</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">産業・ 人権環境</td> <td>産業界からみた宇治市のポテンシャル</td> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> </table> <p>◎議会映像インターネット配信経費 61 千円 録画映像アクセス数 30,524 件</p> <p>◎議員用タブレット端末・クラウド接続経費 1,902 千円</p>			◎委員会研修		30 千円	委員会	テーマ	参加人数	総務	巨大地震がもたらす被害への対応	42	産業・ 人権環境	産業界からみた宇治市のポテンシャル	30
◎委員会研修		30 千円													
委員会	テーマ	参加人数													
総務	巨大地震がもたらす被害への対応	42													
産業・ 人権環境	産業界からみた宇治市のポテンシャル	30													
事業評価	<p>開かれた議会を実現するため、本会議等のインターネット配信の活用により議会の情報を広く市民に発信することができた。また、議会クラウドの利用やタブレット端末の活用により、ペーパーレスを推進するなど、議会運営の活性化に努めることができた。本会議場の傍聴席にインターネット中継（ライブ配信）映像及び字幕表示用モニターを試行的に設置し、聴覚障害者等に対する傍聴環境の向上に努めた。</p> <p>今後も開かれた議会を目指し、議会改革の取組を発展させ、さらなる議会運営の推進に努める必要がある。</p>														

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営	その他
取組の方向	戦略的な広報／魅力発信	

事務事業名	議会広報活動費	所管課	議会事務局																
		決算額	6,304 千円																
事業内容	議会活動を市民に周知し、議会への関心と理解を深め、住民自治の高揚を図るため、「議会だより」を発行する。また、「市政概要」を発行し、市政全般にわたる制度、市政執行の状況などを掲載して、市政の手引きとして活用する。																		
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">◎議会だより発行経費</td> <td style="width: 45%; text-align: right;">5,917 千円</td> <td rowspan="3" style="width: 30%; text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> </tr> <tr> <td>・発行回数</td> <td style="text-align: right;">4 回</td> </tr> <tr> <td>・年間発行部数</td> <td style="text-align: right;">330,612 部</td> </tr> <tr> <td>◎市政概要発行経費</td> <td style="text-align: right;">163 千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・発行回数</td> <td style="text-align: right;">1 回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・発行部数</td> <td style="text-align: right;">130 部</td> <td></td> </tr> </table>			◎議会だより発行経費	5,917 千円		・発行回数	4 回	・年間発行部数	330,612 部	◎市政概要発行経費	163 千円		・発行回数	1 回		・発行部数	130 部	
◎議会だより発行経費	5,917 千円																		
・発行回数	4 回																		
・年間発行部数	330,612 部																		
◎市政概要発行経費	163 千円																		
・発行回数	1 回																		
・発行部数	130 部																		
事業評価	議会だよりを各戸配布し、全市民へ議会の情報を発信した。今後も市民の議会への関心を高めるため、より分かりやすい情報発信の手法について引き続き検討する必要がある。																		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営	その他
取組の方向	健全な行財政運営の確立	

事務事業名	選挙啓発推進費	所管課	選挙管理委員会事務局
		決算額	25 千円
事業内容	選挙が公明かつ適正に行われるように、様々な機会を通じて選挙人の政治意識の向上に努める。		
成果・実績	<p>明るい選挙の推進のため、啓発ポスター・標語の募集、「市政を見る会」、「府政を見る会」、「白ばら研修会」等の各種啓発事業を行った。</p> <p>また、新有権者へのバースデーカードの送付、出前講座の実施等を通じて、主に若年層に対する啓発を行った。</p>		
事業評価	市民の政治意識及び投票率の向上のため、各種啓発活動に取り組んだ。今後は、特に若年層の投票率改善に向けて、主権者意識の醸成等に資する、より効果的な啓発活動を検討する必要がある。		

事務事業名	衆議院議員選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局																																																																				
		決算額	67,782 千円																																																																				
事業内容	解散に伴う衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査を執行する。																																																																						
成果・実績	<p>10月27日に衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査を執行した。</p> <p>◎執行状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">当日有権者数（人）</th> <th colspan="3">投票者数（人）</th> </tr> <tr> <th>小選挙区</th> <th>比例代表</th> <th>国民審査</th> <th>小選挙区</th> <th>比例代表</th> <th>国民審査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td style="text-align: right;">71,767</td> <td style="text-align: right;">71,767</td> <td style="text-align: right;">71,767</td> <td style="text-align: right;">38,055</td> <td style="text-align: right;">38,047</td> <td style="text-align: right;">37,907</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td style="text-align: right;">79,659</td> <td style="text-align: right;">79,659</td> <td style="text-align: right;">79,659</td> <td style="text-align: right;">41,232</td> <td style="text-align: right;">41,230</td> <td style="text-align: right;">41,150</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">151,426</td> <td style="text-align: right;">151,426</td> <td style="text-align: right;">151,426</td> <td style="text-align: right;">79,287</td> <td style="text-align: right;">79,277</td> <td style="text-align: right;">79,057</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">投票率（％）</th> <th colspan="3">期日前投票者数（人）</th> </tr> <tr> <th>小選挙区</th> <th>比例代表</th> <th>国民審査</th> <th>市役所（11日間）</th> <th>アル・プラザ宇治東（5日間）</th> <th>産業振興センター（3日間）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td style="text-align: right;">53.03</td> <td style="text-align: right;">53.01</td> <td style="text-align: right;">52.82</td> <td style="text-align: right;">6,808</td> <td style="text-align: right;">3,908</td> <td style="text-align: right;">542</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td style="text-align: right;">51.76</td> <td style="text-align: right;">51.76</td> <td style="text-align: right;">51.66</td> <td style="text-align: right;">7,362</td> <td style="text-align: right;">5,395</td> <td style="text-align: right;">613</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">52.36</td> <td style="text-align: right;">52.35</td> <td style="text-align: right;">52.21</td> <td style="text-align: right;">14,170</td> <td style="text-align: right;">9,303</td> <td style="text-align: right;">1,155</td> </tr> </tbody> </table>				当日有権者数（人）			投票者数（人）			小選挙区	比例代表	国民審査	小選挙区	比例代表	国民審査	男	71,767	71,767	71,767	38,055	38,047	37,907	女	79,659	79,659	79,659	41,232	41,230	41,150	合計	151,426	151,426	151,426	79,287	79,277	79,057		投票率（％）			期日前投票者数（人）			小選挙区	比例代表	国民審査	市役所（11日間）	アル・プラザ宇治東（5日間）	産業振興センター（3日間）	男	53.03	53.01	52.82	6,808	3,908	542	女	51.76	51.76	51.66	7,362	5,395	613	合計	52.36	52.35	52.21	14,170	9,303	1,155
	当日有権者数（人）				投票者数（人）																																																																		
	小選挙区	比例代表	国民審査	小選挙区	比例代表	国民審査																																																																	
男	71,767	71,767	71,767	38,055	38,047	37,907																																																																	
女	79,659	79,659	79,659	41,232	41,230	41,150																																																																	
合計	151,426	151,426	151,426	79,287	79,277	79,057																																																																	
	投票率（％）			期日前投票者数（人）																																																																			
	小選挙区	比例代表	国民審査	市役所（11日間）	アル・プラザ宇治東（5日間）	産業振興センター（3日間）																																																																	
男	53.03	53.01	52.82	6,808	3,908	542																																																																	
女	51.76	51.76	51.66	7,362	5,395	613																																																																	
合計	52.36	52.35	52.21	14,170	9,303	1,155																																																																	
事業評価	今後も公明かつ適正な選挙事務の執行に努めるとともに投票しやすい環境づくりに努める必要がある。																																																																						

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営	その他
取組の方向	健全な行財政運営の確立	

事務事業名	市長選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局																																	
		決算額	58,220 千円																																	
事業内容	任期満了に伴う市長選挙を執行する。																																			
成果・実績	12月8日に宇治市長選挙を執行した。 ◎執行状況 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">当日 有権者数 (人)</th> <th rowspan="2">投票者数 (人)</th> <th rowspan="2">投票率 (%)</th> <th colspan="3">期日前投票者数 (人)</th> </tr> <tr> <th>市役所 (6日間)</th> <th>ｱﾙ・ﾌﾟﾗﾝﾞ 宇治東 (3日間)</th> <th>産業振興 センター (3日間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>71,040</td> <td>21,186</td> <td>29.82</td> <td>3,355</td> <td>2,276</td> <td>371</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>78,963</td> <td>23,408</td> <td>29.64</td> <td>3,893</td> <td>3,337</td> <td>405</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>150,003</td> <td>44,594</td> <td>29.73</td> <td>7,248</td> <td>5,613</td> <td>776</td> </tr> </tbody> </table>						当日 有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)	期日前投票者数 (人)			市役所 (6日間)	ｱﾙ・ﾌﾟﾗﾝﾞ 宇治東 (3日間)	産業振興 センター (3日間)	男	71,040	21,186	29.82	3,355	2,276	371	女	78,963	23,408	29.64	3,893	3,337	405	合計	150,003	44,594	29.73	7,248	5,613	776
	当日 有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)	期日前投票者数 (人)																																
				市役所 (6日間)	ｱﾙ・ﾌﾟﾗﾝﾞ 宇治東 (3日間)	産業振興 センター (3日間)																														
男	71,040	21,186	29.82	3,355	2,276	371																														
女	78,963	23,408	29.64	3,893	3,337	405																														
合計	150,003	44,594	29.73	7,248	5,613	776																														
事業評価	今後も公明かつ適正な選挙事務の執行に努めるとともに投票しやすい環境づくりに努める必要がある。																																			

事務事業名	市議会議員補欠選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局																																	
		決算額	9,021 千円																																	
事業内容	欠員に伴う市議会議員補欠選挙を執行する。																																			
成果・実績	12月8日に宇治市議会議員補欠選挙を執行した。 ◎執行状況 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">当日 有権者数 (人)</th> <th rowspan="2">投票者数 (人)</th> <th rowspan="2">投票率 (%)</th> <th colspan="3">期日前投票者数 (人)</th> </tr> <tr> <th>市役所 (6日間)</th> <th>ｱﾙ・ﾌﾟﾗﾝﾞ 宇治東 (3日間)</th> <th>産業振興 センター (3日間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>71,040</td> <td>21,172</td> <td>29.80</td> <td>3,351</td> <td>2,276</td> <td>370</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>78,963</td> <td>23,401</td> <td>29.64</td> <td>3,892</td> <td>3,337</td> <td>405</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>150,003</td> <td>44,573</td> <td>29.71</td> <td>7,243</td> <td>5,613</td> <td>775</td> </tr> </tbody> </table>						当日 有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)	期日前投票者数 (人)			市役所 (6日間)	ｱﾙ・ﾌﾟﾗﾝﾞ 宇治東 (3日間)	産業振興 センター (3日間)	男	71,040	21,172	29.80	3,351	2,276	370	女	78,963	23,401	29.64	3,892	3,337	405	合計	150,003	44,573	29.71	7,243	5,613	775
	当日 有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)	期日前投票者数 (人)																																
				市役所 (6日間)	ｱﾙ・ﾌﾟﾗﾝﾞ 宇治東 (3日間)	産業振興 センター (3日間)																														
男	71,040	21,172	29.80	3,351	2,276	370																														
女	78,963	23,401	29.64	3,892	3,337	405																														
合計	150,003	44,573	29.71	7,243	5,613	775																														
事業評価	今後も公明かつ適正な選挙事務の執行に努めるとともに投票しやすい環境づくりに努める必要がある。																																			

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営	その他
取組の方向	健全な行財政運営の確立	

事務事業名	監査委員活動費	所管課	監査委員事務局
		決算額	205 千円
事業内容	宇治市の事務の執行、管理等について法令に適合し、正確で、経済的、効率的かつ効果的な実施を確保するとともに、宇治市の行財政運営について、健全性及び透明性の確保に寄与し、もって市民の福祉の増進と市政の信頼確保に資することを目的として、定期監査、随時監査、例月現金出納検査、決算審査などを行う。		
成果・実績	定期監査は、22課3消防署3校を抽出して実施した。 随時監査は、令和4年度の定期監査において指摘事項のあった4課1館を抽出して実施した。 財政援助団体等監査は、2団体を抽出して実施した。 住民監査請求について監査を実施した。 例月現金出納検査は、一般会計、特別会計、公営企業会計について毎月実施した。 決算審査は、一般会計・4特別会計・2公営企業会計及び基金運用状況について実施した。 健全化判断比率等審査は、健全化判断比率・資金不足比率について実施した。 また、参画する全国都市監査委員会、近畿地区都市監査委員会及び京都府都市監査委員会の総会・研修会に参加、受講することにより、監査能力の向上と知識の蓄積、情報収集に努めた。		
事業評価	全国都市監査委員会、近畿地区及び京都府都市監査委員会の各研修を受講することにより監査機能の充実が図られ、定期監査等の実施を通じて事務事業の指導及び監査を適正に行うことができた。		

事務事業名	公平委員会運営費	所管課	公平委員会事務局
		決算額	306 千円
事業内容	地方公務員法の規定に基づき、職員の不利益処分の審査請求及び勤務条件に関する措置の要求に対して審査、判定などを行う。		
成果・実績	宇治市公平委員会議事規則により定例会を4回、臨時会を1回開催し、職員団体登録に伴う審査及び公平委員会に関係する規則の一部改正の議決などを行った。 また、参画する全国公平委員会連合会、近畿支部及び京都府公平委員会連合会の総会・研究会に参加、受講することにより会員都市の情報の収集と知識の蓄積に努めた。		
事業評価	全国公平委員会連合会、近畿支部及び京都府公平委員会連合会の研究会を受講することにより、情報収集及び知識の蓄積に努め、公正な審査に期するための審査機能の向上を図ることができた。		

令和6年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
その他

事務事業名	固定資産評価審査委員会運営費	所管課	固定資産評価審査委員会事務局
		決算額	317 千円
事業内容	地方税法の規定に基づき、固定資産税、都市計画税の課税の基礎となる固定資産課税台帳に登録された価格に関する納税者からの審査申出について審査、決定する。		
成果・実績	土地6件及び家屋2件の審査申出を受け、委員会を25回開催した。 また、(一財)資産評価システム研究センターの研修(動画配信)を受講することにより、審査委員会業務の推進に努めた。		
事業評価	審査申出について、適正に審査を行い、継続中の1件を除き決定することができた。 また、研修の受講により審査に必要な知識の蓄積及び情報収集に努め、審査機能の向上を図ることができた。		

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	農林水産業

所管部局
その他

事務事業名	農業委員会運営費	所管課	農業委員会事務局
		決算額	616 千円
事業内容	農業委員会等に関する法律第6条に規定する所掌事務、農業者年金業務、京都府国有農地等管理処分事業事務及び農業委員会の運営を行う。		
成果・実績	<p>農業委員会等に関する法律に基づき、農業委員会総会を12回開催し、農地の権利移動や転用、非農地等に関する審議を行うとともに、農地の利用状況調査や各種証明の発行等、農地行政の適正執行に努めた。</p> <p>また、市長部局(農林茶業課)及び関係機関と連携し、地域計画の策定に向けた取組を進めるとともに、農地利用の最適化や農業者年金の加入促進、「農委だより・うじ」の発行などに取り組んだ。</p>		
事業評価	関係法令等に基づき、適正に農地行政経費を執行し、農地に関する委員会審議や農家への啓発などに取り組むことができた。今後も円滑な委員会運営に努め、農家への啓発や農地利用の最適化の推進を図る必要がある。		



用品調達基金運用状況表

(単位：円)

借 方		科 目	貸 方	
残 高	累 計		累 計	残 高
1,872,926	2,814,606	在 庫 用 品	941,680	
4,127,074	5,711,719	預 金	1,584,645	
	1,185,538	未 収 金	1,185,538	
	1,338,470	未 払 金	1,338,470	
		基 金	6,000,000	6,000,000
6,000,000	11,050,333	小 計	11,050,333	6,000,000
		払 出 差 益	243,858	243,858
		受 取 利 息	2,317	2,317
		雑 利 益		
		雑 損 失		
246,175	246,175	一般会計繰出金		
246,175	246,175	小 計	246,175	246,175
6,246,175	11,296,508	合 計	11,296,508	6,246,175